



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2009-2010年度

国際ロータリー第2740地区 ガバナー 高城 昭 紀



CONTENTS

R I 会長のメッセージ	1
2009-2010年度 会長賞	4
ガバナー就任の挨拶	6
R I テーマと地区運営方針	7
直前ガバナーへの謝辞	10
ガバナー補佐の挨拶	11
文庫通信	16
ガバナー公式訪問	17
地区主要行事予定表	19
地区組織図	21
地区関係予算	23
報告のしおり	25
送金のしおり	26





2009 10年度 R I テーマ

The future of rotary is in your hands

ロータリーの未来は あなたの手の中に

国際ロータリー会長
ジョン・ケニー



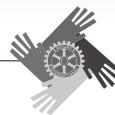
一世紀余りにわたり発展し続けてきたロータリーの奉仕を振り返るとき、私たちの未来は、苦境にある人々に希望をもたらし、争いの絶えない世界に平和をもたらし幾世代ものロータリアンによって末永く確かなものとなるに違いないと胸を張って言えます。私たち一人ひとり、いわば過去を未来へとつなぐ鎖の輪のような存在で、大いなるロータリーという伝統の一部を成しているととえることができます。

この鎖が解けることなく永続していくためには、個々の輪が強くなってはなりません。ロータリーの未来への鎖を堅固なものに鍛え上げることは、私の責務であり、皆さんの責務です。今年より来年、また、来年より再来年、さらにロータリーを強くしていくことは、私たちの責務です。また、ロータリーが、明日、次の新たなチャレンジに取りかかれるよう、今日、ポリオのない世界を築くという約束を果たすことも、私たちの責務なのです。

マハトマ・ガンジーは、かつてこのように言いました。「未来は、私たちが現在成すことによって決まる」第二世紀においてもロータリーの発展を望むのであれば、現状に甘んじているだけでは十分とは言えません。これからの長い道程に備えて地図が必要となりますが、私たちはその地図をすでに携えています。

国際ロータリーは確かな未来を築くため、世界中のロータリアンから協力を得て、7つの優先項目を掲げた長期計画を立てました。今、この計画を実行に移すときがやってきたのです。

- 「ポリオを撲滅する」が、私たちの最優先事項です。募金のチャレンジを通じて、この重要な仕事を完遂し、世界に対して約束を果たすために、私たちはリソースの提供というかたちで力になることができます。

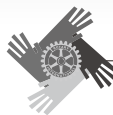


- 「ロータリーに対する内外の認識と公共イメージを高める」は、ロータリーが新会員を引きつけ、他団体からの協力を得ることにつながります。ポリオ・プラスでロータリーは世界の表舞台で活躍するようになりました。今後は、地元と世界における奉仕活動をメディアと地域社会に広め、国際的な地位を築いていくときがやってきたのです。
- 「他者に奉仕するロータリーの能力の増大を図る」は、ロータリーの使命の核心に触れるものです。四大奉仕部門に沿って時間と才能と熱意をこれまでより少しだけ多く捧げるなら、すべてのロータリアンがこの目標に向けて貢献できます。2009 10年度も、近年、クラブが取り組み続けている重要な問題、すなわち、水、保健と飢餓救済、識字率向上の分野における奉仕活動に専念するよう、ロータリアンに呼びかけていきます。
- 「質的にも量的にも会員組織を世界的に拡大する」は、重要な優先事項です。これは、ロータリーが達成すべき目標のすべてが会員をよりどころとしているからです。資格ある新会員をもたらしことは、私たち一人ひとりの責務です。しかしながら、この責務を果たしているロータリアンはわずかです。ほかの人々にクラブへの入会を勧め、会員を増やすことができるのはロータリアンしかいないのです。
- 「ロータリー独特の職業奉仕への取り組みを強調する」は、ほかの奉仕団体や人道団体とロータリーとの違いを明確に分けるものです。職業倫理への高い水準を保ち、日々実践することに

よって、私たちは同僚や従業員、顧客はもちろんのこと、競合相手に対しても模範を示すことができます。

- 「国際ロータリー内の指導的才能を最大限に活用し、育成する」は、ロータリーの未来にとって欠かせない要素です。私たち一人ひとりが、なんらかのかたちで指導的役割を担うべきです。クラブレベルで委員会の委員長や奉仕プロジェクトの委員を務めたり、地区レベル、国際レベルで活躍するなど、さまざまな役割があります。すべてのロータリアンは職業において指導的な立場にある人々ですから、ロータリーにおいてもこの指導力を発揮すべきです。
- 「組織全体を通じて継続性と一貫性を保つために、長期計画の手順を完全に実施する」は、クラブ、地区、国際レベルで毎年指導者が交代する際に、引継ぎが効果的に行えるようにすることが目的です。

この長期計画はR I 理事会が承認したものではありませんが、これを実施するのは皆さんです。R I 会長が、皆さんのクラブに入会するようにと新しい会員を誘うことはできません。また、R I 理事会が、ポリオ撲滅の支援に向けて、皆さんの地域で募金活動を企画したり実施したりすることもできません。同様にシニア・リーダーが、皆さんの職場でロータリーの倫理規範を実践することもないません。すべては、皆さん自信が実行しなければならないのです。ロータリーの未来はあなたの手の中にあります。



一人ひとりのロータリアンに自らの責務を胸に刻んでいただくために、この真実を2009 10年度のテーマとして選びました。かのウィンストン・チャーチル卿は、「偉大さの代償は責任だ」と述べています。ロータリーは偉大な組織です。私たち一人ひとりが課題に立ち向かい、未来に対する責任を果たすなら、ロータリーはさらに素晴らしい組織へと発展する可能性を秘めているのです。

ロータリーにおいては、「ロータリアン」という肩書きの下、各会員に仕事を与えられています。私たちの任務は、地元と国際社会において必要とされる奉仕を提供すること、そして、事業と専門職務に携わるリーダーを新会員として誘い、地域社会で好ましいイメージを築きながら、クラブの器を広げていくことです。ロータリアンとしての私たちの職務には、職場と私生活において倫理的行動の規範を示し、クラブと地域社会においてリーダーの役割を務め、ロータリーの最優先事項であるポリオ撲滅を全面的に支援することも含まれています。

ロータリアンという仕事には、計り知れない恩典があります。私たちは、かけがいのない親睦を享受し、他者のために尽くすという個人的な生きがいを得ることができます。皆さんがロータリーとその力を信じるのであれば、今こそ立ち上がり、全身全霊でロータリアンとしての仕事に全力投球するときです。ロータリーの未来はあなたの手の中にあるのです。

ジョン・ケニー
2009 10年度 国際ロータリー会長



ジョン・ケニー
(スコットランド、グランジマウス)

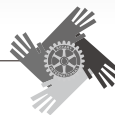
2009 10年度 国際ロータリー会長
(2007 08年度)
2008年ロサンゼルス国際大会推進委員会副委員長
(2000 04年度) ロータリー財団管理委員
(1996 97年度) 国際ロータリー執行委員会委員長
(1995 97年度) 国際ロータリー理事
(1992 93年度) RIBI 会長
(1991 92年度) RIBI 副会長
(1984 85年度) 地区ガバナー

スコットランドのグランジマウス・ロータリー・クラブに所属するジョン・ケニー氏は、地元の法務学部長、裁判官、公証人を務めた経歴の持ち主です。スカウト活動では、東欧における新しいスカウト・グループの結成に貢献し、その努力が認められて功労賞を受賞しています。スコットランド教会では長老の役目をはじめ、セッション・クラーク、長老会長老を務めてきました。ケニー氏はまた、女王エリザベス二世より地区の副知事に任命されました。フォースバレー青年商工会議所およびスコットランド青年商工会議所連盟では会長を、国際青年会議所では総弁護人を務めました。

1970年にロータリアンとなってからは、グレート・ブリテンおよびアイルランドの国際ロータリー(RIBI)の会長と副会長を務めました。そのほか、RIにおいては、理事、執行委員会委員長、ロータリー財団管理委員、研究会モデレーター、地区ガバナー、国際大会委員会副委員長、グループリーダー、会長代理、各種委員会委員長ならびに委員を歴任してきました。また、規定審議会には、代表議員、委員、議事運営手続の専門家として出席した経験があります。

ロータリー財団の大口寄付者ならびに遺贈友の会会員であるケニー氏は、功労表彰状と特別功労賞の受賞者でもあります。

ケニー氏は1965年にジューン夫人と結婚しました。



2009－2010年度

会長賞

国際ロータリー会長 ジョン・ケニー

地区ガバナーの表彰

地区内の50パーセント以上のクラブが会長賞を受賞した場合、地区ガバナーが特別に表彰されます。

2009 10年度 ローターアクト

およびインターアクト会長賞

ロータリーの未来に欠かせない存在であるローターアクト・クラブとインターアクト・クラブも、2009 10年度会長賞プログラムに参加するよう奨励されています。本賞の受賞資格を得るには、ローターアクト・クラブとインターアクト・クラブが、本要項に挙げられた活動の中から（分野は問わず）少なくとも2つの活動を実行するか、提唱クラブの活動の少なくとも2つに積極的に参加していることが要件です。提唱クラブは、ローターアクトおよびインターアクト会長賞申込書に署名した上、2010年3月31日までに地区ガバナーに提出しなければなりません。その後、ガバナーは、受賞資格を得たクラブのリストを2010年4月15日必着でRI世界本部に送付しなければなりません。

会員目標（必須）

2010年3月31日までに1名の会員純増を達成する（2010年3月31日付けのクラブ会員数は、2009年7月1日付けの会員数より多くなければならない）。

活動項目

以下の6つの分野は、2007 10年RI長期計画の優先項目を反映しています。2009 10年度会長賞の受賞資格を得るには、2009年7月1日から2010年

3月31日までの間に、クラブが次の分野から3つを選んで活動に取り組み、これを完了しなければなりません（全部で3つの活動）。

ポリオを撲滅する

募金のチャレンジを通じて、この重要な仕事を完遂し、世界に対して約束を果たすことができます。

- 地域社会で大規模な募金活動を行い、ポリオ撲滅を支援する
- ポリオ撲滅に対し、クラブから少なくとも米貨1,000ドルを寄付する

ロータリーに対する認識と

公共イメージを高める

新会員を惹きつけ他団体の協力を得るために、メディアや地域社会に対して地元や海外の奉仕活動を広く知らせる必要があります。

- ロータリーとは何か、またロータリーとは何をする団体かについて、大々的な広報キャンペーンを地域社会で実施する
- 印刷媒体、ラジオまたはテレビ番組、看板広告などを通じて、少なくとも1回、公共奉仕広告「人類のために活動します」を使う
- 地元地域でのクラブ行事やプロジェクトをメディアで取り上げてもらう

奉仕するロータリーの能力の増大を図る

四大奉仕部門に沿って、より多くの時間、技能、熱意をボランティア活動に捧げることで、ロータリー・クラブはこれからも水、保健と飢餓救済、識字率向上に取り組むよう奨励されています。



- 地域社会のニーズ調査を行い、クラブ会員の少なくとも50パーセントが積極的な奉仕活動に参加できるような社会奉仕プロジェクトを立ち上げるために、その調査結果を活用する
- ロータリアン以外の人々で構成されるロータリー地域社会共同隊を提唱し、そのメンバーとの合同プロジェクトを完遂する
- 海外の提唱者と協力して奉仕プロジェクトを実施する（実施側または援助側のいずれかとなる。クラブは、ロータリーのデータベース「Project LINK」を利用して協同提唱者を探すことができる）
- 保健と飢餓救済、識字率向上、水に関して、RI支援グループが推奨する奉仕プロジェクトを行うか、これらの分野を専門とする定評ある他団体とのプロジェクトに協力する

質的にも量的にも会員組織を世界的に拡大する

ロータリーが実現したいと望んでいることはすべて、会員があってこそ成し遂げられるものです。会員一人ひとりが資格ある新会員を入会させる責任を担っています。

- 少なくとも20パーセントのクラブ会員が会員候補者をクラブ例会にゲストとして招く
- RIまたはロータリー財団プログラムの学友で35歳以下の人物を少なくとも1人、勧誘する（ロータリー財団とRIプログラムの学友には、元国際親善奨学生、元研究グループ交換チームメンバー、元ロータリー世界平和フェロー、元青少年交換学生、元ローターアクター、元インターアクターが含まれる）
- クラブで十分に反映されていない会員層（職業、年齢、宗教、民族等）から少なくとも2人新会員を勧誘し、クラブ会員の多様性を広げる
- 2010年3月31日までに少なくとも1名の会員純増を果たすという必須目標の一環として、社会奉仕、職業奉仕、あるいは国際奉仕の活動経験を有する新会員を少なくとも2人勧誘する

ロータリー独特の職業奉仕への取り組みを強調する

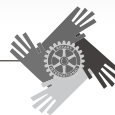
職業における高い道徳的水準を保つよう強い心構えを示すことによって、私たちは同僚や従業員、顧客に対して模範を示し、ロータリーをほかの奉仕団体や人道団体とは異なるものにすることができます。

- クラブで、青少年個人指導（メンター指導）プログラムを開始または支援し、クラブ会員の少なくとも10パーセントが職業技能や職業倫理の面において青少年に個人指導を行う
- クラブで、キャリア相談またはキャリア開発プログラムを開始または支援し、地域から参加者を招く。参加者が職業技能を伸ばし、求人市場で有力な人材となるよう、クラブ会員の少なくとも10パーセントが積極的に関与し、手伝う
- 少なくとも1人のクラブ会員がロータリー・ボランティアとして登録し、適切なプロジェクトを探すために、ロータリーのデータベース「ProjectLINK」を利用する

国際ロータリー内の指導的才能を最大限に活用し、育成する

ロータリーの未来には強力な指導者が欠かせません。クラブで、職場で、そして地域社会で、私たち一人ひとりがより良き指導者となるよう努めなければなりません。

- 指導者育成プログラムを創設し、少なくとも5パーセントのクラブ会員がプログラムを完了する。RIの出版物「指導力育成：プログラムを始めるための手引き」（250 JA）にある提案を参考にする
- 少なくとも5パーセントのクラブ会員がロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）の行事参加者を後援したり、青少年交換学生、国際親善奨学生、ロータリー世界平和フェローを派遣または受入れることで、青少年のための指導力育成の機会をつくる



ガバナー就任にあたって

国際ロータリー第2740地区
2009年－2010年ガバナー

高 城 昭 紀

この度、わが2740地区のガバナーに就任致しました、高城昭紀です。

S58年に島原ロータリークラブに入会致しまして、既に26年経過しました。時間ばかり経過しまして、ロータリーについての知識は殆どありません。

ただ、「高い倫理性をもって職業を遂行しよう。それが奉仕である。」という次元の高い、哲学的な言葉に「素晴らしいなあ」と思い、そのように努めて心がけようと思ってきました。

しかし、その間多くのロータリアンの方と接し、多くの知人・友人ができました。こういう点がロータリーのいい点であると思います。（そのお礼として寄付を少しづつしたいと思います）

佐古亮尊先生・神宮博明先生（佐賀北）には、特に指導を受けました。

今、日本のロータリークラブは会員数の減少という、深刻な問題に直面しています。わが2740地区に於いても、平成10年以降減少を続け、まだ減少が止まらない状況です。

どうか、皆さん、せっかく入った世界的組織のロータリークラブです。退会しないようにしましょう。また、周囲にいる人をロータリークラブに入会するように誘いましょう。

次に、今年度のRI会長 ジョン・ケニーさんのテーマは、「ロータリーの未来はあなたの手の中に」です。「ロータリーの未来は私達会員の気持ちや行動による」と主唱されています。

さて、7月1日から新しいロータリー年度が始まったのですが、わが地区には15の地区委員会がありますが、各委員会の委員長さん、委員さんの就任をお願いしましたところ、委員長、委員をお引き受け下さいまして誠にありがとうございました。お蔭様で、地区委員会の陣容が整い、各地区委員会が今後力強く機能していくと思います。

私達は、世界的な組織のロータリークラブを支えるために、また広範囲に行なわれているロータリークラブの事業を行うために寄付（年次寄付、恒久寄付等）を行いましょう。

それとは別にポリオ撲滅のための寄付も行いましょう。

ポリオという病気は、中枢神経系を侵す病気で、手足の麻痺や知能障害をきたすこわい病気です。わが国では昭和35年に感染が広がり(6500人)、深刻な社会問題になりました。日本の子供を、この感染から守ったのが、カナダと旧ソ連からのワクチンでした。日本にもこのような歴史的な事実があります。

今度は、私達が感染の危険がある地域の子供を守ってやりましょう。そのためには多額のお金が必要なのです。これがポリオ撲滅募金です。1クラブ1,000ドルを3年間続けましょう。

以上のようなことをロータリー年度の初めに思っています。

一年間よろしくお祈りします。



2009～2010年度

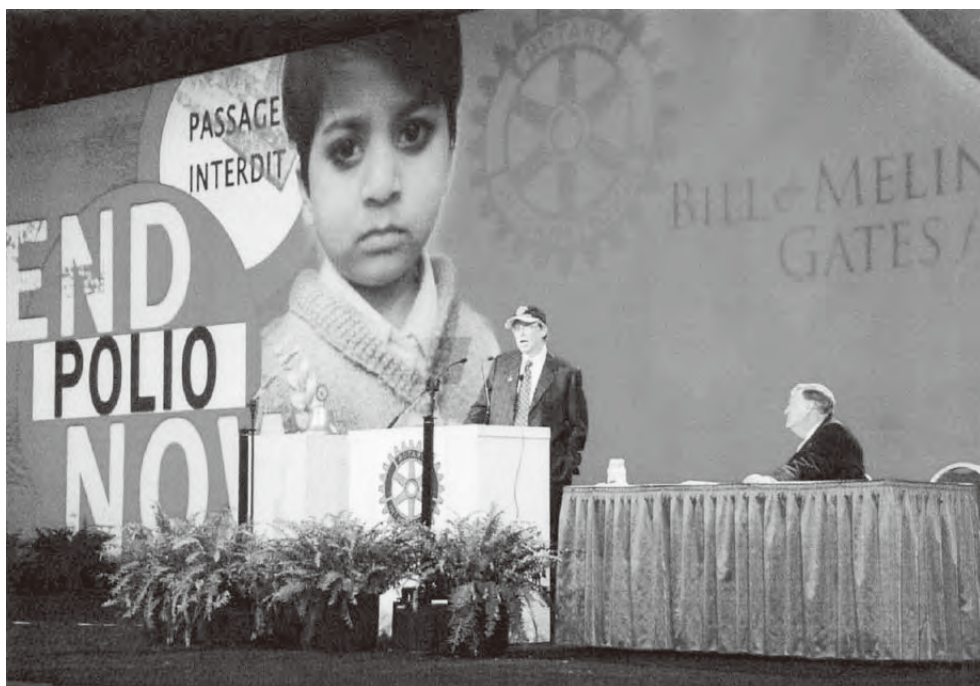
R I 会長ジョン・ケニー氏のテーマ

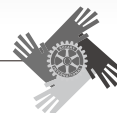
「ロータリーの未来は あなたの手の中に」

第2740地区ガバナー

高 城 昭 紀(記)

- ロータリーの進路を決定するのはロータリアンの日頃の行動です。
- 水・保健と飢餓救済・識字率向上は今年度も強調事項です。これらを実現するため「奉仕」「親睦」「多様性」「高潔さ」「リーダーシップ」が必要です。
- 「2億ドルチャレンジ」
ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団のビル・ゲイツ会長が2007年に次いで、今年度更に2億5500万ドル（約224億4000万円）をR Iに提供されました。そのためRIでは「ロータリーの2億ドルチャレンジ」として2012年6月30日まで上乗せ資金を募金することになりました。





新年度ガバナー方針

国際ロータリー第2740地区

2009～2010年度

地区ガバナー

高 城 昭 紀

2009～2010年度のR I 会長ジョン・ケニー氏のテーマは「ロータリーの未来はあなたの手の中に」です。

このテーマをいつも念頭に置き、行動しましょう。

- ケニー氏は「安全な水の確保」「保健と飢餓救済」「識字率向上」にも積極的に取り組んでいこうと強調されました。従って私達もこのことを良く理解し、心理的、また实际的に支援していきましょう。
- 今までの世界のロータリークラブの支援によって、ポリオに罹患した子供の数が激減、（2009年1月現在1,633人です）あと少しで撲滅できます。そのため各会員1年間に1万円を寄付しましょう。
- ロータリーの基盤は職業奉仕にあることをもう一度認識しましょう。
- 会員の退会防止に努めましょう。
- ロータリーを楽しみましょう。

【今年度地区運営方針】

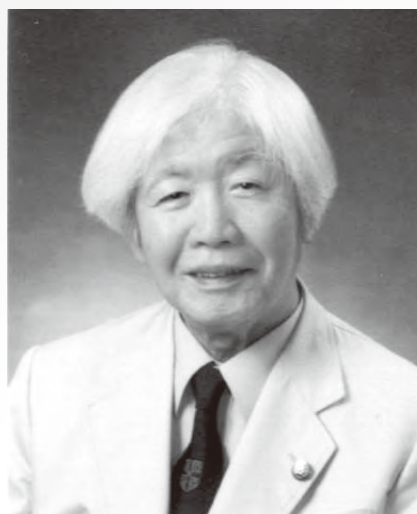
- 〈1〉 会員増強目標：クラブ純増2名…………… 1 1 4 名
- 〈2〉 ロータリー財団年次寄付目標…………… 2 3 万 \$
- 〈3〉 米山記念奨学会年間寄付目標…………… 2 5 0 0 万円
(1人当たり1万円)
- 〈4〉 クラブ・リーダーシップロプラン(C L P)の推奨
未来を築く次リーダーの育成の重要性



2009－2010年度国際ロータリー
第2740地区ガバナー

高 城 昭 紀 略 歴

【生年月日】 昭和16年2月11日
【現住所】 島原市中野町丙1165
【現職】 医療法人ウイング
高城病院理事長・院長



【履 歴】

S45年 久留米大学医学部を卒業
長崎大学医学部精神科教室
(高橋良教授)に入る

S50年 精神衛生鑑定医

S56年 長崎大学医学博士取得

S57年 長崎大学医学部非常勤講師

S58年 高城精神科院院長(理事長)

島原看護学校講師

島原高校校医

県南保健所嘱託医

島原市中心身障害児就学指導委員会委員

島原市福祉事務所嘱託医

島原養護学校校医

長崎家庭裁判所島原支部調停委員

島原高校同窓会 会長

【ロータリー歴】

1983年 島原ロータリークラブ入会

1987年 島原ロータリークラブ幹事

1990年 島原ロータリークラブ会長

1995年 ロータリー財団奨学地区委員

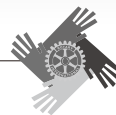
1999年 ロータリー財団奨学・学友地区委員長

2000年 ガバナー補佐

1987年 ポール・ハリス・フェロー

1999年 ベネファクター(3回)

2008年 マルチプル・ポール・ハリス・
フェロー(4回)



直前ガバナーに対する謝辞

国際ロータリー第2740地区
2009年－2010年ガバナー

高城 昭 紀

鈴木康彦直前ガバナーへの謝辞

「ロータリーで心を耕そう」というテーマで、特に家庭・教育の面に提言をされてられました。そしてなによりも暖かい、円満なお人柄で心に残る人です。

鈴木前ガバナーは、ガバナーになられる前は世界を縦横に動いて仕事をしておられたとのこと、ガバナーをおえられて、再び世界を縦横に活躍されることと思います。

本当にお疲れさまでした。

野口清アクティングガバナーへの謝辞

突然の役回りにびっくりされたことでしょう。

しかし、すぐ我が第2740地区のために5月・6月2ヶ月間のアクティングガバナーを引き受けて下さいまして、ありがとうございました。





ガバナー補佐挨拶



我がクラブの親睦

第1グループ ガバナー補佐

中 尾 健 治
(牛津 R C)

ロータリアンの皆様こんにちは、第2740地区の第1グループ 2009～2010年度のガバナー補佐を仰せつかりました中尾健治でございます。

我がクラブは、佐賀県のほぼ中央に位置する人口1万強の小さな町で、また同様に会員も30名を前後する小さなクラブでもあります。

昔は旧長崎街道の宿場町「九州の浪花」と言われるほど賑わった町でした。小さいけれど私が周囲のクラブと比べた時、一番まとまったクラブだと自負しています。クラブ創立以来30数年になりますが、ニコニコ箱は年間予算80万円ですが、常に100%以上を達成しています。今年度の指針でもある職業奉仕と親睦と会員増強という目標に向かって頑張っていきたいと思います。

地区内においては、三地区（小城、多久、牛津）十数年間春と秋にわけて青少年の野球大会を実施しております。また親睦の為会員ゴルフコンペを以前は三地区で三ヶ月に一度行っていました、今は佐賀大和クラブも入ってもらい、四地区で行っています。又、年に一回だけ第1グループでボーリング大会を実施しその後で親睦懇親会を行い、毎年盛況に終わっています。会をする時は、クラブ持ち回りで行き交流を深めています。

今年度も第1グループ頑張っていきたいと思いますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

【略 歴】

1979年8月 牛津ロータリークラブ入会
1992～1993年度 会長



第2グループ ガバナー補佐

金 武 良 弘
(佐賀南 R C)

約1年前、第2グループのガバナー補佐は佐賀南クラブが当番と言うことで、その人選が始まっており、理事会で小生の名前がちらちらしていました。

チャーターメンバーとして入会以来24年、まじめに出席だけはしていましたが、ロータリアンとしての知識に乏しく、承諾を固辞しておりましたが悩みぬいた末にとうとう引き受けてしまい今さらながら後悔の毎日です。

2月より島原において2回の研修セミナー、地区協議会、新旧ガバナー補佐会等でいろいろと勉強させてもらいましたが、浅学非才の小生にとりまして、なかなか身につけません。今は「ガバナー補佐要覧」で勉強中です。

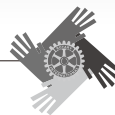
2009～2010年度のR Iのテーマは「ロータリーの未来はあなたの手の中に」で、ロータリーの未来を造っていくのは、R I本部ではなく、地域のクラブ、ロータリアン一人一人であり、世界の平和、水、保健、飢餓追放、識字率向上に向けて努力を続けていこうとしています。

又、研修会においては、今、切実な問題として会員の急激な減少が取り上げられています。我々ロータリーは順調な成長を持続してきましたが、この10年間世界の会員数は伸びていないどころか、日本の会員数は減少傾向が続いていて、1996～1997年度当時13万人を超えていたが2007年6月末10万人を割り、2008年12月末現在で97,000人前後で、約25%強の減少だそうです。会員の減少は会費の減少につながり、四大奉仕活動にかけりが発生します。

高城ガバナーの本年度の地区運営方針の第一に会員増強（純増2名）を掲げてあります。そこで、第2グループの皆様をお願いですが、各クラブで退会防止に努め、新規に2名の増員を目標に進んでいきたいと思っています。最後になりましたが今後1年間よろしくご指導ください。

【略 歴】

1985年6月 佐賀南ロータリークラブ入会
2000～2001年度 会長
2007～2008年度
クラブ奉仕統括 地区委員長
2008～2009年度
クラブ奉仕統括 地区委員



ガバナー補佐挨拶



第3グループ ガバナー補佐
宮崎 幸久
(武雄 R C)

第3グループのガバナー補佐を拝命しました宮崎幸久です、この1年間、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

私は32歳のときに、武雄ロータリークラブに入会しまして、早30年になろうとしております。

当時の武雄クラブの平均年齢が56歳ぐらいだったのを憶えております。年齢的には少し違和感がありましたが、地区の代表的な経営者、名士の方々の集まりで、啓発される卓話も多く、ドロップアウトしないように、先輩より炉辺会議や飲み会には積極的に誘っていただきました、お陰で退会もせず今にいたっております。

この度、ガバナー補佐をご指名いただき、今までのロータリー人生を振り返ったとき、日頃の不勉強を、今更ながら恥じ入っているばかりであります。

毎日、忙しい忙しいと仕事に流されている私にとって、一度足元を見て考えよという御催促ではないかと思ひ、気を引き締めなおして、この重大な任務に取り組ませていただきたいと思います。

さて、いよいよ新年度が始まり、高城昭紀ガバナーのもとで出航のさせて頂くことになりました、RI会長ジョン・ケニー氏による今年度のテーマは「ロータリーの未来はあなたの手の中に」であります、昨今の世界同時不況や新型インフルエンザの蔓延、地球温暖化や砂漠化、食糧危機、貧困層の拡大、水の争奪戦等々・・・、諸問題が山積している現在、ロータリーの未来と同時に、次世代の子供たちに、どのような未来を渡して行くことが出来るのか、今の我々に問われていると思います。

ロータリー創設時、104年前も同じような状態だったのではないのでしょうか、混沌とした社会にあって、創立者のポール・ハリスは、高潔な理念の下に仲間を募り、バトンを渡し続けて、今日では世界200カ国123万人会員を擁する、国際ロータリーとなったのであります。一人一人のロータリアンの力は微々たるものであっても、知性と道徳観念を備えた人々が集まることによって、現在非常に多くの有意義なプログラムが遂行されています。ただ残念なことに、日本のロータリアンの数が減少に転じて、上昇する気配が中々見えないことであります。5月10日の地区協議会で西村榮時氏より、「会員増強」を主体にした『ロータリーにルネッサンスを』という基調講演を頂きました、その中で、ロータリー最大の財産は『会員』であり、組織をいつも生き生きさせておくため、常に新しい人材の導入が必要である、会員増強は【ロータリアン最大の奉仕】であると、強調されました。高城ガバナーも今年度は是非、純増2名を目標に頑張ってくださいと言っておられます。

各クラブの会長・幹事様、ロータリアンの皆様方には、大変な命題だとは思いますが、この一年間のご協力を宜しくお願い申し上げます。皆様方との素敵な出会いを楽しみにしております。

【略歴】

1980年5月 武雄ロータリークラブ入会
2002～2003年度 会長



抱負
第4グループ ガバナー補佐
山本 晴彦
(唐津東 R C)

この度、第4グループのガバナー補佐を仰せ付けられました。

私は、唐津東ロータリークラブに入会して21年になりました。我がクラブの伝統である基調「親睦と融和」の居心地の良さに甘えて、唯々時の流れに流されて、これまで無為に過ごしてきた事を後悔しているところです。

今までの不勉強が悔やまれてなりません。

ガバナー補佐という大役の責任の重大さに身の引きしめる思いで一杯です。

ちゃんと出来るかどうか不安ですが、職務を果たせるように及ばずながら、精一杯頑張っていく覚悟をしているところです。

本年度のRI会長ジョン・ケニーの掲げられたテーマは「ロータリーの未来はあなたの手の中に」です。

私達の手によってロータリーの未来をより良くしていくというロータリアンの自主性、そしてクラブの自主性を重んじたものです。

私達一人ひとりのロータリアンが行動を起こし、ロータリークラブを活性化し、また地域社会のリーダーとして行動することが私達の責任として求められています。

ロータリアンとして私達に何が出来るかによって多くのことが変わってきます。

最近、日本のロータリークラブの会員減少が目立ちます。百年に一度と言われる経済危機も追い打ちをかけているようです。会員減少の要因の一つにはロータリーの魅力が失われているからではないでしょうか。

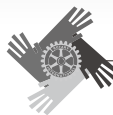
例会に出席することを楽しみになるような魅力的な企画が求められているのではないのでしょうか。

今後、グループ内のクラブを訪問させて頂きませんが、忌憚のないご意見を頂くようお願いし、併せてグループ内の皆様の限りないご指導とご鞭撻を切にお願いします。

一年間、よろしくお願い申し上げます。

【略歴】

1988年2月 唐津東ロータリークラブ入会
1991年～1992年度 幹事
2000年～2001年度 会長



ガバナー補佐挨拶



「宜しくお願いします」

第5グループ ガバナー補佐

西尾 弘毅
(北松浦RC)

この度第5グループのガバナー補佐として任命を受け、この大役に責任の重大さを、日々痛感しております。クラブ内での協議の上、知識・経験深き緒先輩がおられる中、もともと浅学非才の身では有りますが、この役を仰せ付けられましたのも35年間の無欠席の賜物だと思います。日頃の不勉強を今さらながら後悔いたしております。

ですがお引き受けした以上、素直に真面目に真剣に取り組んで職責を全うしようと決意し心に念じております。

1月8日第1回ガバナー補佐会議に出席させて頂き、素晴らしい人たちとの出会いが始まりました。ロータリーの良い所は皆様方に一度お会いすればずっと昔からの友人みたいに接して下さることです。2月14日第2回地区チームリーダー研修セミナーに出席、今年度のジョン・ケニー会長のRIテーマは「ロータリーの未来は、あなたの手の中に」が打ち出されました。席上、熱く力強く話され、私は言うに及ばず出席者全員が共感した次第です。すべてのロータリアンが思いを一にして、この方針に沿った活動を行うことにより、ロータリー精神を大いに発揮すべく頑張っていきたいと思っております。

ロータリークラブという組織を通して職業奉仕の重要性(倫理性)クラブ奉仕(会員増強)の重要性、社会奉仕(環境)の重要性等バランスの良い奉仕活動が出来他クラブの活動事例、情報を学び情報提供を皆様にご活躍を心より祈念申し上げますと共にこの一年間温かいご指導ご支援をいただきますようお願いいたします。

【略歴】

1974年5月 北松浦ロータリークラブ入会
1988～1989年度 会長



新年度を迎えて
一思い付く儘に

第6グループ ガバナー補佐

榎猪一郎
(佐世保南RC)

曰く「頭は帽子を被るために有るのではない。嘘つきは泥棒の始まり。思うたばかりで気のゆくならば、風呂屋の三ちゃん嬢要らぬ。忠孝の忠の字は口を真っ直ぐ貫いて心に達する、横一縦一横一ノ子供であるぞと書いて孝と読む。」私の幼少時にはこのような俚諺に満ちていて、今でもすらすら口に出るほど頭に染みついている。何れも父や祖父の常用句である。その他、“人の役に立つ人間になれ”“人に迷惑を掛けるな”なども朝に夕べに聞かされて、今では反省も込めて脅迫観念に成長しているのである。彼等は尋常小学校卒、貧農の口減らし組で丁稚奉公からの一旗組である。なのに高い精神性と倫理観には馬齢を重ねた今、もの凄い高みに思えてならない。

その昔の佐世保は人口5百人程の漁村であり、今の市街地は塩田が営まれ、佐世保浦とよばれていた。鎮守府開設とともに九州各県より人が集まり、鹿児島からは一挙に千人を超える人がおしよせたと記されている。このような歴史を背景に、わが佐世保南クラブは佐世保RCをホストクラブとして昭和32年に設立された。クラブ20年史によれば、2代目の人たちを、戦後の新生佐世保づくりの先頭にたたせたいと、新時代へ精神の高揚を呼びかけている。

この20年史が編まれた時に入会した私は、雑巾がけからスタートし看板やを経験し地区幹事で修練し、ガバナー補佐とされた。生き様の詞として、あるいは経営の要諦として「守・破・離」の考え方が用いられるが、やっと離れて物を観れる齢に達したと思ったら、また「守」に戻ることになる。しかも、それは時代に見合った新しい守りでなければと思うと大変な命題である。

然し、自分は自分以上のものではないので、相変わらず「我田引水」「唯我独尊」で行くしかない(クラブではそのように評する人もいる)勇気を出す積もりである。最後に言いたいのは、一基本を忘れないーこれが最大の難事である。また掌には必ず裏表があって、いつも表裏一体として使われるのが自然である。そして厚みのある立体感が望まれる。

ロータリーに教わらずとも日本に古来より「勤めと稼ぎ」という理念が村落社会にあり、私は日本的なロータリー観を、この機会に考えたいと思っている。うまく運ばなかったら、KY空気が読めない人となるであろう。

思い付くままに一平成22年の露待ちびと

【略歴】

1977年11月 佐世保南ロータリークラブ入会
1994～1995年度 会長
1997～1998年度 地区幹事



ガバナー補佐挨拶



「楽しい例会」に 魅かれて20年

第7グループ ガバナー補佐

松 永 忠 義
(雲仙RC)

2009～10年度第7グループのガバナー補佐に指名を受け、今更ながら責務の重大さを痛感致しております。敬愛する高城ガバナーや補佐の皆様の足手纏いにならないよう、気を引き締めて努めなければと決意を新に致しております。

補佐としての新たな出会いが私の人生に於いて、最大の喜びと感じられるようになれば真に幸いであります。どうかグループ内会員皆様の「好意と友情」によって、ご指導ご協力をお願い致します。

2009～2010年度RI会長ジョン・ケニー氏は「ロータリーの未来はあなたの手の中に」をテーマに掲げられました。2740地区の高城ガバナーもRIのテーマが地区テーマであると明言されました。

このテーマの意図するところは、ロータリーを支えるのはRIではなく、各クラブであり個々のロータリアンである、と言っておられるのです。「ロータリーでは全てがクラブに始まりクラブに終わる」とクラブの自主性を強調されております。クラブの自主性こそ、ロータリーが本来の意義を持って存続し続ける源であると思います。

自主性を持って行動するクラブは、楽しい例会を通して醸成されて行くと思います。ロータリー不偏の真髄「親睦・奉仕の実践」も楽しい例会への出席からなるものと思います。

私は1990年入会して以来、雲仙クラブの先輩同輩のロータリアンに導かれて、20年になろうとしています。此処までロータリアンとして続けて来られましたのは、偏に毎週の例会が待ち遠しい位楽しく感じられたからに他なりません。ロータリアンとしてクラブ内外で、多くの友との交流は緊張の中にも楽しいものでした。美味しい食事や楽しい話題に笑顔が浮かべ、時には奉仕活動に汗を流しながら手を携えてきました。私は楽しい例会こそクラブの「力」であると思います。楽しい例会への出席は良くなり、退会者も少なくなるはずで。例会が楽しいクラブへは入会者も増え、財団や米山奨学会へも進んで寄附したくなるでしょう。楽しい例会作りに各クラブ工夫を凝らして取り組んでおられるでしょう、毎週の例会が笑顔で満ち溢れるようにしたいものです。

会員の減少は危機的な状況のようであり、RIや地区の財政上からも増強は必然的であり、会員の退会防止とクラブ純増2名を目標に掲げられています。RIの強調事項達成の為に23万ドル（会員1人あたり100ドル）のロータリー財団への寄附、そして米山記念奨学資金への2500万円の寄附が目標とされました。今の社会情勢から大変厳しいものがあると思いますが、各クラブ知恵を絞って目標を達成して頂きたいものです。

「ロータリーの未来は私たちの手の中に」あるのです、ロータリーを楽しみながら一歩前進しましょう。

【略 歴】

1990年9月	雲仙ロータリークラブ入会
2001～2002年度	会長
2002～2003年度	職業奉仕委員会 地区委員



ロータリーの未来を紡いで

第8グループ ガバナー補佐

山 口 賢 也
(諫早南RC)

はからずも、ロータリークラブに入会して十年、ガバナー補佐という大役を拝命いたし、戸惑うばかりです。この十年何をしてきたのでしょうか。只流れに任せて日々を送ってまいりました。諫早南ロータリークラブは、昨年創立十周年を迎え事業として、埋もれていた諫早図書館の前身諫早文庫の創設者、野口寧斎先生の顕彰碑を建立しました。これは、ロータリアンの底力を十分に発揮できた事業で、親睦を深めることが出来たものです。

ガバナー補佐の仕事として、第8グループの他の4クラブの皆様方との交流が今まで以上に深まることは必須です。この機会を利用して同じ理念を持つ方々との交流を楽しみにしています。ロータリークラブの親睦とは、規約を勉強し、仲間、心の友を作り、自分を作ることだと教わってきました。絶好の場を与えられたということでしょうか。

百年に一度という経済不況の中、地方のロータリークラブの苦悩は、計り知れないものがあるようです。2740地区でも、会員減少は目を覆うばかりのようです。3,000名を越えていた会員が、今では2,000名ちょっとと寂しい限りです。どこで下げ止まるのでしょうか。

本年度は、交換留学生が8グループ内にまいります。そのお世話を5クラブでします。この経済状況の中夫々のクラブの会計は、決して潤沢ではないからこそでありましょう。皆さん方の培われた奉仕の心で温かい目で見守って欲しいと願っています。単クラブでは出来ない奉仕プログラムも合同のそれと捉えて活動することは、効果を挙げることは間違いありません。今年度のジョン・ケニー氏のテーマは、「ロータリーの未来は あなたの手の中に」であります。ロータリーの進路を決定するのは、ロータリアンの日頃の行動ですとも述べられています。第8グループの5クラブは、夫々にすばらしい活動をなされていますので、その理念は浸透するでありましょう。

今年度第7・8グループ合同のI・Mの担当は、諫早南ロータリークラブです。不安ばかりです。各クラブの会長・幹事をはじめロータリアンの皆さんどうかよろしくご支援ご協力をお願い申し上げます。

ガバナー補佐の役割は、ガバナーの意向を理解し、各クラブの連携調和に努めることと信じていますので、この一年ご意見ご指導の程よろしくお願い致します。

【略 歴】

1998年9月	諫早南ロータリークラブ入会
2002～2003年度	会長



ガバナー補佐挨拶



共に使命感を自覚する
一年であることを願って

第9グループ ガバナー補佐

佐藤 豊
(長崎琴海 R C)

私達が所属する第2740地区では、会員数が毎年減少している事実をご存知ですか？2000年6月末の会員数は3,021名。2008年6月末は2,324名。697名の減少です。これは実に、8年連続の減少です(別表①)。

日本の会員数は、1998年6月末から2008年6月末までで34,089名の退会があり、11年連続減少となっており(別表②)。この傾向は今後も続きそうです。

会員減少には、さまざまな理由、事情があることは承知していますが、何とかストップをかけないと、私達のクラブ活動や奉仕の充実度、親睦にも悪影響が表れてきます。私達は会員増強のために、もう一度確実に前進ギアに力強くアクセルを踏み込む時が来たのです。

ロータリーの最大の魅力は異業種交流にあると言われています。皆様はその交流の中で親睦の輪を展開し、親睦の絆を深めておられることでしょう。でも、思い出してみて下さい。私達がロータリアンとなり、異業種交流できるのは、どこかの誰かの推薦がきっかけではなかったですか？そう、誰一人、推薦を受けることなくロータリアンになった人はいないのです。

ロータリーのすばらしさについては、私が申し上げるまでもなく、今後も社会の求めに応じた奉仕が拡大されるに違いありません。しかし、そのためには一人でも多くの仲間が必要なのです。

ケニー会長は、年間テーマとして「ロータリーの未来はあなたの手の中に」を提唱し、世界中のロータリアンにすばらしい将来を託しています。

高城ガバナーはこのテーマに沿って、環境改善、識字率向上などタイムリーな活動を推進されています。

私は浅学非才の自覚のなか、皆様のご指導、ご教示を頂きながら、貴重な一年を、与えられた責務に使命感をもって果たしたいと願っています。

なぜなら、ロータリーの未来が私達の手に託されているからです。

会員増強のスーパーマンはいません。

私達一人ひとりが知人・友人・取引先などの中にふさわしい人柄の未来のロータリアンを推薦しましょう。地区が勧めるネットワークは遠隔地に住む人々にも会員推薦して頂けるもので、会員増のステップアップに連動しています。

さあ、皆様、手をつなぎましょう。そして、会員増強をはじめ、ロータリーの未来のためにスイッチON！

別表①

第2740地区 会員数推移 57RC

年月	会員数	差
2000年6月末	3,021	
2001年 "	2,944	-77
2002年 "	2,854	-90
2003年 "	2,699	-155
2004年 "	2,626	-73
2005年 "	2,531	-95
2006年 "	2,517	-14
2007年 "	2,382	-135
2008年 "	2,324	-58
2009年 "		
		計-697

別表②

年月	クラブ数	会員数	増減
1996年6月末	2,208	131,477	+2293
1997年 "	2,238	131,731	+254
1998年 "	2,260	129,491	-2240
1999年 "	2,276	126,026	-3465
2000年 "	2,291	122,678	-3348
2001年 "	2,303	119,076	-3602
2002年 "	2,314	115,315	-3761
2003年 "	2,322	110,374	-4941
2004年 "	2,327	106,201	-4173
2005年 "	2,328	103,276	-2925
2006年 "	2,325	101,370	-1906
2007年 "	2,323	99,574	-1796
2008年 "	2,314	97,642	-1932
2009年 "	?	?	?

【略歴】

1992年3月12日 長崎琴海ロータリークラブ入会
1994～1995年 幹事
1999～2000年、2004～2005年 会長



第10グループ ガバナー補佐

浜本 好哉
(長崎南 R C)

2009～2010年度第10グループガバナー補佐を仰せつかりました長崎南ロータリークラブの浜本です。

この場をお借りして、RCの在り方と地区補助金について、私の考えを述べさせていただきます。

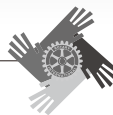
P E T Sにおいても、地区協議会においても、相変わらず会員増強がロータリーの目的のように言われています。ロータリーに限らず、他の多くの団体も会員の減少は止まりません。会員増強が重要であることには間違いありませんが、ただR Iのように闇雲に数を増やすことが目的のように言われると抵抗を感じざるをえません。ロータリーの奉仕活動を多くの人たちに知ってもらい、また理解してもらうことによって、自然と増強していければ理想的です。できるだけ全クラブが目的意識を持って活動し、また他クラブと連携しながら、更にメディアを活用して、広く認知してもらうことが必要だと考えます。対外的な奉仕活動を実行するためには、会員同士の親睦が不可欠であり、それにはまた会員自身が積極的に例会や対外活動に参加することが大変重要です。そして会員数は、各クラブそれぞれ適正な人数があると思います。ただ設立時要件の25名は確保・維持できるように、地域的な問題もありますが、ひとつの選択肢として、クラブの統合も視野に入れ考えても良いのではないかと感じています。

次に地区補助金に関してですが、補助対象は“人道的プログラムに限る”ということになっていますが、現在の日本の若者を考えるとき、「小中学校の子供達を正しく指導すること」もロータリーの大事な人道的プログラムに含まれると思います。「障害者を対象としているものに限り人道的プログラムとする」ことは、地域ごとに検討してよいのではないのでしょうか。最初にかえり「使途は地区の裁量に任せるとする」のが正しい地区補助金の考え方だと思います。野外での各種スポーツ大会等(もちろんロータリアン、その他地域の人たちの参加も重要です)も立派な人道的プログラムだと考えるべきです。R Iへの協力も重要ですが、日本の社会、地域の子供達の指導は、今、最も大変で力を入れる必要があるときだ、と強く感じています。

最後になりますが、この一年間皆様のご協力、ご支援を得ながら、第10グループのみならず全グループが交流、連携をしながら第2740地区を盛り上げていく所存です。皆様のご指導を宜しくお願い致します。

【略歴】

1989年8月 長崎南ロータリークラブ入会
1998～2000年度 米山記念奨学委員会 地区委員
2002～2004年度 米山記念奨学委員会 地区委員長
2006～2007年度 会長



文庫通信

<261号>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

<地区大会記念講演と卓話から>

◎「私の出会った素敵な人たち」	福島 敦子	2008	13p	(D.2520)
◎「子どもの心を豊かに」	松本 壽通	2008	12p	(D.2700)
◎「日本の教育に欠けているもの」	石坂 公成	2009	5p	(D.2800)
◎「日本のこれから、日本人のこれから」	藤原 正彦	2008	6p	(D.2600)
◎「高齢社会とサクセスフル・エイジング」	井村 裕夫	2009	11p	(D.2690)
◎「夢・宇宙」	山崎 直子	2009	7p	(D.2590)
◎「世界平和をめざす国際貢献」	佐藤 正久	2009	2p	(D.2770)
◎「人の縁」	山本 一力	2008	12p	(東京六本木R.C.)

[上記申込先：ロータリー文庫（コピー/PDF）]



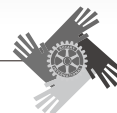
ロータリー文庫

〒105 0011 東京都港区芝公園2 6 15黒龍芝公園ビル3階
 TEL (03) 3433 6465・FAX (03) 3459 7506 http://www.rotary_bunko.gr.jp
 開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



ガバナー公式訪問

	クラブ名	クラブ協議会	公 式 訪 問		
			訪 問 日	例会開始時間	例 会 場
第1グループ	佐 賀	7月16日(木)	7月16日(木)	12:30	ホテルニューオータニ佐賀
	小 城	7月15日(水)	7月15日(水)	12:30	小城商工会議所 2階ホール
	牛 津	7月17日(金)	7月17日(金)	12:30	「セリオ」内
	多 久	7月23日(木)	7月23日(木)	12:30	多久市商工会 2階
	佐賀大和	8月11日(火)	8月11日(火)	18:30	ホテル龍登園
第2グループ	佐 賀 西	7月13日(月)	7月13日(月)	12:30	マリトピア
	佐 賀 北	7月22日(水)	7月22日(水)	18:30	グレンデはがくれ
	佐 賀 南	7月21日(火)	7月21日(火)	18:30	佐賀商工会館 5F 会議室
	神 埼	7月28日(火)	7月28日(火)	12:30	吉野ヶ里町商工会館
	佐賀空港	7月29日(水)	7月29日(水)	12:30	佐賀空港 3F 会議室
第3グループ	有 田	7月21日(火)	7月27日(月)	17:30	武雄センチュリーホテル
	武 雄	7月13日(月)	7月27日(月)	17:30	武雄センチュリーホテル
	鹿 島	7月 7日(火)	7月10日(金)	16:30	鹿島商工会館大会議室
	嬉 野	7月 3日(金)	7月10日(金)	16:30	鹿島商工会館大会議室
	大 町	7月30日(木)	8月 5日(水)	12:30	白石商工会 2階会議室
	白 石	7月29日(水)	8月 5日(水)	12:30	白石商工会 2階会議室
	太 良	7月30日(木)	8月 6日(木)	18:30	太良ロータリークラブ会館
第4グループ	唐 津	8月 4日(火)	8月 4日(火)	12:30	唐津信用金庫本店 4階
	伊 万 里	7月22日(水)	7月30日(木)	12:30	伊万里迎賓館
	唐 津 東	7月16日(木)	7月24日(金)	12:30	唐津シーサイドホテル
	唐 津 西	8月19日(水)	8月19日(水)	12:30	唐津商工会館 4階会議室
	伊万里西	7月23日(木)	7月30日(木)	12:30	伊万里迎賓館
	唐津中央	7月10日(金)	7月24日(金)	12:30	唐津シーサイドホテル
第5グループ	佐 世 保	7月22日(水)	8月26日(水)	12:30	佐世保玉屋 8階文化ホール
	平 戸	7月23日(木)	8月20日(木)	12:30	平戸観光協会内 文化センターレストハウス
	佐世保西	7月21日(火)	8月18日(火)	12:30	ホテル万松楼「真珠の間」
	北 松 浦	7月28日(火)	8月 7日(金)	18:30	サンパーク吉井
	松 浦	7月24日(金)	8月 7日(金)	18:30	サンパーク吉井



クラブ協議会日程表

	クラブ名	クラブ協議会	公 式 訪 問		
			訪 問 日	例会開始時間	例 会 場
第6グループ	佐世保南	8月28日(金)	8月28日(金)	12:30	J Aながさき西海させぼホール
	佐世保東	8月20日(木)	9月 3日(木)	12:30	
	佐世保北	7月27日(月)	8月10日(月)	18:30	(株)西沢本店8階カトレアホール
	佐世保中央	8月27日(木)	9月 3日(木)	12:30	
	佐世保東南	8月26日(水)	9月 2日(水)	12:30	ハウステンボスヨーロッパ内宴会場「レンブラントホール」
	HTB佐世保	8月18日(火)	9月 2日(水)	12:30	ハウステンボスヨーロッパ内宴会場「レンブラントホール」
第7グループ	大 村	8月25日(火)	8月25日(火)	18:30	いけす寿楽
	島 原	9月 8日(火)	10月3日(土)	12:30	ホテル東洋館
	雲 仙	9月26日(土)	10月3日(土)	12:30	ホテル東洋館
	大村北	9月30日(水)	9月30日(水)	12:30	長崎空港観光ホテル
	島原南	9月16日(水)	10月3日(土)	12:30	ホテル東洋館
	大村東	9月14日(月)	9月28日(月)	12:30	長崎インターナショナルホテル
第8グループ	諫 早	9月25日(金)	9月25日(金)	12:30	水月楼
	諫 早 北	9月17日(木)	9月24日(木)	12:30	L & L ホテルセンリュウ
	諫 早 西	9月16日(水)	9月24日(木)	12:30	L & L ホテルセンリュウ
	諫早多良見	9月29日(火)	9月29日(火)	12:30	ホテルグランドパレス諫早
	諫 早 南	8月24日(月)	8月24日(月)	12:30	諫早観光ホテル道具屋
第9グループ	長 崎	7月23日(木)	9月17日(木)	12:30	ホテルニュー長崎
	福 江	7月31日(金)	8月21日(金)	12:30	カンパーナホテル
	長崎北東	9月 2日(水)	9月 9日(水)	12:30	長崎新聞社文化ホール アストピア
	福江中央	7月28日(火)	8月21日(金)	12:30	カンパーナホテル
	長 崎 西	8月25日(火)	9月 8日(火)	12:30	ホテルニュー長崎
	長崎琴海	9月 3日(木)	9月17日(木)	12:30	ホテルニュー長崎
第10グループ	長 崎 北	8月31日(月)	8月31日(月)	12:30	ホテルニュー長崎
	長 崎 南	9月16日(水)	9月16日(水)	12:30	長崎全日空ホテルグラバーヒル
	長 崎 東	9月11日(土)	9月11日(土)	12:30	(株)平安閣サンプリエール
	東 長 崎	9月15日(火)	9月15日(火)	12:30	協同組合長崎卸センター会館2階
	長崎中央	9月 7日(月)	9月 7日(月)	12:30	ベストウェスタンプレミアホテル長崎
	長崎出島	9月25日(金)	9月18日(金)	18:30	ホテルニュー長崎



The future of rotary is in your hands

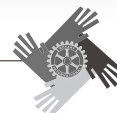
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

R I 第 2 7 4 0 地区



地区主要

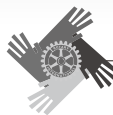
年月	強化月間	日付	ガバナー事務所	日付	地区委員会	日付	グループ・クラブ
7月		1 3 11	第1回ガバナー会議 ロータリー財団地域セミナー ロータリーの友委員会 第1回諮問委員会 第1回ガバナー補佐会議	11 26	クラブ奉仕統括部門 研修セミナー 第1回R財団奨学・学友委員会候補者研修会・学友会インターアクト委員会会議(予)		
8月	会員増強および拡大月間	30	(財)R米山記念奨学会 評議委員会	2 29 ~30	米山記念奨学研修交流会 インターアクト年次大会	2	唐津西RC 創立40周年記念式典
9月	新世代のための月間	2 11 ~12 27	ロータリーの友委員会会議 第1回ガバナーエレクト 研修セミナー・GETS 次年度地区研修リーダーセミナー/DTLS	6 19 27	国際奉仕部門・米山 奨学合同研修セミナー 職業奉仕研修セミナー 国際青少年交換派遣 選考委員会	26	長崎南RC 創立45周年記念式典
10月	職業奉仕月間	2 10 30 31	第2回諮問委員会 第2回ガバナー補佐会議 地区大会 RI会長代理 歓迎晩餐会 本会議1日目	4 4	IAC九州(佐賀)連絡会 米山の集い	2 17	長崎西RC 創立25周年記念式典 佐世保西RC 創立40周年記念式典
11月	R財団月間	1 17 18 19 ~20	本会議2日目 第2回ガバナー会議 ロータリー財団地域セミナー RI会長歓迎晩餐会 ロータリー研究会				
12月	家族月間	12	第3回諮問委員会 壮行会(予) 第3回ガバナー補佐会議	6	IAC国際交流会(予) 第2回R財団奨学・学友委員会候補者研修会・学友会 米山奨学生 第一次書類選考(予)		



2009～2010年度 行事予定表



年月	強化 月間	日付	ガバナー事務所	日付	地区委員会	日付	グループ・クラブ
1 月	R 理解 推進 月間	17 ～24	国際協議会		IACクラブ表彰選考会(予) IAC後期指導者研修会(案) 米山奨学生選考試験(予)	8 22 31	東長崎RC 創立30周年記念式典 長崎東RC 創立40周年記念式典 第7・8グループIM
2 月	世界 理解 月間		第4回諮問委員会			7 11 20 27	第4・5・6G IM 第9・10G IM 第1・2G IM 第3G IM
3 月	識 字 率 向 上 月 間		第4回ガバナー 補佐会議 地区委員長会議		米山終了式・歓送会	13	大村RC 創立50周年記念式典
4 月	雑 誌 月 間			4	第3回R財団奨学 ・学友委員会 候補者研修会壮行会 国際青少年交換派遣学生募集 米山カウンセラーセミナー 奨学生オリエンテーション	11 16 17	佐賀北RC 創立40周年記念式典 嬉野RC 創立40周年記念式典 諫早RC 創立50周年記念式典
5 月						8	雲仙RC 創立40周年記念式典
6 月	R 親 睦 月 間	20 ～23	ガバナー補佐新旧会議 国際大会 カナダ ／モントリオール	6	RAC年次大会 2011 2012年度 財団国際親善 奨学金選考会・学友会	7	長崎中央RC 創立20周年記念式典



国際ロータリー第2740地区

R I 会長

ジョン・ケニー

ガバナー諮問委員会

PG	逸見 嘉彦	佐世保南
PG	宮島傳兵衛	唐津東
PG	市瀬久米嘉	佐世保東
PG	佐古 亮尊	大村北
PG	牟田 勝輔	武雄
PG	辻 洋三	佐世保南
PG	野崎 元治	長崎
PG	武井 洋一	佐世保
PG	隅田 達男	伊万里
PG	安部 直樹	佐世保
PG	栗林 英雄	諫早北
PG	本城 好春	唐津
PG	田口 厚	長崎
PG	野口 清	佐賀

ガバナー指名委員会

PG	逸見 嘉彦	佐世保南
PG	宮島傳兵衛	唐津東
PG	市瀬久米嘉	佐世保東
PG	佐古 亮尊	大村北
PG	牟田 勝輔	武雄
PG	辻 洋三	佐世保南
PG	野崎 元治	長崎
PG	武井 洋一	佐世保
PG	隅田 達男	伊万里
PG	安部 直樹	佐世保
PG	栗林 英雄	諫早北
PG	本城 好春	唐津
PG	田口 厚	長崎
PG	野口 清	佐賀
G	高城 昭紀	島原

ガバナー・エレクト

高原 武彦	有 田
-------	-----

地区拡大委員会

田口 厚	長崎
野口 清	佐賀

財務委員会

委員長	北島 俊郎	唐津
委員	嬉野 勝利	佐賀
委員	馬郡 謙一	佐世保南

会計長	中島 博行	島原
委員	森山 一秀	島原

編集長	月 信	谷川 正文	島原
委員	補 佐	宮崎 正光	島原
委員	補 佐	隈部 慎吾	島原南
委員	補 佐	宮崎 圭介	二科会

事務局長	中村 正年	島原
補 佐	内島 範喜	島原
補 佐	安藤 竜順	島原

地区委員会

① クラブ奉仕統括委員会

◎	駒井 英基	佐賀南
	織田 徳彌	佐賀
	飯盛 康登	多久
	古宇田れい子	佐賀南
	増崎幸一郎	伊万里
	岩崎 泰裕	唐津東
	助村 房子	諫早南

② 職業奉仕委員会

◎	岩崎 修一	諫早北
	福岡龍一郎	佐賀
	百武 裕二	松浦
	森 義春	雲仙
	小林 靖明	諫早

③ 社会奉仕委員会

◎	平 武	諫早西
	池田 和雄	佐賀北
	花田 晴年	武雄
	笠井 和幸	大村
	菅谷 清	長崎

④ 新世代統括委員会

◎	岡部 景光	有 田
	天本 俊太	長崎
	藤岡 良規	長崎
	小川 信	佐世保南
	瀬戸口智彦	長崎南

会員増強委員会

◎	飯盛 康登	多久
	大坪 豊	佐賀西
	永渕 憲輔	諫早南
	木場 耕志	長崎

インターアクト委員会

◎	天本 俊太	長崎
	福田 真也	佐賀
	中尾 嘉宏	佐賀北
	福田 雅信	有 田
	平野 敦	唐津
	田中丸治樹	伊万里
	松尾 慶一	佐世保
	池富 幸男	佐世保南
	坂本周一郎	島原
	平田 利之	諫早北
	中野 敏	長崎西
	草野 幸子	長崎出島

ローターアクト委員会

◎	藤岡 良規	長崎
	大島 隆	佐賀
	折敷瀬三徳	鹿島
	瀬戸 恵司	唐津東
	金澤 一	佐世保東
	堀 啓二	長崎北

ライラ委員会

◎	小川 信	佐世保南
	大家 和義	小 城
	西田 猛	大村北
	松尾 龍彦	東長崎



2009～2010年度 地区組織図

ガバナー(RI役員)		
	高城 昭紀	島 原
ガバナー補佐		
担当	氏 名	所 属
1	中尾 健治	牛 津
2	金武 良弘	佐 賀 南
3	宮崎 幸久	武 雄
4	山本 晴彦	唐 津 東
5	西尾 弘毅	北 松 浦
6	棧 猪一郎	佐世保南
7	松永 忠義	雲 仙
8	山口 賢也	諫 早 南
9	佐藤 豊	長崎琴海
10	濱本 好哉	長 崎 南

※クラブのグルーピングは従来どおり

R I 理事		
2008～2010年度	小沢 一彦	横 須 賀
2009～2011年度	黒田 正宏	八 戸 南

ロータリーの友		
	高田 一始	島 原

(財)米山記念奨学会		
2007～2009年度理事	隅田 達男	伊 万 里
2009～2011年度理事	栗林 英雄	諫 早 北
2009～2010年度評議員	高城 昭紀	島 原
2009～2010年度評議員	高原 武彦	有 田

米山記念奨学会九州学友会		
学友会会長	李 友炯	

ガバナー事務所スタッフ			
役 職	担 当	氏 名	所 属
幹 事	総 括	高木 義和	島 原
副 幹 事	ク ラ ブ 奉 仕	本多 進	島 原 南
副 幹 事	職 業 奉 仕	花田 勝美	島 原
副 幹 事	社 会 奉 仕	吉田 秀隆	島 原 南
副 幹 事	新 世 代 統 括	大場 堂志	島 原
副 幹 事	国 際 奉 仕 統 括	相原 孝一	雲 仙
副 幹 事	米 山 記 念 奨 学	本多 善彦	雲 仙

PETS実行委員会			
委員長	本多 進	島 原 南	
副委員長	日向 啓	島 原 南	

地区協議会実行委員会			
委員長	喜多 清基	島 原	
副委員長	隈部 慎吾	島 原 南	
幹 事	中島 博行	島 原	

地区大会実行委員会			
委員長	古瀬 亨	島 原	
幹 事	坂本周一郎	島 原	
事務局	中村 正年	島 原	

(◎印は委員長)

新世代危機管理委員会									
顧 問	本城 好春	唐 津	委 員	藤岡 良規	長 崎				
委 員	高原 武彦	有 田	委 員	森永 太	佐 賀 西				
委 員	駒井 英基	佐 賀 南	委 員	北郷 雅子	長崎出島				
委 員	岡部 景光	有 田	委 員	山田 晃	長 崎 南				
委 員	前田 博憲	佐 賀 西	委 員	高木 義和	島 原				
委 員	瀬戸口智彦	長 崎 南	外部委員	中島 英博	弁 護 士				
委 員	天本 俊太	長 崎	外部委員	相内 啓子	事務委託員				

⑤ 国際奉仕統括委員会			
◎	前田 博憲	佐 賀 西	
	森永 太	佐 賀 西	
	笠 慶宣	佐 賀 南	
	山田 晃	長 崎 南	

⑥ 米山記念奨学委員会			
◎	北郷 雅子	長崎出島	
	西岡 健次	牛 津	
	隅 康二	佐 賀 西	
	酒井田正宏	有 田	
	曾我 文雄	伊万里西	
	大久保重利	佐世保西	
	中島 閔二	佐世保北	
	西川 義文	大 村	
	益田 荘一	長 崎	
	高田昌一郎	長崎中央	

国際青少年交換委員会			
◎	瀬戸口智彦	長 崎 南	
	山本 武	大 町	
	川淵 孝順	佐世保南	
	戸村 正司	HTB佐世保	
	浦田 直彦	大 村 北	
	若杉 能将	諫早多良見	
	劉 濟昌	長 崎 西	
	飯田 義則	東 長 崎	

ロータリー財団委員会			
◎	森永 太	佐 賀 西	
	香月 武	佐 賀	
	本村 一	佐 賀 西	
	木寺 幸生	武 雄	
	玉野 哲雄	佐 世 保	
	石坂 和彦	大 村	
	西 亮	長崎北東	
	三浦 達美	長 崎 東	

財団奨学学友委員会			
◎	笠 慶宣	佐 賀 南	
	川副 隆裕	佐 賀 南	
	永田 武義	佐世保北	
	有田 信一	長崎中央	

GSE委員会			
◎	山田 晃	長 崎 南	
	副島真一郎	佐 賀	
	緒方うらら	佐賀大和	
	白川 十郎	伊 万 里	
	船越 哲	長 崎 北	



2009～2010年度

I. 地区関係資金人頭分担金

(単位:千円)

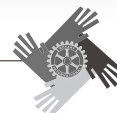
		07～08年度決算	08～09年度予算	09～10年度予算
(1) 地区資金会計	地区資金	6,200	5,200	6,000
	地区大会分担金	6,000	6,000	5,300
	日本事務局分担金	R 文庫協力金	300	300
		全国 G 会運営費	200	200
		平和奨学生支援金		15
	特別会計分担金	G S E 分担金	500	500
		世界社会奉仕資金	360	360
	小計	13,560	12,560	12,675
(2) G 事務所会計	G 事務所分担金	3,200	4,200	4,300
	月信費	1,900	1,900	1,900
	小計	5,100	6,100	6,200
(3) 国際青少年交換資金会計		2,000	2,000	1,800
	合計	20,660	20,660	20,675
	予算算定基礎会員数	2,400	2,400	2,330

II. 地区資金一般会計

(単位:千円)

		07～08年度決算	08～09年度予算	09～10年度予算	前年予算 対比
収入の部	(1) 地区資金	14,784	12,480	13,980	1,500
	(2) 地区大会分担金	14,454	14,400	12,349	▲2,051
	(3) 日本事務局分担金	1,192	1,200	1,200	0
	(4) 特別会計分担金	2,051	2,064	2,004	▲60
	(5) その他収入	540	0	0	0
	収入合計 (A)	33,021	30,144	29,533	▲611
支出の部	(1) ガバナー関係費	7,378	6,420	6,400	▲20
	G E 国際協議会	1,201	1,200	1,200	0
	全国 G・P G 会議費	2,739	2,500	2,500	0
	地区 G・P G 会議費	1,293	1,300	1,300	0
	各種会議費	1,141	900	900	0
	G 記念品代	150	100	100	0
	渉外・広報費	854	420	400	▲20
	(2) 地区活動費・補助金	16,355	17,000	14,949	▲2,051
	地区大会	14,454	14,400	12,349	▲2,051
	地区協議会	32	300	300	0
	P E T S	169	300	300	0
	地区チーム研修セミナー	399	300	300	0
	インターアクト助成金	601	600	600	0
	ローターアクト助成金	700	700	700	0
	R Y L A 助成金	0	300	300	0
	R 財団学友会	0	100	100	0
	(3) ガバナー補佐費	1,532	1,500	1,500	0
	(4) 地区委員会費	2,745	3,410	3,210	▲200
	クラブ奉仕	236	80	80	0
	出席 ※	0	0	0	0
	会員増強	83	60	200	140
	R 情報・広報 ※	66	0	0	0
	R 女性 ※	0	0	0	0
	職業奉仕	44	150	100	▲50
	社会奉仕	60	120	100	▲20
	新世代	21	80	100	▲20
	新世代危機管理委員会	0	50	0	▲50
	I A	367	1,250	1,250	0
	R Y L A	412	350	300	▲50
	R Y L A	11	50	50	0
	国際青少年交換	0	0	0	0
	国際奉仕	444	80	80	0
	R 財団	216	400	300	▲100
	財団奨学・学友	570	360	350	▲10
	G E S	4	80	100	20
	米山記念奨学	211	300	200	▲100
	(5) 日本事務局分担金	1,228	1,200	1,200	0
	(6) 特別会計繰入金	2,251	2,264	2,204	▲60
	(7) 予備費・その他支出	1,336	400	70	▲186
	支出合計 (B)	32,816	32,194	29,533	▲2,661
	収支差額 (A)－(B)	205	▲2,050	0	▲2,050

※2009～2010年度は設置せず



地区関係予算

III. ガバナー事務所・月信費会計

(単位:千円)

		07～08年度決算	08～09年度予算	09～10年度予算	前年予算 対比
収入の部	G 事務所分担金	7,630	10,080	10,019	▲61
	月 信 費	4,320	4,560	4,427	▲133
	R I 補助金	2,078	1,500	1,500	0
	雑収入・その他	967	0	0	0
	収入合計 (A)	14,995	16,140	15,946	▲194
支出の部	公 式 訪 問 旅 費	805	400	200	▲200
	人 件 費	2,700	2,500	2,500	0
	月 信 費	4,559	4,560	4,427	▲133
	通 信 費	913	700	600	▲100
	消 耗 品 費	1,241	1,200	1,000	▲200
	室 料 及 び 会 議 費	1,104	720	1,440	720
	旅 費 交 通 費	422	400	200	▲200
	G E 事務所費	3,001	5,400	5,400	0
	直 前 G 事務所費	101	100	100	0
	予 備 費	148	160	79	▲81
	支出合計 (B)	14,995	16,140	15,946	▲194
	収 支 差 額 (A)-(B)	0	0	0	0

IV. 国際青少年交換資金会計

(単位:千円)

		07～08年度決算	08～09年度予算	09～10年度予算	前年予算 対比
収入の部	国 際 青 少 年 交 換 資 金	4,769	4,800	4,194	▲606
	地 区 資 金 助 成 金	0	0	0	0
	ク ラ ブ 負 担 金	400	0	0	0
	来 日 学 生 負 担 金	388	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0
	収入合計 (A)	5,557	4,800	4,194	▲606
支出の部	学 生 滞 在 費 補 助	1,202	0	700	700
	学 生 合 同 旅 行	1,416	0	0	0
	オリエントーション費用	567	1,100	600	▲500
	学 生 歓 送 迎 費 他	52	180	100	▲80
	委員会費・全国委員会費	1,208	600	600	0
	印 刷 費 他	89	200	200	0
	通 信 費	16	100	100	0
	事 務 委 託 費	737	0	0	0
	予 備 費	264	2,620	1,894	▲726
	支出合計 (B)	5,551	4,800	4,194	▲606
	収 支 差 額 (A)-(B)	6	0	0	0

V. 特別会計

(単位:千円)

	年 度	期首残高	収 入	支 出	期末残高	備 考
世界社会奉仕	07～08年決算	9,790	858	1,940	8,708	
	08～09年決算	8,708	864	—	A	
	09～10年決算	A	839	—	B	
G S E	07～08年決算	5,927	1,192	0	7,119	
	08～09年決算	7,119	1,200	—	A	
	09～10年決算	A	1,165	—	B	
規定審議会	07～08年決算	0	200	0	200	
	08～09年決算	200	200	0	400	
	09～10年決算	400	200	600	0	開催年度



報告のしおり

報告の種類	報告期日	期限	摘要
半 期 報 告	前期 09年7月1日 後期 10年1月1日	R I 事務所から送付された用紙を使用	R I 日本事務局奉仕室
次年度会長・幹事決定報告 (公式名簿掲載資料)	09年12月31日	R I 事務所から送付された用紙を使用	R I 日本事務局奉仕室 ガバナー事務所 ガバナーエレクト事務所
クラブ事務所通知 (変更の場合)	都 度 速 や か に	書 式 自 由	R I 日本事務局奉仕室 ガバナー事務所 ロータリーの友事務所
会 員 の 入 会 ・ 退 会 ・ 変 更	都 度 速 や か に	日本事務局所定の用紙を使用	R I 日本事務局奉仕室 ガバナー事務所
会長・幹事変更、 例会日時・場所等	都 度 速 や か に	書 式 自 由	R I 日本事務局奉仕室 ガバナー事務所 ロータリーの友事務所
ク ラ ブ 月 報 I	毎 月 5 日	所 定 の 用 紙	ガバナー事務所
ク ラ ブ 月 報 II	毎 月 1 0 日	所 定 の 用 紙	ガバナー事務所
国 際 大 会 信 任 状	1 0 年 4 月 末 日	R I 事務所から送付された用紙を使用 会 長 ・ 幹 事 の 署 名 が 必 要	2009～2010年度 ガバナー事務所

《 報 告 先 》

◇国際ロータリー日本事務局

〒115 0045
東京都北区赤羽2 51 3 NS3ビル1階
(奉仕室) Tel. 03 3903 3161
Fax. 03 3903 3781
(財団室) Tel. 03 3903 3192
Fax. 03 3903 3781
(経理室) Tel. 03 3903 3183
Fax. 03 3903 3781
(資料室) Tel. 03 3903 3194
Fax. 03 3903 3781

◇ガバナー会事務所

〒105 0011
東京都港区芝公園2 6 15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03 3433 6497
Fax. 03 3433 7395
govkai@orange.ocn.ne.jp

◇ロータリー文庫

〒105 0011
東京都港区芝公園2 6 15 黒龍芝公園ビル3階
Tel. 03 3433 6456
Fax. 03 3459 7506

◇ロータリーの友事務所

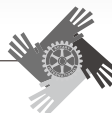
〒105 0011
東京都港区芝公園2 6 15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03 3436 6651
Fax. 03 3436 5956
web@rotary no tomo.jp(問合せ)
hensyu@rotary no tomo.jp(投稿)

◇財団法人ロータリー米山記念奨学会

〒105 0011
東京都港区芝公園2 6 15 黒龍芝公園ビル3階
Tel. 03 3434 8681
Fax. 03 3578 8281
mail@rotary yoneyama.or.jp

◇ガバナー事務所

〒855 8550
島原市高島2丁目7217 島原商工会議所2階
Tel. 0957 61 0121
Fax. 0957 61 0122
ri2740gv takagi@drive.ocn.ne.jp



送金のしおり

	送金資金の種類	金 額	期 限	振 込 先
人 頭 分 担 金	R I 人頭分担 前期 09年7月1日現在会員 後期 10年1月1日現在会員	(年頭US\$ 49.00) US\$ 24.50 US\$ 24.50	09年7月1日及び10年 1月1日の会員数を基 準に7日以内に送金 手続きを完了する	【三井住友銀行】 新宿通支店 (普) 6733244 国際ロータリー 日本事務局 事務局長 大島 四郎
	中途入会会員 R I 人頭分担金 ※新会員の入会年月日によ り納入額が変わります。	※1.下記参照	09年10月1日 10年 4月1日	
	規定審議会の為の追加人頭分担金	US\$ 1.00	09年 7月1日	
	地 区 資 金	年間 6,000円 (半期 3,000円)	09年7月1日及 び10年1月1日 の会員数を基 準に7日以内 に送金手続き を完了する	【十八銀行】 島原支店 (普) 278660 国際ロータリー 第2740地区 2009～2010年度 会計長 中島 博行
	ロータリー文庫協力金	年間 300円 (半期 150円)		
	全国ガバナー会運営費	年間 200円 (半期 100円)		
	平和奨学生支援金	年間 15円 (前期 15円)		
	G S E 分 担 金	年間 500円 (半期 250円)		
	世界社会奉仕資金	年間 360円 (半期 180円)		
	ガバナー事務所費	年間 4,300円 (半期 2,150円)		
	ガバナー月信購読料	年間 1,900円 (半期 950円)		
寄 付 金	国際青少年交換資金	年間 1,800円 (半期 900円)	09年10月1日	
	小 計	年間 15,375円 (前期 7,695円)		
	地区大会分担金	年間 5,300円		
	ロータリー財団寄付金 ※免税 個人は、200万円まで 寄付金より1万円引いた分	一括20万円以上の 年次寄付と恒久基金寄付	随 時	【三井住友銀行】本店営業部 (普) 8719834 国際ロータリー日本事務局 日本ロータリー奨学会委員会 所長 大島 四郎
		10万円以上20万円未満の 年次寄付のみ	随 時	【三菱東京UFJ銀行】本店 (普) 1528228 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島 四郎
		上記以外の寄付		【三井住友銀行】本店営業部 (普) 0968049 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島 四郎
	米山記念奨学会寄付金	<普通寄付> 金額×会員数(7月1日、1月1日現在)	09年7月1日 10年1月1日	【三井住友銀行】京橋支店 (普) 0920373 (財) ロータリー 米山記念奨学会
		<特別寄付> 米山功労賞 10万円以上 準米山功労法人 5万円以上 35万円未満 米山功労法人 35万円以上	随 時	
そ の 他	ザ・ロータリアン誌購読料	1部・半期分 US\$ 12.00	09年7月1日 10年1月1日	R I 人頭分担金と同じ
	「ロータリーの友」購読料	1部・半期分 1,260円(税込)	09年7月1日 10年1月1日	【三井住友銀行】浜松町支店 (普) 6326314 ロータリーの友事務所
	文 献 資 料 代	表示価格	随 時	

※1. 中途入会会員 R I 人頭分担金について

新入会員の入会年月日により納入額が変わります。

★ (24.5ドル【半期 R I 人頭分担金】 ÷ 6 【半期月数】) × 残月数にて計算

7/2～8/1入会者については、(24.5 ÷ 6) × 5 = 20.416666・・・となり、端数を四捨五入にて計算し20.42ドルとなります。

新会員の入会年月日			半期人頭分担金
前 期 (2009年)	後 期 (2010年)		
7月 1日	1月 1日		24.50ドル
7月 2日 ～ 8月 1日	1月 2日 ～ 2月 1日		20.42ドル
8月 2日 ～ 9月 1日	2月 2日 ～ 3月 1日		16.33ドル
9月 2日 ～ 10月 1日	3月 2日 ～ 4月 1日		12.25ドル
10月 2日 ～ 11月 1日	4月 2日 ～ 5月 1日		8.17ドル
11月 2日 ～ 12月 1日	5月 2日 ～ 6月 1日		4.08ドル
12月 2日 ～ 12月31日	6月 2日 ～ 6月30日		0ドル

※ 現在端数分の金額を四捨五入数値にて掲載しておりますが、RIからの請求により金額が変動致しますのでご了承下さい。



国際ロータリー第2740地区

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2009-2010年度ガバナー 高城 昭紀

■ガバナー事務所

〒855-8550 島原市高島2丁目7217 島原商工会議所2F
TEL: 0957-61-0121 FAX: 0957-61-0122

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010年度

国際ロータリー第2740地区 ガバナー 高城 昭 紀



CONTENTS

高城昭紀ガバナー	1
「ロータリーの友」地区委員オリエンテーション	2
ガバナー補佐・リレー随想	3
委員長挨拶	4
会員増強月間について	11
ハイライトよねやま113	12
米山奨学生挨拶	14
高原ガバナーエレクト事務所開設のお知らせ	20
文庫通信	21
地区大会のご案内	22

がまだすドーム（雲仙岳災害記念館）：島原市

雲仙普賢岳は198年ぶりに火山活動を開始し、約5年にわたり火砕流などによる噴火災害をもたらしました。その後、火山体験学習施設として記念館は建てられ、建物のガラス面に夏雲を映しながら静に山の姿を見つめています。

写真撮影者：宮崎圭介氏（二科会会員）





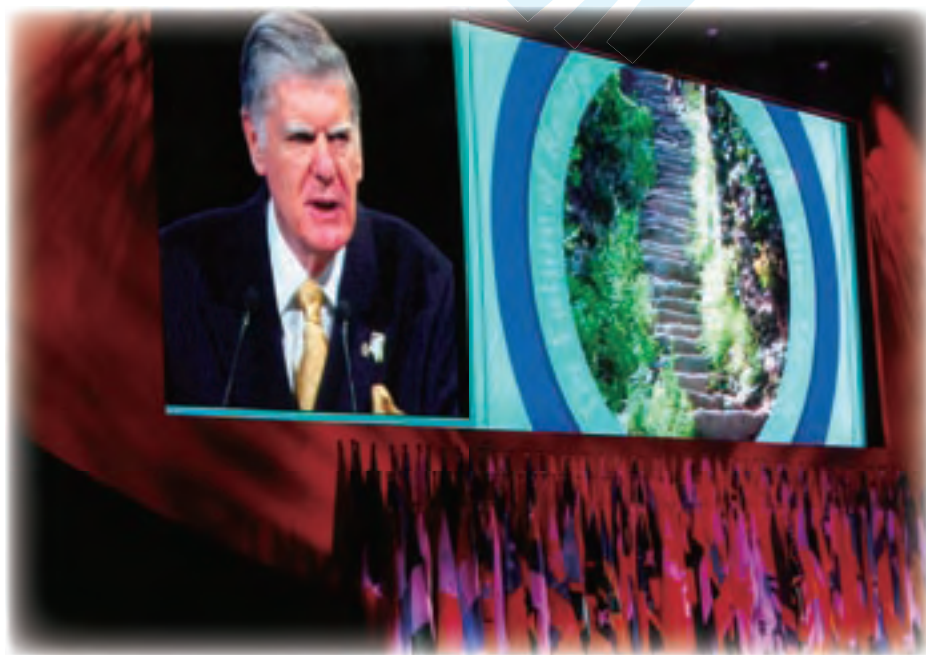
The future of rotary is in your hands

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



2009—2010年度

ガバナー 高城 昭 紀



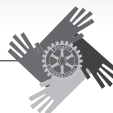
平成21年7月1日に2740地区のガバナーに就任致しました。7月10日の鹿島ロータリークラブ、嬉野ロータリークラブとの合同例会を皮切りに、佐賀西、小城、佐賀、牛津の各ロータリークラブを訪問致しました。（7月17日現在）

どのクラブでも暖かく、そして友好的でした。深く感謝致します。

また、多くの人との出会いがありました。例えば、「10才まで島原で育った」という女性会員、大学と一緒に入学した人、私の妹と親しかった人の弟さん等との出会いでした。

つくづくロータリークラブの良さ（面白さ）を感じています。

ロータリーに入会してまだ三年にならない方、ロータリーの良さはこういうところにあると思いますので、どうか辛抱してできるだけ長くロータリーを続けて下さい。



ロータリーの友 地区委員オリエンテーション

高 田 一 始

21年5月11日メルパーク東京で開催されたオリエンテーションに第2740地区2009-10年度「友」地区委員として出席いたしましたので会議の概要を報告致します。

1. 新年度ロータリーの友の方針
2. 「ロータリーの友」について
 - ①「ロータリーの友」とは
(地域雑誌の定義)
 - ②編集スケジュール
 - ③各規程と留意点(著作権など)
Web関係の説明

3. ロータリーの「友」出版物の紹介

2009年-10年度ロータリーの友委員会の方針

ロータリーの友委員会

「『ロータリーの友』を、よりロータリアンの身近なものにして」という方針に沿って、新年度は9月と2月にゾーン別の会議を新設する。この会議では、地区委員から具体的な地区および地区内のクラブの活動についての情報を発表する。それらの中から新しい企画記事の可能性について話し合う。

1. 編集内容

『ロータリーの友』

- ①表紙は、ロータリアンの写真で飾る。
2009年-10年度の表紙は、ロータリアンから公募した「祭」写真で飾る。
- ②クラブ探訪「手に手」を継続する。

③テーマを絞った「座談会」を掲載する。

年間に3回ほどの座談会を計画し、会員のナマの声を聞く機会とする。

例えば、「広報活動の実践」「地区補助金での実践」「例会を楽しくする方法」といったような実際に行ってきた体験について発言できる方々を招き、座談会を開き、各クラブでの実践計画に資することができるような記事にする。

④「ガバナーのページ」を復活する。

地区の紹介にとどまらず、ガバナーのロータリーへの思い、見解など、ロータリーに関しての幅広い意見を掲載する。

2. Web『ロータリージャパン』

www.rotary.or.jpに就いて

3. 広報の取組に就いて

2008年-9年は、一般向けの『ROTARY 世界と日本』を創刊した。

4. 著作権など知的所有権に注意願います。

著作権は存在します。

著作権の侵害は、許されません。

『ガバナー月信』や『クラブ週報』を見ていて気になるのが『ロータリーの友』や『ロータリージャパン』からの無断転用です。

【略 歴】

昭和8年3月2日生まれ

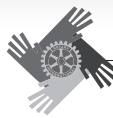
長崎総合科学大学

1965年

島原ロータリークラブ入会

1998~1999年度

会長



ガバナー補佐 ・リレー随想

第1グループガバナー補佐 中尾 健治

ロータリーの皆様、第2740地区第1グループのガバナー補佐を務める中尾健治です。

ガバナー事務所より「随想文を早く出して下さい」と、何回も催促されやっとペンをとりました。文を書くのが大の苦手です。何を書こうかと迷っています。そこで、私の住んでいる町を少し紹介します。

私の住んでいる町は、佐賀県のほぼ中央に位置し、交通の便がとてもよい所です。昔（江戸時代）は大変栄えた町で、九州の浪花と言われた程の町でした。有明海を上流へ4キロ程の、牛津川の昔港町です。私の部落にも大きな問屋さんが、軒を連ねていました。私の子供のころから川を上ってくる舟が1日何層もあり、第2次大戦後は、石材や、炭鉱に使う坑木、肥料、砂、セメントなど40トン～50トンの舟で、川を上ってきました。地元の間屋さんにも二層の大きな舟をもっていました。また、江戸時代は鍋島藩の米倉がありました。その一部が今も残っています。昔豪商だった野田商店には野田日記が残っていて、参勤交代の様子やシーボルト達の一行が、通っていった様子などを記した物が残っています。

今日、平成の合併により小城郡4町が小城市になりました。小城町は昔から城下町として今でも九州の小京都と言われるほどです。全国百選に清水の滝、小城公園、棚田と蛍の里としても有名です。

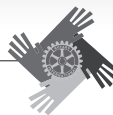
第2740地区の第1グループは、佐賀県のほぼ中央に位置する5つのクラブです。私のホストク

ラブでもある佐賀ロータリークラブは、佐賀県で一番早くできたクラブです。会員も一番多く歴史あるクラブで、何回かメーキャップしましたが、大変勉強になっています。5つのクラブは親睦に関しては申し分ありません。年に1回の第1グループの親睦ボーリング大会、以前は、3クラブ（小城、多久、牛津）でソフトボール大会をしていました。その後で、懇親会を開いています。

また、3ヶ月に一度ゴルフ大会をクラブ持ち回りで行っています。これも3クラブで行っていましたが、今は佐賀大和ロータリークラブも入って4クラブでしています。いつも盛況です。

私のクラブは人口1万人くらいの小さな町のクラブで、会員もいつも30名前後ですが、他クラブには誇れるものがひとつあります。それはニコBOXへの協力です。毎年100万円位あり、周年事業の時に有効に活用しています。また、2年に1回は、婦人同伴で海外親睦旅行も行ってきました。旅行に行った先の近隣でロータリークラブの例会が開催されていたら、メーキャップもしてきました。今年も2年目で国際奉仕の方で計画をたててもらっていますので、楽しみにしています。

最後になりましたが、会員の皆様今年度も頑張ってください。



委員長挨拶



抱 負

クラブ奉仕統括委員会委員長

駒 井 英 基

(佐賀南RC)

このたび高城ガバナー事務所より地区の委員長を委嘱され、クラブ奉仕統括委員長に就任いたしました。この地区委員会には2度目のお務めということになりますが、ここ数年の地区会員数の減少に伴って、かつてクラブ統括委員会の中にあった出席、広報、女性対策などの各部門の委員会はなくなり会員増強委員会のみが残っている状態です。いかに会員増強が大切な任務といっても、魅力的で持続的な地区内のクラブ運営を続けていかななくてはなりませんから、出席やロータリーへ情報&広報、女性対策の職務は引き続きクラブ奉仕統括委員会で全ての任務を掌握しつつ、今年の大命題である、1クラブ2名（地区内57名×2＝114名）の会員数の純増を目指して、取り組んでいく所存です。地区協議会でこの問題を提議いたしましたところ、皆様方からのロータリーに対する熱い思いが伝わってまいったことも励みになり、会員紹介システムの導入など未知の対策も講じつつ先輩諸兄のお知恵をお借りしながら、会員減少傾向に歯止めをかけるべく努力してみたいと考えております。社会奉仕も国際奉仕もクラブ奉仕部門の充実がなければ、十分な活動は困難であろうと考えますので、まずは7月11日のクラブ奉仕部門セミナーより取り組み、是非に皆様とともに積極的な取り組みをして参りたいと思います。1年間よろしくご協力ください。

【略 歴】

1985年	佐賀南ロータリークラブ入会（チャーターメンバー）
1991～1992年度	佐賀南RC幹事
2003～2005年度	地区職業奉仕委員長
2007～2008年度	地区クラブ奉仕統括委員
2008～2009年度	佐賀南RC会長



これからの年間の 抱負について

会員増強地区委員会委員長

飯 盛 康 登

(多久RC)

今年のRIのテーマは「ロータリーの未来はあなたの手の中に」です。しかしながら昨今の経済状況の中、第2740地区内でもこの10年間の各クラブのロータリアンの努力にもかかわらず、会員数の減少が20%を超える状況にあり、このような状況を何とか打破しなくてはならないと強く思い、再度増強委員を拝命させていただきました。

ロータリーは、1905年、ポール・ハリスがわずか4名で始め、今では世界中で120万人、その基には創始者の方々の強烈な精神があり、今日のロータリーの大発展につながっています。

ロータリーとは、人道的奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的規準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和確立に寄与することを目指した実業人および専門職業人が世界的に結びあった団体です。

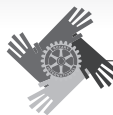
私はロータリーの基本に返り、創始者の方々の考えに返り、そしてロータリーの魅力を再発見しようと思います。ロータリーの魅力は、沢山の立派な人々と知り合い、同業種では知りえない様々な世界の一流の話を聞きながら、自己研鑽、自己発展の機会に恵まれることだと思います。それが一番の魅力だと思うし、会員増強こそロータリー活動の出発点ではないでしょうか。

国際ロータリー第2740地区 会員増強目標
114名（各クラブ純増 2名）

真の会員増強は、熱意を込めて新たな会員を獲得し、充実したロータリー情報を提供して行きましょう。

【略 歴】

1993年	多久ロータリークラブ 入会
1999～2000年度	会長
2002～2006年度	ロータリー財団地区委員長
2007～2009年度	会員増強地区委員長



委員長挨拶



職業奉仕委員会の 年間活動について

職業奉仕委員会委員長

岩崎 修一

(諫早北RC)

ロータリーの4大奉仕の中でも「職業奉仕」はロータリーの特質を最も良く現わしている最重要の奉仕だといわれています。そのためか、「職業奉仕」は難しくて良くわからないという方も多く、いまひとつ理解できないというのが本音のようです。そこで、本年度は各クラブで「職業奉仕」の意味について、会員自信にしっかり考えていただくことにしたいと思います。具体的には

- ① 各クラブの職業奉仕委員長が、例会で「職業奉仕」について1回以上卓話をする。
- ② 炉辺会合のテーマに「職業奉仕」を取り上げる。

以上2つの施策を実施していただくことで、「職業奉仕」を真剣に考えていただく機会が、本年度は最低2回あることになります。

ところで、大役を担っていただく各クラブの職業奉仕委員長さんには、来る9月19日(土)、第2680地区パストガバナ―田中毅さんを講師にお迎えして開催する「職業奉仕部門指導者研修セミナー」に参加していただきます。各クラブでの卓話をしていただく上で参考にしていただけるものと思います。よろしくお願いいたします。

以上のとおり、本年度の職業奉仕委員会は、会員の皆様方に「職業奉仕」の意味を問いかけ、理解を深めるお手伝いをすることを目標としています。

【略歴】

1992年11月 諫早北ロータリークラブ入会
2005～2006年度 地区国際青少年交換委員会委員



今年度の抱負

社会奉仕委員会委員長

平 武

(諫早西RC)

今年度、地区社会奉仕委員長に就任致しましたが、地区委員は初めての経験ですので戸惑いはありますが、一年間一生懸命努めたいと思っておりますので皆様のご協力をお願い致します。

前年度の地区社会奉仕委員会は、

1. 教育問題
2. 地球温暖化防止

という二つの目標を掲げて活動されておりましたので、その中から今年度も引き続き「地球温暖化防止」に取り組んでいきたいと思っております。

今、全世界的に「地球温暖化防止」という事が叫ばれ、その問題に皆なで取り組んでおりますが、好転するどころか悪化しているのが実情ではないでしょうか。(個人的な意見ですが「地球温暖化防止」という呼び方が悪いと思います。この様に軟らかい言葉でなく「地球環境破壊防止」と言う様なもっと強い呼び方に変えたほうがもっとアピールするのではないのでしょうか。)生活の便利さを追い求めれば追い求める程、地球環境は悪化していきます。個人個人がちよっとした心がけ次第で地球環境の悪化を防ぐ事が出来るという啓蒙もはかっていきたいと思っております。今年度は第2740地区各RCで取り組んでおられる社会奉仕活動についてアンケートを取り各RCに紹介し今後各RCで行われる社会奉仕活動の参考にして頂ければと思っております。又、現在各RCが独自に行っている社会奉仕活動が数クラブ(3～5クラブ)かグループ単位で、合同でもっと効果ある活動が出来ないか、そしてその活動に地区補助金が使え様な事が出来る様に提案したいと思っております。

皆様のご助言、ご助力をお願い致します。

【略歴】

1985年2月 諫早西ロータリークラブ入会(チャーターメンバー)
1987～1988年度 幹事
2004～2005年度 会長



委員長挨拶



抱 負

新世代統括委員会委員長

岡 部 景 光

(有田RC)

2009-10年度の新世代統括委員会の委員長を賜りました。3年目でございます。新世代統括委員会にはインターアクト、ローターアクト、ライラ、国際青少年交換の四委員会があり、若い世代の育成を担う委員会です。前々期よりインターアクトとローターアクト、ライラの3委員会が、連携を密にして行くことに取り組んでおります。

今期は四委員会とも委員長が替わり新しい人になりましたので、前期終盤に四委員会の新旧引継会を行い、活動の更なる発展を確認しました。また今期は新しい行事として、「ローターアクト指導者講習会」を開催します。ローターアクトの会員減少に歯止めがかからず、会員増強が困難の極みなのですが、提唱しているロータリー側の方からも考えてみようとの試みです。

ローターアクトは会員減少で、委員会の組織が十分ではなくクラブとしての活動が出来ておりません。非常に効率の悪い状態になっております。地区内のロータリークラブ全体で取り組み、ローターアクトを提唱していないロータリークラブも最寄りのローターアクトクラブに、会員の紹介をして下さい。複数のロータリークラブで1つのローターアクトを提唱するのを、提案しています。

ライラではローターアクト会員がお手伝いしますので、どこのロータリークラブでもホストすることが出来ます。またライラに出席出来ないでいる他クラブのインターアクトやローターアクトの会員に登録料を出してやって、参加させて下さい。提唱クラブによってはローターアクト、インターアクトの会員が多くて、ライラに参加出来ない人が多数います。そういう若者をロータリーが登録料を負担して、自クラブからの参加者としてライラに送って下さい。実施しているクラブもあります。ライラに参加した若い人達は、すばらしい体験だったと喜んで帰ります。

インターアクトクラブは活動のほとんどを顧問の先生に委ねていますが、提唱クラブの担当委員の人は、例会に出向いて行ってロータリーの方針を伝えて下さい。例会で卓話をして、皆さんの豊富な経験と知識と実践を話して下さい。

国際青少年交換留学委員会は、留学希望者が少なくなりました。受入学生の手配ファミリーはお世話するのが大変ですが、将来大きな成果として地域や日本に還って来ます。

皆さんと一緒に新世代の未来を育てて行きましょう。

【略 歴】

1990年12月	有田ロータリークラブ入会
1995～1996年度	会長
1994～1997年度	ローターアクト地区委員長
1999～2002年度	社会奉仕地区委員長



抱 負

インターアクト委員会委員長

天 本 俊 太

(長崎RC)

09-10年度、地区インターアクト委員長を拝命致しました、長崎ロータリークラブの天本俊太です。

今回の委員長引き受けに関しては私自身、地区インターアクト委員会は2年間のブランクがあり、いきなり委員長で返り咲きの事で、不安に感じておりますが、拝命したからには出来るだけの事をしたいと考えておりますので、宜しくご指導、ご鞭撻お願い致します。

また3年前のインターアクト地区大会において皆様のご理解ご協力の下、無事終了する事が出来ました事を改めて感謝申し上げますと共に、ご心配、ご迷惑をお掛けした事、大変申し訳なく考えております。

さて、今年度のインターアクト委員会は、各グループより1名ずつの地区委員を出して頂き12名の委員会となりましたので、各委員、役割分担、目標を明確にし、より活発に活動したいと考えております。

目標としては、「インターアクトの未来は、あなたの手の中に」をスローガンとして、インターアクトクラブと提唱ロータリーの相互理解をより深め、各インターアクトクラブの活動がより活発に出来る様に地区として支援し、各インターアクトクラブ間の連携等を計りたいと考えております。

具体的には

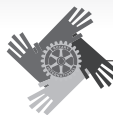
5月30日	前期指導者研修会
8月29日30日	インターアクト地区大会
12月	海外交流会
1月	後期指導者研修会

を計画しております。

最後になりますが、皆様よりのご理解、ご支援をお願いし就任の挨拶とさせていただきます。

【略 歴】

2000年	長崎ロータリークラブ入会
2003～2006年度	インターアクト地区委員
2006～2007年度	インターアクト地区委員長



委員長挨拶



RIとRACの更なる 融和を目指して

ローターアクト委員会委員長

藤岡 良規

(長崎RC)

昨年よりローターアクト地区委員としていくつかの例会や行事に参加させて頂きましたが、まだ顔が売れておりません故、ローターアクトの卒業年齢30歳を11歳も超えている割には、ロータリアンからはアクトのメンバーに間違えられること多々ございます。本年度は各ローターアクトの例会及び行事に昨年以上に参加させて頂くことになろうかと思っておりますので、何卒お見知りおきの程、宜しくお願い致します。

本年度、ローターアクト地区委員長の抱負としまして「ロータリアンとローターアクトの更なる融和」を挙げさせて頂きます。基本として「ローターアクトは、ロータリーの提唱の下に初めて成立する」ということをもっとお互いが噛みしめるべきかと考えます。即ちロータリアンは、ローターアクトへの理解を深める努力をもっとすべきですし、ローターアクトはロータリーに感謝し、もっとキチンとした活動報告をすべきと思います。そこを基本線としたところで、各新世代理事及びローターアクト委員長に於かれましては、各提唱アクトの会員増強に積極的に動いて頂きたいですし、ローターアクトは少なくとも四半期に1度はロータリー例会にて活動報告を実施し、ロータリアンへの理解活動を確実に行って頂きたいと考えます。

まずは、お互いに関心を持つことが大変重要かと思っています。無関心からは反発も含めてエネルギーもパワーも生まれません。もっとお互いを知り、意見交換をし、地域貢献に繋げていく、そしてそれがアクトの人間力向上に繋がれば、そこで初めてローターアクトの存在価値が出てくるのではないかと考えています。

【略歴】

2005年 長崎ロータリークラブ入会
2008～2009年度 ローターアクト地区委員



抱 負

ライラ委員会委員長

小川 信

(佐世保南RC)

2009～2010年度ライラ地区委員長を仰せつかりました佐世保南RC 小川でございます。地区組織の新世代統括委員会 岡部委員長のもとインターアクト、ローターアクト、国際青少年交換各委員会と密接な連携をとりながら存在感のある委員会をめざして活動させて頂きたいと思えます。

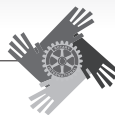
R Y L A(ライラ)は、ロータリー青少年指導者養成プログラムで14歳から30歳までの青少年を対象とする集中研修プログラムです。才能豊かな若者達がクラブ、複数のクラブ地区もしくは多地区レベルで、ロータリアンが主催するセミナーです。楽しみ、友人をつくりながら専門職務上の責務と人間関係の問題について討議し指導力と伝達力を磨き、事業及び会社の制度を学びロータリアンと知り合う機会を若い人々に提供し技能を磨き、同世代の仲間や人生の先輩たちと共に関連性のある主題について探求する機会を提供します。又ロータリアンにとってR Y L Aは、指導者を育て貴重な専門知識や技能を分かち合い世代間の溝を埋めるのに貢献できる機会を提供するものです。

第1回R Y L Aが1979年長崎親和の森で実施されてから、今年まで途絶えることなく31回目を迎えることになります。2009～2010年度のR Y L A実施するに当たり第6グループ佐世保南RC様がホストを引き受けて頂き2740地区が実施する社会奉仕活動としてライラ事業に対し多大なる成果の達成を得るには地区内クラブと各ロータリアンの皆様のご指導とご協力をいただきライラの目的を果したいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。

尚、前年度ホストされました、大村北RC西田会長様、実行委員長様、各委員皆様方の御努力により、実りのある素晴らしいR Y L Aを開催されました。誌上をお借りして、おねがい申し上げます。

【略歴】

1995年9月 佐世保南ロータリークラブ入会



委員長挨拶



国際青少年交換事業に マルチシステムを提案

国際青少年交換委員会委員長

瀬戸口 智彦

(長崎南RC)

一昨年からの出戻りで2740地区の国際青少年交換委員長を再度お引き受けする事になり皆様のご指導とご協力をお願いしなければならなくなりました。

前年度の益田委員長の期間は100年に一度といわれる未曾有の経済不況の波を各クラブがもろにかぶり程度の差こそあれ財政的に苦境に立たされてるのはご存知のとおりです。青少年交換事業の運営も例外ではありません。

会員増強の声にも拘わらずロータリアンの減少化と高齢化がじわじわと影響しております交換学生事業の引き受手のクラブがなかなか見つかりません。こうなると事業の継続がそれぞれ危ぶまれております。

そこで今後、単独クラブで1人の交換学生をお世話するこの交換事業を継続することは財政的に人員的にも困難な事態に立ち至っております。

そこで昨年度から、数クラブ共同で一人の交換学生を引き受け、また派遣するというマルチシステムが考慮され、試みに諫早地区の数クラブが一人の派遣学生と来日学生のお世話をされてプログラムを継続されるというプランが進行しています。

今後、地区の他クラブでもこの「マルチシステム」を検討させていただけると、この交換事業がより順調に運営されていくのではと期待しつつ新年度のご挨拶にさせていただきます。

【略歴】

1981年10月7日	長崎南ロータリークラブ入会
1998～1999年度	幹事
2008～2009年度	会長
1989～1999年度	RYLA地区委員長
2003～2004年度	財団地区委員長
2006～2007年度	YEC地区委員長



年度の抱負

国際奉仕統括委員会委員長

前田 博憲

(佐賀西RC)

「手続き要覧」によれば国際奉仕部門とは「ロータリアンが、国際理解、親善、平和を推進するために実施できることすべてから成る。その方法は他国の人々、その文化、慣習、業績、抱負、問題を知ることであり、また旅行や国際大会出席による個人交流であり、読書や文通であり、さらには他国の人々の役に立つクラブの活動やプロジェクトのすべて（ロータリー財団を含む）に協力することである」と記されております。

またR I 定款第4条「ロータリー綱領」の第4項には「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること」と定義されています。

そこで、私たち地区国際奉仕部門（ロータリー財団委員会、財団奨学・学友委員会、G S E委員会）の活動内容は前記要諦をしっかりと踏まえた上で、今日まで幾多の先輩諸兄によって培われた地区特有のスタイルを尊重しつつ、各クラブのご意見ご要望等も注意深くお聞かせ頂きながら、地区内ロータリアンお一人お一人の国際奉仕活動が実りあるものとなるべく、微力ではありますが全力でお手伝いをさせて頂きたいと存じております。

何とぞよろしくお願い申し上げます。

【略歴】

1997年7月	佐賀西ロータリークラブ入会
2001～2004年度	地区米山奨学記念委員会委員
2004～2005年度	地区米山奨学記念委員会委員長
2005～2006年度	地区国際奉仕委員会委員長



委員長挨拶



抱 負

ロータリー財団委員会委員長

森 永 太

(佐賀西RC)

財団委員長としての最後の年度を迎えました。よろしくお願いします。

財団はよく分からない、私達の寄付金がどの様に使われ、そのお金の流れはどうなっているのか理解しにくいという言葉をよく聞かれます。

ロータリー財団は「世界で良いことをしよう」という信条のもとに毎年1億ドルを超えるお金を世界の人々の健康改善や飢餓の救済、教育的支援などに使ってきました。これは大変なことで、これこそ我々ロータリアンが一番誇りにする所であり、ロータリーが国際的に大きく発展してきた理由であります。

ただ日本では言葉の壁や手続きの煩雑さなどが大きな理由と思われますが、国際的な人道的プロジェクトに参加するクラブは少なく、地区が使える地区活動資金（DDF）のほとんどは国際親善奨学金と地区補助金に使われています。当地区でも毎年5～6名の国際親善奨学生を送り出し、数多くのクラブの奉仕プロジェクトに地区補助金を提供してきました。しかしここ数年、会員数の減少などにもよると思われますが当地区における年次寄付額は減少し続けています。それは、とりもなおさず私達たちが使える地区活動資金が少なくなってきたということです。

私達は直接国際的な人道的プロジェクトに参加できなくても、地区でのそうした活動は維持していく必要があると思います。「毎年あなたも100ドルを」という財団の目標は、そうした奉仕活動に自分が参加することだという認識が一番重要なことだと考えます。

【略 歴】

1987年12月	佐賀西ロータリークラブ入会
1998～1999年度	幹事
1999～2002年度	地区米山記念奨学委員
2007～2009年度	地区ロータリー財団委員長



抱 負

財団奨学・学友委員会委員長

笠 慶 宣

(佐賀南RC)

当委員会は、ロータリー財団のプログラムの中で、主に教育的プログラムの国際親善奨学金についての活動を行います。ところが09年5月、国際親善奨学金は1学年度の国際親善奨学金のみとしマルチ・イヤー、文化研修のための国際親善奨学金は中止するというR Iの通知が発せられました。大学教員のためのロータリー補助金はじめいくつもの補助金が、09年7月から中止されることになりました。

この奨学金の目的は、他国の教育機関で勉学させることによって、異なる国や地域の人々との間に理解と友好関係を推進するということにあります。従って奨学生は、留学中は勉学はもちろん国際親善使節としての役割も果たし、留学先のロータリークラブや団体で、英語またはその国の言葉でスピーチ等の発表をしなければなりません。また、帰国後はその体験談を派遣側ロータリアン等にスピーチしなければなりません。

奨学生は、当地区では書類審査と6月の面接で選考します。合格者は奨学生候補者として、7月・12月・4月の年三回の研修会に参加することが義務付けられますし、派遣側カウンセラーにもご出席をお願いいたしております。また、当委員会も研修会に合わせて開催するようにしています。

今年度も、よろしくご協力とご支援をお願いいたします。

【略 歴】

1998年4月	佐賀南ロータリークラブ入会
2007～2008年度	地区財団奨学学友委員
2008～2009年度	地区財団奨学学友委員長



委員長挨拶



抱 負
GSE委員会委員長
山 田 晃
(長崎南RC)

今年度GSE委員長を拝命いたしました、長崎南RCの山田です。昨年に引き続きGSEプログラムに係ることとなりました。今年一年皆様にお助けいただきながらも委員長職を全ういたします所存ですのでもよろしくお願いいたします。

さて、2004年10月に6290地区からのGSEチームを受け入れ翌2005年に当地区からのGSEチームを派遣してから早くも3年が過ぎました。私も受け入れ準備から派遣まで3年間GSEプログラムにかかわらせていただきましたが、専門職業人のみならず、芸術分野、医療、などさまざまな切り口の社会人を、1ヶ月に亘りRC財団の費用負担の下、海外に派遣できることは派遣チーム員のみならず、私たちにとってもすばらしい経験ですし、受け入れ事業においてはホームステイを原則としているため、私たちだけではなく家族も異文化との交流する機会を享受することができました。このすばらしいプログラムにかかわる機会をいただいたことをとても感謝しております。

しかし残念なことに、その後は受け入れ、派遣とも行われておらず、地区としての方向性を検討しつつ今年度にいたっております。当委員会におきましては、今後の地区としてのGSEのあり方を研究し、GSEプログラムのすばらしさをより多くの地区内ロータリアンにお伝えし、GSEプログラム実施の準備を行っていくことが今年度の事業と考えております。

また、当地区におきましては、定期的にGSEプログラムを行う体制が確立されておらずGSEプログラム実施システムの確立も急務であり今年度の研究課題であると考えています。

地区内の皆さんのご意見をお聞かせいただき、2740地区のGSEプログラムのあり方を研究し、すこしでも皆様の今後のロータリー活動の一助となるべく委員会一丸となって活動を行ってまいりますので、一年間よろしくお願いいたします。

【略 歴】

2000年6月 長崎南ロータリークラブ入会
2003～2006年度 GSE地区委員
2008～2009年度 GSE地区委員長



年間抱負について
米山記念奨学委員会委員長
北 郷 雅 子
(長崎出島RC)

引き続き09～10年度も地区米山奨学委員長を委嘱されました。4人の継続地区委員と6人の新地区委員と協力して、前年と同じように充実した地区米山の活動をしたいと存じます。

米山奨学委員会の運営に当たりましては、PG栗林奨学会理事、高城G、高木地区幹事、とご相談しながら、地区委員会議やカウンセラーと意見交換も年間を通して行ない、より充実した1年にしたいと思います。米山奨学事業も、42年目を迎え、クラブでご覧頂けるように資料のDVDも新しくなりました。

今年は学生15名（内継続1名）の奨学生。「世話クラブ」とカウンセラーの方々には「米山奨学会事業」への更なる暖かいご協力を御願い致します。

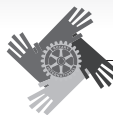
地区といたしましては、アクティブな活動として、クラブへの「奨学生出前卓話」を例年通り企画致します。9月から（10月の米山月間以外のときでも）卓話派遣を実施いたします。奨学生が勉学を続けることが出来るのも一重にロータリアンの寄付とお世話クラブでのご指導のお陰です。いろいろな機会にロータリアンと奨学生の交流の場を広げたいと思います。より判りやすく楽しくこの事業を進めたいと思いますので、宜しく御願い致します。また、雲仙島原での「日本文化を学ぶ会」を実施したいと考えております。

学友（奨学生OB）もそれぞれの就職先や国で、「米山奨学生だった」というプライドを持って働いております。

今年度の米山寄付金の目標は、会員一人当たり10,000円をお願い致します。特別寄付として「クラブ創立」「大会記念」「個人ロータリアンの記念日」などのいろいろな記念日をお願いいたします。「日本ロータリーの誇り」とも言うべき、米山奨学事業の継続と発展の為に、皆様方の暖かいご支援とご協力を切に御願い申し上げます。

【略 歴】

1999年1月 長崎出島ロータリークラブ入会
2005～2007年度 地区米山奨学委員
2007～2010年度 地区米山奨学委員長



会員増強月間について

会員増強委員長 **飯盛 康登** (多久RC)

ロータリーの目的は、ロータリー精神を体得した人を一人でも多く作り、奉仕の理想を實踐して住み良い社会を築くことにあり、ロータリーがその発展と存続を願う限り、会員増強は永遠に求められるテーマです。

ロータリーの会員増強は、明確かつ継続的な会員増強計画をたて、積極的に取り組むことが必要です。その為に職業分類委員会と連携して最新の職業分類表を作り、充填、未充填を吟味して対応策を練り上げることは、クラブの会員増強に必要不可欠な手段であり、会員増強に成功する為の方法として最も効果的です。

例えば、クラブの地域内の商工会議所・商工会・法人会等の青年部、女性部等の団体の構成メンバーを調べてみると、そのクラブの職業分類表は比較的容易に出来ると思います。

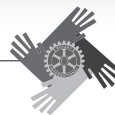
その職業分類表を活用して、地域社会と十分なコミュニケーションを図りながら、ロータリーのプログラム推進に確実に寄与していただけると思うような方を出来るだけ多く迎える努力が必要です。

その実践に際し、各クラブは、関係委員会と十分に協議して、会員増強の適切な方法を講じると共に、新会員の入会時にロータリー情報委員会からロータリーのルール、特典、義務等をよく話して、新会員がクラブに溶け込み、馴染んでいく方法を考え、実践して行く事が大切です。

そこで、第2740地区内における会員増強の為のネットワーク創りについて、第9グループ・佐藤豊ガバナー補佐の提案を今期は実行しながら増強に向け活動したいと思います。

- ① ガバナー事務所内に会員増強委員会が中心となるネットワークキーステーション立ち上げ
- ② 全会員に他クラブの区域内に事業所・個人推薦の専用会員推薦書を配布
- ③ 各会員は、知人・友人等推薦書に記入後、その都度所属クラブからガバナー事務所へFAXまたはメールで送信（リストアップ）
- ④ ガバナー事務所内で該当するクラブへ推薦書を転送
- ⑤ 紹介を受けたクラブは、職業分類等の手続き完了後、推薦ロータリアンと連絡の上、入会への勧誘等具体的な活動を起こす。
- ⑥ 結果をガバナー事務所、紹介クラブ、紹介者へ報告する。

以上、広範囲に及ぶ会員推薦の為のネットワーク作りが整備し、潜在的会員候補者を集中的に効率よくまとめることによって会員増強を図りたいと思います。



2009 年 7 月 13 日発行 [月刊]
(財)ロータリー米山記念奨学会



ハイライトよねやま 113

1 2008-09 年度寄付金結果 — 予算達成ありがとうございました —

2008-09 年度の寄付金は約 14 億 9,400 万円でした。第 2760 地区の坂本精志氏（名古屋名東 RC）からの 1 億円のご寄付などにより、前年度と比べて 2.91% 増（普通寄付金 1.06% 減、特別寄付金 4.57% 増）、約 4,200 万円のプラスとなりました。ロータリアン皆様のご努力により予算を達成することができましたことを、心より厚く御礼申し上げます。

世界的な不況の中、会員一人当たりの平均寄付額が昨年度実績より増加した地区は 15 地区でした。特に、2760・2520・2790・2680・2580・2540 の 6 地区は 1,000 円以上プラスとなっています。また、上位 6 地区は昨年と同様、2 万円以上のご寄付をいただきました。新年度も引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2008-09 年度寄付額上位 6 地区

1	2760 地区	33,447 円
2	2590 地区	28,683 円
3	2770 地区	24,406 円
4	2650 地区	21,415 円
5	2780 地区	21,069 円
6	2820 地区	20,980 円

2 クラブの全員が米山功労者に！ — 渋川みどり RC (第 2840 地区) —

渋川みどりロータリークラブでは、今年 4 月の創立 15 周年記念事業の一環として、全会員が米山功労者となる目標を 2 年前に設定。計画は順調に進み、2008 年 12 月に 37 人（現会員 36 人と昨年 5 月に逝去された会員 1 人）全員が累計 10 万円以上の米山功労者となりました。

2007-08 年度クラブ米山委員長としてこの計画を発起した木村幸雄・現クラブ会長は、2 年がかりの“全員功労者”達成について、「会員みんなで功労者を目指す中で、米山の意義をあらためて皆が再確認できたことが大きな成果。結果だけでなく過程も大切で、理解を深めるために、事業について勉強する機会も増えたとし、寄付を積み立てていると実感することで、継続して支援するという意識も会員に根付いたと思う」と語ってくれました。



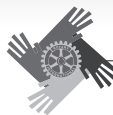
3 ロータリアンになった学友が 100 人に！

ロータリアンになったと報告のあった学友数がついに 100 人に達しました。台湾のロータリークラブ入会者が 53 人と最も多く、次いで日本（18 人）、韓国（18 人）、ネパール（3 人）、バングラデシュ（3 人）、インド（2 人）、マレーシア（2 人）、スリランカ（1 人）の順となっています。

今年 5 月に台湾の新竹東北 RC に入会した張家銘さん（台湾／1997-99／浜松西 RC）は、次のように報告してくれました。

ロータリアンと過ごした 2 年間は本当にいい思い出になりました。今年は私にとって米山奨学生 OB 10 年目であり、満 40 歳の年です。その記念として 5 月 2 日にロータリークラブに入会しました。例会ではロータリー米山記念奨学会のことを 40 分ほど紹介しました。皆はすごく興味を持ちました。機会があれば、新竹東北 RC の皆を連れて米山梅吉記念館を見学に行きたいです。





4 上海学友会を支えてきた中津川RC

元米山奨学生による学友会は、海外では 1980 年代に台湾と韓国で設立されましたが、長年、学友数の多い中国での学友会設立が待たれていました。今年 3 月、ついに中国学友会が北京で設立されたことは既に「ハイライトよねやま 110 号」、「ロータリーの友」6 月号で報告しておりますが、実はさかのぼること 2002 年、第 2630 地区中津川 RC の支援を受けて上海米山学友会が発足し、同 RC の「友の会」を通して多額の経済的支援を受けながら、さまざまな活動をしていました。

一方、中国学友の増加に伴い、ネットワークをより強化したいという板橋理事長の考えを踏まえ、2008 年 12 月に北京にて華北学友会が設立されました。上海・華北の両学友会は、中国全土をカバーする中国学友会を設立する必要があることで合意し、今年 3 月の設立大会を迎えました。学友会の会長は、華北と上海で交互に選出することとなり、初代は華北の姫軍さん（1995-97／東京臨海 RC）が就任し、来年は上海の張 普岩さん（1993-95／鈴鹿西 RC）が就任予定です。

姫 初代会長は、設立大会の席上で、日本のロータリアンならびに上海学友会を支援してきた中津川 RC へ感謝の意を表しました。日中友好に懸ける上海、そして華北学友たちの熱い思いによって設立された学友会が自主的に運営される中で、日本のロータリアンとの連携を強めて行くことを願っています。（事務局長 坂下博康）

5 第 2590 地区が横浜国立大学から表彰

7 月 2 日、横浜国立大学（横浜市・川崎市）の長年にわたる支援への感謝状贈呈式が行われ、鈴木邦雄学長より同地区米山記念奨学委員長・鈴木憲治氏へ感謝状が手渡されました。

同地区ではこれまで 691 人の米山奨学生を支援しており、うち 241 人が同大学の留学生です。当日、学内の外国人留学生・研究者の交流親睦会も兼ねた会場には、留学生のほか、大学教員・職員が約 400 人集まりました。鈴木学長は、「当大学には 67 カ国から 804 人の留学生がいる。多額多数の支援をしてくれた米山奨学会と国際ロータリー第 2590 地区に感謝したい」と、謝辞を述べました。



2009-10年度 ホームカミング制度 ぜひご活用ください！

活躍する米山学友（元米山奨学生）を招待し、地区内のロータリアンへ活躍ぶりを披露していただく「ホームカミング制度」。昨年度は 13 地区が本制度を利用し、里帰りした学友たちが地区大会や学友総会等で現在の活躍を自ら報告することにより、奨学事業の“成果”を広く認識してもらうことができました。＜参考記事：『ロータリーの友』6 月号横組み p16-17＞

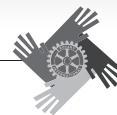
今年度からは、海外在住の学友に限定せず、日本国内の学友も対象となったほか、他地区出身の学友も招待することができるようになりました。招待にかかる費用は米山記念奨学会から補助されます（上限あり）。実施地区からは大変好評です。ぜひご活用ください！

詳細は、当会ホームページの案内をご覧ください。http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

ロータリー米山記念奨学会の最新ニュース「ハイライトよねやま」は、当会ホームページにも掲載しています。月信等にご活用ください。
ご希望があれば E メールで配信します。担当者までご相談ください。HP はこちら→http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津・峯



米山奨学生挨拶



オウ ロデキ

王 璐 迪

国 籍：中 国
大 学：長崎大学
お世話クラブ：長崎北東 RC
カウンセラー：上田 純一

私は長崎大学大学院2年生の王璐迪と申します。中国瀋陽市から来た留学生です。趣味は写真撮影です。抱負としてまず、学校の先生や友達みたいにクラブの皆様と親交を持ち、文化や生活、ビジネスマナーなど様々なことについてたくさん交流したいです。そのご縁を大事にしながら、日本企業へ就職し、周囲から必要とされる人物になることを目標にして、毎日を大切に過ごし、大きな仕事を達成できるように頑張りたいと思います。またいつか、ロータリアンとして活動したいと思います。歴史と伝統のある米山奨学会の名を汚すことのないように、一日も早く日中交流も仕事もお役に立てるよう、頑張りたいと思います。



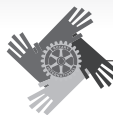
カン リッカ

韓 立 佳

国 籍：中 国
大 学：佐賀大学
お世話クラブ：牛津 RC
カウンセラー：西岡 健次

私は中国からの留学生です。今、佐賀大学で日本の古典文学を研究しています。私は去年からロータリー米山奨学事業を知り始めました。ロータリー米山記念奨学会は、「世界の平和」という目的を持って、外国人留学生に奨学金を支給し支援して、民間で最大の奨学団体です。だから、今回、2009年度ロータリー米山奨学生になって、非常に光栄に思っています。これからの一年間に、できるだけクラブの活動の多くに参加して、異国文化を接して、自分の日本語のレベルを高めようと思います。同時に、ロータリー事業の精神を学んで、将来、日本古典文学が中国での推進に貢献したいと思います。





米山奨学生挨拶



コウ リケン
侯 利 娟

国 籍：中 国
大 学：長崎県立大学
お世話クラブ：佐世保南 RC
カウンセラー：前田 一彦

私は米山奨学生として三つの抱負があります。一つ目は、修士論文を早く書き上げ、博士課程への受験勉強を頑張ること。二つ目は、様々な国際交流やボランティア活動に積極的に参加し、活動すること。三つ目は、日本に来た留学生たちが、日本の生活に慣れるまで積極的にサポートしてあげることです。私は、8年前の16歳の時に初めて日本にきて、留学生活がはじまりました。右も左も分からない私に、学校の先生や、地域の住民の皆さんなど沢山の人にお世話になり、そのお陰で今もこの異国の地で頑張れる私がいます。これからは、今まで私が受けた恩に感謝の気持ちを込めて、国際交流やボランティア活動にも積極的に参加していきたいと思っています。

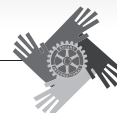


コ ハシ
胡 畔

国 籍：中 国
大 学：長崎大学
お世話クラブ：諫早北 RC
カウンセラー：白倉 一男

私は米山奨学生としての抱負は、将来の自分は社会と世界に奉仕できる人になることです。奨学金をもらえば、研究と勉強にもっと専念できると思います。技術者として大学で学んだ知識を生かして、世界の情報通信分野の発展に力を尽くしたいです。また、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人、母国と日本の架け橋となって国際社会で活躍する人、学業、コミュニケーション能力とも優れている人になりたいです。ゴールはまだまだ遠いですが、これからも頑張りたいと思います。





米山奨学生挨拶



ブイン チョクラ

宝音 朝古拉

国 籍：中 国
大 学：長崎大学
お世話クラブ：長崎琴海 RC
カウンセラー：須山 正久

私は二年前の四月に長崎大学の教育学研究科の研究生として来日した。

今まで、故郷や家族の思いが募り、また勉強とアルバイトを両立させるために時間の調整に明け暮れてもいた。

この度米山学生になり、感激の極みである。私の故郷では、日本語に興味を湧いているモンゴル人の子供たちが沢山いる一方、日本語、モンゴル語が分かる先生が欠如している。

それに加えて、草原で最も懸念されているのは砂漠化問題である。

そこで、私は日本に在る間に日本語及び日本文化を身につけるだけではなく日本人の環境意識と平和を守る気持ちを習得し、帰国してから日中両国の架け橋として特に多文化理解教育、環境教育の立場から貢献したいと強く思っている。



キム ヒデオン

金 禧 珍

国 籍：韓 国
大 学：長崎大学
お世話クラブ：長崎中央 RC
カウンセラー：原田 知行

私は長崎大学生の一人として今回から米山奨学生に選ばれました。私はこれまでに国際学会賞と長崎大学学長賞をいただきましたが今後は米山ロータリーの力を借りて更に研究に励みたいと思います。

自分の研究を頑張るだけでなく、私が研究している動物プランクトンの休眠は日本や韓国の様々な人達が勉強しているため、私がその架け橋となり、日本と韓国の交流を深めたいです。これから米山奨学生としての自覚を持ち、これまで以上の成果を残せるようにもっと頑張ります。私が研究を続けられる制度を作ってくださった米山ロータリーの皆様に心から感謝のお言葉を申し上げます。



米山奨学生挨拶



ブ ヒリュウ
武 飛 龍

国 籍：中 国
大 学：長崎大学
お世話クラブ：大村 RC
カウンセラー：益田 智行

まず、米山奨学生に選抜され、非常に嬉しいと思う。奨学金は我々留学生に対し、勉強や生活のみならず、精神面にも大きくサポートしている。そこで、私はこの場を借り、ロータリアン各位、特に長崎地区の皆様感謝を申し上げる。次ぎに、将来にやりたいこと、いわゆる抱負について、語りたいと思います。私は常に「自分は祖国と家族を離れ、日本に留学しに来たのは一体何のためだ」と自問する。答えは一つしかなく、「社会に有用な人になりたいのだ」つまり社会に貢献したいのである。但し、社会貢献と言えば、テーマがあまりにも膨大すぎて、私の場合は社会貢献について、二つの面から実現したいと思う。それぞれ「行政に身を置きながら、地域福祉の向上及び地域厚生に努めたいこと」と「日中両国の今後、永遠の平和に自分の力を捧げたいこと」である。この二つの事業はいずれも簡単にはできないものだが、日本で身につけた知識及び日本での生活の経験を用い、将来いつの日かこの二つの願望を叶えてみせると深く信じている。



チン・ティ・コック・ラン
TRINH THI NGOC LAN

国 籍：ベトナム
大 学：佐賀大学
お世話クラブ：佐賀南 RC
カウンセラー：秀島 宣雄

ベトナムから参りましたランと申します。

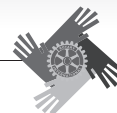
2007年10月、ベトナム・ハノイ国家大学外国語大学日本語学科を卒業後、来日して、佐賀大学で留学している。

現在、佐賀大学大学院の教育学研究科修士課程2年生であり、日本の少子化問題と女性のライフスタイルについて学習している。

私の研究テーマは、「現代家族におけるジェンダーの日越比較研究」であり、理論的、実証的アプローチに取り組んでいる。

米山奨学生として、研究テーマをよく完善することを頑張りたい。同時に、日本の文化、習慣などに接触し、国際の友達との交流を深め、よりよい社会づくり、国際平和の創造に貢献したい。

世話クラブで母国の文化や歴史を伝え、話したいと思う。



米山奨学生挨拶



トン ヴァン タイ

TONG VAN THAI

国 籍：ベトナム
大 学：長崎総合科学大学
お世話クラブ：長崎出島 RC
カウンセラー：塚本 敏

私は、今年4年生になりますので、いろいろな事をしたいのですが、一番大切なのは大学を卒業して、就職をちゃんとできることだと思います。ですので、米山奨学金をいただく事で、バイト時間を減らして、勉強にもっと集中します。そして、12月には、日本語を一生懸命勉強して、日本語の能力試験を受けてみたいです。

また、米山奨学金生として、出島クラブでいろいろな所へのイベントなどにたくさん参加して、日本文化とか日本生活などに理解がもっと深まるようにしたいです。

ちなみに、ベトナムのことも、みんなにたくさん知識と興味を持ってもらえるように伝えていきたいです。



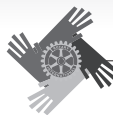
ルオン・クイン・ホア

LUONG QUYNH HOA

国 籍：ベトナム
大 学：佐賀大学
お世話クラブ：佐賀西 RC
カウンセラー：隅 康二

ベトナム留学生のルオンクインホアと申します。現在佐賀大学、教育学研究科の修士2年生です。「実際の日本という国は、ベトナムの教科書で学習してあることと同じだろうか」と実感したい私は、日本留学を決めました。最初に訪れた佐賀に来る前に、私は大変不安でした。しかし、今までたった1年以上の佐賀をはじめ、日本での経験はとても素晴らしかったです。文化や伝統、歴史など多くのことを知り、世界中の人と交流することができました。その上、2009年度米山奨学生になって、ロータリークラブを通して日本のことをより深く理解できます。それと共に、ベトナムのイメージを与えることで国際平和の創造と維持に貢献できることに努力したいです。





米山奨学生挨拶



チヨン ゼヒョン
鄭 在 現

国 籍：韓 国
大 学：長崎総合科学大学
お世話クラブ：東長崎 RC
カウンセラー：松尾 龍彦

私は韓国出身の鄭在現と申します。現在、長崎総合科学大学院・工学研究科で勉強していて、専攻は環境計画学です。初めて日本に来たのは2005年3月のことで、別科日本語研修課程で1年間日本語の勉強をしました。

現在、大学院で草木類のバイオマスを原料とし、化学変換（ガス化）によってバイオメタノールを製造する研究を行っています。

今回、奨学生に選ばれ、研究に打ち込めることへ感謝致します。そして奨学生としての自覚を持って模範的な生活を心がけ、目標のために努力しようと思います。日本と韓国は永久に隣同士の国として付き合っていかなくてはならないので、双方の架け橋となって両国の発展に貢献したいと思います。



パク グムゼ
朴 金 載

国 籍：韓 国
大 学：佐賀大学
お世話クラブ：佐賀 RC
カウンセラー：岸川 正人

私は、韓国の朴金載と申します。現在佐賀大学工学系研究科エネルギー物質科学専攻の3年生です。研究の分野はリチウムイオン二次電池と高エネルギー密度型キャパシタです。日本に来る前に韓国の大学でこの研究を始めたのですが、今も楽しみに続けています。私の性格は何をしても私が出来る限り頑張ろうと努力します。

米山奨学生として抱負は、勉強だけではなく日本の文化と色々な国の文化を知りたいです。それと韓国の文化を教えたいです。

今回、米山奨学生になって、今後の研究活動への大きな一歩であると確信しております。心から感謝の気持ちを申し上げます。

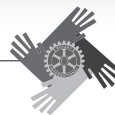
訂正とおわび

月信vol.1の12ページ宮崎幸久ガバナー補佐の略歴は牛津ロータリークラブではなく武雄ロータリークラブです。

13ページ椛猪一郎ガバナー補佐の文章の中で上から7行目『その他、“人の役に立つ人間になれ” “人に迷惑を掛けるな”なども～』の間違いでした。

平戸クラブのガバナー公式訪問例会場が『平戸観光協会内文化センターレストハウス』に変更になりました。

訂正しておわびいたします。



米山奨学生挨拶



チン スイティ
陳 瑞 婷

国 籍：中 国
大 学：長崎国際大学
お世話クラブ：ハウスstens佐世保RC
カウンセラー：内海 和憲

今大学院一年生の私は性格は明るい。日本に来て二年間に学校で多くの友達ができました。異文化環境の留学生活中、いろんな文化、習慣、宗教のことも理解しました。

日本留学することは私の人生にとって大きな転換だと思います。中国から日本、日中両国民が理解すべきことはまだ沢山あります。

今後中国に戻って日本語教師になることは私の夢です。日中交流の草の根として日本人の礼儀、マナー、習慣など中国人に伝えることは私の抱負です。



ルン・ティ・アン・トゥー
Luong THI ANH THU

国 籍：ベトナム
大 学：活水女子大学
お世話クラブ：長崎南 RC
カウンセラー：新ヶ江 憲和

はじめまして。ベトナムから参りましたルン・ティ・アン・トゥーと申します。

ロータリー米山奨学生になることができ、心より感謝しております。現在、活水女子大学現代日本文化学科の4年生です。初めて来日から今まで、約3年が過ぎました。その間に大学の活動や日本の文化体験や町のお祭りを通して、色々な経験、思い出をさせて頂きました。今後も日本語、日本文化の知識を深めつつ、国際交流、日越友好関係のため、頑張っていきたいと思っています。

どうぞ、よろしくお願い致します。

高原ガバナーエレクト事務所開設

ガバナーエレクト事務所

〒844-0027 佐賀県西松浦郡有田町南原丁175-5

(さがけんにしまつうらぐんありたちょうなんばるてい175-5)

Phone 0955-25-9110

Fax 0955-25-9120

E-mail ri2740takahara@triton.ocn.ne.jp



文庫通信

<262号>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

<ロータリー情報>

◎「ロータリーの基本精神としての『サービス理念』と『職業奉仕』」

菅生 浩三 2009 4p (D.2660 月信)

◎「これからのロータリー」

渡辺 好政 2009 6p (D.2690 地区大会記念誌)

◎「約束を守ろう! ポリオ撲滅」

岩淵 均 2009 8p (D.2770 月信)

◎「一九一一年のロータリーの Toleration (寛容) と Philosophy (哲学)」

坂本 俊雄 2009 1p (D.2750 新会員研修セミナー研修資料)

◎「ロータリーの奉仕・Service をめぐる一〇年間の大議論 一九二三年の二一三四号決議」

坂本 俊雄 2009 2p (D.2750 新会員研修セミナー研修資料)

◎「貧困への挑戦 識字プロジェクト」

竹腰 兼壽 2009 1p (D.2630 月信)

◎「ロータリーにおける社会奉仕について」

勝野 露観 2009 10p (D.2640 月信)

◎「ロータリーの職業倫理訓逐条解説 (10)～(12)」

青木 伸翁 2009 3p (D.2770 月信)

[上記申込先: ロータリー文庫 (コピー / PDF)]

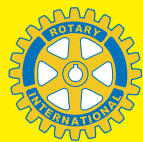


ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階

TEL(03)3433-6465・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



2009～2010年度
国際ロータリー第2740地区

地区大会



ロータリーの未来は
あなたの手に

【日程】

- 10月30日(金)** 17:00～ RI 会長代理晩餐会
場所：雲仙観光ホテル
- 10月31日(土)** 12:30～ 大会本会議（第一部）
場所：島原復興アリーナ
- 14:20～ 記念講演
16:10～ 大会本会議（第二部）
18:30～ 記念懇親会（第三部）
場所：九十九ホテル
- 11月1日(日)** 9:00～13:00 大会本会議二日目「親睦活動の日」
〔Aの部〕世界ジオパーク研修ツアー
8:00～ 〔Bの部〕記念親睦ゴルフ大会
集合場所：島原ゴルフ場

■ 記念講演 10月31日（土）

キャスター **草野 仁氏** 「いつもチャレンジ精神で」

〔レギュラー番組〕TBS「世界ふしぎ発見」
テレビ朝日「草野☆キッド」
テレビ東京「主治医が見つかる診療所」



「感謝で翔く島原半島」

—— 友輪の島原へ！お待ちしております！ ——



島原半島 世界ジオパークへ



ごあいさつ

2009～2010年度
国際ロータリー第2740地区

ガバナー **高城 昭紀**

現在、島原半島は「世界ジオパーク」認定をめざしています。

この島原においてジョン・ケニーRI会長の2009-2010年度テーマ「ロータリーの未来は、あなたの手に」について仲間とともに語り合い、友情を交換し地区大会を楽しんで下さい。心から皆様の御来訪を歓迎申し上げます。

平成新山をはじめ、雲仙火山や千々石断層の断層崖など、地球が生きている鼓動を感じとれるこの島原半島は、日本ジオパーク第1号に認定され、さらに世界ジオパークの認定をめざして取り組みが進められています。



【ホストクラブ】島原ロータリークラブ 【コ・ホストクラブ】雲仙ロータリークラブ・島原南ロータリークラブ
【地区大会事務局】〒855-8550 長崎県島原市高島2丁目7217 島原商工会議所2F
TEL0957-61-0777 FAX0957-61-0122 E-mail: chikutaikai@drive.ocn.ne.jp



国際ロータリー第2740地区

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2009-2010年度ガバナー 高城 昭紀

■ガバナー事務所

〒855-8550 島原市高島2丁目7217 島原商工会議所2F
TEL: 0957-61-0121 FAX: 0957-61-0122

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010年度

国際ロータリー第2740地区 ガバナー 高 城 昭 紀



夜のグラバー園：長崎市

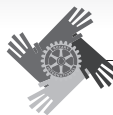
長崎の街に西洋の雰囲気を醸し出す洋館。夏の夜、石畳の道をたどりながらグラバー園にたどり着き、ロマンあふれる夢の気分で撮影を楽しみました。中でも旧グラバー住宅は1863年に建てられ日本で最も古い木造西洋風建築として国の重要文化財に指定された素晴らしいものです。

写真撮影者：宮崎圭介氏（二科会会員）

CONTENTS

高城昭紀ガバナー	1
ガバナー補佐・リレー随想	2
クラブ奉仕部門研修セミナー報告	3
第1回財団奨学・学友委員会及び奨学生候補者研修会報告	5
会員寄稿	6
ガバナー公式訪問	7
文庫通信	14
職業奉仕月間に寄せて	15
米山カウンセラー研修・交流会	16
米山記念奨学月間にあたって	17
ハイライトよねやま114	18
新入会員紹介	20
情報資料	22
地区大会のご案内	裏表紙





ガバナー訪問を 半分終えて

2740地区ガバナー

高 城 昭 紀

今日（8月21日）現在、30クラブを訪問致しました。

野口パストガバナーがおっしゃっていた通り、この時期の日中の移動は、物理的なストレスがきついですね。

訪問しましたクラブでは、温かく迎えて頂き、いろいろな方々とお会いすることができ、また、私の拙い卓話を聞いて頂きまして、ガバナー冥利を感じています。

そして多くの会員がロータリー財団や米山奨学会へ寄付をされていることがわかりました。

今までのクラブ訪問で感じました中で、来年は改善された方がいい点（高原ガバナーが喜ばれる点）をあげますと、次のようになります。

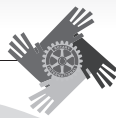
欠席者が多い（5～8名の欠席者のクラブが多い）。

ロータリークラブは一般社会で言う、いわゆる奉仕だけを目的とした、団体ではないということの認識がよくなされていない。

合同例会が7ヶ所ありました。こちらの事務局からお願いしましたクラブもありましたが、合同例会ですと、それぞれのクラブのことがよく分かりませんでした。

活動計画書に不備とか編集のまずさが目立ちました。

以上、ガバナー訪問を半分終えた時点の感想でした。



ガバナー補佐 ・リレー随想

第2グループガバナー補佐 金 武 良 弘

昔から、日本人の多くは行動や考え方が固定的なステレオタイプが多く、ユーモアのセンスが無いとかジョークを解さない人種だと言われてきた。時代と共に世の中が変わり、最近はテレビやラジオではバラエティー番組が花盛りで笑いが氾濫している。

そこで、ユーモアとかジョークは同義語なのか調べてみた。

ユーモアは上品な洒落やおかしさを又は暖かみのある面白さ（ウィット）と出ていた。

ジョークは冗談または洒落で、その他にもおどけた文句、冷やかし、からかい等も有り少々ニュアンスが異なる。

ブラックジョークと言えば、欧米では黒人が作ってヒットしたジョークとか、黒人をネタにしたジョークのことらしいが、我が国では相手が困ったり、怒ったりするようなことを言って面白いことらしい。

日本古来の笑いとしては落語とか川柳があり、伝統を受け継いでいてそれぞれにおかしさ、面白さを感じる。

日常の会話にユーモアが入るとほのぼのとした感じになるが、日本人は冗談を言い合って笑える間柄になるまでには少々時間がかかる。しかし、多民族社会においては、初対面でも最初に交わす言葉がユーモラスであったり、ジョークを交えた自己紹介であったりして10年来の友人みたいな会話も珍しくないらしい。

まして友人同士であれば強烈なユーモアもあ

る。昔見た映画で、今でも鮮明に覚えているシーンがある。それは西部劇で、瀕死の重傷を負った老いたガンマンに友人の保安官が「いっぷく吸うかい」とタバコを奨めたところ、老人は「体によくないから止めとくよ」と言ってにっこり笑って息をひきとったシーンである。日本の時代劇では、なかなかお目にかかれない場面ではないだろうか。

では最後に最近面白いと思ったジョークを2～3ご紹介しよう。

その1

子供が親に向かって吠えていた。

「産んでくれなんて頼んでなかったぞ！」

父親は怒鳴り返した。

「頼まれていたら断っていたさ！」

その2

「もし手術が必要と判断したら治療費の支払は大丈夫ですか？」

患者は聞き返した。

「もし私にお金がなかったら手術は必要なくなるわけですか？」

その3

～ サラリーマン川柳より ～

- ・父さんに「似てるね」と言われ、泣く娘
- ・オレオレに、亭主と知りつつ電話きる
- ・デジカメの、エサは何だと孫にきく

皆さん笑いを大切に！



クラブ奉仕部門別 研修セミナー報告

第2740地区クラブ奉仕統括委員

古宇田れい子

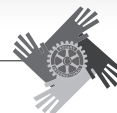
(佐賀南RC)



クラブ奉仕部門別研修セミナーが2009年7月11日14時より武雄センチュリーホテルにて「会員増強もあなたの手の手に」というテーマにて開催されました。今回のセミナーは、地区内全クラブの会長さん及びクラブ奉仕責任者の方、さらに地区内10グループガバナー補佐さん全員の方にお集まり頂き、総勢140名以上の参加者で行なわれることになりました。まず増崎幸一郎地区クラブ奉仕統括委員による司会の元、高城ガバナーの点鐘により始まりました。セミナー冒頭では駒井英基地区クラブ奉仕統括委員長によって、10年で2740地区では25%に及ぶ会員減少が続いているので地区内のクラブの皆さんに危機感を持って頂き、今年こそ高城ガバナーの方針の如く1クラブ2名の純増達成を努力しましょうという趣旨の挨拶が行なわれました。次いで飯盛康登地区会員増強委員長による事前アンケート結果の報告がなされました。その中でユニークな会員増強の努力をされたクラブとその方法の紹介が行なわれ、青

年会議所の会員やOBの方への働きかけを従来より積極的に又早い段階で行い成果を挙げた事例や入会金や会費の減額、入会候補者としてのオブザーバー体験入会で雰囲気味わっていただくことで成果を挙げた事例、女性会員の勧誘で成果を挙げた事例等が報告されました。現時点では女性会員のいるクラブ数は26/57であり、全体としては45%ほどでありますとのことでした。

つづいて、佐藤豊第9グループガバナー補佐による「会員紹介ネットワークシステム」について説明がなされました。事前アンケートの結果によると各クラブは既に会員紹介システムについては既に理解ができているとの事でしたが、ロータリ



一の友8月号では、会員増強月間としてこのシステムの運用について、特集が組まれているので、各クラブ会員の方々に今一度熟読していただきたいとの事でありました。

そして、特別講演「会員増強もあなたの手の中に」という演題にて第2720地区直前ガバナーRRIMC杉谷卓紀様にパワーポイントを用いた世界のロータリーの現状を交えた分かりやすいご講演をいただきました。今回は講演の内容を資料として事前に配布していただいていたので、貴重な情報が参加者の手元に残り、真に勉強になる内容でした。今回の特徴としては、特別講演自体の時間を短くし、参加者の方々に各グループ別に10テーブルに分かれて着席していただき、各テーブルごとに会員紹介システムの運用法やクラブの会員増強の現状や問題点、今後5年後のクラブのあり方についてなどの問題提議に対して意見交換を頂くことでありました。45分間の各グループ別の討議の後、各テーブルを代表して。各ガバナー補佐さんより討議内容の発表をいただきました。問題点としては、ロータリーの目的が薄れて魅力

がなくなっている。会員の減少に危機感が少ない。組織体質に疲労があるのではないかなどといった内容が挙げられました。また、それらの解決策として、まずは退会防止に努める。入会金の減額や新しい職業分野を開拓して取り込む、もう少し幅広く女性会員も勧誘努力する。転勤会員に対しては、会員紹介システムを活用して転勤先へ紹介する。クラブ自体の活動内容の増強を図る。(職業奉仕へ力を入れる。地域公共性の高い卓話に力点を置く。クラブ間の交流を図って競争する。夜の例会を増して親睦を深める等)ロータリーの知識を深めるような教本の充実を図るなど色々と提言がなされました。

以上の如くのセミナーとなりましたが、今回は一つの明確な回答を出すセミナーではないので、現在の地区内ロータリークラブの問題点を、参加者皆がそれぞれ熱心に考え、活発に意見を交換し、それらの情報を共有する良い機会となったことと思います。このセミナーが皆様方の今後のロータリー活動に参考になれば幸いです。





第一回国際親善奨学金候補者 研修会報告

財団奨学・学友委員長 笠

慶 宣
(佐賀南RC)

10-11年度派遣予定の国際親善奨学金候補者研修会を、7月26日（日）に佐賀市のアバンセにて開催いたしました。当日は、早朝からの激しい雨により、大雨・洪水・氾濫警報が発令され、アバンセ付近の道路は冠水、もちろん佐賀駅周辺の道路は通行止めという状況でした。JRのダイヤも大幅に乱れ、JRを利用してこられた方々には、大変なご苦勞をおかけいたしました。

そういう悪天候の中、候補者の4名、顧問ロータリアンの方々4名全員にご参加いただき、また高城ガバナー、高木地区幹事、相原副幹事、前田国際奉仕統括委員長、森永R財団委員長、そして学友の方々、委員会の皆様にご出席いただき、本当にありがとうございました。

河川の氾濫危険水位に達しているとの情報も入り（一部堤防が決壊した河川もあったが）、帰り

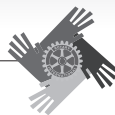
のことに配慮し研修時間を短くしようと進行を速めたので、わかりづらいところも多々あったと思います。しかし、皆さん懸命に話を聞いていただき、特に学友からのアドバイスは大変参考になったという候補者の声をきいて、胸をなでおろしました。

あと2回研修会を佐賀市内で実施しますが、ご出席のほどよろしく申し上げます。

＜主な研修内容＞

1. ロータリーについて
2. ロータリー財団について
3. 顧問ロータリアンの責務について
4. 奨学生の責務について
5. 研修会その他日程について
6. 学友からのアドバイス





会員寄稿



「島原へ」

第8グループガバナー補佐
山口 賢也

私たち諫早に住んでいる者、特に高齢者は物心付いた頃から島原鉄道のことをバラ線と呼び親しみを込めているものです。高校時代には通学に多くの友が利用していました。同窓会では、毎回バラ線通学が話題に上り、ノスタルジーを皆で共有しているものです。

わが家の12、3メートル先に鉄路があり、警報機の音とともに列車がガタゴトと走ってくるその音にはうっとうしさは感じません。逆に時計代わりに利用している面もあるようです。

2009～2010年度第8グループガバナー補佐を拝命して以来、酒大好き人間なので他人が飲んでいるのを横目で見ているのが辛抱できません。で懇親会がある会合には数回利用し、島原を往復しました。子供の頃の春、亡父に連れられて島原に遊びに行った沿線は、菜の花、レンゲソウが花盛りで田園風景の中に春を満喫したものでした。

今、車窓から目に飛び込んでくるのは、郊外型の大型店やパチンコ店ばかり、殺風景この上なし

です。しかし、列車のガタンゴトンという音がいいですね。新幹線、長崎本線の電車、自宅で聞く音とは違う音の世界でした。

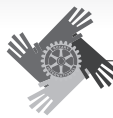
あっという間の1時間でしたが、いつも大いに楽しませてもらっています。

ガバナー事務所のロータリアンはいつも島鉄で来てくれてありがたいと言ってくれます。南線が廃止になって、はや一年。いつまた在来線にもと思われる乗客の数ですので、地元の人々の心境はいかばかりかと思います。

数年前には、諫早南ロータリークラブの新世代活動として、長崎県立希望が丘高等養護学校生とトロッコ列車に乗り、火砕流のすごさを体験したのも今はなつかしいものとなりました。あの路線までは残して欲しかった、残念です。

10月31日には、地区大会が島原で開催されます。今までI・M等多くのロータリアンが利用しているようです。さぞや大挙して乗り込むことでしょう。今から期待は大です。





The future of rotary is in your hands

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

ガバナー公式訪問

● 鹿島ロータリークラブ

会長：中村 一之
幹事：馬場 謙吾

7月10日、高城昭紀ガバナー、宮崎幸久ガバナー補佐、高木義和地区幹事をお迎えして、嬉野ロータリークラブとの合同公式訪問例会を開きました。

就任されたばかりの高城ガバナーが第一番目のスタートを切られ、初回という光栄を、鹿島、嬉野両クラブが賜ったこととなります。例会に先立って行われた懇談会では活動計画に基づき、3日前に行ったクラブアッセンブリーにも言及して行いました。前年度会員増強5名、退会者ゼロという快挙を成し遂げたその要因の一つに、今、親睦活動が非常に盛んで「家族旅行」「新年家族会」「観月会」「寿の会」等々、当会員ご夫人の会「万寿会」の協力参加もあってクラブが楽しく、活気があり、それが退会防止につながり、活動も活発になっているとの旨話をしたらガバナーから称賛のお言葉を頂きました。

例会では、RI会長のテーマ「ロータリーの未来はあなたの手に」について卓話いただきました。例会終了後は「割烹ひろ」に於いて、ガバナーにもご参加いただき、嬉野クラブとの懇親会を開き大変なごやかな雰囲気の中で親睦を深めることができました。ガバナーにおかれましては、今後ともお体に十分ご留意なされ、ご活躍されますことをお祈り致します。



● 嬉野ロータリークラブ

会長：谷島要三郎
幹事：中野賢司郎

7月10日（金）高城昭紀ガバナー、高木義和地区幹事、宮崎幸久ガバナー補佐をお迎えして鹿島ロータリークラブ、嬉野ロータリークラブとの合同ガバナー公式訪問例会を鹿島商工会館で緊張の中にも和やかな雰囲気で行われました。これも高城ガバナーの柔らかな持ち味に依るものでしょうか。

さて、今年度の地区運営方針が示され、ロータリー財団年次寄付目標、米山記念奨学金年間寄付目標に付いて、内容の説明が詳しくありました。例会時にスライドでお話しされた「ポリオ・ワクチン」提供の為の寄付金は、嬉野産業祭バザーや、会員一人一人の献金によります。

また、ロータリーを外へ発信するため、嬉野中学校の支援ボランティア団体である地域と学校が一体となって活動するコミュニティサポートスタッフに加入して、花の苗植え協同作業をしております。高城ガバナーは、会員増強の話の中で地元の新会員紹介に付いても触れられ、ありがたい言葉も戴きました。嬉野ロータリークラブも今年度は、特に会員増強に力を入れ、今回の鹿島ロータリークラブとの合同例会を機会に親睦交流が図られ、新会員の相互紹介が一人でもできればと思います。

又、当クラブの一大行事である40周年記念行事を、平成22年4月16日（金）に開催するにあたり既に実行委員会を立ち上げ、企画立案中であります。どうぞ当日是非、ご出席戴きますようお願いしております。

今後とも、御指導よろしくお願い致します。



高城ガバナーと谷島会長
バナー交換です



ガバナー公式訪問

● 佐賀西ロータリークラブ

会長：中尾 偕主
幹事：垣内 利秋

梅雨のつかの間の晴れび 7月13日、佐賀西ロータリークラブの椿事、高城昭紀ガバナー公式訪問の例会を迎えた。高木義和地区幹事、金武良弘ガバナー補佐、川副隆裕ガバナー補佐スタッフの方々も同席された。

今年、当クラブは1959年7月25日、国際ロータリークラブに承認された50周年の節目の年である。例会の初めに、RI会長ジョン・ケニー氏より祝意籠るメッセージを高城ガバナーより賜った。「50周年を機に会員の英知と行動力を結集し、奉仕活動の更なる飛躍を」と言うものだった。現在、会員は47人（設立会員21人）だが、設立時より財団寄付は87人（マルティプル24人）。米山功労者として顕彰されたのが52人（うち久保志郎君8回、前田博憲君は親子2代で11回）となっており、ロータリー奉仕活動への感謝の現われと特筆に値する。米山奨学生は、延べ25人を受け入れ、派遣学生も多数におよび国際奨学事業への多大な貢献も評価された。予算措置に苦慮した外部卓話10人招聘する予定だが、今後の有益な奉仕活動に生かしたい。地区補助金の交付は、50周年記念事業として佐賀市に寄贈した熱気球の係留飛行による各種イベント企画を通し、施設の子どもらとの交流促進に活用する予定。尚、被虐待児童や被家庭内暴力者への人道的支援策も積極的に講じる方針だ。ところで、高城ガバナーの地元、「島原」は、島原半島東岸に位置する雲仙への入り口にあたる。西欧の宗教戦争と大航海時代の世界戦略から国の砦となった旧城下町だ。3月の研修会議の会場までの沿道は、麦畑は延々と続き、畑の土は黒々と柔らかく豊かであった。5月地区協議会、島原路はとうもろこし畑の白い花で覆われ感激した。そして水。澄み切った湧水と焼酎のコラボは絶妙で、島原は新鮮な出会いの連続だった。18年前の雲仙岳・火砕流の惨状は今なお記憶に残っている。苦難に敢然と立ち向かった土地柄でもあるが、当時から災害復旧の土地改良に当クラブ会員企業が助力しており、島原一佐賀の友好の絆の深さをしのび、筆者も幹事のおりロータリーの友に投稿した。それゆえ、さらなる奉仕の精神を育み、知見涵養の場となる地区大会に寄せる期待も大きく膨らむばかりである。



● 小城ロータリークラブ

会長：池田 安正
幹事：古川 幸夫

7月15日に、高城昭紀ガバナー、中尾健治ガバナー補佐、高木 義和地区幹事をお迎えし、公式訪問が実施されました。

会長・幹事・会長エレクトとの懇談会においては、クラブ運営について適切な御指導又、例会でもRI会長メッセージ・地区組織等詳細に説明して頂き深く感謝いたします。

当クラブは、1965年に設立し、現在会員数は29名・名誉会員1名、内女性会員2名であります。近年会員増強・退会防止には苦慮しておるところではありますが、昨年度中の新会員4名の純増に引き続き今年度についても目標達成する様努力致します。

また、次期クラブリーダーの育成にも積極的に取り組み、指導者育成会議等の参加促進を行います。

今年度も夜の例会をとり入れながら、近隣クラブとの合同例会を行い親睦を深めて参りたいと思います。
(主な活動計画)

＊社会奉仕活動：環境保全(観光地清掃・緑化推進)、人間尊重(高齢者・新入学児童母子家庭への慰問激励)

＊新世代奉仕：小中学生の野球大会、中学生のサッカー大会、高等学校生徒へ奨学金の支給

私どもロータリアンは、RI会長テーマ「ロータリーの未来はあなたの手の中に」基本理念を再認識し身近に履行できるような課題に取り組んで参りたいと思います。





The future of rotary is in your hands

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

ガバナー公式訪問

● 佐賀ロータリークラブ

会長：堤 光昌

幹事：田島 広一

7月16日（木）緊張した面持ちで、堤会長と共に高城ガバナーをお迎えしました。高城ガバナーより開口一番「あなたが幹事さん？」「はい！」と答えると続いて「何度も電話をしてすみませんでした」とおっしゃいました。と言うのも数日前に2度程、ロータリークラブの“タカギ様”より伝言です、と当社の事務員から伝言を受けており当日の内容のご指示があっておりました。てっきり私は高木地区幹事からの伝言と思っていましたが、まさかガバナー自らこのような電話をされていたとは想像もしていなかったのです。



しかし、このような処からもガバナーのお人柄を垣間見たような気がしました。懇談会では終始和やかな雰囲気でしたが、高城ガバナーからの質問に対して私どもが正確にお答え出来ない程、当クラブの事をご存知であったのには感嘆した次第です。例会においてのガバナーの卓話ではジョン・ケリーRI会長のテーマを述べられ、特にポリオについては詳しく説明され、多くの会員がポリオについて良く解ったと口々に言っておりました。「野口直前ガバナーがいらっしゃるので本当にやり難いな～」と高城ガバナーはおっしゃっていましたが、ガバナーと会員との距離を縮める事の出来た良い例会になったものと確信しております。

当日は私の不手際も多々あり、また十分なおもてなしも出来なく大変申し訳ございませんでした。ありがとうございました。

● 牛津ロータリークラブ

会長：毛利 正己

幹事：橋間 敏範

7月17日金曜日、高城ガバナー、高木地区幹事、中尾ガバナー補佐をお迎えして公式訪問・クラブ協議会が開催されました。11時に高城ガバナーがお見えになり会員全員でお迎えいたしました。その後、当クラブ会長、会長エレクト、幹事、副幹事と懇談会が開催されました。ガバナーの気さくなお人柄に接することができ、なごやかな会場の中で当クラブの現況報告、親睦活動などを説明いたしました。その中、国際奉仕部門で「2年に1回夫人同伴で海外旅行をしています」と、お伝えしますと高城ガバナーは我がクラブも海外旅行を計画したいと笑顔で言われました。



例会では、パワーポイントを使つてのRI方針を説明され、特にポリオに関する解説は非常に詳しく話されました。その後、クラブ協議会を実施し我がクラブの中尾ガバナー補佐の所感をいただき、最後に高城ガバナーより総評をいただき、無事公式訪問の日程を終えることができました。暑い中のご訪問ありがとうございました。



● 佐賀南ロータリークラブ

会長：鐘ヶ江輝昭
幹事：下村 敬司

梅雨明けが待たれる、7月21日（火）に高城昭紀ガバナー、金武良弘ガバナー補佐、高木義和地区幹事をお迎えし、公式訪問例会を開催致しました。その2週間前の7月7日（火）に、当クラブがホストで第1・第2グループ10RC合同例会を開催し盛会のうちに終了致しました。

21日は、公式訪問例会に先立ち、ガバナー、ガバナー補佐、地区幹事、会長、会長エレクト、幹事との懇談会が行われました。

例会時のガバナー卓話では、RI会長方針そして、国際ロータリーのテーマ「ロータリーの未来はあなたの手の中に」のもと、ロータリーの素晴らしさやロータリーの存続のためには会員増強が不可欠だと強調されました。

会員増強は、今年度、当クラブが目標としているテーマに合致し、頑張ろうという思いを強くしました。

また、ガバナーの卓話に会員一同、ロータリーへの強い気持ちを再確認致しました。高城ガバナーにおかれましては、お身体に十分ご留意なされて、ますますご活躍されますことをお祈り致しております。



● 佐賀北ロータリークラブ

会長：西田 信行
幹事：吉野 英明

2009年7月22日という日は、我クラブのメンバーにとって終生忘れ得ぬ日のひとつとなったであろう。46年ぶりの世紀の天文ショー「皆既日食」を昼間に経験し、興奮さめやらぬその夕方に高城昭紀ガバナーをお迎えしたのだから感慨もひとしおと言うところである。

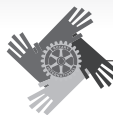
定刻の18時半。クラブ協議会から入られた高城ガバナー、高木地区幹事、金武第2グループガバナー補佐のご臨席のもと第1911回例会の点鐘はなされた。注目のガバナー卓話は大きく3部に分かれていた。

まず7月1日のガバナー就任から今日までの活動報告がなされたが、各クラブを訪問するなかで思いもかけなかった人との出会いの話もあり、ロータリーにおける「つながり」「ひろがり」の妙をみる想いであった。

ついでジョン・ケニーRI会長の今次テーマの解説に入り、特に「ポリオ撲滅」に賭ける会長の熱意と信念を訴えられたが、最後の時間で「ポリオ」とはなにか？という解説をしていただいたことは大変ありがたかった。団塊世代の筆者らにとって「ポリオ」というと小さい時に生ワクチンを投与された思い出がある。スプーンに乗った液体状のワクチンは甘さに飢えていた当時の学童にとって甘露そのものに思えたものだ。記憶のかなたに去っていた「ポリオ」に対する無関心に警鐘を鳴らし、撲滅に今一度の大きなエネルギーがいることに気付かせていただいたこと、まことにありがたかった。

遠路、それも連日の佐賀入り。大変お疲れ様でした。





The future of rotary is in your hands

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

ガバナー公式訪問

● 多久ロータリークラブ

会長：古川 眞澄
幹事：前田 憲秀

7月23日(木) 日食の翌日に、高城ガバナー、高木地区幹事、第一グループの中尾ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。午前中に高城ガバナー、中尾ガバナー補佐、高木地区幹事さんと懇談会を開催し、会長、幹事、会長エレクト、飯盛地区会員増強委員長が多久クラブの現状等について意見交換を行いました。12時30分からの例会では食事の後、高城ガバナーに「ポリオプラス」についての卓話をしていただき、プロジェクターを使って分かりやすくお話をいただきました。例会終了後、クラブ協議会を開催し、これから一年間の各委員会の行動予定の発表を行い会員一同頑張って行動していきたいと決意を新たに致しました。当クラブは今年度、創立から25年目になりわずかではありますが一步一步成長しているのではないかと考えております。更に会員増強をはかり、親睦や奉仕に会員一同努力していきたいと思っております。皆様のご指導を賜りますようよろしくお願い致します。高城ガバナーには、暑い中での公式訪問大変ですが、これからもご健康で益々のご活躍をお祈り致しております。



● 唐津東・唐津中央ロータリークラブ

唐津東RC
会長：八島 弘直 幹事：下西 昭
唐津中央RC
会長：米田 均 幹事：成富 茂安

去る7月24日(金) 高城昭紀ガバナー、山本晴彦ガバナー補佐、高木義和地区幹事を迎えての公式訪問を、唐津中央ロータリークラブ、唐津東ロータリークラブ合同で、唐津東ロータリークラブ例会場にて行いました。

事前の懇談会でクラブの現況等を報告、問題点、改善点など意見交換を行い、今後の取り組みなどアドバイスを頂きました。

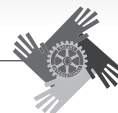
唐津中央ロータリークラブは、1994年2月18日に設立総会が行われ、1994年3月16日に国際ロータリー加盟が承認され、1994年6月26日にチャーターナイトが行われました。

佐賀県北部に位置する、唐津市と玄海町を区域とし、現在会員33名でクラブ運営を行っております。ここ数年退会が相次ぎ、会員増強も厳しい状況です。

ガバナー卓話の中で、「今までの世界のロータリークラブの支援によって、ポリオに罹患した子供の数が激減、あと少しで撲滅できます」といった趣旨の話をして頂いた。

ガバナーとの懇談会で御指導頂いたことをふまえ、「例会が楽しく いつも誰でも笑顔で、相手の視点に立って物事を考え、思いやりの心 感謝の気持ちを忘れずに持ちつづけるクラブづくり」に取り組んでいきたいと思っております。





ガバナー公式訪問

● 有田ロータリークラブ

会長：下 今朝隆

幹事：深川 祐次

7月27日（月）、高城昭紀ガバナー、宮崎幸久ガバナー補佐、高木義和地区幹事をお迎えして、公式訪問例会を武雄ロータリークラブ様と合同開催という形で催しました。

会場は武雄ロータリークラブ様が通常使用されている武雄センチュリーホテルで行われ、高城カバナーにおかれましてはお忙しい中、貴重な時間を割いて頂き感謝いたしております。



当日は例会に先立って、カバナー、カバナー補佐、地区幹事による会長、幹事、会長エレクトとの懇談会から始まり、会員増強クラブ純増2名という目標について意見を交換しました。

また、例会時には高城カバナーより、今年度の地区運営方針である

- 1、会員増強目標：クラブ純増2名
- 2、ロータリー財団年次寄付目標（23万\$）
- 3、米山記念奨学会年間寄付目標（2500万円）
- 4、クラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）の推奨

についての講演があり、その後は懇親会で盛り上がりました。

武雄ロータリークラブ様のメンバーとも友好を深め有意義な例会となりました。

● 武雄ロータリークラブ

会長：中尾 直弘

幹事：平岡 清宏

前日の夜自宅に、高城ガバナーから明日は4人で参りますの電話で、ガバナー公式訪問は始まりました。翌27日、高城ガバナー・高木地区幹事・宮崎ガバナー補佐をお迎えして、武雄センチュリーホテルにて、有田・武雄合同公式訪問例会が開催されました。

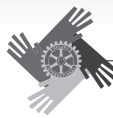


会長・幹事・会長エレクトとの懇談会では、色々のご指導を賜り勉強になりました。その際には、当クラブが実施しています無料法律相談に興味を持たれ、又弁護士会員が3名も在籍している事に驚かれておられました。

合同例会では、本日入会の新入会員にバッチを着けて頂きました。又、チャーターメンバーで創立以来47年皆出席の岩谷君に対して、ガバナー愛用のバッチを贈呈され称賛されました。卓話の中では、会員増強の必要性和ポリオ撲滅への協力をお願いされました。

懇親会では、当クラブ自慢の雑技団の方々や会員の心からなる歓迎の余興に楽しんで頂き、ガバナー直々にカラオケまで披露して頂き和やかな雰囲気の中、親睦を深める事が出来ました。余韻を持って夜遅くまで、盛り上がっておりました。

最後に、会員の皆様のご協力に感謝申し上げ、2740地区の発展と高城ガバナーのご活躍をお祈り致します。



The future of rotary is in your hands

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

ガバナー公式訪問

● 神埼ロータリークラブ

会長：福山 和彦
幹事：藤吉 洋次

神埼ロータリークラブでは、去る7月28日、高城昭紀ガバナー、金武良弘ガバナー補佐をお迎えして、公式訪問例会を開催いたしました。

例会前には、会長、幹事、会長エレクトとの懇談会が行われ、今期のクラブ運営に関して、ご指導いただき、たいへん有意義な時間となりました。例会では、高城ガバナーより、国際ロータリーならびに地区方針、クラブへの要望、クラブ訪問の感想など大変判りやすくご説明いただきました。



クラブ会員とご一緒された昼食では、佐賀米のお弁当に「たいへん美味しい」と喜ばれ、弁当担当のクラブ会員にRIテーマバッジが贈られました。

今期も、当クラブでは「ロータリーの未来はあなたの手の中に」をテーマに、「楽しく活気あるクラブ」を基本に、親睦活動、会員増強、奉仕プログラムの計画実行に努めたいと思います。

今回、カバナーが提唱されている、今年度地区運営方針につきまして、クラブとしましては是非とも考えて行いたいと思います。

今後も、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

● 佐賀空港ロータリークラブ

会長：小林 孝治
幹事：承山 孝吉

7月29日（水）高城ガバナーの公式訪問例会が佐賀空港展望会議室で行われ第2グループの金武ガバナー補佐、高木地区幹事、川副ガバナー補佐スタッフ、ご同行のもとご来訪されました。

当日は、我がクラブに新会員3名（江口和徳君、池田光晴君、小山淳也君）が入会され、高城ガバナーからは記念すべき日に入会されたので退会しないようにロータリーを楽しんでくださいと激励の言葉を頂きました。



また、ガバナーの卓話はポリオ（小児マヒ）撲滅にロータリアンの絶大なる支援をお願いするとのことでした。

公式訪問例会終了後は高城ガバナーもご同席のもと、クラブ協議会を開催し小林会長、承山幹事はじめ各委員長による活動計画を発表し、最後に会員手作りの看板をバックに記念写真を一緒に撮って頂き、大変有意義な時間を過ごせましたことを深く感謝致します。

また、高城ガバナーには今年11月6日（金）に当クラブがホストとして開催いたします「第14回全国空港RCフォーラムIN佐賀大会」への出席をお約束いただき、重ねて感謝申し上げます。



ガバナー公式訪問

● 伊万里・伊万里西ロータリークラブ

伊万里RC 会長：一ノ瀬芳信 幹事：田中丸治樹
伊万里西RC 会長：武藤 宏 幹事：山崎 高広

7月30日（木）ガバナー公式訪問を伊万里ロータリークラブと伊万里西ロータリークラブの合同で行いました。

高城ガバナー、山本ガバナー補佐、高木地区幹事をお迎えし、例会に先立っての事前懇談会は高城ガバナーの思いやりのある優しい口調に、私どもの緊張もほぐれ有意義な懇談が出来ました。現在の会員数44名ですが、当日出席者29名、出席率80%でした。例会においては、高城ガバナーの優しい口調でお話されるポリオの歴史を、静かに聞き入る会員全員の姿を見て大変嬉しく思いました。



また、40年連続出席の太田明二君や米山奨学委員長の曾我文雄君、新世代委員会（家族委員会）への質問をいただき、クラブの活動状況を説明することができ大変良かったと思っています。今後のわが伊万里西ロータリークラブの活動の励みになります。

忙しい中での公式訪問、高城ガバナー、山本ガバナー補佐、高木地区幹事、誠にありがとうございました。尚、1年間ご指導の程、宜しく願いいたしますとともに今後益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

文 庫 通 信

<263号>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

<ロータリー情報>

- | | | | | |
|----------------------------------|---------|------|----|----------|
| ◎「ロータリー綱領について」 | 豊田章二 | 2009 | 2p | (D.2670) |
| ◎「『奉仕の理想』に関する一考察」 | 岩 渕 均 | 2009 | 3p | (D.2770) |
| ◎「なぜ決議 23-34 が重要なのか」 | 山 崎 淳 一 | 2009 | 2p | (D.2830) |
| ◎「ゴール無きロータリーの行方（年表的考察）」 | 諏 訪 昭 登 | 2009 | 4p | (D.2710) |
| ◎「日本における正三の“職業倫理観”とロータリーの“職業奉仕”」 | 綱 木 保 利 | 2009 | 2p | (D.2510) |
| ◎「ロータリアンの誇りと自覚（責任）」 | 伊 藤 政 一 | 2009 | 2p | (D.2800) |
| ◎「DLP(District Leadership Plan)」 | 服 部 芳 樹 | 2009 | 2p | (D.2630) |

[上記申込先：ロータリー文庫（コピー / PDF）]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6465・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



職業奉仕月間に寄せて

職業奉仕委員会 委員長 岩崎修一

ロータリーの言葉は難しいとよくいわれます。ロータリーに入会したての頃、聞き慣れない言葉が多く、首をひねってばかりいたのは私だけではないでしょう。その中でも特に「職業奉仕」は難解です。

「職業奉仕」については多くのロータリアンが意見を述べておられます。また、どれが正しいかとか、正しくないかという議論も多くなされていますが、結論はなかなか出ていないようです。簡単に結論が出ないということは、やはり難解だということなのでしょう。

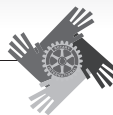
私はこれまで、ロータリーが1900年代の初めにシカゴで結成されたという点からみて、当時の時代背景が大きく影響しており、それこそが「職業奉仕」の原点であると思っていました。すなわち無法者社会の中で、職業道德の退廃を背景に、少しでも良い社会を求めて職業奉仕理念が生まれたのだと考え、それこそがロータリーの唯一の存在理由だと思っていました。

しかし、いろんなお話を聞くうちに（も

ちろんそのような社会情勢であったからこそ、ロータリーが生まれたのでしょうか）、ロータリーは、私が想像していたほど「職業奉仕」を大上段に構えて誕生したのではない、ということが判ってきました。そして、ロータリー誕生後しばらくしてから、アーサー・フレデリック・シェルドンが「職業奉仕」について一つの指針を与えたことを知りました。

私は、「職業奉仕」とは、「誠実に仕事をする事で社会に役立ち、結果的に自分の事業も繁栄する」という考え方ではないかと思っています。これはまさに、多くの一般企業の「経営理念」とか「企業理念」とかいわれるものと一致します。そう考えれば「職業奉仕」は特別のものではなく、経営における、ごく当たり前の、最重要な成功要因だということができると思います。

今月は職業奉仕月間です。いま一度「職業奉仕」について考えなおしてみたいと思います。



米山カウンセラー研修・交流会

米山記念奨学委員会委員長 北郷雅子

2009-2010年度の米山記念奨学会カウンセラー研修セミナーは、2009年8月2日（日）、長崎全日空ホテルグラバーヒルで開催されました。カウンセラー研修セミナーは、各奨学生の奨学期間中のカウンセラーの役割などについて勉強する研修セミナーです。委員長の開会挨拶に始まり、本年度の米山地区委員の紹介などを含め参加者全員の紹介が高田昌一郎委員（長崎中央R C）からありました。

来賓挨拶として（財）米山記念奨学会理事、隅田達男理事より6年間務めた理事の退任の挨拶と、8月から新理事として就任される栗林英雄（財）米山記念奨学会新理事より理事へ向けての抱負が述べられました。来賓挨拶の最後に高城昭紀ガバナーよりカウンセラーの皆様へ激励の言葉が贈られました。

「米山学友からのメッセージ」と題してテオ・チュインさん（世話クラブ諫早西R C・2008年3月長崎総合科学大学卒業・マレーシア・現在、（株）タケシマ機械輸出営業部勤務）から奨学生当時の思い出やエピソードなどの卓話をいただきました。



円卓で昼食を取りながら、それぞれの経験や話題について、地区役員と交流をしていただきました。又、各カウンセラーお一人ずつの自己紹介、カウンセラー経験4ヶ月の話題と今後の抱負などが語られました。

その後、委員長より「世話クラブ&カウンセラーの役割」について、米山奨学会よりのPPTを使って説明を行い、4月のオリエンテーションでお伝えしたことがさらにご理解いただけたものと思います。

最後に隅地区委員（佐賀西R C）の閉会挨拶、そして恒例の「手にてつないで」を歌い、解散となりました。

地区米山奨学活動もそれぞれのお世話クラブとカウンセラーのご協力にかかっています。又、奨学生が地区内のロータリアンとの交流（出前卓話）などをスムーズにできますように、ロータリアンの皆様の暖かいご支援を今後ともお願いいたします。



「米山記念奨学月間にあたって」

・・・未来の親善大使を育て、世界の平和に貢献するために。

米山記念奨学委員会委員長 北 郷 雅 子
(長崎出島RC)

米山奨学事業は2007年7月に財団設立40周年をむかえましたが、2004年11月のRI理事会で、日本のロータリアンによる多地区合同活動の奉仕であると正式に認められました。

全国のロータリアンから支援していただいている事業だけに公明正大であることを常に念頭におき、理事会（第2740地区は8月までは隅田理事、新任は栗林理事）・評議委員会（ガバナー、エレクト）・地区米山奨学委員会などの意見を聞き、オープンな事業です。

また、学生が地域の中に住んでいて、米山奨学事業として目に見えやすいし、しかも精神的なものも多く含んでいるという、国際理解を深めるための交流が日常の中で得られるすばらしい制度です。

米山奨学会は、外国人留学生に対する民間の奨学金制度支援団体としては日本で一番大きな団体で、日本のロータリアンが誇りにしてしかるべき事業です。その成果は数字で表すことは出来ませんが、優秀な留学生が日本で学び、民と民との交流をはぐくむことで、いずれ必ず国際平和に貢献するはずです。来日して初めて日本を見直す学生も多いですし、ロータリアン自身も意義のある奉仕であると同時に国際理解を深める点で日本全体としても大きな役割を果たしている活動といえます。

第2740地区では、今年15名（内継続1名）の奨学生をお世話いただいています。

月に一回、奨学金を受け取るだけの縁ではなく、世話クラブの会員全体が奨学生を心から迎えて、激励したり、クラブの行事に呼んだり、お世話クラブ以外のクラブへも卓話などを通して触れ合う機会を作ることが一番の広報になると思います。

米山奨学事業は、ロータリアンからの寄付で活動しているわけですので、皆様の普通寄付、特別寄付を本年度も目標額一人1万円、近づくようにお願いいたします。

2008年度（2008年7月～2009年6月）

普通寄付金	特別寄付金
7,616,750	14,688,259
合 計	一人当たり平均寄付額
22,305,009	9,757

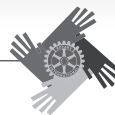
いろいろな記念日〔クラブ創立記念日〕〔地区大会記念寄付〕や〔個人のロータリアンの記念日〕などに特別寄付をお願いいたします。

ガバナーからのメールマガジン、ホームページで、「ハイライトよねやま」がご覧頂けます。

「ロータリーの友」の「よねやまだより」もご覧下さい。

また、地区大会では昨年同様、奨学生とともっと身近に感じていただけるような企画をされているようですので、お楽しみに。

最後に、皆様の更なる暖かいご支援をお願い申し上げます。



ハイライトよねやま 114

1 寄付金速報 — 2009-10 年度の予算、14 億 5 千万円を目指して —

2009-10 年度の最初の月である 7 月の寄付金は、約 2 億 900 万円でした。前年度に比べて 6.2% 減、約 1,400 万円の減少です。普通寄付金が 3.2% 減、特別寄付金が 15.2% 減と、特別寄付金が特に厳しい滑り出しとなりました。この数字は、過去 10 年間では 2004-05 年度に次いで 2 番目に低い金額です。今年度の予算目標額は前年度と同じ **14 億 5,000 万円**です。今後、より一層のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2 奨学生の募集が始まりました！

2010 学年度の指定校が 8 月 10 日、当会ホームページ（HP）で発表され、いよいよ来年 4 月採用の新奨学生募集が始まりました。

地区米山記念奨学委員会からの報告により決定した指定校は、全国で 465 校（前年度 432 校）。被推薦者数は 1,702 人で、この中から地区の選考を経て新規採用者約 619 人が選ばれます。

今回の募集より、公平性の観点から中国・韓国籍の学部生に応募資格が認められ、多くの学校で有資格者（米山奨学金の対象となる留学生）が増加したことから、今年初めて指定校となったり、指定校に復帰したケースが多くみられました。また、大学・大学院以外を対象とする「地区奨励奨学金」を導入したのは 5 地区 9 校で、昨年度の 7 地区 11 校からやや減少しました。

地区奨励奨学金 導入(5 地区)	2550 地区	アジア学院
	2650 地区	敦賀短期大学
	2660 地区	JASSO 大阪日本語教育センター 大阪コミュニケーションアート専門学校 大阪ハイテクノロジー専門学校
	2680 地区	神戸 YMCA 学院専門学校 PHD 協会
	2710 地区	広島 YMCA 国際ビジネス専門学校 福山 YMCA 国際ビジネス専門学校
高専専攻科指定 (2 年ぶり 3 地区)	2530 地区	福島工業高専専攻科
	2740 地区	佐世保工業高専専攻科
	2800 地区	鶴岡工業高専専攻科
地区を越えた指定	2570 地区、2580 地区、2750 地区	

指定校に対し、推薦者を選ぶ際の「選考の目安」を提示した地区は 26 地区で、その多くが「国籍が偏らないこと」(21 地区)、「日本語運用能力」(19 地区)を希望しています。

募集要項・申込書は HP からダウンロードできるほか、8 月 15 日付で当会から指定校へ送付されます。

3 今年も『豆辞典』を発行します！



“よねやま”を理解するための基本情報がすべて掲載されている『豆辞典』を今年も発行します。

ポケットサイズの小冊子の中に、米山記念奨学事業の特長、財政、寄付金の使途、表彰制度や米山学友の情報などが網羅されています。この『豆辞典』は、10 月の米山月間資料として、全クラブに会員数分送付します。ぜひ手にとってご覧ください。





4 米山学友が中部名古屋みらいRCの創立会員に



中部名古屋みらいRCは、第2760地区【愛知県】と第2630地区【岐阜県・三重県】の財団学友や新世代プログラムOBなどが中心となって発足した新しいクラブ。カンボジア出身の米山学友のコン・テイリさん（2000-02年／名古屋大学大学院／岡崎東RC）は、その創立会員の一人です。

名古屋大学法政国際教育協力研究センターの准教授であるテイリさんは、カンボジアやベトナムの大学での日本法教育研究センターの開設に尽力してきたほか、この3月にはカンボジアで比較法学会を設立するなど、精力的に活動しています。学友としては、第2760地区米山学友会の監事を長年務め、ロータリーとの交流を続けてきました。世話クラブの岡崎東RCとも連携し、同クラブのカンボジア小学校支援プロジェクトにも協力しています。

「これまでも母国の力になりたいといろいろな取り組みをしてきたが、これから中部名古屋みらいRCの仲間と一緒に何ができるかを考えていきたい。米山奨学生としてロータリークラブで学んだことを、ロータリークラブの一員として、皆と力を合わせて実践していくのが楽しみです」と、入会の抱負を語ってくれました。

テイリさんは、米国のハーバード・イェンチン研究所のVisiting Scholar（客員研究員）として招へいを受け、今夏アメリカのボストンに渡ります。11ヶ月の滞在期間中、アメリカ国内のロータリークラブにもメークアップに訪れて、米山記念奨学事業のことや日本のロータリーの活動について紹介してくる予定です。

5 相次ぐ災害へのお見舞い

8月11日明け方に発生した駿河湾を震源とする最大震度6弱の地震、台風9号による豪雨被害など、各地で大規模な自然災害が発生しています。被災地の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。こうした災害時、外国人は情報から取り残され、孤立してしまいがちです。皆さまの周囲に米山奨学生・学友がいまいたら、ぜひ声をかけて下さいますようお願いいたします。

NEW1 ホームページが新しくなりました！

米山記念奨学会のホームページが8月10日に新しくなりました。大好評の事業紹介DVD2種、「すばらしい贈り物」（22分を3分割で配信）、「心をつないで、世界へ」（15分）も、動画で視聴できます。皆さまにとって最も関心の高い、奨学生や学友に関するニュースは更新頻度・情報量ともに高め、寄付の成果をより実感していただけるよう工夫しています。ぜひご活用ください！
URL：<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

NEW2 学友版新DVD 好評受付中！

顕著な活躍を遂げる5人の学友を紹介する新DVD「心をつないで、世界へ」（15分）。事業の成果を実感できる映像資料の決定版です。お申し込みいただければ、クラブ・会員に無料で送付しています。

【申し込み方法】

7月1日付でクラブに送付した「申込書」をFAX（FAX：03-3578-8281）するか、広報担当までお電話ください（TEL：03-3434-8681）

ロータリー米山記念奨学会の最新ニュース「ハイライトよねやま」は、当会ホームページにも掲載しています。月信等にご活用ください。ご希望があればEメールで配信します。担当者までご相談ください。HPはこちら→<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル3F

Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当：野津・峯



私たちの新しい仲間になられました方々を
ご紹介いたします。

新入会員紹介



伊万里RC

小山 晃 君



牛津RC

栗原 賢司 君



牛津RC

淵上 健 君



佐賀北RC

立石 泰彦 君



有田RC

大宅洋二郎 君



武雄RC

末津 直人 君



武雄RC

徳永 昭夫 君



唐津RC

井上 靖章 君



唐津西RC

櫻井 雄一 君



平戸RC

池田 直彦 君



平戸RC

大場 統昭 君



平戸RC

鶴丸 りか 君



平戸RC

宮崎愛一郎 君



松浦RC

埋田 悦造 君



松浦RC

山下 隆 君



佐世保南RC

太田 博道 君



佐世保北RC

熊井 雅人 君



佐世保北RC

中井 康晴 君



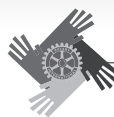
佐世保北RC

横尾 寛 君



大村北RC

村岡 絢次 君



The future of rotary is in your hands

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々をご紹介します。



大村北RC
山崎 寿文 君



島原南RC
石川 大介 君



島原南RC
兒玉 正年 君



島原南RC
本多 宏成 君



大村東RC
赤水智恵子 君



諫早RC
田実 貞昭 君



諫早RC
松下 昌弘 君



諫早RC
溝口 博志 君



長崎RC
黒木 幸一 君



長崎RC
合田 敏行 君



長崎RC
濱本 浩邦 君



長崎RC
本村 忠廣 君



長崎RC
山口 宏二 君



長崎西RC
木庭 健二 君



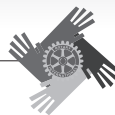
長崎東RC
青木 毅 君



長崎東RC
脇山 哲雄 君



長崎中央RC
後藤 義雄 君



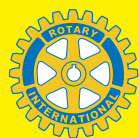
情報資料

クラブ・地区支援担当(日本事務局奉仕室)職員がロータリーの主な窓口であることをご存知でしょうか。

担当職員は、ロータリーに関するあらゆるご質問にお答えし、クラブ選挙、定款規定、クラブの伝統や慣習、クラブ運営、R I 理事会の方針といった内容について助言を提供いたします。これからの1年間、クラブを指導し、支援していく上で役立つ以下の重要なウェブ資料(リンク)をご活用下さい。

- www.rotary.org/ja/AboutUs/ContactUs/CDSandFinancialReps/Pages/ridefault.aspxから、クラブ・地区支援担当職員の名前と連絡先を検索することができます(検索結果は英語で表示されます)。
- [www.rotary.org/RIdocuments/ja pdf/club pres sec resources ja.pdf](http://www.rotary.org/RIdocuments/ja%20pdf/club%20pres%20sec%20resources%20ja.pdf)で、クラブ会長および幹事のためのリソースのリストをご参照ください。
- 「会員アクセス」を利用して、R I が保存するクラブ会員記録の変更、ロータリー財団の各種報告書の参照、クラブの半期報告書の印刷、クラブの人頭分担金の支払い、次期クラブ役員の報告を行なうことができます。詳しい利用方法、利用のヒント、よく尋ねられる質問は、www.rotary.org/Members/Training/ForAllRotarians/Pages/elearning.aspxをご覧ください。
- www.rotary.org/ShopClubPublications では、クラブに役立つ出版物、視聴覚資料、書式、用紙類をお探しいただけます。
- R I とロータリー財団の各種締切期日をはじめ、クラブや地区の運営や行事に関する事項が月ごとに記載された、クラブ会長とクラブ会長エレクトのための年間予定表、「クラブ会長のための月間チェックリスト」は [www.rotary.org/RIdocuments/ja pdf/pres checklist ja.pdf](http://www.rotary.org/RIdocuments/ja%20pdf/pres%20checklist%20ja.pdf) をご覧下さい。
- 実際のロータリー・クラブのベストプラクティス(最前の実践方法)に基づくクラブリーダーシップ・プラン www.rotary.org/ja/members/runningaclub/ClubLeaders/Pages/ridefault.aspx を採用し、クラブの長期計画の立案にお役立てください。

R I 職員一同、いつでも皆さまとクラブの奉仕活動のお手伝いをさせていただきます。R I からの援助が必要な場合は、クラブ・地区支援担当(日本事務局奉仕室)職員までお気軽にご連絡ください。



2009～2010年度
国際ロータリー第2740地区

地区大会



【日程】

- 10月30日(金)** 17:00～ RI 会長代理晚餐会
場所：雲仙観光ホテル
- 10月31日(土)** 12:30～ 大会本会議（第一部）
場所：島原復興アリーナ
- 14:20～ 記念講演
16:10～ 大会本会議（第二部）
18:30～ 記念懇親会（第三部）
場所：九十九ホテル
- 11月 1日(日)** 9:00～13:00 大会本会議二日目「親睦活動の日」
〔Aの部〕世界ジオパーク研修ツアー
8:00～ 〔Bの部〕記念親睦ゴルフ大会
集合場所：島原ゴルフ場

■ 記念講演 10月31日（土）

キャスター **草野 仁** 氏「いつもチャレンジ精神で」

〔レギュラー番組〕TBS「世界ふしぎ発見」
テレビ朝日「草野☆キッド」
テレビ東京「主治医が見つかる診療所」



国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2009-2010年度ガバナー 高城 昭紀

■ ガバナー事務所

〒855-8550 島原市高島2丁目7217 島原商工会議所2F
TEL: 0957-61-0121 FAX: 0957-61-0122

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2009-2010年度

国際ロータリー第2740地区 ガバナー 高城 昭 紀



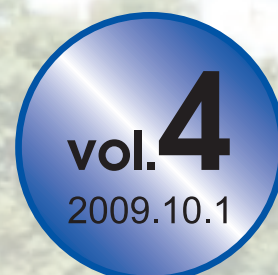
夕照の海：佐世保市

石岳展望台から見る九十九島の夕景は、黄金色に輝く海の中に島々が点在し、落ちていく太陽がドラマチックな演出をしてくれます。その島の中に潜水艦を思わせる島が目にとまり、通りを過ぎて行く小船を点景にしてシャッターを押しました。

写真撮影者：宮崎圭介氏（二科会会員）

CONTENTS

高城昭紀ガバナー	1
ガバナー補佐・リレー随想	2
新世代部門セミナー報告	3
国際青少年交換プログラム第1回オリエンテーション開催	4
ガバナー公式訪問	7
訂正とおわび	14
ロータリー財団月間にあたって	15
新入会員紹介・訃報・お知らせ	16
2012～2013年度ガバナー・ノミネー推薦の件	17
会員数・出席者報告	18
ハイライトよねやま115	19
文庫通信	21
地区大会のご案内	22





職業奉仕月間に思う

2740地区ガバナー

高 城 昭 紀

ポール・ハリスが1905年、シカゴで友人4人誘い合って初めて会合を開いたのが、ロータリーの始まりであったという事は、ロータリアンの皆様、よく御存じの通りであります。ポール・ハリスの回顧録に依りますと、当時のシカゴの社会情勢は、アメリカの西部開拓時代の殺伐たる気風が色濃く残っていて、自分の会社、商売、企業の業績さえ上がれば、例え他の企業を陥れる結果になろうとも、何の後ろめたさを感じないという風潮に満ち溢れていて、自分さえ良ければいいと云う、自己中心的な考えが主流を占めていた時代であったそうです。

最初の会合に参加した4人は、夫々職業を異にしており、その為自分達の職業上の悩みやら、その解決の手段やらも、お互いに相談しあったり出来るといふ事で、なるべく異業種の人を会合に誘ったということです。こうしてお互いが助けあったり、友情を深めあったり、その事によって自分の精神が磨かれ、人格形成が出来たりという、いい効果が表れてきた。そうしている中に、だんだんと会員も増え、その中の議論として、それぞれが自分たちの職業をどう考えているか、会員同志の職業をお互いにどう役立てて行くか、お互い同志だけで無く、社会の向上発展のために自分の職業をどう貢献して行けるのか、等を話し合っている中に、職業奉仕という考えが自然に提唱された。つまり自分の携わっている職業は、天から与えられた職業（天職）であり、この職業を通じて社会に貢献するのが自分に課せられた責務である

という信念で働くのが職業奉仕であると言えます。ロータリーが職業奉仕のことを英語で、Vocational Serviceと言って、職業をVocation（天職）で表し、BusinessやOccupationという言葉を使っていないのも尤もだと思います。この職業奉仕の心得を端的に表しているのが、ロータリーの例会でよく唱和される“四つのテスト”です。これを実行するのは大変難しいことです。しかし大事なことです。またこれは友人間のつきあいにとっても重要なことだと思います。

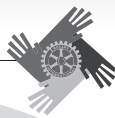
ロータリーはこのようにして、最初は例会で友人を作り、お互いが親睦し、助け合いながら、そのなかから、職業を通じて社会に貢献するという職業奉仕の概念が生まれてきたと言えるでしょう。ロータリーの綱領（目的を箇条書きしたもの）にも

第1条に、奉仕の機会として知り合いを広めること（親睦）。

第2条に、職業の道徳的水準を高めること。あらゆる業務は尊重されるべきであること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕すること（職業奉仕）。

第3条、第4条は社会奉仕と国際奉仕に関すること（省略）。

と言うように、まず親睦、そしてそこで培われた精神や誠意を職業を通じて社会に貢献することを推奨しているのです。クラブ例会には出来るだけ出席して、親睦を深め、人格を磨きましょう。



ガバナー補佐 ・リレー随想

第3グループガバナー補佐 宮崎 幸久

ガバナー補佐の役割を担っての出航より、早2カ月が過ぎ、各クラブの協議会、公式訪問を無事終えることができ、ホッとしております。高城ガバナー、高木地区幹事には猛暑の中、連日の各クラブ訪問を続けられ、大変なご苦労だったことと拝察申し上げます。

訪問させて頂いた、各クラブでは、心温まる歓待を受け、本当に感謝しております。

各クラブとも性格は各々違って、いろんな親睦活動や奉仕活動が行われているのを、見聞させていただきました。良いこと困ったこと、いろんな悩みが出ましたが、いずれのクラブでも、会員数の減少には頭を悩ませておられるのが、現状ではないでしょうか。

3月のPETSで野口清バスターガバナーより「ロータリーとは？」という演題で話がありました、その中で、ロータリーの基本である親睦と奉仕の関係とのバランスについて、分かり易く話していただきました。

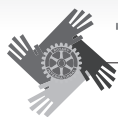
ポールハリスが、会員の親睦と利益を守るために「一業一会員制」の原則を採用したのがロータリーの原点ですが、それでは地域にお世話になっている者としては、エゴイズムのクラブになるのではないかとことから、奉仕という概念が誕生したわけです。しかしながら親睦と奉仕のエネルギーのベクトルは真反対で、奉仕を唱えれば唱えるほど、求心力が衰え、クラブが荒れるという悪循環になったために、親睦はクラブ内で、奉仕は連合組織(RI)で行うという形態が取られるようになり、ロータリーの拡大・発展が進んだとのこと。又、親睦は一般的な親睦活動というエ

ンターテインメントと、「心の友を得る」フェロシップとがあるが、真の親睦はこのフェロシップを深めていくことだと承りました。

今回、各クラブを訪問して見ると、各クラブ毎にいろんな親睦の輪があります、ゴルフや囲碁、カラオケ、野球・・・、その親睦の輪の中から、地域に根ざした奉仕の輪が生まれて来ているのも、見せて頂きました。例えば野球好きの親睦メンバーが、少年野球の育成に力を注いだり、歌や踊りが好きなメンバーが、チャリティーコンサートを開いたり、花が好きな同好会は、街の中で「花一杯運動」を展開したりと、地域に根ざした親睦と奉仕の輪が、上手く回っているのを見て、嬉しく思いました。

当然国際的な奉仕活動は、RIが主導することになるでしょうが、スポーツ、趣味、職業上の関心による親睦と友好は、フェロシップを作るきっかけや、奉仕を深める役割を果たしており、クラブの活性化と退会防止、延いては会員の増強にも、大いに役に立つのではないかと気がしております。

ところがロータリアンは、奉仕活動をあまり表に出したくない性格か、宣伝不足でシャイな面があります、出来れば今後は、何らかの広報活動等を通じて紹介、応援していくことも必要ではないかと痛感しています。



「新世代部門地区セミナー」を開催して

新世代統括委員会委員長 岡 部 景 光
(有田 R C)

9月の「新世代のための月間」を前に、8月2日（日）新世代部門地区セミナーを武雄市文化会館で開催致しました。高原武彦ガバナーエレクトをお迎えし、高城ガバナー事務所から地区大会・古瀬亨実行委員長の出席もいただき、各クラブの新世代委員会担当の方々、ローターアクトからも4人を迎えて総員71人でした。

5月10日（日）の地区協議会でも第2分科会・「新世代部門」の時間をもらって、地区内クラブの代表の方々に、新世代部門の現状を説明し協力を要請しましたが、なにせ「新世代部門」には所属委員会が多くて、各委員会の説明時間が足りませんので、今回のセミナーとなりました。

高原ガバナーエレクトの挨拶では、「ガバナーエレクトになって、初めてこの様な大勢の人達の会議に出席しての挨拶になります」と言われ、本会議前の打合わせで各地区委員長の意見交換時の熱心さに感心したと述べられ、新世代部門活動の楽しさと厳しさも感じとられていたようでした。

会議では各委員会毎に新世代活動への取り組みと、今後の事業計画を発表しました。インターアクトは、顧問先生の働きで会員の多いクラブが多く、ローターアクトは逆に会員減少とクラブ消滅の危機が数クラブにあります。インターアクトとローターアクトは未提唱クラブに、複数クラブでの提唱を訴え、ライラは新世代を全クラブが参加させることを願い、国際青少年交換は1～2人と極端に少なくなった派遣と受入学生を、増やして

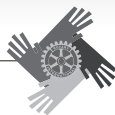
貰うことを話しました。折角のロータリー新世代育成プログラムが、生かされていないのを訴え理解を求めました。

未提唱のクラブにも、長年独自の新世代育成されているクラブが多数あります。少年野球や剣道大会、バレーボールなど子供達は、毎年の大会を楽しみにして稽古に励んでいますので、これを廃止するのは地域の子供達の夢を奪うことになり、つらい事ですがこれらも継続しながら、ロータリーのプログラムにも参加をお願いしたいです。ローターアクトの村上和哉地区代表からは、ローターアクト活動内容はクラブ奉仕、社会奉仕、国際奉仕、専門知識開発の四委員会ですが、会員が少なく委員会構成が成り立たっていない。提唱クラブのみならず近隣ロータリークラブからも会員加入をと、訴えました。

地区大会・古瀬亨実行委員長は、10月31日～11月1日の地区大会の概要説明と多数出席の要望があり、2日目は貴重で珍しい地質が見られる「世界ジオパーク研修ツアー」に参加下さいと述べられました。

最後に質疑応答の時間があり、司会や受付をローターアクトの人に手伝ってもらい、10月に「ローターアクト指導者研修会」の予定を伝えて、セミナーを無事終わりました。

皆様方、暑い最中の日曜日に出席いただきまして、ありがとうございました。



09-10年度国際青少年交換プログラム 第1回オリエンテーション開催される



青少年交換委員長 瀬戸 智彦

8月22日～23日の2日間にわたって交換学生、ホストファミリー、スポンサーロータリークラブ、関係ロータリークラブの会員等総勢28名で雲仙小浜ウェルハートピアを会場にして、今年度第1回目の交換学生プログラムの第1回オリエンテーションが開催されました。

このプログラムは日本と派遣先の国々との親善と国際交流を深めるため、1982年—83年 日本初の向笠R I 会長が“人類は一つ世界中に友情の橋をかけよう”という提言をされてまさにふさわしく、当2740地区でも1962年岩永光治パストガバナーが最初に実施されて以来長年継続されてきた青少年のためのプログラムです。

09—10年度は、長崎南推薦の岩永瑞希さん（長崎純心）諫早5クラブ推薦の前原優子さんがそれぞれカナダとフランスへ派遣されます。

一方来日学生ではアメリカセントポール市からハナ・ヘルクソンさんが活水高校にカナダからチェルシークレイグさんが長崎純心高校、フランスからナウエル・ケリーさんが鎮西学院に通学することになっています。

研修第1日目はガバナーの挨拶、続いて交換学生委員長のプログラムの説明、さらにそれぞれ分

科会にわかれて交換学生プログラムの詳しい説明と派遣、来日へのこれからの予定の紹介があり、夕方懇親会ではR O T E Xの皆さんによるプレゼンテーション。特にアメリカセントポールから帰国した平山元喜君のゴルフ談義で、さすが将来プロゴルファーを目指す彼の土産話には、会場のロータリアンは固唾を飲んで聞きいていました。

2日目、早朝から来日派遣学生のための語学研修で語学テキストを使いR O T E Xより研修がなされていましたが結果はどうでしょうか？

特別講演ではY M C Aの教師ラリージュンナコスタさんから「異文化の体験」と題しての自分の日本での体験を通しての失敗話など英語で話してもらいました。

昼食後雲仙ビジターセンターに向かい、雲仙国立公園の概要と普賢岳噴火のビデオを見て、また、仁田峠からのロープウェーで妙見岳まで登りましたが、途中の平成新山の噴火のすさまじさに一同息を飲んで呆然としていました。

最後にこのプログラムのためにご協力いただいた関係ロータリアンやガバナー事務所の皆様やホストファミリー、保護者の皆様本当にありがとうございました。



交換学生挨拶



Chelsea Craig

1991年12月12日生
スポンサークラブ
カナダ ニューブランズウィック州
第7810地区ハンプトン RC
ホストクラブ：長崎南 RC

私の名前は、チェルシークレイグ カナダ東海岸の出身です。

私の町は、大都市セント・ジョーンズから、車で約1時間半かかります。私はハンプトンの郊外に住んでいます。

父は塗装業、母はとても料理が上手な主婦です。

私は多くのものに興味があり、その中でも特に、芸術に興味を持っています。しかし、私には芸術の才能はありませんが、最新の芸術を見ることが大好きです。時間があるときは、音楽を聴きながら散歩をしたり、物語の筋を考えたりしています。又、写真を撮ることや音楽、文学作品を楽しんでいます。そして、時間をかけてずっとギターを独習しています。

私は、6年生のときからずっと作文を書いています。2つの小説を書いたことがあります。が、まだ出版していません。中学2年生のとき、100ドル賞金をもらいました。

私は日本で、英語の先生になりたいと思っています。私が言葉に興味を持っているのを見て、私の叔父が私の進路にアドバイスをくれました。なので、英語の先生になりたいと思うようになりました。

私が日本を選んだのは、幼かった頃、私は日本のアニメに影響を受け他の外国の国よりも日本のことを知っていたからです。



Hannah Helckson

1992年9月30日生
スポンサークラブ
アメリカ ミネソタ州
5960地区セントポール RC
ホストクラブ：長崎 RC

セントポール西部地区にすんでいます。両親ともに弁護士です。13歳の弟がいます。

ブロードウェイで“RENT”を見て以来、演劇が大好きになりました。

9歳から、アイリッシュ・ステップ・ダンスのレッスンをしています。ダンスをしながら唄うことが大好きです。

演劇コースのある学校に通っています。大学進学のための学科にくわえ、演劇のコースをとっています。ミネソタにある一般の高校より、授業時間が長く、毎日2時間多く、芸術トレーニングのクラスがあります。ダンス・演劇・ボイスレッスンなどを学んでいます。現在、スペイン語のクラスもとっていますが、少なくとも3ヶ国語が流暢にしゃべれるようになりたいです。

将来、ニューヨークの大学でビジネスと言語を学びたいと思っています。演劇もやってみたいです。ビジネスか演劇でキャリアをつみ、世界中をまわれるようになればいいなと思っています。

日本にいったら、友達をたくさんつくり、文化や言葉を学びたいと思います。

よその国の人々と一生仲良くできる関係ができるって素敵なことだと思います。

日本で学ぶすべてのことを、アメリカに帰って友達みんなと分かち合いたいなと思っています。この機会を与えてくださったロータリーに感謝しています。



交換学生挨拶



Nawael Khelil

1991年11月24日生
スポンサークラブ
フランス東部、ロレーヌ地方
第1790地区 エピナル RC
ホストクラブ：諫早 RC、
コホストクラブ：諫早北・諫早西・諫早多良見・諫早南 RC

私には14歳と10歳の弟が2人います。父はLa Halleというデパートで働くテクニシャンで、母はホームヘルパーです。

言語に興味をもってから、学校で英語、スペイン語を学び、独学で日本語、韓国語とインドネシア語を学び始めました。

私は小さいときから、アジアの文化に没頭するようになりました。実際に私は、ドラゴンボールやキャプテン翼のような世界で育ちました。

それから、私は「花ざかりの君たちへ」や「デスノート」「ワンピース」「ナルト」「D-Gray Man」などのマンガにも興味を持ち、そして私は日本の音楽「倅田くみ」「宇多田ヒカル」「ガクト」のような歌手にもの

めりこみ、それらは私を日本の文化についてもっと知りたいという気持ちにさせ、魂を奪うようなものとわかりました。

天上智喜The Grace、東方神起とSHINeeのウェブサイトを読みながらしています。マンガを読んだり、たくさんのドラマを見たりするのも好きです。私は歌手になることを夢見ています。また、全ての楽器を特にピアノとバイオリンは弾けるようになりたいです。

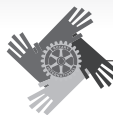
「のだめカンタービレ」というドラマを見てから、クラシック音楽に興味をもっています。

そういうわけで、この交換留学は私にとって大切なものです。日本にいき、もっと文化や言葉、日本の生活様式を本当に学びたいです。今はまだ十分でないあやふやな言葉をしっかり学び、通訳者になろうと思います。それには日本に住み、日本の文化、言語、人々のふるまい方、他の教育の仕方を知る必要があります。

私は1年を日本で過ごすことができれば素晴らしい結果がえられると思います。

09-10年度 青少年交換委員会行事予定(案)

月 日	プログラム	場 所	対象・内容
7月18日(土) 17:00-	第1回地区委員会	魚荘 諫早	地区委員
8月22日-23日	第2回地区委員会/第1回オリエンテーション 帰国学生 報告会・オリエンテーション	ウエルハートピア 雲仙小浜	来日・派遣・帰国・ ホストファミリークラブ関係者・委員
9月27日(日) 19日締切	第3回地区委員会 10-11年度派遣学生選考会		英語面接・日本語面接・筆記試験 試験官
10月	第4回地区委員会 (今年度指導方針、規則のみなおし)		学生・保護者・クラブ関係者・地区委員
	第2回オリエンテーション		来日・派遣・帰国・ホストファミリークラブ関係者・学校関係者
10月7-9日	長崎おくんち(来日学生)	長崎	来日学生・地区委員・ROTEX15枚チケット
	第3回オリエンテーション-新世代の集い		派遣学生Application Formの確認
10/31-11/01	地区大会(島原)	島原復興アリーナ	来日・派遣予定ホストファミリークラブ関係者
保留	九州旅行	熊本・大分	来日学生
12月20日	第4回オリエンテーション Proposal Exchangeを送る 第5回地区委員会	雲仙 九州ホテル	派遣予定学生・ROTEX 今までの交換履歴のある地域への交換依頼送付 地区委員
2月	Rotex 主催オリエンテーション		
3月	第5回オリエンテーション 第6回地区委員会(5万)(次年度受入態勢の確認)	諫早	来日・派遣予定・ホストファミリークラブ関係者・学校関係
3月	受入学生・受入校決定		来日学生の書類到着をうけクラブへ送付・回収後
4月	Rotex 主催オリエンテーション		
4月	派遣学生募集要項 第7回地区委員会		(ギョウカイ) ガバナー・会議長の署名を貰い各国へ送り返す
4月	地区協議会		次期地区委員長
4月	派遣学生プレザー・エンブレムおみやげ発注 ・来日学生記念品発注 名刺発注		
5月	Rotex 主催 交流会	長崎	来日・派遣予定・ROTEX
	東京関西旅行	奈良京都東京	来日学生
6月	第8回地区委員会 第6回オリエンテーション		来日・派遣予定ホストファミリークラブ関係者



The future of rotary is in your hands

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

ガバナー公式訪問

● 唐津東・唐津中央ロータリークラブ

唐津東RC
会長：八島 弘直 幹事：下西 昭
唐津中央RC
会長：米田 均 幹事：成富 茂安

去る7月16日（木）のクラブ協議会を受けて、7月24日（金）の午後10時40分より高城昭紀ガバナー、山本晴彦ガバナー補佐と高木義和地区幹事をお迎えして、事前懇談会が開かれ、ご挨拶を受けて唐津東ロータリークラブの現況や活動方針、及び本年度に45周年を向かえての対応の仕方や予定などを説明し、また会員増強や新入会員へのオリエンテーションのためのR I 2650地区会員増強委員会が2008年に配布した「ロータリークラブへお入りになりましたか？」や「新入会員のためのオリエンテーション」などのパンフレットの増し刷りなどをお願いしました。



また例会は、唐津中央と唐津東の合同例会となり、唐津中央の成富幹事がスムーズな司会を勤め、ガバナー卓話ではプロジェクトを使って、綺麗で判りやすい「ロータリーの未来はあなたの手の中に」を基調にR I会長のジョン・ケニー氏のテーマを受けた「安全な水の確保」・「飢餓救済」・「識字率向上」・「ポリオ撲滅への支援」「財団への寄付」・「退会防止」など熱のこもったお話に両クラブの会員一同真剣に耳を傾け、ガバナーという大変な仕事にご苦労されていることに感謝を込めながら終始聞き入って、また更にロータリアンと言う使命の大切さに胸を強く打たれておりました。これからも、尚一層ロータリーの名に恥じないよう自己研磨に励み、職業奉仕を軸にして会員一同一丸となり、頑張っていきたいと存じます。

● 唐津ロータリークラブ

会長：藤井 歸一
幹事：松尾 繁樹

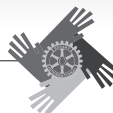
8月4日（火）、盛夏のなか当クラブが18番目のガバナー公式訪問を受けました。例会に先立っての懇談会では、クラブの現況並びに活動報告書の編集内容について、貴重なご指導、ご助言を賜りました。唐津4クラブに共通した編集内容の流れがあるようで、今後山本ガバナー補佐のご指導を受け、唐津4RC会長・幹事会で検討したいと思います。



親睦活動委員会の親睦交流行事の一つ「趣味の会そばツアー」に目がとまり、質問を受けました。当クラブに各地のそば処に詳しい会員がいて三つ星以下お勧め店の紹介資料を提供致しました。

例会卓話ではパワーポイントを駆使しての新年度RIテーマ及びガバナー方針の懇切なご提示を賜りました。これを受け、創立53年目を迎える当クラブの現状を直視しつつ、唐津RCのルネッサンスを図りたいと思います。

なお、会員増強月間の当日、新入会員紹介の後、高城ガバナーからロータリーバッジが授与され、有り難うございました。



ガバナー公式訪問

● 大町・白石ロータリークラブ

大町RC 会長：鶴田 健 幹事：小林 正治
白石RC 会長：本告 伸好 幹事：太田尾一美

8月5日（水）、高城昭紀ガバナー、高木義和地区幹事、宮崎幸久ガバナー補佐をお迎えして白石ロータリークラブ、大町ロータリークラブ合同ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。例会に先がけ会長、幹事、会長エレクトとの懇談会が開かれ、最初は我々三人とも緊張気味でしたが、ガバナーから柔和なお顔で話しかけていただき和やかな懇談会となりました。ガバナーから種々ご指導をいただきましたが、特に「会員増強」「出席率向上」につきましては委員長が先頭に立って会員全員で取り組むようにとご指導をいただきました。例会でのガバナー卓話では、新年度のテーマ、ガバナー方針をわかりやすくお話をしていただき「退会防止に努めましょう」「ロータリーを楽しみましょう」などのお言葉をいただきました。また、「食事の音楽がすばらしかった」と音楽の提供会員、チャーターメンバーで36年間無欠勤の会員、「食事が大変おいしかった」と食事の提供会員にプレゼントをいただくなど楽しい例会になりました。



高城ガバナーには一年間お身体に十分お気をつけられ、我々にご指導いただきますようお願い申し上げます。

● 太良ロータリークラブ

会長：安藤 光生
幹事：秀島 寛

8月6日（木）例年にない猛暑の中高城昭紀ガバナー、高木地区幹事、第三グループ宮崎幸久ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。

例会前の会長、幹事、会長エレクトとの懇談会において、当クラブの活動報告書に基づき、クラブの概要と課題、活動方針を説明し、当クラブの現状を理解していただき、当クラブの発展の為のご指導を頂きました。



午後6時半よりの例会でのガバナー卓話で、RI会長方針、国際ロータリーのテーマ「ロータリーの未来はあなたの手の中に」の説明があり、「ポリオ」の話しでは、会員全員が大変感動をし、又理解できたとの事でした。

当クラブでは会員増強が早急の目標であり、親睦と奉仕に会員一同、努力致しますので、皆様方のご指導の程よろしくお願い致します。

高城ガバナーのご活躍をお祈り致します。



The future of rotary is in your hands

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

ガバナー公式訪問

● 北松浦・松浦ロータリークラブ

北松浦RC
会長：山口 俊一 幹事：前田 治伸
松浦RC
会長：祖川 章 幹事：犬養 義一

8月27日(金)高城ガバナー、高城地区幹事、西尾ガバナー補佐をお迎えして、北松浦ロータリークラブの例会場となるサンパーク吉井にて北松浦ロータリークラブと松浦ロータリークラブの合同公式訪問例会を開催しました。

事前の懇談会では、高城ガバナーよりいろいろとご指導を頂き、今後の活動に活かしていきたいと思います。例会は18時30分、中庭に設けられた会場に両クラブの旗が夕日にはためき、点鐘とともに始まりました。両クラブの新会員の紹介、各委員会報告では、北松浦RCからは2月7

日(日)に開催される第4、5、6グループのIMの準備経過報告、松浦RCからは会員増強委員会から9月に増強フォーラムを開催することが発表されました。次にガバナーからの各表彰に引き続き、高城ガバナーの卓話となり、各クラブの所感と公式訪問の途中経過報告並びに「RIテーマと地区運営方針」についてパワーポイントを使ってのお話がありました。例会終了後、ガバナーを囲んで両クラブの記念写真撮影をしました。そして、室内へ移り懇親会に入りました。北松浦ロータリークラブの山口会長のご配慮もあり、たくさんのご馳走とお酒を頂くことができ、みんな大満足でした。最後に「手に手つないで」を歌い、北松浦ロータリークラブと松浦ロータリークラブの友好を深めることが出来ました。

高城ガバナーに於かれましては、今後ともお身体に十分ご留意されご活躍されますことをお祈り致します。



● 佐世保北ロータリークラブ

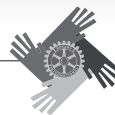
会長：宮崎 有恒
幹事：西川 正美

佐世保北RCへの高城ガバナーの公式訪問は8月10日。第二月曜日のためクラブはちょうど夜の例会日に当たりました。高城ガバナーは、棧猪一郎・第6グループガバナー補佐、高木義和・地区幹事を同行されました。

ガバナーは卓話で、これまでの公式訪問で遭遇したさまざまな出会いに触れて、ロータリーの素晴らしさを称揚されました。ついで、ジョン・ケニーRI会長のテーマと方針について説明され、最後にポリオ撲滅へ向けてのロータリーの戦いの軌跡を詳細に述べられました。

高城ガバナーのソフトな語り口と明るいお人柄に、佐世保北RC 会員一同、親しみとともに深い感銘を受けた次第です。





● 佐賀大和ロータリークラブ

会長：中西 弘
幹事：堤 眞敏

公式訪問は、当クラブの都合に対応して頂き8月11日にクラブ協議会と同日開催となりました。

当日は100%の出席率を期待したが、2名欠席で要メークアップです。

協議内容は、主に委員会構成に関して指摘をうけ一部構成変更を勧められました。また、各奉仕委員長の年間方針については、大概納得して頂きました。



現会員数が23名という小クラブであるため、これまでの歴代会長が遂行してきた企画も、無理をして負担にならないよう警鐘頂き、背負い過ぎていた不安が軽減、むしろ勇気が湧きました。言葉少ない高城ガバナーの一言一言が、むしろ安堵と職務執行への元気を頂きました。

さらに、当クラブ発足以来、出席率100%の会員が数名居るが、彼等に対する高城ガバナーのご配慮に当事者のみならず当クラブ全会員が感激し、翌週例会でも話題となり余韻を残しました。職業的性格でなく高城ガバナー個人の人格に尊敬の念を抱き、さらに敬愛の念を教えて頂きました。2740地区全会員が高城ガバナーに抱擁され、一魂 団結 ロータリーの輪が結束すると信じ一年間会長職を全うしようと覚悟した処です。

● 佐世保西ロータリークラブ

会長：田中 省三
幹事：吉武 直亮

お盆を過ぎたとはいえ連日の猛暑の中、高城ガバナー、高木地区幹事、西尾ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問例会を行いました。我がクラブのありのままの姿を見ていただき、終始、和やかな雰囲気の中で無事終えることができました。

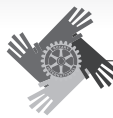
我がクラブは今年創立40周年を迎えますが会員数25名でスタートし、



現在、創立時と同じくらの小数となったため、クラブ独自のテーマ「創立40周年を機に、奉仕の原点である親睦を深め強い絆をつくろう」を掲げて会員増強に努めて、9月には1名の増員となりました。

例会では高城ガバナーの大変穏やかで温厚なお人柄でのご講和に、全会員が熱心に聞き入りました。また、我がクラブへの適切なご指導とともに、「青少年の健全な育成の支援」を目標に行っている今回で13回目を迎える「少年少女ミニバスケット大会」など、良いところを褒めていただき、我がクラブの特筆した会員に対しては記念品までいただきました。

高城ガバナー、高木地区幹事、西尾ガバナー補佐に感謝の意を表しますと同時に一層のご健勝を心からお祈り申し上げます。



The future of rotary is in your hands

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

ガバナー公式訪問

● 唐津西ロータリークラブ

会長：華頂 孝俊
幹事：竹尾 啓助

8月19日（水）残暑厳しい中、高城昭紀ガバナー、山本晴彦ガバナー補佐、高木義和地区幹事をお迎えしました。

高城ガバナーには8月2日（日）にも我がクラブの40周年式典と記念事業にお越し頂いたばかりで、度々の遠路のお越しに感謝しつつも、仲々の激務に頭の下がる思いでした。総勢33名の小クラブ乍ら力を合わせて企画した40周年記念事業、世界選手権ヨット大会レセプション



には、我がクラブの団結力を垣間見たとの感想を頂きました。そして、懇談会で指摘された数々は、我クラブの活動計画書に入念に目を通されていたことを物語るものです。若い人の卓話を多く計画することや韓国の姉妹クラブとの交流に強い関心を示されるなど、より楽しいクラブ運営方法を模索しておられるお気持ちが良い判りました。何事にも手を抜かれないお人柄を当日の卓話にも、クラブ協議会においても発揮しておられました。有言無言にロータリアンスピリットを語られたご訪問でした。感じ入った会員も多かったと思います。

ご健勝をお祈りして炎暑の中にお見送りしました。

● 平戸ロータリークラブ

会長：松本 芳喜
幹事：森 幸雄

高城ガバナー・高木地区幹事・西尾ガバナー補佐におかれましては、暑い中、平戸に足をお運び頂き有り難うございました。

例会の前には公式訪問書についてお誉めの言葉を頂き恐縮いたしました。また、私どもの気づかない点についてもご指摘を頂きました。大変参考になりました。

また、例会ではプロジェクターを使われて解りやすくお話しをして頂きました。

ガバナーになっていろいろな人と出会

いが出来ることまた、今年度のRI会長ジョン・ケニー氏の方針を説明頂き、特にポリオの2億ドルチャレンジなど今年のロータリーが進むべき方向性を指し示して頂き有り難うございました。

また、最後には暑い中、屋外での記念撮影にお付き合い頂き、お蔭様で平戸城をバックに思い出に残る撮影が出来ました。地区大会にはなるべく多くの会員が参加するよう呼びかけております。その時は、お世話になります。有り難うございました。





ガバナー公式訪問

● 福江中央・福江ロータリークラブ

福江中央RC
会長：尾崎 和典 幹事：本岡 晃
福江RC
会長：北島 博志 幹事：張本 民雄

2009～2010年度の福江中央ロータリークラブと福江ロータリークラブの高城昭紀ガバナー公式訪問合同例会は8月21日無事終了しました。

今回の合同例会は前例が少なく、尾崎福江中央ロータリークラブ会長と本岡幹事、山本S A Aそれに福江ロータリークラブ張本幹事と私の5人で何回と無く会議を重ねこの様な合同例会となりました、と本来は旨く行く予定でした。

会長経験者の諸先輩から、公式訪問を乗り切ったら楽になるの言葉を信じ頑張らねばならぬ私が、事もあろうに带状疱疹にかかり、戦列をリタイヤしてしまい、後は全てお任せで無事終わったことにまず感謝申し上げます。

今回の合同例会の為に五島まで足を運ばれた、高城昭紀ガバナー、佐藤豊ガバナー補佐、高木義和地区幹事には両クラブを代表し、あらためて感謝申し上げます。

山本有三の「米100俵」の話は非常に有名になりましたが、その山本有三の言葉に「体内に 燃ゆるものあり うすあかり」と言う言葉があります。今日からのロータリー活動を「体内に 燃ゆるものあり うすあかり」と活動出来たらまた新しいロータリー活動が見えるかもしれません。

今回の高城昭紀ガバナー公式訪問合同例会が両ロータリークラブの「更に燃えるもの」増えることを期待します。

慣れない例会で不行き届きが多々あったと思いますが、ロータリーの友情で許して頂ければ幸いです。お疲れさまでした。



● 諫早南ロータリークラブ

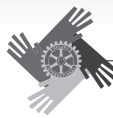
会長：千葉まさこ
幹事：永淵 憲輔

8月24日、高城昭紀ガバナー、高木義和地区幹事、山口賢也ガバナー補佐を迎え、公式訪問とクラブ協議会が開かれました。例会に先立ち、別室でガバナーと会長、会長エレクトとの懇談が行われました。会長よりクラブ現況を報告し、クラブ運営に対するアドバイスを頂きました。今年度方針の中で、ポリオの撲滅に言及したことをお褒め頂き、恐縮でした。奉仕と親睦の兼ね合い、ロータリー哲学研鑽の必要性を痛感し、大変有意義でした。

公式訪問は、バナー交換を始め、通常例会通りを見て貰おうと、粛々と進められました。立川君の寄付と野中君の出席奨励メールにガバナー個人からプレゼントが渡されました。

卓話では、今年度R Iテーマの確認と、ポリオについての歴史およびロータリーの取組みについての説明がありました。『ガバナーに就任して、30以上のクラブを訪問する機会を得て、いろいろな素晴らしい方との出会いに感謝し、ロータリーの良さをあらためて実感しています。』とのことでした。クラブ協議会では、各委員長が緊張しながらも堂々と発表しました。『これまで、たゆまぬロータリーの精神により功績を積み上げてこられた貴クラブの益々のご発展を祈ります』との激励で公式訪問行事は終了しました。高城ガバナー、高木地区幹事、山口ガバナー補佐のご指導に感謝致します。





The future of rotary is in your hands

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

ガバナー公式訪問

● 佐世保ロータリークラブ

会長：橘高 克和

幹事：石井 正剛

高城 昭紀ガバナー、西尾 弘毅ガバナー補佐、高木 義和地区幹事をお迎えしての、ガバナー公式訪問が、去る8月26日（水）残暑の中、佐世保玉屋8階例会場にて開催されました。

それに先立ち、前述のお三方と当クラブ会長、会長エレクト、幹事の6名にて懇談会の場を設けていただきました。

その席上、当クラブの伝統の重みへの敬意と同時に今後のご指導を頂きました



当日の例会では3名の新会員の入会式も行い、ガバナーよりバッジを付与していただきました。

3名のうち、1名の会員が同名の「タカギ」であり、又もう1人の会員とは以前、同じクラブでの活動経験がおりとのことで、懐かしさとガバナーの温厚なお人柄で、印象深い入会式でもありました。

ガバナー卓話では、今年度のR I 会長ジョン・ケニー氏のテーマと方針について述べられ、国際ロータリーが確かな未来を築く為の7つの優先項目を挙げられました。

その中でも特にポリオ撲滅は「ロータリーの最優先目標であり、この撲滅を完遂する事です。」と結ばれました。

今回の公式訪問は、会員の意識高揚やクラブ運営面においての指針になったと確信いたします。

● 佐世保南ロータリークラブ

会長：川原 正寛

幹事：藤永 辰弘

8月28日、当日は高城昭紀ガバナー・高木地区幹事・榎ガバナー補佐の公式訪問例会で、前日より、会長・副会長・幹事の3役は緊張の連続でした。

52年歴史を持つ我が南RCは、日頃の例会通りで行動を行い、会員の1人1人が明るく楽しい親睦の姿を見ていただく様に心掛けていました。さすがにガバナー訪問例会は、会員全員が高城昭紀ガバナーのスクリーンを通じての説明に感動いたしました。

毎年の公式訪問例会ですが、今年は特に会長としての年でありますので、私自身が1番心配して居ました。高城ガバナーの、ソフトでスマートお話に全員が今迄以上に真面目に拝聴致しました。

特に「そこで一句」の江原会員はガバナーのすばらしいプレゼントに、又、永年100%出席者の畑田会員(41年)・松尾会員(40年)、國崎直前会長もガバナーのサプライズに会員全員がびっくり致しました。

特に、青少年奉仕委員会活動では、我がクラブが『ライラ』の担当クラブです。他のRCにない、E.J.キングスクールと聖和女子学院高等学校のインターアクトクラブの活動は素晴らしく、又、見事に運営を致しております。

国際的にも我が佐世保市は、大変交流の深い都市で有り、青少年の育成も大切な事だと思います。クラブの歴史は長いほど重く、会員増強も退会防止も、一生懸命やれば出来ると信じています。元気に楽しい例会が1番です。運営は質素に奉仕は豊に伝統あるクラブ作りに全力で頑張る所存です。11月の地区大会は全員登録を必ず致します。

会員増強目的どおり、南ロータリークラブ会長として後悔のない年にすべく頑張ります。





● 長崎北ロータリークラブ

会長：戸北 悦男
幹事：石橋 完

残暑厳しい折、去る8月31日月曜日、高城昭紀ガバナー、濱本好哉ガバナー補佐、高木義和地区幹事の3名の方をお迎えして、公式訪問例会を開催しました。

例会に先立って行われた、当クラブ会長、幹事、SAA委員長、会長エレクトとの懇話会は、高城ガバナーの温かなお話と笑顔、ガバナー補佐の機知に富んだお話で談笑のうちに進み、たいへん有意義のうちに終えることが出来ました。

例会では、卓話をお願いし、RIが取り組んでいる「ポリオ撲滅」に関してのお話があり、会員一同その理念を理解し、この事業に対する心構えを尚一層新たにしました。

例会終了後に行われたクラブ協議会にもご出席いただき、つぶさに当クラブの活動方針などにも目を通して頂き、会の最後にガバナー補佐には総評を、ガバナーには所感を戴き、出席した当クラブ会長、幹事、各理事、及び委員長は一様に感激のうちに終了することが出来ました。

当クラブを代表して、高城ガバナー、濱本ガバナー補佐、高木地区幹事のこの一年のご活躍とご健勝をお祈りする次第です。



訂正とおわび

- ・ 月信7月号P26 振込先欄 2009～2010年度を削除
会計長 中島博行 → 地区会計長 中島博行
- ・ 2008-2009年度月信NO,13総集編P22
年次寄付 福地善孝 → マルチプル 福地善孝
- ・ 2008-2009年度月信NO,13総集編P38
物故会員 空閑 巧 退会の間違いでした。

訂正し謹んで深お詫び申し上げます。



ロータリー財団月間にあたって

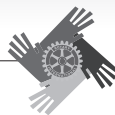
ロータリー財団委員会委員長 森 永 太
(佐賀西 R C)

今、国際ロータリーが世界的に取り組んでいる最優先事項は何かご存知でしょうか。それはポリオの撲滅です。30年前、1日1,000人の子供達がポリオに冒されていたのが現在では年間千数百人にまで減少させる所までできました。ポリオ撲滅活動における国際ロータリーの功績は世界が認めるものでそうした中でビル・ゲイツ財団からのロータリーに対するチャレンジ補助金もスタートしたのです。日本に住む私達がポリオの子供達を目にすることはほとんどありませんが国際ロータリーが行ってきたポリオ撲滅活動は素晴らしいものでその他にも数えきれない多くの人道的プロジェクトが世界中で成果を上げています。こうしたロータリー財団のプログラムこそ、我々ロータリアンが最も誇りにすべき活動と言えます。もちろんそれはすべてロータリアンの善意の寄付から成り立っています。

「1人100ドルを」というのが財団の目標です。「世界で何かいいことをしよう」という合言葉のもと、すべてのロータリアンにとって年間100ドルというのは決し無理な額ではない、というのが財団本部の考えです。

当地区における年次寄付額は年々減少してきています。当然それは地区活動資金の減少に連がり、この地区で継続して行ってきた毎年5～6名の国際親善奨学生派遣が困難になってきました。また地区活動資金の20%まで使用可能な地区補助金も少なくなり多くのクラブの奉仕プロジェクトに対しても余り支援ができなくなりつつあります。

こうした地域に密着した奉仕活動はロータリーにとって大変重要であり、今まで以上の活動を継続していくためにも皆様のご協力をお願いしたいと思います。



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりましたの方々をご紹介します。



諫早多良見RC
富永 龍也 君



諫早多良見RC
吉田 賢一 君



長崎RC
朝長万左男 君



福江RC
釜崎 洋 君



福江RC
平野 幸晴 君



福江中央RC
江口 正則 君



福江中央RC
田川 務 君



長崎北RC
宇野 祐二 君



長崎南RC
近藤 覚 君



長崎南RC
増田 康行 君



長崎出島RC
佐伯 秀人 君



大村RC
高尾 徹 君



お知らせ

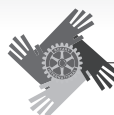
<諫早南ロータリークラブ>

【事務局所在地】 諫早観光ホテル 道具屋 別館

【事務局員】 千田真奈美 (せんだ まなみ)

【事務局稼働時間】 月曜日と金曜日 10:00~15:00

水曜日 10:00~12:00



国際ロータリー第2740地区クラブ会長各位

ガバナー 高 城 昭 紀

2012-2013年度ガバナー・ノミニー推薦の件

国際ロータリー細則第13.020.4項により、2012-2013年度ガバナーに就任するガバナー・ノミニー候補者の推薦を希望するロータリークラブは、2009年10月31日までに地区ガバナー指名委員会宛（国際ロータリー第2740地区ガバナー事務所気付）に文書を以ってご推薦下さい。

推薦する場合には、候補者を推薦することをクラブ例会で決議した後に、クラブ幹事はその決議を証明する形で推薦書を提出して下さい。

尚、ガバナー指名委員会がその選択をするにあたっては、その選択の範囲は地区内クラブによって提案された指名に限定されるものではありません。（国際ロータリー細則第13.020.5項）

ガバナー・ノミニーの資格条件は、国際ロータリー細則第15.070項を参照。

ご推薦のない場合は、指名委員会で決定された方がガバナー・ノミニーになります。

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。ご厚意に深く感謝申し上げます。

	種 類	氏 名	クラブ名
ロータリー財団	マルチプル・P・H・F	北 島 博 志	福江RC
		亀 田 広 望	島原RC
	ベネファクター	尾 崎 和 典	福江RC
米山記念奨学会	米山功労者	高 城 昭 紀	島原RC
		山 下 恒 善	福江中央RC
	マルチプル	山 口 賢 也	諫早南RC
	メジャードナー	松 尾 雄次郎	唐津RC



2009年7月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会	
第1グループ	佐 賀	4	85.31	66	0	66	0	0	0	0	0
	小 城	5	80	29	2	29	2	1	1	0	0
	牛 津	5	87.74	29	1	31	1	2	2	0	2
	多 久	5	93.33	42	4	42	4	0	0	0	0
	佐賀大和	4	72.82	23	2	23	2	0	0	0	0
	小計		83.84	189	9	191	9	3	3	0	2
第2グループ	佐賀西	3	87.5	44	0	44	0	0	0	0	0
	佐賀北	4	91.53	31	3	32	3	1	1	0	1
	佐賀南	4	83.54	42	2	41	2	-1	0	1	-1
	神 埼	4	82	27	0	32	0	5	5	0	5
	佐賀空港	5	72.3	15	1	15	1	3	3	0	0
	小計		83.37	159	6	164	6	8	9	1	5
第3グループ	有 田	3	75.18	37	1	37	1	0	1	1	0
	武 雄	3	90.05	49	3	51	3	2	2	0	2
	鹿 島	4	93.83	42	2	42	2	0	0	0	0
	嬉 野		89.6	24	1	24	1	0	0	0	0
	大 町	5	77.14	21	0	21	0	0	0	0	0
	白 石	5	71.6	13	0	13	0	0	0	0	0
	太 良	5	100	8	0	8	0	0	0	0	0
	小計		85.34	194	7	196	7	2	3	1	2
第4グループ	唐 津	4	92.47	50	0	51	0	1	1	0	1
	伊 万 里	5	99.35	31	0	31	0	0	0	0	0
	唐 津 東	5	93.17	51	0	51	0	0	0	0	0
	唐 津 西	4	89	33	0	33	0	1	1	0	0
	伊万里西	5	90.78	44	0	44	0	0	0	0	0
	唐津中央	5	88.49	33	5	33	5	0	0	0	0
	小計		92.21	242	5	243	5	2	2	0	1
第5グループ	佐 世 保	5	100	73	0	74	0	1	1	0	1
	平 戸	4	84.7	32	1	36	2	4	4	0	4
	佐世保西	4	100	25	0	25	0	0	0	0	0
	北 松 浦	3	94.12	21	0	22	0	1	1	0	1
	松 浦	5	90.66	30	1	30	1	2	2	0	0
	小計		93.9	181	2	187	3	8	8	0	6

※ 上記の表の新入・退会は当月中の数字

※7/1入会者数11名

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会	
第6グループ	佐世保南	5	100	68	0	68	0	1	1	0	0
	佐世保東	5	94	20	0	20	0	0	0	0	0
	佐世保北	3	100	43	0	46	0	3	3	0	3
	佐世保中央	4	100	40	2	39	2	-1	0	1	-1
	佐世保東南	5	71.23	26	2	25	2	-1	0	1	-1
	HTB佐世保	4	76.31	26	4	26	4	0	0	0	0
	小計		90.26	223	8	224	8	2	4	2	1
第7グループ	大 村	4	84.47	51	2	51	2	0	1	1	0
	島 原	4	80.14	32	2	31	2	-1	0	1	-1
	雲 仙	4	90	26	0	26	0	0	0	0	0
	大村北	5	100	32	0	33	0	2	2	0	1
	島原南	5	80	19	1	22	1	3	3	0	3
	大村東	3	82.4	42	1	43	2	1	1	0	1
	小計		86.17	202	6	206	7	5	7	2	4
第8グループ	諫 早	5	87.69	55	0	58	0	3	3	0	3
	諫早北	5	82.76	65	1	65	1	0	0	0	0
	諫早西	5	85.78	40	0	40	0	0	0	0	0
	諫早多良見	4	92.13	35	0	34	0	-1	0	1	-1
	諫早南	3	75	27	5	28	5	1	1	0	1
	小計		84.67	222	6	225	6	3	4	1	3
第9グループ	長 崎	7	80.47	79	0	84	0	5	5	0	5
	福 江	5	92.85	33	0	33	0	0	0	0	0
	長崎北東	5	89.53	46	6	46	6	0	0	0	0
	福江中央	4	99.1	29	0	29	0	0	0	0	0
	長 崎 西	4	74.59	60	0	61	0	1	1	0	1
	長崎琴海	5	78	21	2	21	2	0	0	0	0
	小計		85.76	268	8	274	8	6	6	0	6
第10グループ	長 崎 北	3	80.31	78	0	78	0	0	0	0	0
	長 崎 南	5	78.36	78	0	76	0	-2	0	2	-2
	長 崎 東	4	83.31	52	0	52	0	2	2	0	0
	東 長 崎	4	87	25	0	25	0	0	0	0	0
	長崎中央	3	93.94	55	0	56	0	1	1	0	1
	長崎出島	5	74.5	50	11	50	11	0	0	0	0
	小計		82.9	338	11	337	11	1	3	2	-1
合 計			86.84	2218	68	2247	70	40	49	9	29



ハイライトよねやま 115

1 寄付金速報 — 10 月の米山月間に向けて —

8 月までの寄付金は、前年同期と比べて 7.2%減、約 2,260 万円の減少となりました。普通寄付金が 0.2%減、特別寄付金が 19.8%減で、特別寄付金の減少幅が更に広がり、最近 10 年間では最も厳しい状況です。

10 月は米山月間です。事務局では様々な資料をご用意しています。卓話やセミナーなどで使用する寄付金データのご希望がありましたら、ご用命ください。なお、この度送付する月間用資料にも寄付に関する項目がありますので、ご活用くださいますようお願い申し上げます。

2 理事会・評議員会開催報告 — 新理事・評議員を迎えて —

2009 年度第 1 回の評議員会および 2009 年度第 1 回・第 2 回の理事会が、それぞれ 8 月 30 日(日)、グランドプリンスホテル新高輪(東京都港区)にて開催されました。

午前の評議員会には、全国から 52 名の評議員が出席し、常務理事会役員および監事、名誉理事長など 12 名が列席しました。互選によって、議長には多田宏評議員(第 2580 地区ガバナー)が選出されました。

午後の理事会は、新旧の理事・監事合わせて 38 名が出席、末永直行・島津久厚両名誉理事長が列席して、2008 年度までの理事・監事による第 1 回理事会と、2009 年度からの理事・監事による第 2 回理事会が開催されました。

【評議員会の主な決議】

- ・寄付行為の一部変更案の承認：奨学生対象国をアジアだけでなく世界各国に広げるため、1990 年に『寄付行為：目的』の変更を行ったが、この点をより明確にするため、条文を改定する。
- ・2008 年度事業報告・決算報告の承認：それぞれ原案通り承認

【第 1 回理事会における主な決議】

- ・寄付行為の一部変更案の承認：同上
- ・2009 年度選考委員会委員の選任：原案通り 6 名を選任
- ・2008 年度事業報告・決算報告の承認：それぞれ原案通り承認

【第 2 回理事会における決議】

- ・2009 年度役員の選任：役員候補者指名委員会を代表して、重田政信委員長から答申された以下の役員候補者を承認

理事長：板橋敏雄氏(2550)

副理事長：金子千侍氏(2570)・仁田一也氏(2710)

常務理事：平山金吾氏(2790 *新任)・高木貞一郎氏(2840)・三井章義氏(2600 *新任)・近藤雅臣氏(2660)

- ・任期満了の理事に対する感謝：退任理事への感謝状贈呈



重田政信元 RI 理事が 20 分にわたり講演

当日は、理事・評議員の合同昼食会後、重田政信元国際ロータリー(RI)理事から 20 分間の講演を頂きました。重田元 RI 理事は、米山記念奨学事業の歴史と位置づけを紐解き、青少年交換学生や米山記念奨学生との交流経験から、「若者に蒔いた種は必ず生える」、「人を感動させるには、まずご自分が感動しなければならない。ぜひ奨学生との交流を通じて、感動の経験を積んでください」との言葉で講演を結びました。理事会終了後は、2008-09 年度寄付金実績上位の地区やクラブに対して、板橋敏雄理事長より感謝状が贈呈されました。



3 “よねやま”で深まる日韓の心 — 第10回韓日親善会議 —

第10回韓日・日韓親善会議が9月4日～5日にソウルで開催され、当会から板橋敏雄理事長と私、坂下が参加して参りました。米山記念奨学会関連のご報告を致します。

第二日目の5日に約40分間、米山記念奨学事業について3人がスピーチをしました。まず、板橋理事長が事業の現況、そして韓国出身学友の活躍を紹介しました。特に、その前日、元駐日韓国大使の崔相龍氏と面談した際のエピソードや、金玄勲氏が運営する福祉施設を見学した際



に受けた感銘を熱く語り、改めてカウンセラー制度の意義と重要性を訴えて会場の感動を呼びました。

2人目は、韓国の祥明大学教授であり、ニューソウルRC会員として活躍する米山学友、柳京子さん（1981-83／北茨城RC）が登壇。途中、お世話になった第2820地区の北茨城RC、土浦RC、筑波RCへの感謝を表すため、わざわざ演壇を降りて深々と頭を下げた姿が印象的でした。帰国前、「ロータリアンになって地域社会と世界平和に貢献したい」と決意した通り、今、ロータリアンとして奉仕を実践。韓国米山学友会の副会長も務める柳さんは、日韓両国のさらなる関係改善、そして世界平和のために「私たちロータリアンが手を携えて進みましょう」と呼びかけました。

3人目は、第7回親善会議でもパネリストとして参加した黄セミさん（2001-02／東京南RC）です。奨学生当時のエピソードに触れ、「ロータリー米山記念奨学金が心と心のつながりについて教えてくれ、私の視野を広げてくれた」と、感謝の言葉を述べました。そして、反日感情の強い父親が自分に「おまえの時代はわれわれとは違う。日本へ行って自分の目で学びなさい」と言って送り出してくれたように、いつか自分の娘へ「固定観念に縛られず日本を見なさい。そしてそこに行って直接学んで、生き方や考え方を感ぜなさい」と話してあげたいと語り、会場から大きな拍手を受けました。



米山記念奨学事業を通して、日本と韓国の「心と心の交流」が深まっていることを両国のロータリアンが実感した一日でした。（事務局長・坂下博康）

まもなく、米山の資料が全クラブへ届きます

今年も下記の米山月間用資料を全ロータリークラブへお届けします（9月18日発送完了）。クラブ会長もしくはクラブ米山奨学委員長は必ずお目通しください。理事、ガバナー、評議員、専門委員、地区米山奨学委員長・委員の皆さまにもお送りします。

- 1 豆辞典 ----- 全会員数分+1部
（プレゼンテーション用パワーポイントは、地区米山奨学委員長・ガバナー事務所へメールでお送りしますが、ご要望があればお気軽にお問い合わせください）
- 2 クラブ米山奨学委員長の手引き ----- 1部（クラブ米山奨学委員長用）
- 3 「寄付金マニュアル抜粋版」 ----- 1部（クラブ事務局用）
- 4 2008年度事業報告書 ----- 1部
- 5 2008年度事業報告書 統計・資料編 ----- 1部
- 6 2008年度 決算報告 ----- 2部（クラブ会長・クラブ米山奨学委員長用）

（財）ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当：野津・峯



文庫通信

<264号>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

<ロータリー情報>

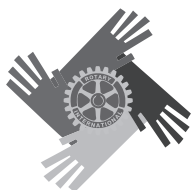
◎「永遠の課題・職業倫理」	深川純一	2009	12p	(D.2670)
◎「永遠の課題・職業倫理」	深川純一	2009	15p	(D.2710)
◎「職業奉仕の原理と実践」	深川純一	2009	14p	(D.2720)
◎「ロータリーの原点・基本に返ろう」	廣畑富雄	2009	2p	(D.2530)
◎「『決議 23-34』への熱き思いー終章」	渡辺好政	2009	9p	(D.2580)
◎「RIの難問の一つは会員増強と会員維持」	渡辺好政	2009	6p	(D.2580)
◎「『ロータリーとは?』ーロータリアンであることの意義」	成川守彦	2009	15p	(D.2760)

[上記申込先：ロータリー文庫（コピー /PDF）]



ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6465・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



2009-10年度 国際ロータリー第2740地区

地区大会のご案内

「感謝で翔く島原半島」

— 友輪の島原へ！お待ちしております!! —



【日 程】

島原半島 世界ジオパークへ



ごあいさつ

2009～2010年度
国際ロータリー第2740地区

ガバナー 高城 昭 紀

島原半島は「世界ジオパーク」国内第一号に決定しました。地形や、地質、火山、断層など地球活動の遺産を見どころとする自然公園「ジオパーク」です。

この島原においてジョン・ケニーR I会長の2009-2010年度テーマ「ロータリーの未来は、あなたの手の中に」について仲間とともに語り合い、友情を交換し地区大会を楽しんで下さい。

心から皆様の御来訪を歓迎申し上げます。

10月30日(金)

17:00～ R I 会長代理晩餐会

【場所】雲仙観光ホテル

10月31日(土)

【場所】島原復興アリーナ

10:00～ **会長・幹事会**

11:30～ **四委員会**

12:30～ **大会本会議** (第一部)

14:20～ **記念講演**

16:10～ **大会本会議** (第二部)

18:30～ **記念懇親会** (第三部)

【場所】九十九ホテル

11月1日(日)

大会本会議 二日目

「親睦活動の日」

9:00～13:00

〔Aの部〕世界ジオパーク研修ツアー

8:00～

〔Bの部〕記念親睦ゴルフ大会

【集合場所】島原ゴルフ場

【記念講演】

10月31日(土)

キャスター **草野 仁氏**

「いつもチャレンジ精神で」

〔レギュラー番組〕

TBS「世界ふしぎ発見」

テレビ朝日「草野☆キッド」

テレビ東京「主治医が見つかる診療所」



【ホストクラブ】 島原ロータリークラブ

【コ・ホストクラブ】 雲仙ロータリークラブ・島原南ロータリークラブ

【地区大会事務局】

〒855-8550 長崎県島原市高島2丁目7217 島原商工会議所2F

TEL0957-61-0777 FAX0957-61-0122 E-mail: chikutaikai@drive.ocn.ne.jp



国際ロータリー第 2740 地区

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2009-2010年度ガバナー 高城 昭紀

■ガバナー事務所

〒855-8550 島原市高島2丁目7217 島原商工会議所2F
TEL: 0957-61-0121 FAX: 0957-61-0122

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2009-2010年度

国際ロータリー第2740地区 ガバナー 高城昭紀



秋の空：長崎市

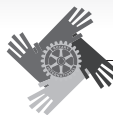
CONTENTS

高城昭紀ガバナー	1
ガバナー補佐・リレー随想	2
インターアクト年次大会報告	3
国際奉仕部門合同セミナー報告	4
2010～2011年度国際青少年交換派遣学生選考会開催	5
米山記念奨学部門セミナー報告	6
ガバナー公式訪問	7
ガバナー・ノミニー決定宣言	16
ハイライトよねやま116	17
新入会員紹介・物故会員	19
会員数・出席者報告	20
文庫通信	裏表紙

被爆の残痕を撮りたくて浦上の町を歩き、最後に平和公園にたどり着きました。郷土出身である北村西望先生作の平和記念像の慈悲に満ちたまなざしに迎えられ、澄み切った空を彩る白い雲が秋色を深めていました。夢中でシャッターを切り、大きく深呼吸して平和の大切さを奥深くまで吸い込みました。

写真撮影者：宮崎圭介氏（二科会会員）





ガバナー公式訪問 を終えて

2740地区ガバナー

高 城 昭 紀

7月10日の鹿島・嬉野の合同例会を皮切りに、10月3日の島原地区のクラブまで、およそ3ヶ月間にわたって、57クラブを訪問することができました。

今思えばよく廻れたものだと思っています。その時は張り切っていました。

移動する時間帯が一番暑い時で大変でした。運転の石橋さんがよく頑張りました。

また、パワーポイント操作の川上さんも、よく頑張りました。この2人に支えられて公式訪問ができました。お二人に感謝致します。

訪問しましたクラブでは大変歓迎していただき、感謝致します。

また、私の拙い卓話を熱心に聴いて下さり、ありがとうございました。

各クラブの活動報告書を振り返って見ますと、そのクラブの会長・幹事さん、そして例会の様子が頭に浮かんできます。

しかし、来年のガバナー公式訪問の際に改善して頂きたい点があります。それは、以下の点です。

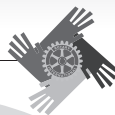
出席を良くして下さい。

活動計画書をきちんと整備して下さい。

以上です。

2740地区の57クラブの皆様、本当にお世話になりました。

次のガバナー高原先生をよろしくお願いします。



ガバナー補佐 ・リレー随想

第4グループガバナー補佐 山本 晴彦

日本茶は私達の日常生活に欠かすことのできない飲料ですが、最近、会議等でペットボトルに入ったものがよく配られるようになりました。

日本茶は臨済宗を開いた栄西禪師が中国より種子を持ち帰り、春振山で育てました。やがてそれが日本全国に広まったといわれています。

栄西禪師は「喫茶養生記」という本に「お茶は養成のための貴重な薬であって長生きする為に必要なものである。お茶が繁茂している土地は、極めて清く尊い土地である。ここで生長したお茶を飲むと長生きすることができる。お茶は不老長寿の効能をもち、昔から珍重されている仙薬である。中国でもインドでも珍重されている。ぜひ摘んで用いたいものである。」と記しています。

日本茶は茶の葉を湯で煎じ出す煎茶と茶の葉を極微粉碎する碾茶、いわゆる抹茶があります。

抹茶は最も古い伝統を持ち、茶の湯の歴史とともに発展してきました。独特の味、香り、色合いがあります。

特に抹茶は葉そのものを粉碎したものを飲むので煎茶よりも顕著な効能があるようです。

■抹茶は穏やかな興奮作用を与える。

一服のお茶を飲むと頭はすっきりして元気がでてくる。お茶の成分のカフェインが脳の神経中枢を興奮させるため精神機能と運動機能が高まり、身も心も軽くする。

■抹茶はスタミナを高める。

お茶のカフェインが脳に興奮を与えるとその影響は末梢のもろもろの筋肉の働きを高め、内臓も運動筋も活発になる。

■抹茶は記憶力をよくする。

カフェインの脳興奮作用により記憶力判断力も高まる。味の濃い一服のお茶は頭の回転を速め、心に安息を与える。

■抹茶は疲労回復にもよく効く。

一服のお茶は心理的な気分の転換をもたらすとともに、カフェインは脳に興奮を与え、体の機能を活発にするので再び労働の意欲がわく。

■朝の一服は食欲を増す。

朝食前にいただく一服のお茶は頭を覚めさせ気分もさっぱりさせてくれる。そして胃腸を刺激して軽い運動を起こすので食欲もでてくる。

■二日酔いに効能がある。

お茶の中にたくさんあるカフェインは酒酔いをさますためのブドウ糖をつくり、肝臓でアルコールの分解を行う酵素の力を高めるため、アルコールからできた有害物質の分解が盛んになる。酒酔いざましに効果的である。

お茶の生産地には長寿が多いと言われています。それはお茶の生産地はだいたい気候風土に恵まれているから、これも長寿の一因といえますが、お茶の効用を考えるとお茶を好むことにより健康が増進され、長生きすることが期待できそうです。

日常生活に取り入れたいものです。



インターアクト年次大会報告

地区インターアクト委員長 天 本 俊 太

8月29日(土)30日(日)、島原の九十九ホテルにて「私たちはどうすべきか」～今と向き合い新しい未来を～というテーマでインターアクト年次大会がホスト校・島原中央高校(提唱 島原RC)、コホスト校・長崎女子商業高校(提唱 長崎南RC)、諫早農業高校(提唱 諫早RC)、協力校・鎮西学園高校(諫早北RC)の下で参加約300名、うち生徒200名超で行われました。

29日は午後より、ガバナー、島原市長を初め多くの方々に参加して頂き、開会式が行われ、その中でクラブ運営・社会奉仕・国際理解の各部門(以後3部門)の金賞・銀賞・銅賞が表彰され、金賞にはガバナーより特別副賞が贈られました。休憩を挟み3部門に別れ、NHKで放映されたプロジェクトXを鑑賞し意見交換を行いました。

クラブ奉仕部門では「出来ることはすべてやる」を鑑賞した生徒さん達からは、自分たちのクラブ運営でもまだやれる事がないのだろうかとの意見が出ました。

社会奉仕部門の「ゆけ チャッピー 奇跡の犬」では盲導犬を育てる事の困難さや障害者に対する理解が話し合われました。

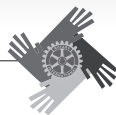
国際理解部門の「えりも岬に春を呼べ」を見た生徒さん達は、一度破壊した自然を取り戻す事の困難さが理解されていました。

夕べの集いでは、有田工業高校のバンド演奏、唐津西高校の歌と踊り、島原中央高校全校上げてのエイサーで大変盛り上がり、全員の笑顔で親睦を深めました。

30日は早朝より島原の護国寺を訪問し、正座の仕方、手の合わせ方など日本人として知っておかなければならない基本的な作法に付いて、住職さんよりご教授を受けました。

ホテルに戻り最後のプログラムである「掛谷剛志」さんの記念演奏を聴きました。視覚、知的障害など多くの障害を持つ17歳の少年の美しいピアノと歌、段ボール箱を使い演奏する姿を見て、会場の高校生達が自然に自分たちの身なり姿勢を整える姿をみて、非常に感動いたしました。

最後になりますが、この様に素晴らしい年次大会を企画・運営して頂いた島原中央高校の生徒さん、先生方、島原RCの皆様に感謝申し上げてインターアクトクラブ年次大会の報告とさせていただきます。



国際奉仕部門合同セミナー報告

国際奉仕統括委員会委員長 前 田 博 憲

(佐賀西RC)

9月6日(日)13:00より、東彼杵町総合会館文化ホールにおいて国際奉仕部門(ロータリー財団委員会、財団奨学・学友委員会、GSE委員会)と米山記念奨学委員会合同の研修セミナーを開催いたしました。

当日は高城昭紀地区ガバナーをはじめ佐古亮尊、パストガバナー、栗林英雄パストガバナー(米山記念奨学委員会理事)、高原武彦ガバナーエレクト、各グループ・ガバナー補佐各位のご来席と地区内各クラブより、会長や担当理事・各委員長殿など多数のご出席を願い、約4時間に及び最後までご熱心に聴講頂きました。

セミナーは高城ガバナーのご挨拶に続き

- 1、ロータリー財団 2、財団奨学・学友
3、GSE 4、質疑応答 の順で行いました。

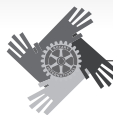
- ① ロータリー財団では、森永委員長より、昨今の世界不況下においてR財団基金に多額の未実現損が生じたこと、RIの最優先活動であるポリオ撲滅活動などの資金の確保上、既存の一部プログラムへの補助金削減や複数プログラムの中止などの決定が下されたことの報告がされ、併せてポリオプラスプログラムに対する各クラブへのご協力の要請がありました。

- ② 財団奨学・学友では、笠委員長の挨拶の後、ロータリー国際親善奨学生として2008～09に西アフリカのガーナ(ガーナ大学)に留学された学友の古井陽子さんによる素晴らしい体験発表に参加者一同、時間の経つのも忘れて聞き入りました。

- ③ GSE「研究グループ交換」では、山田委員長より「暫く行われていなかったが次年度に向け是非実行したい」との話があり、GSEについての詳しい説明がありました。

このプログラム実現のためには早い段階でのサポート体制づくり(派遣相手地区とのパイプ探し、チームメンバーの発掘・確保、チームリーダー選定・・・等々)が不可欠であり、地区内ロータリアン諸兄のご理解と積極的な協力をお願いがありました。

- ④ 質疑応答では財団奨学生の「留学先選定方法」や「国際奉仕部門」の範疇についての捉え方等について貴重なご意見とご質問を頂き、今後の地区運営に多くのご示唆を頂き非常に有意義なセミナーになった事に統括委員長として深く感謝を申し上げます。



10～11年度 青少年交換 派遣学生選考会開催される

2740地区交換学生委員長 瀬戸口 智彦

H21年9月27日 13:00から 諫早ホテルグランドパレスにて10～11年度派遣学生選考会が高城ガバナーの出席のもと厳しい英語と日本語の面接さらに筆記試験が開催され下記の5人が派遣候補生として合格されました。

参 加： 高城ガバナー 高木地区幹事（ガバナー事務所）

地区委員会： 瀬戸口 山本 若杉 川渕 戸村 飯田 益田 相内（事務局）

クラブ関係者： 三山格（長崎） 宮田隆、 関啓治、 野口邦夫（雲仙）

中島洋三（佐世保南）

派遣候補生： 益田喜和子 幕友美（長崎） 松尾彩亜未（諫早マルチ）

松田菜奈（佐世保南） 竹馬佑美（雲仙）

英語試験官： H a n n a （長崎 来日学生）



< 選考会 >

13:00 開会の言葉

13:10 ガバナー挨拶

13:20 選考会開始

A、B班に分かれ英語面接 日本語面接にわかれ同時進行

13:20～14:20

英語 日本語 面接 各自 5分間 ～8分間

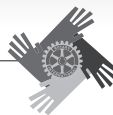
14:30～14:50

英語筆記試験

15:00 講評： 瀬戸口地区委員長 結果は 其々の

ロータリークラブへ通知することで終了しました。





「米山記念奨学部門セミナー報告」

米山記念奨学地区委員 大久保 重 利
(佐世保西R C)

9月6日(日)「東彼杵町総合会館」文化ホールで米山記念奨学部門セミナーが開催されました。北郷委員長の開会の挨拶に始まり栗林米山理事と高原ガバナーエレクトのご挨拶。委員長よりDVD「心つないで世界へ」ロータリー米山記念奨学会の学友たち、米山月間についてお話がありました。

DVDを委員会でも拝見させてもらい各クラブ担当の方にも配布しました。(欠席クラブへは、発送するそうです。)DVDを活用していただきロータリー米山記念奨学会へのご理解をお願い申し上げます。

「豆辞典ロータリー米山記念奨学事業2009～2010年度版から」

1. ロータリー米山記念奨学事業とは
2. 寄付金はどのように使われます。収入と支出
3. ロータリー米山記念奨学会の財政
4. 寄付に対する表彰制度
5. 2008年度地区別寄付は、額と個人平均寄付順
6. データーでみる米山学友学校から恩返しの寄付
ついに中国学友会2009年3月設立
7. 奨学金プログラム

以上の事を学びました。

今月から米山奨学生卓話の派遣がありますのでお世話クラブおよび、卓話を派遣依頼されるクラブの皆様、交流に御協力をお願い致します。



The future of rotary is in your hands

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

ガバナー公式訪問

● 大村ロータリークラブ

会長：高瀬 正之

幹事：渡海 昇

8月25日に、高城ガバナー、松永ガバナー補佐、高木地区幹事をお迎えして、いけす割烹寿楽にて公式訪問例会が開催されました。

例会に先立って、16時30分より、当クラブから会長、会長エレクト、幹事が出席し、懇談会が開催されましたが、当クラブの活動報告を隅々までよく読んでいただき、様々なお褒めの言葉、そしてご指導の言葉を頂きました。当クラブが気付かなかったところもいろいろとご指導賜り、これからのクラブ運営にとってとても有意義な時間となりました。

17時30分定刻になり、会長点鐘と共に例会が始まり、高城ガバナーからは「ポリオ撲滅」に関する卓話をいただきました。ガバナーの温和な人柄どおりそのお話はとてもやさしく分かりやすく、会員一人一人が現状をより深く理解でき、ポリオ撲滅への思いをまた新たにすることができました。

また、功勞のあった会員に対しねぎらいのお言葉をいただいた上に更に記念品まで頂き、会員も大変感動しておりました。

クラブ協議会では、本年度運営方針及び各委員会の活動方針を発表し、高城ガバナーと松永ガバナー補佐より身に余る所感を頂きました。

例会終了後の懇親会そして2次会と、終始和やかな雰囲気の中で親睦の時間を過ごさせていただきました。皆様には長時間にわたり最後までお付き合い頂き大変ありがとうございました。

今年度当クラブは、おかげさまで創立50周年を迎えます。今回の公式訪問例会はその記念すべき年の最初の重要な事業であり、高城ガバナーをお迎えして全会員の心がひとつになることが出来ました。そして今年度スタートの大きな弾みとなりました。ありがとうございました。

最後に、高城ガバナー、松永ガバナー補佐、高木地区幹事におかれましては、健康にはご留意され、今後ますますご活躍されますことを祈念致します。



● 福江中央ロータリークラブ

会長：尾崎 和典

幹事：本岡 晃

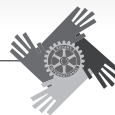
8月21日（金）高城 昭紀ガバナー、佐藤 豊ガバナー補佐、高木 義和地区幹事をお迎えして、公式訪問合同例会を福江ロータリークラブで開催致しました。事前の懇談会では、合同例会のため約30分と短い時間でしたが、当クラブの事業内容運営等につきましても的確なご指導を賜り、大変貴重な勉強をさせていただきました。今後のクラブ運営に役立てて行きたいと思います。



例会では、高城ガバナーより福江中央ロータリークラブ会員の中で特別に3名の方に記念品を頂きありがとうございました。本人達も大変喜んでいました。

卓話ではプロジェクターを使ってわかりやすく説明して頂き、ポリオに関して再認識させられ、今後ポリオの撲滅に関して少しでもお役に立ちたいと思いました。また例会終了後には、堂崎天主堂へご案内したのですが、飛行機の時間の都合上高浜の美しい海を見ていただけなかったのが残念です。ガバナーとの事前懇談会、例会と緊張の連続でしたが皆様のお陰で無事終える事ができました。

最後に、高城ガバナーにおかれましては、今後ともお体に十分留意されご活躍されますよう心よりお祈り申し上げます。



ガバナー公式訪問

● ハウステンボス佐世保・佐世保東南ロータリークラブ

ハウステンボス佐世保RC
会長：岡田 金助 幹事：堀口 直人
佐世保東南RC
会長：大野 満也 幹事：牟田 義豊

9月2日（水）、高城ガバナー、高木地区幹事、第6グループの棧ガバナー補佐をお迎えし、ハウステンボス内ホテルヨーロッパランブランスホールにて、佐世保東南ロータリークラブ、ハウステンボス佐世保ロータリークラブ合同でのガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立っての事前懇談会では高城ガバナーの優しいお心配りに感銘し、また一方で事業計画内容へのご指摘などもいただき身の引き締まる思いをいたしました。

現況報告の際、当クラブが創立以来環境美化に奉仕していること、チャーターメンバーが多数残っていることなどをお伝えすると、さっそく例会の卓話の中に取り入れられたり、創立以来無欠席者の表彰に記念品を頂いたりとサプライズもございました。

例会では、RIのテーマ「The future of rotary is in your hands」に沿って、ポリオ撲滅に対するロータリー活動の歴史など詳しくご説明いただき、「いまだ発症例が後を絶たない。ポリオウィルスを撲滅するためには膨大な資金と根気（時間）が要る。」と話を結ばれ、ロータリークラブへの協力をお願いされました。

会員一同が高城ガバナーの卓話に熱心に聞き入り、この活動に対する深い理解と各人ができることの再認識が得られたのではないのでしょうか。

2クラブ合同ということもあり、和やかな中にも緊張感のある大変有意義な公式例会となりました。

高城ガバナーにおかれましては、残暑厳しい中での公式訪問、誠にありがとうございました。公式訪問は今半ばとのこと、ご健勝で廻られますことをご祈念申し上げます。



● 佐世保東ロータリークラブ

会長：前田 和隆
幹事：西畑栄一郎

去る9月3日、佐世保中央・佐世保東RC2クラブ合同の高城ガバナー公式訪問例会がJR全日空ホテルにおきまして開催されました。高城ガバナーにおかれましては、残暑厳しい中ご訪問いただきありがとうございました。

例会では佐世保中央RCさんと合同例会ということもありまして、例会参加人数がいつもの3倍くらいになり、独特の緊張感のなかにも大変和やかな公式訪問となりました。

例会に先立ってクラブ役員との懇談会が実施され、当クラブの現況報告及び問題点（会員減少など）をご説明いたしました。

高城ガバナーからは示唆に富むアドバイスを非常にわかりやすく丁寧にいただきました。

また、例会でのガバナー卓話ではジョン・ケニーRI会長からの伝達と要望を我々にわかりやすくお話しくださり大変有意義な時間となりました。

会員一同感謝申し上げますとともに、お体に留意され益々のご活躍を祈念しております。





The future of rotary is in your hands

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

ガバナー公式訪問

● 佐世保中央ロータリークラブ

会長：井上 亮
幹事：池永 隆司

9月3日（木）、高城昭紀ガバナー、棧猪一郎ガバナー補佐、高木義和地区幹事をお迎えして、佐世保東ロータリークラブ、佐世保中央ロータリークラブとの合同公式訪問例会を、ハウステンボスJR全日空ホテルで開催致しました。

例会に先立って、会長、幹事、会長エレクトとの懇談会が行われ、クラブ現況報告、親睦活動、社会奉仕活動などを説明いたしました。その中、我クラブの良いところ、クラブへの要望などをお話し頂き、和やかななかにも有意義な懇談が出来ました。

当クラブは、1990年に創立し、現在会員数は39名・名誉会員1名、内女性会員2名であります。近年会員増強・退会防止に苦慮し創立当時40名の会員数を割る事態となり、今年度は純増2名の会員増強を目標に努力いたします。例会のガバナー卓話では、RI会長ジョン・ケニー氏の方針の説明、ポリオ撲滅への協力をお願い、クラブ・リーダーシップ・プランの推奨などのお話をされましたが、ポリオプラスについてはプロジェクターを使われわかりやすいお話を頂きました。また、例会最後には「手に手つないで」を、佐世保東ロータリークラブ様の会員と共に合唱し、友好を深め有意義な例会であったと思います。

最後に、当クラブは来年度20周年を迎える若いクラブでありますので、今後とも、ご指導よろしくお願い致します。



● 長崎中央ロータリークラブ

会長：井筒 亮平
幹事：高田昌一郎

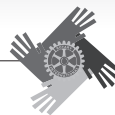
2009年9月7日、高城ガバナー、濱本ガバナー補佐、高木地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会ならびにクラブ協議会が開催されました。例会に先だって行われた会長・幹事・会長エレクトとの懇談会では、和やかな雰囲気の中でクラブ運営の課題についてポイントを突いたご指導をしていただきました。

例会のガバナー講話では、冒頭、クラブ創立以来の例会皆勤者や、米山奨学生、財団奨学カウンセラー、多額の寄付をした会員にバッジをいただきました。予想外のことに会員一同驚くとともに、そのお心遣いにたいへん感激いたしました。講話では、特にポリオ撲滅について時間を割かれました。お医者様らしく、そもそもポリオとはどういう病気なのかという基本的なことから始め、ポリオ撲滅の進捗や、ロータリーの関わりなどについて順を追って説明されたのが印象的でした。これによってポリオプラスプログラムの意義を再認識した会員も多かったのではないかと思います。

例会後のクラブ協議会では、ガバナーから女性会員の入会を中心にアドバイスをいただきました。そのほかにもどのようなご指導があるだろうと緊張しておりましたところ、濱本ガバナー補佐から、出席率が高いことなど、当クラブの良い点を指摘していただき、大きな励みになりました。

全体を通じて、大変有意義な機会となりましたことを心から感謝申し上げます。今後ともご指導くださいますようお願いいたします。





ガバナー公式訪問

● 長崎西ロータリークラブ

会長：三宅 敏彦
幹事：高木 宏隆

9月8日（火）、高城昭紀ガバナー、高木義和地区幹事、佐藤豊ガバナー補佐を迎え、公式訪問例会を開催致しました。高城ガバナー、高木地区幹事もお会いするのが5回目と言う事もあり、懇談会から和やかな雰囲気の中で始まりました。

まず最初に指摘された事は、会員増強の件です。全国的に会員が減少している。退会防止に努め、女性会員の勧誘も積極的に進める事。「ロータリーの未来はこのクラブの中に」との御指導でした。例会では、パワーポイントを使ってR Iの方針を説明され、中でもポリオ撲滅に時間を削れと説明されました。我がクラブについては、各分野で活発な奉仕活動を行っているとお褒めの言葉を頂きました。この言葉に驕ることなく、会員増強と奉仕活動を続け、地域社会に溶け込んだロータリーで有りたいと思います。

「明るく、楽しく、元気よく」をテーマに、今年度の課題に取り組んで参ります。

最後になりますが、高城ガバナーの腰の状態が気がかりですが、御身体には十分ご留意され、ご活躍されることをお祈り申し上げます。



● 長崎北東ロータリークラブ

会長：北郷 保人
幹事：本多 哲朗

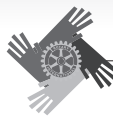
去る9月9日（水）に高城昭紀ガバナー、高木義和地区幹事、第九グループ佐藤豊ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会前に会長、幹事、会長エレクト出席での懇談会において、当クラブの活動計画書に基づき、①出席率の推移グラフ及び奨学生受入れ履歴の掲載、②新入会員へロータリー情報委員よりの入会時のレクチャーの必要性、③会員増強活動は3年レンジでの計画と展開の有効性、④卓話人選での地区研修委員会メンバーの活用等々のきめ細かいご指導・アドバイスを頂きました。又、忌憚りの無い意見交換もさせて頂きました。

例会でのガバナー卓話ではプロジェクターを使っのR I会長方針、国際ロータリーのテーマ「ロータリーの未来はあなたの手のの中に」について非常に判りやすい懇切なご教示を賜りました。又、ガバナー自らチャーターメンバーの方への感謝とロータリー財団及び米山奨学会特別寄付者へのお礼の場を作っていただき、会員一同高城ガバナーのご配慮に感銘を受けた次第です。最後になりましたが新例会場スタートにあたってのお祝いを戴き感謝申し上げます。

今後とも一層のご指導を御願い致しますと共に御体には十分に留意されご活躍されますようお祈り申し上げます。





The future of rotary is in your hands

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

ガバナー公式訪問

● 東長崎ロータリークラブ

会長：山口 善生
幹事：松山 敏雄

去る、9月15日(火)、高城昭紀ガバナー、濱本好哉ガバナー補佐、高木義和地区幹事をお迎えして、公式訪問例会が開催されました。

事前懇談会では、30周年事業及び式典についての報告、説明を行い事業についてのご理解とご支援を頂きました。特に地域に密着した活動に興味を持って頂き、地区として協力できるものがないのか等、積極的な姿勢でご賛同頂きました。その他にも、様々なアドバイス(年次計画書への歴代会員、チャーターメンバー、寄付者等の追加記載、会員増強、例会の在り方等)を賜り歴史や融和に対するガバナーの配慮やきめ細やかさに感銘を受けました。

続く例会時の卓話では、今後のRCの活動における基本構想等をスクリーンを使用しながらご指導頂きました。その際、我がクラブ会員の功労者、米山奨学生へのプレゼントを頂き誠にありがたく、ガバナーの人柄を感じさせる出来事に感動を覚えました。

その後クラブ協議会にも引き続きご参加頂き、長時間にわたりお付き合い下さいましたことに、当クラブ一同心よりお礼申し上げます。これを機に新たに我がクラブの活動の発展に取り組んでまいりたいと思っております。

高城ガバナー、濱本ガバナー補佐、高木地区幹事皆様の今後益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

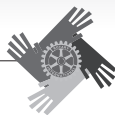


● 長崎南ロータリークラブ

会長：川崎 孝
幹事：尾上 徹

9月16日水曜日、高城ガバナー、濱本ガバナー補佐、高木地区幹事をお迎えして、公式訪問例会並びにクラブ協議会を開催致しました。例会前開かれた、会長、会長エレクト、幹事等との懇談会においては、当クラブの組織、チャーターメンバーの現状、クラブへの貢献度の高い会員、会員増強等について、詳細なご質問とご指導がありました。特にS A Aの位置付けは本来の趣旨に戻り、次年度組織の宿題となりました。本年度の活動計画書を事前に熟読されていたのだと思います。公式訪問例会でのガバナー卓話ではパワーポイントを活用され、R Iの方針を簡潔にご説明になり、特にポリオプラス事業については、その意義と経緯、現状等を力強く語られました。クラブ協議会については、会長以下幹事、理事、委員長より本年度の活動計画について事業内容、予算をご説明いたしました。ガバナー補佐より所感とご指導を、最後にガバナーより総評を頂き、公式訪問例会、クラブ協議会を無事終えることが出来ました。2740地区の全クラブの活動に心を配られるガバナーに身近に接し、ガバナーの穏やかな語り口と大きな指導力を感じる貴重な機会を得られましたことを感謝致します。





ガバナー公式訪問

● 長崎ロータリークラブ

会長：殿村 育生
幹事：川原 強

9月17日（木）高城昭紀ガバナー、佐藤 豊ガバナー補佐、高木義和地区幹事をお迎えし、長崎琴海ロータリークラブとのガバナー公式訪問合同例会を開催いたしました。

例会前の会長、幹事、会長エレクトとの懇談会では、まず昭和15年9月、R I 脱退が日本ロータリーで決議された後は、木曜会の名称で会合を続けていたこと。昭和20年8月9日の木曜日は、原爆投下のため中断を余儀なくされたこと。故 橋本和太八会員は、宮崎、鹿児島、熊本にはまだ1クラブしかない時代、出張先の大分から土曜日例会がある宮崎まで移動し、宮崎クラブ例会場まで大雨の中をメイクアップに行かれたことなど会話が弾みました。



公式訪問合同例会では、最年長 伊藤会員（97才）、38年出席皆勤の益田会員へ記念品を贈呈して戴きました。パワーポイントを使用され、ジョン・ケニーR I 会長の方針を説明して戴きました。R I 会長テーマとともに、「長崎ロータリークラブの未来はあなたの手の手に」の問い掛けを全会員で受けとめ各奉仕部門の活動を推進していく所存です。

● 長崎琴海ロータリークラブ

会長：梶原 亮謙
幹事：山上 広信

9月17日（木）高城昭紀ガバナー・佐藤豊ガバナー補佐・高木義和地区幹事を迎え、公式訪問の日程を終了致しました。

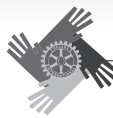
ことに、今回は4年ぶりとなる、伝統ある長崎RC様との合同例会となり、緊張の中、R I 会長のテーマ・ポリオについての取り組み等、拝聴させて頂きました。

また、例会に先立ち、ガバナー他・会長・幹事の懇談会の席上で、「カンボジアのソーラーパネルの設置活動の支援」「現状・活動計画書での国際奉仕部門で寄付について明記されている点」



「計画書のファイル形式など」他クラブにない独自性を指摘され、少人数（21名）ながら活発な活動をなされていると、お褒めの言葉を頂き、当クラブ佐藤ガバナー補佐には要所での確なフォローを頂きました。

最後に、高城昭紀ガバナー・佐藤豊ガバナー補佐・高木義和地区幹事のご指導に感謝申し上げ、会場・その他準備をして頂きました長崎RCの皆様へ御礼申し上げます。



The future of rotary is in your hands

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

ガバナー公式訪問

● 長崎出島ロータリークラブ

会長：堤 祐敬

幹事：森崎 翔就

9月18日（金）、高城昭紀ガバナー、濱本好哉ガバナー補佐、高木義和地区幹事をお迎えして公式訪問例会を開催致しました。

例会に先立ち行われた懇談会では組織内部部門や委員会について、そもそもの成り立ちや意味を含めて、懇切丁寧なご指導を賜りました。又、「このクラブの中で特に貢献されている方は？」との御尋ねを頂き、あれこれお話を致しました。

例会に入りその御尋ねの理由がすぐに判明。

何とガバナー直々に当クラブで今活躍されている方にサプライズのプレゼントを頂いたのであります。

会場内はそれを讃える拍手と、常に各ロータリアンへの激励と暖かい眼差しを向けられるガバナーへの重なる敬愛の念に包まれて穏やかさと和やかさが一杯になりました。

又、米山奨学生、タイ君とも親しくお話し頂き、尚一層の向学心お授け下さいました。

この貴重なひとときを糧に会員一同更なる飛躍を期すところでございます。

最後に、連日の過密スケジュールの中お時間を割いて私共の処へ御足労頂きました高城ガバナー、濱本ガバナー補佐、高木地区幹事には改めて深く感謝申し上げる次第でございます。



● 諫早北・諫早西ロータリークラブ

諫早北RC

会長：八江 利春

諫早西RC

会長：吉次 良治

幹事：小溝 忠徳

幹事：吉田健一郎

2009年9月24日（木）に高城昭紀ガバナー、山口賢也ガバナー補佐、高木義和地区幹事をお迎えし、諫早西ロータリークラブと合同で例会を開催いたしました。例会前の懇談会においては事業計画書の不備の指摘や助言を頂きました。今後のクラブの運営に生かしていきたいと考えております。

卓話ではポリオ撲滅について詳しく説明をして頂き、ガバナーの熱い思いに心を動かされました。ポリオ撲滅運動について理解を深めることができました。

我がクラブでは昨年度、創立以来、初となる女性会員が入会し、活気に加え華やかさのある、楽しい活動ができております。更に女性会員も含めた会員の増強に取り組んでまいります。

また、親睦と健康増進、更なる活性化を目的に野球同好会を結成して全国大会を目指し活動を開始しました。

今後も皆様のご指導を賜りながら、元気のある楽しいクラブ運営を進めていきたいと考えております。





ガバナー公式訪問

● 諫早ロータリークラブ

会長：芦塚 猛
幹事：中村 慎一

さる7月25日（金）公式訪問例会及びクラブ協議会を実施いたしました。

当日は高城昭紀ガバナー、山口賢也ガバナー補佐、高木義和地区幹事のご来訪を賜り、公式訪問例会及びクラブ協議会に三役揃い踏みでご参加をいただき、過去に事例の無いイベントとなりました。心より厚くお礼を申し上げたいと存じます。事前に設けました会長・幹事・会長エレクトとの懇談の席では「クラブ活動報告要旨」の記載の仕方など適切なアドバイスを頂きました。高城ガバナーに頂きました卓話も併せまして、今後のクラブ運営に参考にさせて頂きたいと存じます。



当クラブは昭和35年に設立し、本年50周年の節目を迎えております。会員数はピーク時の76名を下回るものの、現在58名を有し、今期最低60名の確保を目標に会員増強に努力をしております。本年はクラブの運営に併せ創立50周年の実行委員会もスタートをしており、着実にその歩みを続けております。又、当クラブがお世話をしているローターアクトクラブも40周年を迎えます。さらに交換留学生の受け入れ（諫早5クラブ合同事業）も致しており、何かと慌ただしい年となっております。又当クラブが18年にわたり実施致しております「世界社会奉仕事業」もインフルエンザの影響で思案いたしていたところ、高城ガバナーから「今年は見合わせられたらどうですか？」というアドバイスも頂きました。

本年多くの課題を持つ諫早ロータリークラブですが、ご来訪いただきました皆様の有り難いお言葉を胸に会員一同力を合わせて邁進する所存です。今後ともご指導ご支援をお願いいたします。

最後に、高城ガバナーをはじめ地区の皆様にはご自愛の上活躍されますことを祈念申し上げます。

● 大村東ロータリークラブ

会長：菊地 廣行
幹事：雄城 勝

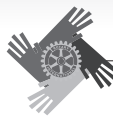
去る9月28日、高木昭紀ガバナー、松永ガバナー補佐、高木義和地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催しました。例会に先駆け会長、幹事、副会長との懇談会が開かれ、まだ14年目という若い我クラブに対し、高木ガバナーより温かいご指導を頂きました。地区幹事からは出席率の向上、長期欠席者の処遇、新入会員（入会3年目まで）への思いやり、女性への入会推進、財団での寄付等細かくご指導を頂きました。また、我々の質問についても分かりやすく説明していただきました。



松永ガバナー補佐からは、去る9月14日当クラブ協議会に置いて各委員会活動ごとに助言、ご指導を頂きました。

例会では高城ガバナーにRIの方針の説明と、ご本人が医学博士という事もあり、ポリオ撲滅についてスライドを見せながら熱く語られました。深く感動いたしました。早速翌日にポリオプラスに寄付した次第であります。また我クラブで特筆に価する活動をした会員に対し記念品まで頂き、高城ガバナーのお心が偲ばれます。まだまだ若いクラブではありますが、ロータリーの夢を絶やさぬよう、若い世代に繋いで行こうと思っています。

高城ガバナー、松永ガバナー補佐、高木地区幹事に感謝の意を表しますとともに、一層のご健勝を心からお祈り申し上げます。



The future of rotary is in your hands

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

ガバナー公式訪問

● 諫早多良見ロータリークラブ

会長：小鳥居 湛
幹事：中村 年克

9月29日は、高城昭紀ガバナー公式訪問の日でした。12時30分からの例会に先立ち、11時からガバナー、山口賢也ガバナー補佐、高木義和地区幹事と当クラブの会長、幹事、会長エレクトの6名で懇談を行う事になっていました。30分前に会場へ行ったのですが、ガバナーは既に会場に到着しておられ、早々に失礼をいたしました。当クラブにある2、3の問題点や誤りをご指摘いただき、大変勉強になりました。甲子園で開催された全国ロータリー記念野球大会に参加したことに関心を示され、また勝利したことにお褒めをいただきました。



我がクラブは日頃の例会の様子を見ていただこうと、趣向を凝らすことなく、普段着の例会を始めましたが、ロータリーソングの歌詞と違う音楽がかかるという失態を犯してしまいました。こんな失敗は初めてのことでしたが、それがガバナー公式訪問の日にかかるなど想像もしておりませんでした。周到な準備をしていなかったせいだと反省しきりです。申し訳ありませんでした。

高城ガバナーの卓話は、これまでの公式訪問のこと、RI会長の方針について話された後、ポリオという病気の説明に加えて、その撲滅運動の重要性について力説されました。当クラブからは、各委員の活動内容について発表させていただきました。最後にガバナーは新人会員を指名され、入会の感想を聞かれました。

公式訪問の例会の進行に幾つかの不行き届きがあり、気になっていましたが、ガバナーの温厚なお人柄のお陰と、個人的に親しい間柄に免じていただき、和やかな雰囲気の中で閉会することが出来ました。最後に「なかなかいい雰囲気のクラブね」と言って下さり、嬉しくまたほっと胸を撫で下ろした次第です。

● 大村北ロータリークラブ

会長：長津 弘
幹事：上野裕太郎

「ガバナー公式訪問とクラブ協議会が終われば会長の仕事も七割方終わったようなものだよ。」これは、私が会長をお引き受けする時に何人もの先輩からお聞きした言葉です。それだけに、この大事な行事が近づくにつれ日々緊張が高まってきていました。9月30日（水）幸い好天に恵まれ、高城ガバナー、松永第7グループガバナー補佐、高木地区幹事に御来訪いただき、



長崎空港観光ホテルにて公式訪問例会およびクラブ協議会を開催いたしました。例会に先立ち、会長、副会長、幹事が参加して懇談会を開催しクラブの現状を報告し、御意見、御指導をいただきました。活動計画書の会長の運営方針について、お褒めの言葉を頂き大変うれしく感じましたし、計画書の構成について貴重なご意見をいただき早速次年度より改善することといたしました。例会ではガバナーよりポリオプラスの詳細な説明を中心に大変有意義な卓話をいただきました。またクラブ協議会ではガバナー補佐より非常に詳細な講評をいただき会員一同いっそう身の引き締まる思いでした。また長年のロータリーへの寄付の功績に対する感謝を込めてという趣旨でガバナーより南野健君にプレゼントをいただきました。伺いますと地元を除くと当クラブが最後の公式訪問とのこと本当にお疲れ様でした。今回、御指導いただきました事を心に刻んで来年の6月まで一生懸命頑張ります。本当にありがとうございました。



ガバナー・ノミニー決定宣言



2011-12年度ガバナー候補者について、2008年10月1日付「月信第4号」により地区内全クラブに通知いたしましたが、期限内に推薦の申し出はありませんでした。

従いまして、R I 細則第13.020.節「ガバナーの指名手続」の定めにより、2009年10月8日のガバナー指名委員会に於いて指名されました、岩永信昭君（長崎北東RC）が、2011-12年度ガバナーに就任するガバナー・ノミニーに選出されたことを宣言しました。

その後、現在まで異議申し立てがございませんでしたので、決定宣言いたします。

2009年10月15日

国際ロータリー第2740地区

ガバナー 高城昭紀

岩永 信昭君のプロフィールは次の通りです。

生年月日	1959（昭和34）年2月2日	現住所	長崎市平野町26番13号
事業所、役職	医療法人 社団 昭成会 岩永医院 理事長（長崎市平和町8番7号）		
最終学歴	1986年3月	久留米大学医学部 卒業	
職歴	1986年6月	長崎大学医学部附属病院 第2内科	
	1987年6月	日本赤十字社長崎原爆病院 内科	
	1987年12月	佐世保市立総合病院 内科	
	1988年4月	長崎県離島医療圏組合五島中央病院 内科	
	1990年6月	長崎大学医学部附属病院 第2内科	
	1992年9月～	現職	
ロータリー歴	1996年3月	長崎北東ロータリークラブ 入会	
	2000～01年度	クラブ幹事 地区インターアクト委員	
	2001～02年度	地区インターアクト委員長	
	2002～03年度	地区新世代委員長	
	2003～04年度	クラブ会長	
	2004～05年度	地区新世代委員長 地区大会選挙管理委員長	
	2006～07年度	地区新世代統括委員長 地区新世代危機管理委員長	
	2007～08年度	第9グループガバナー補佐 地区大会決議委員	
		マルチプルポールハリスフェロー	
		ベネファクター	
		米山功労者	
団体歴	2008年4月～現在	長崎県医師会常任理事	
	2002年6月～現在	長崎県社会保険診療報酬請求書審査委員会審査委員	
	1992年9月～現在	長崎県警察嘱託医	
	2002年4月～2008年3月	長崎市医師会理事	
	2000年4月～2008年10月	長崎市介護認定審査会審査委員	



2009年10月13日発行 [月刊]
(財)ロータリー米山記念奨学会

ハイライトよねやま 116

1 寄付金速報 — 10月は米山月間 —

9月までの寄付金は、前年同期と比べて6.3%減、約2,340万円の減少となりました。普通寄付金が0.4%増、特別寄付金が15.0%減と、今年度に入ってから厳しい状況が続いています。

10月は米山月間です。10月から12月までの3カ月は、1年間の特別寄付金の約半分をご送金いただいている重要な時期です。卓話の際は、当事業に対するロータリアンの理解を深めていただくツールとして、新DVD「心つないで、世界へ」をご利用いただくなど、広報活動へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

2 GETSで米山記念奨学事業を紹介

9月11日に開かれたガバナーエレクト研修セミナー（GETS）で、当会の板橋敏雄理事長と坂下事務局長が各20分間、事業の現況説明を行いました。GETSの本プログラムで米山記念奨学事業についての時間が設けられるのは今年で3年目。また、配偶者プログラムでは、米山学友のワンマニ・チャンニャケムさん（ラオス／2006-08／東京府中RC）と張沁瑩さん（中国／2007-09／茅ヶ崎中央RC）が卓話を行いました。

国費奨学生として来日したワンマニさんは、国費にはない米山独自の世話クラブ・カウンセラー制度の魅力に触れ、「学業だけでは得られない知識、感動、勇気を与えていただきました」と述べました。また、張さんは、昨年5月に2度にわたって第2780地区米山学友会が行った四川省大地震・ミャンマーサイクロン被災者への募金活動と支援内容についての報告をしました。



ワンマニさん(右端)と張さん(左端)

3 第2800地区で学友会設立 — 全地区に学友会がそろう —

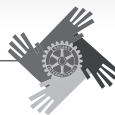
第2800地区【山形県】で8月22日、米山学友会設立総会が開催され、佐藤豊彦ガバナーをはじめとするロータリアン、奨学生・学友、合わせて約45人が参加しました。

同学友会の設立をもって国内全地区に米山学友会が網羅されるため、同席した板橋敏雄理事長は「残りものには福がある」と笑いを誘いつつ、「活動内容ではトップになって欲しい」と、期待を込めて祝辞を述べました。

初代会長となった尤銘煌さん（2003-04／津島RC）は、「恩返しの気持ちで会長を引き受けました。山形県は、面積は広いけれども学友数がとても少ないです。日本文化の体験（着付け・茶道など）や、ロータリアンとの交流を積極的に進め、少人数の中で密度を濃くやっていきたい。学友会として何か誇れるもの、続けられるもの、ロータリアンと交流を深めるものを探していきたい」と、抱負を語ってくれました。



11月に開催予定の学務・学友委員会による正式承認を経て、米山記念奨学会の学友会は、国内に30（34地区をカバー）、海外（台湾・韓国・中国）を含めると合計33となります。



4 台湾学友会による日本人対象奨学金がいよいよスタート

台湾米山学友会が設立した「日本人若手研究者奨学金」は、留学中に支援を受けた日本のロータリーへの恩返しに、台湾の大学・大学院で学ぶ日本の若者へ奨学金を支給し、日台の絆を深める人材を育てようとするもの（ハイライトよねやま 109 号参照）。学友からの寄付金を原資に、毎月 25,000 台湾ドルを 1 年間支給するほか、カウンセラー制度も備えて、台湾での留学生生活を物心両面で支えます。その第 1 号奨学生に選ばれたのが、国立政治大学大学院へ留学する山下世莉さんです。9 月に渡台すると、台湾学友会では、空港への出迎えや宿舎への案内、歓迎会の開催など、万全の態勢で山下さんを迎えました。



山下さん(左)と台湾学友会の阮理事長

山下さんは「空港で学友会の方が横断幕を広げて温かく迎えてくださり、それまでの緊張が一気に解けました。その後も、多くの元米山奨学生の方々とお会いする機会があり、留学時代のお話や、アドバイスを聞くことができました。阮理事長はじめ皆さんが、“私たちを台湾の家族だと思って、いつでも頼ってください”と言ってくくださり、これほど心強いことはありません。米山学友会の奨学生になれたおかげで、毎日充実した生活を送ることができていると実感しています」と、感想を寄せてくれました。

5 10 月は米山月間です！

■『ロータリーの友』“よねやまだより”で特集記事を掲載

『ロータリーの友』10月号の“よねやまだより”では、米山月間特集として、5 ページにわたって学友の寄稿、現在の活躍などの記事を掲載しています。地区別寄付額などのデータも掲載していますので、ぜひご一読ください。（『ロータリーの友』10月号 横組み p17～21）

■ご利用いただける米山の資料

- **豆辞典**：これを読めば米山奨学事業がひと通りわかる小冊子。全クラブに会員数分送付済みです。説明用のパワーポイントは、当会 HP からダウンロードできます。
- **新DVD「心つないで、世界へ」(15 分)**：元奨学生の活躍に焦点を当てた作品。中国学友会設立総会も収められています。無料。*当会 HP にて視聴可
- **ポスター(2 枚組)**：離れた場所からの視認性を考え昨年よりもサイズを拡大。B1 サイズ(タテ約 1m×ヨコ約 73cm)の 2 枚組です。無料。
- **バナー**：地区大会などの大きな会場に映えるバナー。吊して使用するタイプです。サイズはタテ 1m80cm×ヨコ 1m20cm の 3 枚組です。貸し出し無料。



新ポスター

バナー

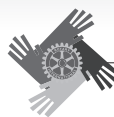


資料はこのほかにもございます。

10 月の米山月間以外にも、ぜひご利用ください！

(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当：野津・峯



The future of rotary is in your hands

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介します。



佐賀RC

石田 守 君



多久RC

柴田 浩輔 君



佐賀南RC

奥田 律雄 君



佐賀南RC

内藤 一道 君



有田RC

岩本 貢 君



佐世保RC

高木 友輔 君



佐世保RC

原田 孝 君



佐世保RC

松本 由昭 君



佐世保南RC

江口 隆 君



佐世保東RC

大木 亮諄 君



長崎RC

興縄 和広 君



長崎中央RC

森崎 良昌 君



長崎出島RC

藤 宣好 君

物故会員



有田RC

深川 明 君
(2009.7.11享年84歳)



武雄RC

岡村 孝二 君
(2009.5.29享年57歳)



長崎出島RC

森崎 翔就 君
(2009.9.14享年47歳)



2009年8月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会	
第1グループ	佐 賀	3	78.45	66	0	65	0	-1	0	1	-1
	小 城	3	74	29	2	28	2	-1	0	1	-1
	牛 津	3	83.87	29	1	31	1	0	0	0	2
	多 久	5	88.09	42	4	42	4	0	0	0	0
	佐賀大和	3	88.4	23	2	23	2	0	0	0	0
	小計		82.56	189	9	189	9	-2	0	2	0
第2グループ	佐 賀 西	4	81	44	0	47	0	3	3	0	3
	佐 賀 北	4	86.21	31	3	32	3	0	0	0	1
	佐 賀 南	3	78.86	42	2	41	2	0	0	0	-1
	神 埼	4	90.7	27	0	32	0	0	0	0	5
	佐賀空港	4	73.3	15	1	15	1	0	0	0	0
	小計		82.01	159	6	167	6	3	3	0	8
第3グループ	有 田	4	68.1	37	1	37	1	0	0	0	0
	武 雄	5	83.92	49	3	51	3	0	0	0	2
	鹿 島	3	92.31	42	2	42	2	0	0	0	0
	嬉 野	3	88.9	24	1	24	1	0	0	0	0
	大 町	3	71.4	21	0	21	0	0	0	0	0
	白 石	3	69.23	13	0	13	0	0	0	0	0
	太 良	3	95.83	8	0	8	0	0	0	0	0
	小計		81.38	194	7	196	7	0	0	0	2
第4グループ	唐 津	3	91.1	50	0	52	0	1	1	0	2
	伊 万 里	3	96.77	31	0	31	0	0	0	0	0
	唐 津 東	3	93.49	51	0	51	0	0	0	0	0
	唐 津 西	4	87	33	0	33	0	0	0	0	0
	伊万里西	3	89.3	44	0	44	0	0	0	0	0
	唐津中央	3	89.9	33	5	33	5	0	0	0	0
	小計		91.26	242	5	244	5	1	1	0	2
第5グループ	佐 世 保	4	100	73	0	77	0	3	3	0	4
	平 戸	3	84.3	32	1	36	2	0	0	0	4
	佐世保西	3	100	25	0	25	0	0	0	0	0
	北 松 浦	4	86.76	21	0	22	0	0	0	0	1
	松 浦	3	86.66	30	1	30	1	0	0	0	0
	小計		91.54	181	2	190	3	3	3	0	9

※ 上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会	
第6グループ	佐世保南	3	100	68	0	68	0	0	0	0	0
	佐世保東	3	93	20	0	20	0	0	0	0	0
	佐世保北	5	99.09	43	0	46	0	0	0	0	3
	佐世保中央	4	100	40	2	39	2	0	0	0	-
	佐世保東南	3	77.33	26	2	25	2	0	0	0	-1
	HTB佐世保	3	70.21	26	4	26	4	0	0	0	0
	小計		89.94	223	8	224	8	0	0	0	1
第7グループ	大村	4	83.97	51	2	51	2	0	0	0	0
	島原	4	72.58	32	2	31	2	0	0	0	-1
	雲仙	4	93	26	0	26	0	0	0	0	0
	大村北	4	100	32	0	32	0	-1	0	1	0
	島原南	4	76	19	1	22	1	0	0	0	3
	大村東	5	86	42	1	42	2	-1	0	1	0
	小計		85.26	202	6	204	7	-2	0	2	2
第8グループ	諫早	3	85.69	55	0	58	0	0	0	0	3
	諫早北	3	84.61	65	1	65	1	0	0	0	0
	諫早西	3	87.23	40	0	40	0	0	0	0	0
	諫早多良見	4	92.13	35	0	36	0	2	2	0	1
	諫早南	4	74.99	27	5	28	5	0	0	0	1
	小計		84.93	222	6	227	6	2	2	0	5
第9グループ	長崎	3	84.2	79	0	85	0	1	1	0	6
	福江	3	94.12	33	0	35	0	2	2	0	2
	長崎北東	3	90.64	46	6	46	6	0	0	0	0
	福江中央	3	95.4	29	0	30	0	1	1	0	1
	長崎西	4	75.41	60	0	61	0	0	0	0	1
	長崎琴海	3	65	21	2	21	2	0	0	0	0
	小計		84.13	268	8	278	8	4	4	0	10
第10グループ	長崎北	5	81.69	78	0	79	0	1	1	0	1
	長崎南	4	75.41	78	0	78	0	2	2	0	0
	長崎東	3	78.84	52	0	52	0	0	0	0	0
	東長崎	4	86	25	0	25	0	0	0	0	0
	長崎中央	4	94.09	55	0	56	0	0	0	0	1
	長崎出島	3	79.1	50	11	51	11	1	1	0	1
	小計		82.53	338	11	341	11	4	4	0	3
合計			85.54	2218	68	2260	70	13	17	4	42

文庫通信

<265号>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

<ロータリー情報>

- | | |
|-------------------------------|---|
| ◎「ロータリーの魅力について」 | 牧田 静二 2009 2p (D.2620) |
| ◎「大連RCの『ロータリー宣言』(大連宣言)について」 | 岩渕 均 2009 2p (D.2770) |
| ◎「よねやま雑感」 | 板橋 敏雄 2009 1p (D.2550) |
| ◎「三井報恩会(初代理事長米山梅吉)の結核撲滅と救済援助」 | 長谷川 了 2009 3p
(米山梅吉記念館館報) |
| ◎「概説-我が国に於ける戦前のロータリー運動」 | 金子 秀隆 2009 6p |
| ◎「ロータリーを語る-ロータリー鼎談」 | 足立 功一(コーディネーター)
2009 4p (D.2500 IM 報告書)
[上記申込先: ロータリー文庫(コピー/PDF)] |
| ◎「ロータリアンが取り組んだ平和への道標」 | 坂本 俊雄 2009 41・42p
[申込先: レオパオラ FAX (042) 622-7271] |
| ◎「素晴らしい出逢い よき師、よき友は人生の宝②」 | 戸田 孝 2009 228p
[申込先: D.2660 FAX (06) 6264-2661] |

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6465・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



国際ロータリー第2740地区

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2009-2010年度ガバナー 高城 昭紀

■ガバナー事務所

〒855-8550 島原市高島2丁目7217 島原商工会議所2F
TEL: 0957-61-0121 FAX: 0957-61-0122

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2009-2010年度

国際ロータリー第2740地区 ガバナー 高城 昭 紀



落陽：平戸市

CONTENTS

高城昭紀ガバナー	1
ガバナー補佐・リレー随想	2
職業奉仕セミナー報告	3
ガバナー公式訪問	4
新入会員紹介・物故会員／お知らせ	6
2009～2010年度米山の集い	7
ハイライトよねやま117	9
寄付者紹介	11
会員数・出席者報告	12
文庫通信	裏表紙

田平町の丘の上に立つ瀬戸山天主堂は、鉄川与作の代表作ともいわれるロマネスク様式の赤いレンガの教会です。教会は国指定の重要文化財となっていますが、その傍らに歴代の信者たちが眠る墓地があります。夕暮れ時、平戸瀬戸を望む方向に、太陽が光を弱めながら静かに静に沈んでいきました。

写真撮影者：宮崎圭介氏（二科会会員）





福沢諭吉の心訓七則と ロータリーの心

2740地区ガバナー

高 城 昭 紀

先日ある場所で、福沢諭吉の心訓七則を額に入れて飾ってあるのを見て、我々の信条とするロータリーの精神とあまりに似ていることにあらためて驚いたことがあります。福沢諭吉の心訓七則は、名言集などでよく出てくる名言訓なので、御存じの方が多いと思いますが、思い出して頂く為に、ここに掲載させていただきます。

- 一、世の中で一番楽しく立派な事は、一生涯を貫く仕事を持つという事です。
- 一、世の中で一番みじめな事は、人間として教養のない事です。
- 一、世の中で一番さびしい事は、する仕事のない事です。
- 一、世の中で一番みにくい事は、他人の生活をうらやむ事です。
- 一、世の中で一番尊い事は、人の為に奉仕して決して恩にさせない事です。
- 一、世の中で一番美しい事は、全てのものに愛情を持つ事です。
- 一、世の中で一番悲しい事は、うそをつく事です。

一番目の項は ロータリーで言えば、自分の職業を天職と思い、その職業の道徳的水準を高め、その業務を通じて社会に奉仕するという、ロータリーの綱領の第2項に相当するものといえましょう。

二番目の項にある、教養という言葉は何を表すのか難しくて、広辞苑を開いて見ましたら、哲学的解釈が載っていて、なおさら込み入った文章になっていて、さらに判らなくなりましたが、私流に解釈すると、ただ単に学識があるとか、博学であるというのではなく、一定の社会的文化を理解、把握して、その基準に則って物事を判断できる能力をもつという事だと思います。これはロータリーでいえば、例会に出席して、他のロータリアンとの交わりや卓話を通じての自己研鑽によって、自分を磨くことで達成できる事だと思います。

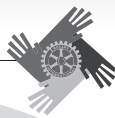
三番目の項は、まさに今の世相を反映しているようですが、もっと広い目で見ると、自分の本当にやりたい仕事を見出せない人のことかな？とも思われます。

四番目の項は、世間一般の常識でしょうし、二番目の項の延長線上にあるとも思われます。

五番目の項は、これこそロータリーの社会奉仕、国際奉仕の概念であります。

六番目、七番目の項は、皆様の聞き慣れておられる“四つのテスト”の精神そのものであります。このように考えますと、福沢諭吉の心訓七則の中身は、我々ロータリアンの持つべき心構えと正に一致しています。

このように思いをいたす時、ロータリーの創始者であるポール・ハリスにしろ、日本の明治時代に開拓者として活躍した福沢諭吉にしろ、時代をリードした先駆者と言われる人達は、全く同じような精神構造をもっておられるのかと、いささか驚いた思いを致しましたので、一言紹介させて頂きました。（注：ここに紹介しました心訓七則は、福沢諭吉の作では無いという説もあるようですが、一般に信じられている説を採りました。お断りしておきます。）



ガバナー補佐 ・リレー随想

第5グループガバナー補佐 西尾 弘 毅

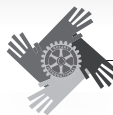
「ボランティアでご恩返しを」

1974年北松浦ロータリークラブに31歳で入会、当時は北松浦郡7ヶ町のそうそうたるメンバーばかりで居場所が違うのではないかと錯覚しておりました。諸先輩から出席しておればロータリーの良さが分かって来るよと指導賜り、今思うと当時は、青少年、社会奉仕、職業奉仕と委員会活動も活発に、会員一致団結して取り組んでおられました。紳士服仕立業として業種1人に限定、まず自分の職業に徹底しこの業界に入った時からの目標で有る、紳士服技術コンクールでの「証」とをチャレンジしておりました。自分の技術向上と、長崎県の技術のレベルアップとの思いです。

1977年、35歳で念願の最高賞を獲得、自分一人の力で「日本一」になれたのではなく、先祖、両親、家族、お客様、地域の方々、また、技術の指導を頂きました諸先生、先輩皆様方のご指導に感謝をし、何かご恩返しをとの思いで始めたのがゴミ拾いのきっかけでした。やるからには、365日1年間通してやろうと、午前6時に愛犬を連れて自宅周辺約3キロの道路、公園、駐車場のゴミを拾うことで街がきれいになり皆様から喜ばれ、励まされ、勇気を頂いてご恩返しのできる喜びで毎日の日課となりました。雨の日も、風の日も、また、元旦には特に気合が入り1年間健康で続けられますようにと思いを込め32年間「継続は力なり」と言う言葉を肝に銘じて続けたことが今では財産と思っております。散歩コース以外の国

道、県道、道沿いの花壇の雑草とり、樹木の剪定などは、年に数回行っています。当初は1人で手掛けておりましたが、到底間に合いません。1人力は微々たるもので、これは地域の皆様方のご協力がなければ出来ないと思い1999年6月6日（第1日曜日）「自分達の街は、自分達の手できれいにしよう」を合言葉に50名の方々に呼びかけて35名の参加を頂き「にこにこクリーンさざ」を結成。毎月第1日曜日、午前7時より午前8時までの1時間を定例日として始めました。

2009年10月で（10年4ヶ月）100回を迎え、会員数も120名となり毎回60名前後の方々の参加を頂くようになり県、町、地域住民の方々からも応援を頂いて自分達の街はきれいに成っております。その間、2001年8月、九州では始めて長崎県道路里親モデル事業団体「認定」以来、会員の意識が高まり、企業、商店街、個人等々会員数が増えており主催者冥利に尽きるところです。今後とも健康の続く限り地域住民の皆様と連携を続けて行きたいと思っております。ロータリーで、職業奉仕、社会奉仕、親睦と35年間ご指導賜り幸せ者であると感謝を申し上げ、今年度のRI会長ジョン・ケニー氏のテーマ「ロータリーの未来はあなたの手の中に」初心に戻り今一度奮起したいと思います。



職業奉仕部門 研修セミナー報告

職業奉仕委員会

委員長

岩 崎 修 一

地区職業奉仕委員会では「国際ロータリー第2740地区2009～2010年度職業奉仕部門セミナー」を去る9月19日（土）、諫早市の観光ホテル「道具屋」で、各クラブの職業奉仕委員長さんにお集まりいただき開催いたしました。これは、各クラブの職業奉仕委員長が、会員が職業奉仕理念を一層理解し実践するよう指導するにあたり、知識を整理し考察を深めるために毎年実施しているセミナーです。

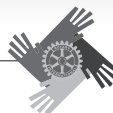
本年度は、尼崎西ロータリークラブの第2680地区パストガバナー田中毅さんをお招きし、職業奉仕概念の歴史的変遷について「ロータリーの原点を探る」というテーマでお話いただきました。田中毅パストガバナーは、全国各地で活発な講演活動を実施されておられ、全国のロータリアンに呼びかけ、年間3回の「源流セミナー」も開催しておられます。また、インターネット上では

「ロータリーの源流」というホームページで、ロータリーに関する内外の膨大な資料と、その解説や論文を発表しておられます。

本年度のセミナーでは、ロータリーの発祥（源流）から始まり、アーサー・フレデリック・シェルドンの職業奉仕概念、その後の展開、さらに近年の行き過ぎた金融資本主義に対する懸念も表明され、我々ロータリアンの役割がいかに重要かを力説されました。

田中毅パストガバナーの講演記録は、ホームページ「ロータリーの源流」に公開されています。是非一度読んでみてください。（「ロータリーの源流」←「検索」）

その中の「研修資料」に「ロータリーの原点を探る 2740地区セミナー」が掲載されています。



ガバナー公式訪問

● 島原ロータリークラブ

会長：喜多 清基
幹事：林田 幸人

10月3日高城ガバナーにとりまして、最後の公式訪問、雲仙市のホテルにて 雲仙クラブ、島原南クラブ、島原クラブ、島原半島の三地区合同例会で公式訪問が執り行われる。

おりしも雲仙市にて行われる皇太子ご出席の育樹祭前日近くのホテルに宿泊される為ホテル周りも警備陣でザワザワの中、午後6時開会の予定で集合。ホテル前を6時5分に皇太子が通過されるとの事で会員もホテル前にて皇太子の車列をお迎えし、その後6時15分点鐘で開会。



高城ガバナーのプロゼクターを使った目で見る卓話、ポリオの説明では、後数カ国がポリオ汚染地域でそれを根絶する為に寄付が必要だとの説明 会員全員が分かりやすく納得のいく説明だったと思った。

先日、日本の岡田外務大臣がアフガニスタンを訪れ子供に大臣自らポリオのワクチンを飲ませるシーンがテレビで放映されていました、そのワクチンの出所はどこなのかと思いつつ見ていました、「ゲイツ財団・ロータリー・日本政府・・・」例会の後は、高城ガバナーの今までのご苦勞と、今後のご活躍を記念して三地区合同の、慰勞会に移り高城ガバナーのご苦勞に一同乾杯「手にてつないで」で締め、その後散会。有意義な公式訪問の時間でした。

● 雲仙ロータリークラブ

会長：宮田 隆
幹事：荒木 公章

10月3日（土）は高城ガバナーの公式訪問を、松永ガバナー補佐・高木地区幹事の同席を得て、島原半島3クラブの合同例会として雲仙のホテル東洋館で開催することができました。折りしも、翌日4日開催の第33回全国育樹祭（雲仙市国見町百花台公園）にご臨席の皇太子殿下をご宿泊地雲仙東園（あずまえん；社長は当クラブ会員の石田惣一君）にお迎えする時刻と重なり、合同例会出席者全員で会場の東洋館前の国道でお迎えし、二重の慶事と相りました。

(1) クラブ概要・活動説明会

（出席：会長・幹事・会長エレクト）

当雲仙RCの“クラブ活動報告要旨”内容に対するガバナーから特に次の項目についてご指摘ご指示頂き、即実行し、次年度に反映することとしました。

1. チャーターメンバーに対する敬意表示すること、2. S.A.Aは“軍曹”として更に十分機能すること、3. 職業奉仕委員会は最重要奉仕。理念・使命・戦略を明示し活動を、4. 幹事職務が具体的内容で明示されており、非常にいいことである、5. ロータリー財団寄付、米山記念奨学金寄付への雲仙RCの貢献が大きく感謝です、6. 当クラブから委員会組織の簡素化見直し検討を提案した

(2) 3クラブ合同例会（ガバナー・ガバナー補佐・地区幹事・島原RC14名；島原南11；雲仙RC14名 合計42名）

高城ガバナーの今年度最後の公式訪問であり、2740地区57クラブの訪問に対する締めくくりの場であった。ややお疲れのご様子にもかかわらず、30分のご講演は“ジョン・ケニーRI会長＝ロータリーの未来はあなたの手の中に；ポリオ撲滅の歴史的背景と成果について＝”ご自身の専門的な立場からパワーポイントを駆使しての懇切丁寧なご講話をいただいた。あらためてロータリーの世界的な活動と貢献に、ロータリアンとしての信念と実践への決意を新たにさせて頂いた。

ガバナーの“各クラブを訪問し皆さんと懇談して、あらためてロータリーの良さと楽しさを実感した公式訪問であった”との実直なご感想は印象的でありました。

懇親会は高城ガバナー、松永ガバナー補佐、高木地区幹事の慰勞の場となり、和気あいあいの和やかな雰囲気の中で、吉原エレクトの万歳三唱でお開きと相りました。高城ガバナーはじめ皆さま、ありがとうございました。





The future of rotary is in your hands

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

ガバナー公式訪問

● 島原南ロータリークラブ合同

会長：永橋 秀光
幹事：田浦 智子

10月3日（土）ガバナー公式訪問を3クラブ（島原・雲仙・島原南）合同例会が開催されました。この日は全国育樹祭のため皇太子さまのお出迎えも例会の前にあり忘れ得ぬ記念に残る一日でした。

初めに高城ガバナー・高木地区幹事・松永ガバナー補佐との懇談会を会長、幹事、会長エレクト6名で行われ、当クラブの現況報告をしました。すでに3名増員している事に「社会情勢きびしいなか小さいクラブながらすごいですね！減少しないように少ない会員で楽しい例会・クラブ作りをして下さい！」と褒めていただきました。また「ロータリー現況と活動計画要旨」の構成の指導からはじまり、今後の為に要望、感想を話され高城ガバナーの島原南クラブに対する想いとロータリーに対する熱意を知った気が致しました。

コ・ホストクラブとして自慢するわけではありませんが、大変嬉しかったです。今回ガバナー公式訪問、最後ということで慰労と日頃ご活躍の感謝を込めての3クラブ合同例会は盛大なうちに終わりました。

皆さんと大いにロータリーを楽しみましょう。！！



● 長崎東ロータリークラブ

会長：永田 幸人
幹事：瀬崎 陽三

9月11日、高城昭紀ガバナー、高木義和地区幹事、濱本好哉カバナー補佐の3名をお迎えし、カバナー公式訪問とクラブ協議会が開かれました。

例会に先立ち、別室にて前述の御三方と当クラブの会長、会長エレクト、幹事との懇談会が行なわれ、会長よりクラブ現況を報告しましたが、その上でクラブ運営に対するアドバイスを色々と頂く事が出来ました。

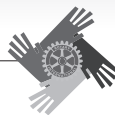
特に当クラブは今年度40周年を迎えるにあたり、記念事業として昨年度から行なっています長崎市内の小学校に対する読書本の寄贈を中心に、「長崎歴史文化博物館」に桜町小学校の6年生の子供達と合同で、桜の木記念植樹を行なう事業も決まっており、永田会長の運営方針である「ロータリアンとして地域社会に貢献しよう」という社会奉仕の精神に基づく活動に対して、高城ガバナーよりお褒めをいただきました。

また、高城ガバナーから卓話をお願いいたしましたが、その中で当クラブのチャーターメンバーや米山功労者等の寄付協力者に対して、高城ガバナーからプレゼントの贈呈があり、会員一同大変感激した一日でした。

例会終了後に行なわれたクラブ協議会には、濱本カバナー補佐と高木地区幹事にご出席いただき、会長、幹事、そして各委員会の理事の活動方針をお聞きいただいて、会の最後には濱本カバナー補佐に総評を頂き、お褒めの言葉やアドバイスを頂くことが出来ました。

最後に高城ガバナー、高木地区幹事、濱本カバナー補佐に感謝の意を表しますと同時に、今後一層のご活躍とご健勝を心からお祈り申し上げます。





新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々をご紹介します。



多久RC

柴田 浩輔 君



佐賀北RC

西野 文夫 君



唐津RC

野口 晶教 君



佐世保西RC

江口 圭介 君



大村RC

為永 淳子 君



長崎RC

坂本 卓也 君



長崎RC

八田 正昭 君



長崎北RC

山添 勝吉 君

物故会員



唐津RC

玉置 長衛 君

(2009.11.8 享年77歳)

大村ロータリークラブ例会場決定のお知らせ

第1～3火曜日 12:30～13:30

例会場 長崎インターナショナルホテル

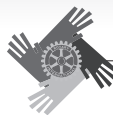
〒856-0827 大村市水主町1-973-1

TEL 0957-52-1111

第4・5火曜日 18:30～19:30

例会場 いけす割烹 寿楽 《変更なし》

12月8日（火）第2例会より上記のとおり例会場を変更いたします。



2009～2010年度 米山の集い



開催日：2009年10月4日(日)

場 所：長崎全日空グラバーヒル

報告者：第6グループ米山地区委員 中島 閏二(佐世保北RC)

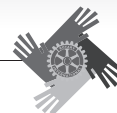
2009年～2010年度「米山の集い」は、10月4日（日）長崎市の長崎全日空グラバーヒルで 11時から14時まで開催されました。

今回の集いには、奨学生の指導教官と大学関係者も参加して頂き、ロータリー関係者、奨学生を含め、約60名の参加者でした。

北郷地区米山記念奨学会委員長（長崎出島RC）の開会挨拶に始まり、小野地区委員（諫早西RC）より来賓及び出席者の紹介。来賓挨拶として、高城ガバナーと高原ガバナーエレクトからの「ロータリーと米山記念奨学会について」の説明があり、奨学生、特に大学関係者の皆様に理解を深めていただきました。

さらに、DVD「心つないで、世界へ」で、実際の米山学友の活躍と米山記念奨学会の活動についてご覧いただきました。

また、米山学友のチャン・ティ・フェ（09年長崎国際大卒業・ベトナム・諫早西RC）さんより「米山学友の活躍」と題して、「奨学生時代と社会人の違いそして、実社会での『ほうれんそう』がいかに大切な事項なのか」など約25分の卓話をしていただきました。



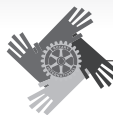
引きつづき、北郷委員長より地区の米山記念奨学会の現況と今後の予定、地区の学友たちの活躍などを紹介するプレゼンテーションが行われ参加の皆様へのさらなる米山奨学会へのご理解を深めていただきました。

集合写真の後、親睦会に入り、酒井田地区委員(有田RC)の司会で、佐藤ガバナー補佐(長崎琴海RC)の挨拶の後、奨学生の皆さんに「日本文化」に触れていただこうと花柳流の日本舞踊を習っている、西北小学校5年生の田川太一君による「竜馬がいく」そして、南山小学校6年生の山口晏奈さんによる「荒城の月」が披露されました。

続いて、カウンセラーとそれぞれの奨学生によるスピーチが行われ、学生生活でのエピソードや米山奨学会への感謝の気持ちが伝えられました。奨学生の指導教官の皆様にもスピーチをいただき奨学生の大学での研究課題や学生生活などが紹介され、また、ロータリーへの感謝の気持ちが熱く語られました。閉会のご挨拶の本多地区副幹事(雲仙RC)より、11月28日の『米山の日本文化を学ぶ会：雲仙見学会』についてもご案内がありました。

最後に、恒例の「手にてつないで」を歌い、2009年～2010年度、「米山の集い」は終了しました。

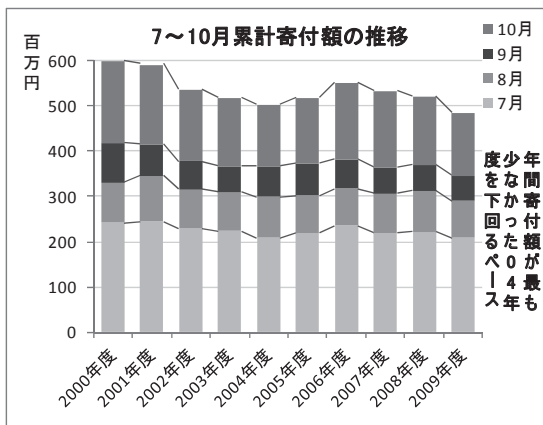




ハイライトよねやま 117

1 寄付金速報 一米山月間の成果は？

10月までの寄付金は、前年同期と比べて6.8%減、約3,560万円の減少となりました。普通寄付金が0.6%減、特別寄付金が11.3%減と、月間前に比べ、より一層厳しい状況です。今月の寄付額1億3,900万円は、この10年間では2004年度に次いで2番目に少ない数字ですが、このような経済状況の中、学友を含め多くのロータリアンの方々からご寄付をいただきましたことに感謝申し上げます。上期も残り2カ月を切りましたが、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



2 2010 学年度奨学金申し込み状況

2010年4月採用の奨学金(学部・修士・博士課程奨学金、地区奨励奨学金)には、465校の指定校のうち408校から1,533名の応募がありました。

申込者を国・地域別にみると、中国が61.9%(前年度比+2.8%)、韓国14.9%(+3.5%)、台湾4.0%(▲2.0%)、その他が19.2%(▲4.3%)となり、課程別では、博士課程が24.1%(▲2.1%)、修士課程49.1%(▲12.6%)、学部課程25.4%(+14.9%)でした。中国と韓国、および学部課程の占める割合が昨年に比べて高くなった要因として、今回の募集より、中国・韓国の学部生にも応募資格を与えたことが考えられます。なお、「地区奨励奨学金」については、4地区8校から計20名、「クラブ支援奨学金」には10地区13クラブから応募がありました。

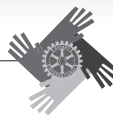
11月13日に各地区へ応募書類を発送します。その後、11月下旬～1月下旬にかけて地区選考委員会による書類選考・面接試験が実施され、2月中旬には新規採用者636名(2009年11月現在)が決定します。

3 日台親善会議で米山学友が活躍



第2回日台ロータリー親善会議が10月10日、台湾・日月潭で開催され、日本から220人、台湾から217人、合わせて437人が参加しました。

昨年、東京で開催された第1回の会議に引き続き、今回も米山学友が同親善会議理事として準備段階から関わったほか、登録受付や会場内で日本人ロータリアンの通訳に奔走しました。また、台湾学友会の阮允恭理事長が壇上に上がり、「われわれ米山学友は、どんなに歳月を経てもお世話になった気持ちを忘れない。「米山」という山のふもとで、太陽が照ればボカボカと、雨が降ればしとしと、風が吹けばそよそよ…という幸福の地をずっと散歩しているようです」と感謝を述べ、会場を沸かせました。また、同学友会による「日本人若手研究者奨学金」の奨学生第1号となった山下世莉さん(ハイライトよねやま116号参照)も紹介され、日本人ロータリアンからは「よくやってくれた」との声があがりました。



4 続々とホームカミングで学友が来日 — 地区を越えた招へいも可能に —

今秋開催された地区大会や米山関連セミナーでは、米山学友の里帰り制度「ホームカミング」で来日した多くの学友が登壇して、現在の活躍の報告とロータリアンからの支援に対する感謝を述べました。

今年度から他地区出身の学友も招くことができるようになり、第2780地区(神奈川県)では、地区大会の記念講演者として、元駐日韓国大使の崔相龍さん(世話クラブ：東京日本橋RC・東京城西RC【第2750地区】)を招へい。「日韓に寄せるロータリーの希(ねが)い」と題する約40分間の講演では、韓国国内で日本の大衆文化解放に奮闘してきたエピソードや、日韓両国間の相互理解についての明るい展望を示し、会場から大きな拍手を受けました。



第2580地区(東京都東北部・沖縄県)も他地区出身の楊広平さん(世話クラブ：東京立川こぶしRC【第2750地区】)を招へいしました。楊さんは、東京RCのクラブフォーラムや第2580地区のカウンセラーセミナーでスピーチし、自身が発起人の一人として関わった中国学友会設立の経緯や、米山学友として社会奉仕に賭ける意気込みを語りました。短い滞在日程の中、楊さんは第2750地区の学友定例会でも卓話し、出身地区のロータリアンや学友とも旧交を温めました。

5 米山奨学生招待事業を17年間継続 — 第2720地区 人吉RC —

熊本県南部の人吉ロータリークラブは、近隣に大学がないため、これまで世話クラブになったことはありません。しかし、17年前から米山奨学生の招待事業を続けて、会員が奨学生と身近に交流できる機会を設けています。招待事業を始めたきっかけは、地区協議会での呼びかけから。「世話クラブができないクラブは、ぜひ奨学生を例会に招いて、卓話をさせてください!」との当時の地区米山委員長の熱心な呼びかけに応えて、1992年10月に実施したのが最初でした。クラブ会員からも好評を得たので、それ以降ほぼ毎年続けており、今年で16回目。例年、熊本市内の大学に通う米山奨学生2名とその世話クラブの会長やカウンセラーを招いて、奨学生による卓話のほか、近隣の神社仏閣や会員企業の見学、地元新聞社の取材など、盛りだくさんな内容で実施しています。

招待事業の意義について「この地方は外国人と接する機会が少なく、国際交流の良い機会でもあり、地元新聞に掲載されることでクラブの広報にもつながっている。経済状況が非常に厳しい中、米山への理解を得るのも難しいことだが、『継続は力なり』を信じて、今後も会員に繰返し事業の趣旨を説明し、理解を深める努力をしていきたい」と、同クラブの高嶋康二米山記念奨学委員長は語っています。



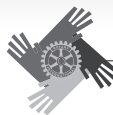
無料です

今年完成した新DVD「心つないで、世界へ」(15分)は、“感動!”、“誰もがもっと寄付をしたくなる”との声をいただいております、大変好評です。まだご覧になっていないクラブは、ぜひご注文ください! 無料でお送りします。 TEL: 03-3434-8681



(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F

Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281
E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL: <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当: 野津・峯



寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

ロータリー財団

米山記念奨学会

	種 類	氏 名	クラブ名		種 類	氏 名	クラブ名	
7月追加分	ベネファクター	西尾 弘毅	北松浦RC	7月追加分	米 山 功 労 ク ラ ブ	諫早多良見RC		
	大 口 寄 付	南野 健	大村北RC		特 別 寄 付 (ク ラ ブ)	小 城RC		
		高木聡一郎	長 崎RC	特 別 寄 付 (法 人)	アート不動産流通	諫早多良見RC		
8月	ポール・ハリス・フェロー	石橋 完	長崎北RC	特 別 寄 付	山口 英太	福江中央RC		
	マル チ プ ル P ・ H ・ F	迎 雅瑞嗣	鹿 島RC	米 山 功 労 者	一ノ瀬芳信	伊万里RC		
		村里 愛子	大 村RC	8月	マル チ プ ル	有田 信一	長崎中央RC	
		中尾 偕主	佐賀西RC			橋高 克和	佐世保RC	
		安部 直樹	佐世保RC			馬場 恵介	雲 仙RC	
	年 次 寄 付 (ク ラ ブ)	牛津RC		米 山 功 労 者	小林 正明	神 埼RC		
大 口 寄 付	福田 金治	佐世保RC	秀山 達也		諫 早RC			
昌	ベネファクター	殿村 育生	長 崎RC	9月	マル チ プ ル	岩永 正人	長 崎RC	
10月	ポール・ハリス・フェロー	末永 稔	長崎南RC			山田 康生	長 崎RC	
		松尾 友平	長崎南RC			村田 勉	島原南RC	
		山田 晃	長崎南RC			特 別 寄 付 (ク ラ ブ)	小 城RC	
		横田 貞三	長崎南RC	10月	米 山 功 労 者	大坪 稔	鹿 島RC	
		井筒 亮平	長崎中央RC			原田 知行	長崎中央RC	
	神之浦 潔	福江中央RC	中川内眞三			佐世保RC		
田中 忠昭	福江中央RC	西村正一郎	佐世保RC					
岩崎真左士	諫 早RC	馬郡 謙一	佐世保南RC					
マル チ プ ル P ・ H ・ F	松島 福男	長崎南RC	10月	マル チ プ ル	神之浦 潔	福江中央RC		
	村木 文郎	長崎南RC			尾崎 和典	福江中央RC		
	中川内眞三	佐世保RC			池田 光利	諫 早RC		
	喜多 清基	島 原RC			古川 和子	大 村RC		
	メモリアルコントリビューター	深川 太一			有 田RC	松尾辰二郎	佐世保北RC	
	年 次 寄 付	有田 信一			長崎中央RC	村上 寅雄	佐世保北RC	
年 次 寄 付	塚崎 寛	長崎中央RC			永田 武義	佐世保北RC		
ポリオプラス	長崎中央RC				豊島 揆一	佐世保北RC		
100ドル年次寄付	小林敏教他52名	長崎南RC			富田 耕司	佐世保北RC		
						メジャードナー	湯口 純二	佐世保北RC
			米 山 功 労 ク ラ ブ	南野 健			大村北RC	
				福田 俊郎			佐世保北RC	
				西沢 茂		佐世保北RC		
				鹿 島RC				
				福江中央RC				
			長崎南RC					
			大 村RC					
			佐世保北RC					
			佐世保南RC					
特 別 寄 付 (ク ラ ブ)	長崎出島RC							



2009年9月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会	
第1グループ	佐 賀	4	78.86	66	0	65	0	0	1	1	-1
	小 城	4	82	29	2	28	2	0	0	0	-1
	牛 津	4	81.45	29	1	31	1	0	0	0	2
	多 久	4	87.5	42	4	42	4	0	0	0	0
	佐賀大和	4	73.91	23	2	23	2	0	0	0	0
	小計		80.744	189	9	189	9	0	1	1	0
第2グループ	佐 賀 西	4	82	44	0	47	0	0	0	0	3
	佐 賀 北	4	82.88	31	3	32	3	0	0	0	1
	佐 賀 南	4	84.88	42	2	42	2	1	2	1	0
	神 埼	4	86.7	27	0	33	0	1	1	0	6
	佐賀空港	4	60	15	1	15	1	0	0	0	0
	小計		79.292	159	6	169	6	2	3	1	10
第3グループ	有 田	4	73.18	37	1	37	1	0	0	0	0
	武 雄	3	84.31	49	3	51	3	0	0	0	2
	鹿 島	4	92.31	42	2	41	2	-1	0	1	-1
	嬉 野	4	93.74	24	1	24	1	0	0	0	0
	大 町	4	76.27	21	0	21	0	0	0	0	0
	白 石	4	69.23	13	0	13	0	0	0	0	0
	太 良	4	100	8	0	8	0	0	0	0	0
	小計		84.149	194	7	195	7	-1	0	1	1
第4グループ	唐 津	4	92.22	50	0	52	0	0	0	0	2
	伊 万 里	4	95.16	31	0	31	0	0	0	0	0
	唐 津 東	4	87.97	51	0	52	0	1	1	0	1
	唐 津 西	4	87	33	0	33	0	0	0	0	0
	伊万里西	5	89.3	44	0	44	0	0	0	0	0
	唐津中央	4	90.15	33	5	33	5	0	0	0	0
	小計		90.3	242	5	245	5	1	1	0	3
第5グループ	佐 世 保	4	100	73	0	78	0	1	1	0	5
	平 戸	4	78.7	32	1	36	2	0	0	0	4
	佐世保西	4	99	25	0	26	0	1	1	0	1
	北 松 浦	4	82.35	21	0	22	0	0	0	0	1
	松 浦	4	82.5	30	1	30	1	0	0	0	0
	小計		88.51	181	2	192	3	2	2	0	11

※ 上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会	
第6グループ	佐世保南	4	100	68	0	69	0	01	1	0	1
	佐世保東	3	95	20	0	21	0	1	1	0	1
	佐世保北	3	100	43	0	46	0	0	0	0	3
	佐世保中央	4	100	40	2	39	2	0	0	0	-
	佐世保東南	4	81	26	2	25	2	0	0	0	-1
	HTB佐世保	4	74.31	26	4	26	4	0	0	0	0
	小計		91.718	223	8	226	8	2	2	0	3
第7グループ	大村	4	87.22	51	2	50	2	-1	0	1	-1
	島原	3	79.57	32	2	31	2	0	0	0	-1
	雲仙	3	84.6	26	0	26	0	0	0	0	0
	大村北	4	100	32	0	32	0	0	0	0	0
	島原南	3	67	19	1	22	1	0	0	0	3
	大村東	3	88.5	42	1	42	2	0	0	0	0
	小計		84.482	202	6	203	7	-1	0	1	1
第8グループ	諫早	4	87.71	55	0	58	0	0	0	0	3
	諫早北	3	83.8	65	1	65	1	0	0	0	0
	諫早西	4	91.77	40	0	40	0	0	0	0	0
	諫早多良見	4	88.88	35	0	36	0	0	0	0	1
	諫早南	3	76.74	27	5	27	5	-1	0	1	0
	小計		85.78	222	6	226	6	-1	0	1	4
第9グループ	長崎	4	86.41	79	0	85	0	0	1	1	6
	福江	4	93.1	33	0	35	0	0	0	0	2
	長崎北東	4	87.21	46	6	46	6	0	0	0	0
	福江中央	4	100	29	0	30	0	0	0	0	1
	長崎西	4	72.95	60	0	61	0	0	0	0	1
	長崎琴海	3	80.33	21	2	21	2	0	0	0	0
	小計		86.667	268	8	278	8	0	1	1	10
第10グループ	長崎北	3	75.9	78	0	78	0	-1	0	1	0
	長崎南	4	81.56	78	0	78	0	0	0	0	0
	長崎東	4	78.92	52	0	51	0	-1	0	1	-1
	東長崎	4	88.96	25	0	25	0	0	0	0	0
	長崎中央	3	97	55	0	57	0	1	1	0	2
	長崎出島	4	70.5	50	11	51	11	0	1	1	1
	小計		82.14	338	11	340	11	-1	2	3	2
合計			85.378	2218	68	2263	70	3	12	9	45

文庫通信

<266号>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

<地区大会講演から>

◎「ロボットと共生する未来」	古田 貴之	2009	6P	(D2790)
◎「違うから面白い、違うから素晴らしい」	宮本 亜門	2009	12P	(D2670)
◎「日本に渴を入れる」	上坂 冬子	2009	2P	(D2580)
◎「日本の進路」	小泉純一郎	2009	10P	(D2760)
◎「琵琶湖は地球環境への小さな窓」	嘉田由紀子	2009	6P	(D2650)
◎「歴史に根ざしたまちづくり」	森谷 尅久	2009	12P	(D2650)
◎「アフリカの子どもたち」	田沼 武能	2009	8P	(D2820)

[上記申込先：ロータリー文庫（コピー /PDF）]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階

TEL(03)3433-6465・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



国際ロータリー第2740地区

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2009-2010年度ガバナー 高城 昭紀

■ガバナー事務所

〒855-8550 島原市高島2丁目7217 島原商工会議所2F

TEL:0957-61-0121 FAX:0957-61-0122

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010年度

国際ロータリー第2740地区 ガバナー 高城 昭 紀



武家屋敷跡：島原市

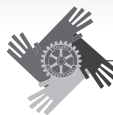
島原城の西側に鉄砲町と呼ばれる一角があります。(現在は下の丁) 戦のとき鉄砲を主力とする歩兵部隊の住居地帯であったことから、そう呼ばれていたようです。街路中央には豊かな湧水が流れ、当時の武家生活の様子を見ることが出来るのも、水を愛しふるさを大切にされる住民の方々によって守られているともいえましょう。水ぬるむ早春の朝、その一コマを撮らせていただきました。

写真撮影者：宮崎圭介氏（二科会会員）

CONTENTS

高城昭紀ガバナー	1
ガバナーエレクト 年頭のご挨拶	2
ガバナー補佐 新年のご挨拶	3
地区大会を終えて	8
地区大会報告	9
2009年度米山雲仙見学会	11
新入会員紹介・訂正とおわび	12
ハイライトよねやま117	13
会員数・出席者報告	15
文庫通信	16





新年おめでとうございます

2740地区ガバナー

高城 昭 紀

新年あけましておめでとうございます。

2740地区のロータリアンの皆様、昨年中は大変お世話になりました。

クラブ訪問、そして地区大会、私にとりまして大きい出来事でした。それだけに思い出深い年になりました。あと半年、無事に務められることを祈るばかりです。

地理的にハンディーのある島原から唐津へ4回行きました。平戸へも初めて行きました。福江では「桃太郎」がまだ営業していると聞き、驚きました。

2740地区の皆様の友情、善意に感謝申し上げます。

しかし、個人的な生活になると「また、今年も・・・」という思いが強くなります。（例年ですが、年末には「これで終わりになればいいのに。」と思います。このようなマイナス思考はうつ病でみられます。）

ここで、私の個人的な生活の一部をご紹介します。

私は何時に寝ようが03:00頃起き上がります。（全身倦怠感が強くあります。歯をくいしばって起きます。こんなことをしていたらうつ病になります。）04:00に病棟に電話をかけ患者さんについての報告を受け

ます。04:30頃から動き出し、管理棟のエアコンのスイッチを入れる。→厨房の中に入り自動洗米機のスイッチを入れる。→病棟1階のパブリックな部屋のエアコンのスイッチを入れる。

そして05:00頃から2階病棟へ行き、問題のある患者さんに対応します。臨時処方箋を書く、血液や尿の検査の依頼書を書く、他の科を受診・通院する患者さんの紹介状を書く。臨床的なことが済むと、本日の勤務者の配者をします。

以上が大体終わるのが08:00頃で、この頃になると日勤勤務の早出の人が出て来ます。

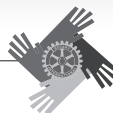
以上のような早朝の行動を20年以上行っています。

専門家から見ると強迫的な行動なのですが、私にしてみればロータリー精神で支えられている感じです。

なお、私の病院の基本理念は「思いやりと奉仕の精神で医療にあたる」です。

2740地区の皆様はプラス思考（健康的な思考）で年始めに臨んで下さい。

2740地区の皆様にとりまして、2010年が良い年でありますように祈念致します。



年頭のご挨拶

国際ロータリー第2740地区
ガバナーエレクト

高原 武彦

明けましておめでとうございます。

お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

月日が経つのは早く隅田パストガバナー、中島パストガバナー補佐、第3グループの皆様の後押しされガバナーノミネーになりましたがノミネー、呑みねーと乾杯や万歳係をしながらロータリーの試練を一つづつ越えているうちにガバナー目の年になっていました。

「やらねばならぬ」と心に言い聞かせている年始めとなっています。

地球上では地域紛争、自然災害、飢餓、新型インフルエンザ、景気低迷等、世の中が部分日食に入った感じがしています。この様な時こそ、ロータリーの心を発揮して社会貢献と自己研鑽に励み、英知を集めて人類の幸せと地球再成に努めることが大切だと思っています。

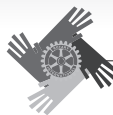
1月18日～26日サンディエゴの国際協議会に

臨むことになっていますが、福島喜三次さんがアメリカで日本人ロータリアンの第一号になられたことを思い出しています。1915年頃 アメリカの中でも人種差別の強いダラスで一業種1人のロータリークラブに入会されていたことは凄いことだったと思います。

綿花の取扱高は世界各国商社のトップだったそうですが、そのダラスに於いて信望は大きく、そこには「利他即自利」の商売の極意を無意識の内に実行された人徳のある日本人として尊敬されたようです。その後、東京クラブ、大阪クラブ誕生に貢献されたその福島喜三次さんの生誕の地が有田です。

私達小さな町のロータリークラブですが、今年は全員団結で Yes, we can です。

2740地区57クラブの皆様、今年もロータリーライフを楽しみ、良い年になりますようお祈りいたします。



ガバナー補佐

「新年のご挨拶」

第1グループガバナー補佐
中 尾 健 治

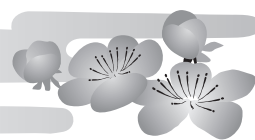
第2740地区のロータリアンの皆様、明けましておめでとうございます。

早いものでもう半年が過ぎました。この半年間第1グループのガバナー補佐として、各クラブを訪問して参りました。どのクラブも訪問するたびに歓待を受け、光榮に存じております。クラブを回っていつも言うことは決まって、出席、会員増強と退会防止、米山、ポールハリスの寄付のお願い事が多く、今まで島原、雲仙、彼杵、長崎の研修会に行き、大変勉強になりました。

昨年は、政治も変わり経済がどのように変わっていくのか気がかりです。現在の不況が長引けば退会者もでると思いますが、皆様に支えあい、助け合っ

てクラブを盛り上げてください。又、二月にはI・Mが、第1・第2グループ合同で行うよう計画されています。担当クラブの皆様には大変ご苦勞と思いますが、よろしくお願いいたします。

私も残された半年間を、第1グループの皆様とともに頑張っていきたいと思いますので、今年もよろしくお願い申し上げ、年頭の挨拶に代えさせていただきます。



ガバナー補佐

「新年のご挨拶」

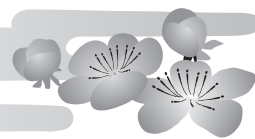
第2グループガバナー補佐
金 武 良 弘

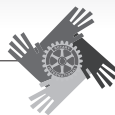
第2グループ、ロータリアンの皆様「新年、明けましておめでとうございます」。旧年中、各クラブ訪問時には大変お世話になりました。私のガバナー補佐としての任期も半分が過ぎ、又大きな行事も後は第1グループと合同で行うIMのみとなり、少しずつ肩の荷が下りてきています。

昨年を振り返ってみますと、2009年は激動の年で、まずメキシコや米国で発生した新型インフルエンザの流行があり、瞬く間に全世界に広がり、日本でも若い人特に高校・中学・小学生へと感染が低年齢層にも及びました。夏場になり、衆議院議員の総選挙で自民党の大敗による与野党逆転で政権交代が行われ、民主党に対する期待が高まり、世

の中少しは落ち着きがみられるのではと思っていた矢先の11月には世界の経済不安定による、円高・ドル安が加速、その後どうなるのか年明けが気になります。

2010年は明るい話題で新年を迎えたいものです。最後に、残り6カ月よろしくお願いします。





ガバナー補佐

「新年のご挨拶」

第3グループガバナー補佐

宮崎 幸久

新年明けまして おめでとうございます

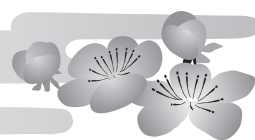
ガバナー補佐として半年間、無我夢中であちこちと走り回って来ました。各クラブのクラブ協議会への出席に始まり、公式訪問、各委員会セミナー、そして地区大会と、各クラブのロータリアンの好意と友情に支えられて、何とか乗り切ってこれ、皆様のご協力に本当に感謝しております。

ロータリーに入会して 30 年ほどになりますが、ロータリーの奉仕の精神や活動について、これほど身近に学ばせて頂いたことは初めてでした。本当に国境や人種、宗教や民族を越えて、好意と友情を深め、奉仕の実践をしておられる方々の、生の声を聞かせてもらって、何か内面からの力が湧いてくるよう

な、素晴らしさを実感した半年間でした。

今期の RI テーマ「ロータリーの未来は あなたの手の中に」とあるように、個々のロータリアンが、ロータリーの素晴らしさを実感し活動することが、未来を明るくすることだと思いました。

あと半年の任務ですが、IM や周年事業を控えており、又次年度は有田クラブから高原ガバナーが誕生されます。第3グループは一体となって協力していかねばと、心新たにしております。今年度も宜しくお願い申し上げます。



ガバナー補佐

「新年のご挨拶」

第4グループガバナー補佐

山本 晴彦

明けましておめでとうございます。皆様には恙なく新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

去年は一昨年から続いている経済不況の回復の兆しがまだ見えません。これに加えて新型インフルエンザが猛威を振っています。大変な年でしたが、今年は少しでも良い年になることを願っています。

ガバナー補佐を仰せつかってから、重責を果たすことができるか不安な気持ちで迎えましたがお陰様で半年が経過を致しました。

クラブ訪問、クラブ協議会、ガバナー公式訪問の折、各クラブの会員の方々の温かいご配慮で何とか済ませることができてほっとしている所です。

皆様に心から感謝申し上げるしだいです。

8月2日唐津西ロータリークラブの創立40周年記

念行事として「レーザーラジアルヨット世界選手権大会」の女子閉会レセプションを開催されましたが、画期的な奉仕事業で成功裡に終わったことが印象的でした。

地区大会は高城ガバナーのリーダーシップによる島原ならではの格調高い大会でした。関場RI会長代理の簡潔で明解なる「ロータリーの未来はあなたの手の中に」のお話は感銘深いものでした。

さて、第4、5、6グループのIMは2月7日第5グループの北松浦ロータリークラブの主管で開催されます。多数参加して更なる友情を深めたいと願っています。

奮ってご出席下さいますようお願い申し上げます。



ガバナー補佐

「新年のご挨拶」

第5グループガバナー補佐
西尾 弘 毅

会員の皆様、ご家族の皆様お健やかに2010年の、新春を迎えられ心よりお慶び申し上げます。旧年中は、クラブ訪問をはじめ、各種行事など、各面に亘ってご指導、ご協力いただき誠にありがとうございます。

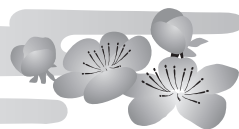
ガバナー補佐を拝命して不安の中のスタートでしたが、早いものであつという間の半年でした。これまで各クラブのロータリアンの暖かいご協力と励ましによるものと感謝申し上げます。

クラブ協議会、ガバナー公式訪問、地区大会と主要行事も無事終了しましたが、残るは、第4、第5、第6グループ、2月7日予定されているIMの開催で、ホストクラブとして準備されています。今回は参加

者全員の携帯電話による、Yes・Noで「ロータリーの原点」に迫ってみたいとのことで、当日のロータリアンの思慮深さを知りたいものです。たくさんのご参加を期待しております。

新年がロータリー年度の折り返し点となりますが、ガバナー補佐職を邁進しようと心新たに決意しております。皆様の一層のご指導、ご鞭撻を伏してお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げ、年頭の挨拶と致します。



ガバナー補佐

「新年のご挨拶」

第6グループガバナー補佐
榎 猪一郎

毎度綴るのは雑感ばかりで、75年の人生を振り返っても雑然とした人生で、将に「虎を画きて狗に類す」の故事の通りの暮らして、皮も名も残る事はない。然しわが社も創業80年を永え、ロータリー歴も33年目を迎えることになる。その大半をロータリーの精神性に頼った事は、今にして思えば幸運であった。クラブに入会した事は人生の転機であった。家内の言葉を借りれば、お酒と麻雀人生からの脱却なのである。

クラブでは故富永雄幸PGはじめ 多くの先輩方に引き立てられて、苦しみながらも仕事をこなし経験させて頂いた。四つのテストは今でもわが心に有り、真実を事実と云い換え、公平を公正：フェアウエイと意識し社内でも推奨しているところである。クラブ

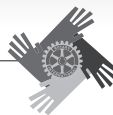
訪問に於いても同様のスピーチを展開しているが、結果反応は如何なものであろうか？

「古池や 蛙飛び込む 水の音」オールドロータリアンが飛び込んでみても、古い池は水草に覆われて波紋は拡がらず、新しい池は今様とゆう時流で、しばしたゆたうゆとりもなく、掻き消されてしまう。それでもあと半年、がんばります。

それが時間と思考を奉仕する精神に叶うと願って!!。正月は冥土の旅のなんとやら――

雑文平に御免





ガバナー補佐

「新年のご挨拶」

第7グループガバナー補佐

松 永 忠 義

平成 22 年明けましておめでとうございます。
2740 地区ロータリアンの皆様に、新春を寿ぎ謹んでご祝詞を申し上げます。

昨年は就任前の諸研修会にはじまり、クラブ訪問・クラブ協議会・公式訪問・地区大会と慌しく一年が過ぎ去りました。その間高城ガバナー・高木幹事はじめスタッフの皆さん、そして各クラブの会長幹事はじめ全てのロータリアン皆さんの、温かいご指導ご協力を深く感謝申し上げます。

「私たちの手と世界中のロータリアンの手を繋いで」この地球上から、ポリオや飢餓に苦しむ人が居なくなれば素晴らしい事だと思います。

私は本年「古希」を迎えました、来し方を振り返って多くの人から頂戴したご恩と今の幸せに感謝しながら、本年も更に一歩前進出来たらと思います。

1、夜ぐっすり眠られて、朝爽やかに起きられる幸せに感謝します。

1、友人との語らいも楽しく、食事もお酒も美味しく頂ける幸せに感謝します。

1、本年も皆さんと一緒にロータリアンで居られる幸せに感謝します。

1、ロータリーでは例会も楽しくて、素晴らしい人と出会える幸せに感謝します。

1、地域社会に小さなほんのチョッピリでも奉仕が出来る幸せに感謝します。

ガバナー補佐として残された半期、微力ながら責務に努力致す所存でございます、ご厚情とご指導を何卒よろしくお願い申し上げます。

ロータリアンとご家族一同様のご多幸ご健勝を衷心よりご祈念申し上げます。



ガバナー補佐

「新年のご挨拶」

第8グループガバナー補佐

山 口 賢 也

新ガバナー年度の始まった矢先の8月、検診でガンと宣告され大いなるショックを受けたものです。生きて来た今まで病気知らずで私に手術という言葉は死語のようなものでしたのに。

治療に二ヶ月はかかるとの予想でした。クラブ協議会・地区大会とロータリーの大事な行事が目白押しの時期にかかるという最悪の予定となってしまいました。

ガバナー公式訪問では出席できるかどうか最後まで逡巡したのですが、幸いにも5クラブ共出席できました。高城昭紀ガバナーの柔和な物腰での卓話等々それは楽しい公式訪問に巡り合いガバナー補佐冥利を味わったものです。逢う会員毎に大丈夫で

すかと声をかけて頂き、8グループの友情を真に感じたものです。

協力を得てどうにか新年を迎えて折り返し地点を過ぎました。1月に予定していたI・Mも健康を取り戻してから実施したいとクラブの仲間が3月に変更してくれました。まずは新年は病後の体調をうかがいつつ取り組みます。

述べましたように自分ではこの半期完全燃焼してないと思っています。新年より肅々と勤めたいと願っているのですがうまく行くかどうか、本年こそ正念場と肝に銘じております。

よろしくお願い申し上げます。



ガバナー補佐

「新年のご挨拶」

第9グループガバナー補佐
佐藤 豊

心も新たに私達の後半がスタートしました。「ロータリーの未来は、あなたの手の中に」のケニー会長の主題のもと、私達はそれぞれの立場で奉仕の精神に基づく充実した活動を展開してきた半期でした。ガバナー公式訪問、地区大会はその好例です。また、各クラブでの特色ある活動は、地域や青少年、更には留学生にも勇気と喜びを提供されてきたことと思います。

改めて、会長、幹事をはじめ全ロータリアンの無私の活躍に感謝致します。

ところで、私達は高城ガバナー年度のスタートに合わせ、目標を掲げていました。復習のため、多少列記してみます。

ケニー会長は、「安全な水の確保」「保健と飢餓救済」「識字率向上」にも積極的な取組みを強調されました。

そして、私達の第2740地区では、

(1) 会員増強目標 クラブ純増2名

(2) ロータリー財団年次寄付目標 23万\$

(3) 米山記念奨学会年間寄付目標 2500万円

※1名あたり1万円

(4) クラブリーダーシッププランの推進

などが共通目標です。

高城ガバナーは、会員の退会防止に心がけようと呼

びかけられました。さらに、ロータリーの基盤は職業奉仕であること、ロータリーライフを楽しもうとも伝えられました。また、公式訪問で、ポリオ撲滅のための寄付について強調されたことも忘れてはなりません。お互いに、もう一度再確認することは有益なことに違いありません。

私達のロータリーの明るい未来を望むにあたり、一番の悩ましい大問題は会員の14年連続減少です。社会的な不景気も大きな要因ですが、退会防止と共に、全会員の力を結集して会員増強にも最大限の努力を傾注しましょう。そのためには、地区が協力で推進している広域的な会員増強ネットワークの活用は合理的な方法です。

限られた紙面で全てを伝えることは無理ですが、クラブ会長、幹事、会員増強委員会の皆様と「ロータリー愛」を熱意として示したいと願っています。会員増強には特効薬がありません。会員増強のスーパーマンはいないのです。

さて、私達はロータリー年度の6月末に笑顔一杯で一年を振り返ることができるでしょうか？ お互いが、年のはじめにロータリーの忘れ物がないよう励んでいきましょう。なぜなら、ロータリーの未来は私達のこの手の中に託されているのですから。



ガバナー補佐

「新年のご挨拶」

第10グループガバナー補佐
濱本 好哉

新年明けましておめでとうございます。

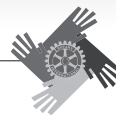
ガバナー補佐の任期も半分が過ぎましたが、2月11日のIMが成功裏に終了するように祈って、ホストの長崎北ロータリークラブの皆さんのご苦勞に感謝している毎日です。

さて、懸案事項である会員の減少は止まりそうにありませんが、もっと深刻に考えなければならないのが出席率の低下ではないでしょうか。例会はもちろん、各種大会、研修会等への参加率も含めて大変重要な問題だと認識せざるを得ません。加えて、出席免除の問題、欠席の場合の事前連絡の徹底、メイクアップの奨励、新会員の教育、会長経験者にクラブの質の向上にどう貢献してもらうか等々、クラブ運営の

基本を当たり前に行うことに欠けているのではないかと強く感じています。

今こそ、私達の入会時のような自由闊達な中にも適度の緊張感があるクラブの雰囲気が必要ではないでしょうか。最近では自由が優先し、ルールを守り、マナーを向上する努力が薄れているようにも思われます。ロータリアンとしてのプライドが持てるようなクラブ運営を目指して全会員が協力する風土が取り戻されることを期待し、自らも邁進する所存です。会員の減少とあわせて出席率の低下に歯止めをかけるべく努力しましょう。

今年も宜しくお願いします。



地区大会を終えて

2740地区ガバナー

高城 昭 紀

2009年度の地区大会は、島原復興アリーナを本会議場にして、ホストクラブ島原ロータリークラブ、コホストクラブ雲仙ロータリークラブと、島原南ロータリークラブで開催致しました。

当初は、陸の孤島とさえ言われる島原半島で、また弱小の3クラブだけで、地区大会を開催する事ができるのかと、心配していました。しかし地区大会実行委員会の皆様、3ロータリークラブの会員ならびにご夫人方、そして地区内の全ロータリアンの皆様方の絶大なるご協力のお陰で、何とか成功裡に終了できたと思っています。

関場慶博 R I 会長代理におかれましては、弘前より遠路はるばる九州最西端の島原までお越し下さり、会長・幹事会ならびに本会議において、ユーモア溢れる易しいお話しぶりで、ご挨拶と御講話をして頂き、地区内ロータリアンに深い感銘を与えて下さいました。厚く御礼申し上げます。またエイド役をお引受け頂きました田口バスターガバナー、御出席頂きました多くのバスターガバナーの皆様の温かいお力添えに、心より御礼申し上げます。また本会議分科会“国際青少年の集い”にて貴重な御講演をして頂きました、板橋敏雄 米山記念奨学会 理事長様、そしてこの大会を支えて下さった、各ガバナー補佐、各地区委員長の皆様、本当に有難うございました。重ね重ね御礼申し上げます。



しかし、弱小の島原半島の3クラブで準備しましたので、色々と皆様には、御不満な所、不行き届きの点で、御迷惑をお掛けした所が多々有った事と存じます。心よりお詫び申し上げまして、地区大会終了のご挨拶と致します。

次年度の高原ガバナーの有田での地区大会の御成功をお祈りいたします。



2009～2010年度 地区大会報告

地区大会実行委員長

古瀬 亨

2009～2010年度R I第2740地区の年次大会は、R I会長代理関場慶博氏（弘前RC）をお迎えして10月31日（土）11月1日（日）の両日にわたり島原復興アリーナにおいて開催されました。

大会の前日は雲仙観光ホテルでR I会長代理ご夫妻の歓迎晩餐会が行われ、地区内外のガバナー、パストガバナーなどのご来賓を交えてながやかな歓談とクルピタご夫妻のバイオリン演奏で楽しいひと時でした。

大会1日目の10月31日（土）は午前中、会長・幹事会が開かれて、高城ガバナーの挨拶のあと関場R I会長代理のご講演「ロータリーこの素晴らしき世界」をいただき深く感銘を受けました。

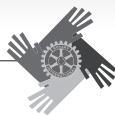
午後からの本会議は「ロータリーの未来はあなたの手の中に」のテーマで、ホストクラブ会長の歓迎の挨拶に始まり一連のセレモニーに続き高城ガバナーの報告やR I会長のメッセージがあり、ロータリーの絆を強くする為には会員の心構えと実行にあることを強く認識いたしました。第一部が終わり第二部に入る前にテレビキャスターの草野仁氏の「いつもチャレンジ精神で」の演題のもとに自分



の体験から出てくるお話に息もつかせぬ90分で会員一同と市民参加500名を加えて大喝采の講演でした。

大会二部では、登録・信任状・選挙管理・決議の4委員会より報告のあと各種表彰があり、また大会記念事業として島原復興アリーナ正面に全天候型電波時計（両面型）の寄贈がありました。





「この広い施設に皆様から永く愛される時計として使用させていただきます」と市長よりのメッセージをいただきました。

また、分科会ではサブアリーナ会議室にて米山記念奨学会、国際青少年交換委員会の合同セミナーが開催され、米山記念奨学会理事長の板橋敏雄氏の基調講演に引き続き、留学生の体験発表があり90分の有意義なセミナーでした。



記念懇親会は九十九ホテルに会場を移し、ローターアクトや米山記念奨学生など家族も交えての500名近くの参加で、地元のアイリッシュバンドの演奏で始まり、マグロの解体ショーなどもあって大いに盛り上がり親睦の和を更に深めました。

大会二日目は親睦活動の日という事で、島原半島ジオパーク巡りのバスツアーと懇親ゴルフ大会でしたが、あいにくの雨天にも拘らず元気一杯のプレーでゴルフの方はお互いの技を競い合いました。

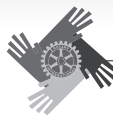
バスツアーの方は親切なガイドのおかげで大変有意義な半島巡りで参加の皆様から「大変ためになるツアーで良かった」との感想をいただきました。

最後になりましたが、当クラブではこの様な大きな大会は初めての事業で、手探りで準備にかかりコ・ホストクラブの島原南・雲仙の皆様のご協力をはじめ、地区内会員の皆様方に多大なご支援をいただき無事終了することが出来ました。それでも十分なおもてなしも出来ず不満な点が多々あった事でしょうがこの場を借りてお詫び申し上げます。

2010～2011年の有田での地区大会のご成功をお祈り致します。

本当にありがとうございました。





2009年度 米山雲仙見学会

第6グループ米山地区委員 中 島 閏 二
(佐世保北RC)

2009年度の米山見学会は、高城ガバナーをはじめ奨学生、カウンセラー、地区委員の参加のもと雲仙で行われました。

雲仙ロータリークラブの皆様の出迎えをうけ、午前11:00にホテル東洋館に集合しました。

天気は快晴、少々雲仙は寒いと聞いていましたが、そんなに寒さも感じることなく絶好の見学日和となりました。

雲仙ロータリークラブの荒木幹事さんみずからハンドルを握られたマイクロバス（レトロバス）で米山雲仙見学会一行は最初スケジュール、仁田峠へと向かいました。

バスの中は、中国語、ベトナム語、そして日本語と楽しそうな会話が飛び交い、国際色豊かな車中となり大賑わいでした。仁田峠に行く途中に設けられ平成新山が望める展望台で平成新山を見学することになりました。

1990年に噴火した普賢岳の火山活動で形成された平成新山は今も蒸気を吹き上げ、その自然の凄さを目の当たりした奨学生たちは驚きの声を上げていました。

でも、平成新山をバックにした記念撮影では全員笑顔でカメラに収まっていました。

そして仁田峠へ、展望台では島原市、有明海を望むことができました。時間の都合上ロープウェイには今回は乗れませんでした。楽しい平成新山、仁田峠見学となりました。

仁田峠見学を終え、次のスケジュール雲仙ロータリークラブでの例会への出席。定刻の12:30に点

鐘、宮田会長さんの奨学生への歓迎の挨拶、そして高城ガバナーの挨拶と続き、北郷地区米山委員長より奨学生の紹介ならびにカウンセラー、地区委員の紹介がされました。

その後、本多地区副幹事さんの司会に従い順次、奨学生たちの自己紹介や大学での研究内容そして日本での思いやエピソードなどが紹介され和やかな雰囲気の中に雲仙ロータリークラブの例会は終了いたしました。

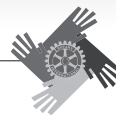
見学会、最後のスケジュールは雲仙の地獄巡りです。雲仙には「雲仙地獄」と呼ばれる一帯があり、あちこちで120℃もある水蒸気が立ち上り硫黄の匂いが漂っていました。

また、「邪見地獄」、「大叫喚地獄」、「お糸地獄」、「清七地獄」などの名前がついた地獄が何箇所もあり、それらの説明を地獄見学コースの途中で待っていた地元、雲仙小学校の5、6年の生徒の皆さんが手作りのフリップを掲げながら面白おかしく説明してくれました。

この小学生たちのユーモア溢れる説明には奨学生たちも大変満足した様子で、説明が終わった後、小学生と奨学生はすぐうちとけ合い互いに会話が弾んでいたのが印象的でした。

地獄見学を終え、雲仙見学会は終了しました。

今回の雲仙見学会において、いろいろとお世話いただきました雲仙ロータリークラブの宮田会長さんをはじめ、雲仙ロータリークラブの皆様には本当にお世話になりました。心より感謝申し上げます。



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々を
ご紹介いたします。



武雄RC

中尾 中 君



唐津西RC

関 達人 君



唐津西RC

熊川 嘉秀 君



長崎RC

近藤 信彦 君



長崎中央RC

藤本 昭広 君

訂正とおわび

☆ 08-09年度月信13号 P23

米山記念奨学会 普通寄付 山口 英太 福江RC → 福江中央RC

小牧 憲明 福江RC → 福江中央RC

☆ 今年度Vol.4 P17

ロータリー財団寄付 ベネファクター 尾崎 和典 福江RC → 福江中央RC

訂正しておわびいたします。





ハイライトよねやま 118

1 寄付金速報 ー今年もあと1ヵ月を切りました！ー

11月までの寄付金は、前年同期と比べて7.5%減、約4,970万円の減少となりました。普通寄付金が0.8%減、特別寄付金が10.9%減と、前月よりさらに減少幅が広がりました。このままですと、2009年度予算(14億5千万円)の達成が極めて厳しくなりそうな状況です。

このような景気低迷の中、11月は、ロータリアンの奥様と8月に入会されたばかりの会員から、それぞれ100万円のご寄付を頂きました。また、奨学会への恩返しにと、継続的な寄付を続けてくれる学友や、ホームカミングで来日した際に寄付してくれる学友もいます。皆さまの温かいご支援に心から感謝申し上げます。今年も残りわずかとなりましたが、一人でも多くの留学生を支援するために、引き続きご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2 ロータリー研究会で米山学友が活躍



権 哲賢 駐日韓国大使

11月19日、東京・台場で開催されたロータリー研究会の開会式で、現役の駐日韓国大使を務める米山学友、^{クオン チョルヒョン}権 哲賢氏が壇上に立ちました。冒頭で、韓国・釜山市で起きた室内射撃場火災事故への深い哀悼の意を述べた権大使。奨学生時代の思い出として、世話クラブの佐野東ロータリークラブが開いてくれたお別れ会で、会員が手を高く差し伸べてつくってくれたトンネルをくぐりながら「権さん！大統領になって戻って来い！」と激励されたエピソードに触れ、「皆さんの期待がその後の私を支えてくれた。ロー

タリーの精神や米山奨学金制度は、世界平和につながる一つの大きな道だと思えます」と語り、会場から大きな拍手を受け、涙ぐむ姿も見られました。

翌日の配偶者プログラムでは、米山学友として2人目のパストガバナー、^{キョクブン}許國文氏(台湾/第3490地区羅東西RC会員/1975-77/徳島RC)が卓話を行い、「奨学生時代は勉強に夢中で、感謝をしていても実感が伴わなかった。台湾に帰って自分もロータリアンとなり、はじめて米山記念奨学金制度のありがたさ、世話クラブの皆さんの心尽くしが身にしみたと語りました。



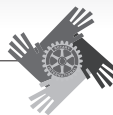
許國文パストガバナー(中央)

3 外務省主催の“元留学生の集い”



外務省主催の“元留学生の集い”は、母国で活躍する日本留学生を日本に短期招へいし、現在の日本への認識と絆を深めてもらうプログラムです。今年は11月29日～12月5日にかけて実施され、東南アジア・中国・中東・中央アジア・モンゴルなどから元日本留学生42名が招待されました。その中に、米山学友の^{アンシエンフエン}洪盛芬さん(マレーシア/1994-96/横浜金沢RC)の姿がありました。

洪さんは現在、(株)ルネサステクノロジという世界有数のシェアを誇る半導体メーカーに勤めています。洪さんは同社の海外拠点であるRenesas Semiconductor (Malaysia)に籍を置き、開発・製造事業所がある群馬県高崎市とマレーシアを往復し、活躍しています。母国マレーシアでは、日本留学生の同窓会組織「JAGAM」にも加入し、日本とマレーシアの人的・文化交流の促進に関わっています。



4 ガバナーエレクト／次期米山記念奨学委員長 合同セミナー

今年で6回目となるガバナーエレクト／次期地区米山記念奨学委員長合同セミナーが12月1日、都内で開かれました。

今回のテーマは、『目標づくりの第一歩“できることから始めよう！”』。ガバナーエレクトと地区米山委員長が共に当事業の意義を確認し、実践可能な目標を立て、その実現に向かって力を合わせるきっかけにしていきたいと、盛りだくさんの内容で実施されました。また、今回初の試みとして、地区米山委員長対象のセミナーを2日目にも開催し、より実践的な情報交換が図られました。



黒田 R I 理事による基調講演

冒頭の基調講演において、黒田正宏 R I 理事は、最近の日韓親善会議やロータリー研究会での米山学友の多彩な活躍事例を紹介。「日本のロータリアンが作り育てた米山記念奨学事業の成果を誇りにし、ますますのご協力をお願いしたい」とのメッセージで講演を結ばれました。

米山学友による卓話

DVD『心つないで、世界へ』にも登場するアルチャナ・シュレスタ・ジョシさん（ネパール／鈴鹿西 R C）と、東京大学博士課程に在学中の張旭梅さん（中国／東京広尾 R C）の2人が卓話に登壇。アルチャナさんは、母国の貧しい女性の自立支援のために設立した「ルーザー・トレーニングセンター」の活動状況を報告。また、張さんはユーモアあふれる話しぶりで、米山奨学金との出会いで得たことについて語り、参加者は両者の発表に興味深く聴き入っていました。

全体フォーラム

第2750地区前米山委員長の関博子氏、第2500地区直前ガバナーの足立功一氏、第2640地区ガバナーエレクトの米田眞理子氏を講師に迎え、各地区の特長ある取り組みを発表いただきました。関氏は、地区米山奨学委員会の活動の流れと学友の活躍を伝える重要性を、足立氏はサブクラブ制度やホームステイで奨学生との触れ合いを地区内に広げた取り組みを、米田氏はロータリアンが納得する奨学生選考のための工夫について報告し、会場との質疑応答も活発に行われました。

地区米山委員長セミナー

2日目は、(独)日本学生支援機構(JASSO)大阪日本語教育センターの日本語教師として長年留学生と接してきた磯田郁子氏(大阪東淀ちゃやまち R C 会員・第2660地区次期米山奨学委員長)が講演。「入国管理局の方針が変わり、現在は所得の裏付けがある人でないと日本に入国できない」「ご馳走になっても、お礼を言うのはその日限りとし、催促になるので、次に会った時には言うべきでないという文化の国も多い」などの具体的な話に、参加者からは「大変参考になった」との声が集まりました。その後の分科会では、各地区の課題や取り組みについての情報交換が進みました。

重 要 な お 知 ら せ

ロータリー米山記念奨学会は「特定公益増進法人」に認定されているため、今年1年間(1～12月)に5千円以上の特別寄付をされた方は、**税法上の優遇措置(寄付金控除)**が受けられます。

申告用領収書は来年1月末までにクラブ経由でお送りします

来年の確定申告は、**12月30日(水)までに入金されたご寄付が対象です。**

年 末 年 始 の 休 業 に つ い て

米山記念奨学会事務局は、12月28日(月)～1月5日(火)の間休業させていただきます。

来年は、1月6日(水)より通常業務となります。よろしくお願いいたします。

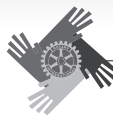
一年間ありがとうございました。よいお年をお迎え下さい！

そろそろ僕の
出番かな？



(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当 : 野津・峯

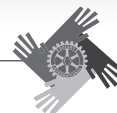


2009年10月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会	
第1グループ	佐 賀	4	76.58	66	0	64	0	-1	0	1	-2
	小 城	4	75	29	2	28	2	0	0	0	-1
	牛 津	4	84.68	29	1	31	1	0	0	0	2
	多 久	5	88.37	42	4	43	4	1	1	0	1
	佐賀大和	3	78.26	23	2	23	2	0	0	0	0
	小計		80.58	189	9	189	9	0	1	1	0
第2グループ	佐 賀 西	4	81	44	0	47	0	0	0	0	3
	佐 賀 北	4	87.58	31	3	33	3	1	1	0	2
	佐 賀 南	4	79.76	42	2	42	2	0	0	0	0
	神 埼	4	90.75	27	0	33	0	0	0	0	6
	佐賀空港	4	73.3	15	1	15	1	0	0	0	0
	小計		82.48	159	6	170	6	1	1	0	11
第3グループ	有 田	4	66.72	37	1	38	1	1	1	0	1
	武 雄	3	88.23	49	3	51	3	0	0	0	2
	鹿 島	4	92.11	42	2	40	2	-1	0	1	-2
	嬉 野	4	87.49	24	1	24	1	0	0	0	0
	大 町	4	77.25	21	0	21	0	0	0	0	0
	白 石	4	66.7	13	0	13	0	0	0	0	0
	太 良	5	100	8	0	8	0	0	0	0	0
	小計		82.64	194	7	195	7	0	1	1	1
第4グループ	唐 津	4	89.57	50	0	53	0	1	1	0	3
	伊 万 里	4	95.97	31	0	31	0	0	0	0	0
	唐 津 東	5	90.95	51	0	52	0	0	0	0	1
	唐 津 西	4	94	33	0	33	0	0	1	1	0
	伊万里西	3	85.8	44	0	43	0	-1	0	1	-1
	唐津中央	4	94.7	33	5	33	5	0	0	0	0
	小計		91.83	242	5	245	5	0	2	2	3
第5グループ	佐 世 保	4	100	73	0	78	0	0	0	0	5
	平 戸	4	80.9	32	1	36	2	0	0	0	4
	佐世保西	3	97	25	0	26	0	0	0	0	1
	北 松 浦	4	93.75	21	0	22	0	0	0	0	1
	松 浦	5	85.8	30	1	30	1	0	0	0	0
	小計		91.49	181	2	192	3	0	0	0	11

※ 上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会	
第6グループ	佐世保南	4	99.23	68	0	69	0	0	0	0	1
	佐世保東	5	94	20	0	21	0	0	0	0	1
	佐世保北	3	99.21	43	0	46	0	0	0	0	3
	佐世保中央	5	100	40	2	39	2	0	0	0	-1
	佐世保東南	4	77.19	26	2	26	2	1	1	0	0
	HTB佐世保	4	76.23	26	4	26	4	0	0	0	0
	小計		90.98	223	8	227	8	1	1	0	4
第7グループ	大 村	4	84.91	51	2	51	3	1	1	0	0
	島 原	4	87.1	32	2	31	2	0	0	0	-1
	雲 仙	4	79.81	26	0	26	0	0	0	0	0
	大 村 北	4	100	32	0	32	0	0	0	0	0
	島 原 南	4	67	19	1	22	1	0	0	0	3
	大 村 東	3	82.5	42	1	42	2	0	0	0	0
	小計		83.55	202	6	204	8	1	1	0	2
第8グループ	諫 早	4	87.16	55	0	58	0	0	0	0	3
	諫 早 北	4	84.61	65	1	64	1	-1	0	1	-1
	諫 早 西	4	88.51	40	0	40	0	0	0	0	0
	諫早多良見	4	88.22	35	0	37	0	1	1	0	2
	諫 早 南	3	66.66	27	5	27	5	0	0	0	0
	小計		83.032	222	6	226	6	0	1	1	4
第9グループ	長 崎	2	95.72	79	0	86	0	1	2	1	7
	福 江	5	93.1	33	0	35	0	0	0	0	2
	長崎北東	4	90.54	46	6	46	6	0	0	0	0
	福江中央	3	95.4	29	0	30	0	0	0	0	1
	長 崎 西	4	87.3	60	0	59	0	-2	0	2	-1
	長崎琴海	4	67.09	21	2	20	2	-1	0	1	-1
	小計		88.19	268	8	276	8	-2	2	4	8
第10グループ	長 崎 北	3	79.87	78	0	79	0	1	1	0	1
	長 崎 南	3	85.25	78	0	78	0	0	0	0	0
	長 崎 東	4	77.94	52	0	51	0	0	0	0	-1
	東 長 崎	4	86.33	25	0	25	0	0	0	0	0
	長崎中央	3	94.59	55	0	57	0	0	0	0	2
	長崎出島	5	80.1	50	11	51	11	1	1	0	1
	小計		84.01	338	11	341	11	2	2	0	3
合 計			85.88	2218	68	2265	71	3	12	9	47



文庫通信

<267号>

このたびは昨年度の会計報告をさせていただきます。今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願い致します。

ロータリー文庫 2008～2009年度会計報告

(貸借対照表)

資 産		負 債	
現 金	42,120	社会保険料預り金	153,202
普 通 預 金	8,234,480	雇用保険料預り金	46,162
定 期 預 金	0	負 債 合 計	199,364
現預金合計	8,276,600	正味財産	
仮 払 金	376,380	次期繰越剰余金	8,453,616
合 計	8,652,980	合 計	8,652,980

(収支計算書)

収 入		支 出	
会 費 収 入	23,296,150	委 員 会 費	1,398,642
雑 収 入	135,137	業 務 費	9,419,017
		賃 貸 管 理 費	9,472,613
		人 件 費	7,651,068
		予 備 費	0
当 期 合 計	23,431,287	当 期 合 計	27,941,340
前期繰越収支差額	12,963,669	当期収支差額	△ 4,510,053
収 支 合 計	36,394,956	次期繰越収支差額	8,453,616



ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階

TEL(03)3433-6465・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



国際ロータリー第 2740 地区

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2009-2010年度ガバナー 高城 昭紀

■ガバナー事務所

〒855-8550 島原市高島 2 丁目 7217 島原商工会議所 2 F
TEL: 0957-61-0121 FAX: 0957-61-0122

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2009-2010年度

国際ロータリー第2740地区 ガバナー 高城 昭 紀



花ぼうろ：島原市

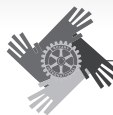
CONTENTS

高城昭紀ガバナー	1
ガバナー補佐・リレー随想	2
第2回財団奨学・学友委員会及び奨学生候補者研修会報告	3
2011～2012年度派遣募集要項	4
YEPクリスマス会報告	7
第31回RYLA報告	9
2010年RI国際大会ご案内	10
ハイライトよねやま119	11
寄付者紹介・新入会員紹介	13
会員数・出席者報告	14
文庫通信	裏表紙

雲仙観光の冬の目玉である霧氷は、地元では「花ぼうろ」と呼ばれ、妙見岳周辺で12月から3月初め頃まで見ることが出来ます。0度から-10度くらいに冷えた雲や霧が木の枝などにぶつかって凍りつき霧氷となりますが、「休日に青空の中の霧氷を撮りたい」私の願いは、複雑な気象条件はなかなか叶えてくれそうにもありません。

写真撮影者：宮崎圭介氏（二科会会員）





2月は世界理解月間です

2740地区ガバナー

高 城 昭 紀

1905年2月23日はポール・ハリス（弁護士）、ガスターバス・ローア（鉱山技師）、シルベスター・シール（石炭商）、ハイラム・ショーレ（洋服仕立業）の4人がイリノイ州シカゴで初めて会合を開いた日で、この日はロータリーの創立記念日です。よって2月は「世界理解月間」に指定されています。

同月間中、ロータリークラブは世界平和に不可欠なものとして理解と親善を特に強調するクラブプログラムと活動を実施し、世界社会奉仕を中心として、プログラムを行うよう要請されています。

また、2月23日のロータリークラブの創立記念日は、世界理解と平和の日（world under standing and peace day）と定められ、各クラブでは、この日、国際理解と友情と平和へのロータリーの献身を特に認め、

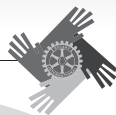
強調しなければなりません。

さらに、2月23日に始まる1週間を、「世界理解と平和週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することを決議しました。

具体的には次の活動（プログラム）があります。

- 青少年交流
- 財団国際親善奨学生
- 米山記念奨学生
- G S E
- W C S
- ロータリー友情交換

これらのプログラムは私たちの寄付によって運営されています。すなわち私達は世界理解と世界平和の推進に重要な役割を果たしている事になります。



ガバナー補佐 ・リレー随想

第6グループガバナー補佐 棧 猪一郎

「何処へ行くロータリー」

21世紀を迎える前のロータリーは、その将来展望について盛んな議論が行われていたような気がするが、今は全く影を潜めてしまったようだ。

当時の論客も年老いて、情熱を失い、またこの半世紀の間に起こった世界社会経済状況の変化に追従出来ない程、変化のスピードが速かったからであろうか？これからどのような方向に進むのか、議論さえ聞こえてこない。

世界は多極化し、新興国の経済力の台頭も著しい。R Iは依然として中央集権的な政策をとり、地区におけるテーマやターゲットを起こすことさえ制限している。提唱するのは、相も変わらず財団寄付と会員増強の事ばかりで、何ら新味を感じないし、倫理的合理性、精神性を感じさせることも無い。クラブ数と会員の減少に悩む先進国日本—まだ財力の残っているお人好しの日本に寄付を依存し、印度をはじめとする新興国に会員増強を依存する—そのような構造に見えて仕方がない。

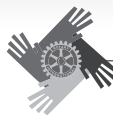
一方わが国では、所得の再配分を目指した明治以来の中央集権も政治の貧困から、その機能を喪失し、無理矢理、格差のある地方分権が進められようとしているようにみえてならない。

西暦2025年わが国の人口は9,000万人に減退し、長崎県は佐賀県のほぼ倍のスピードで減退する、長崎県が150万人、長崎市が30万人、佐世保市が20万人を割り込むのはおよそ2025年頃と推測されている。この数値はメディアの報ずる所

でもあり、九州人口動態研究所の資料でもあるので、お疑いのある方はインターネットで検索してみる価値はある。

ここから起こる諸問題は個人ではもとより、地区でも解決出来る問題では無いが、行政の在り方にもっと関心を持ったり、提言をしたり、町興しに資金援助を考えたりすることによって、足許の地区の基盤整備に貢献出来るかもしれない。各クラブを訪問すると、韓国との姉妹クラブの提携が多い。形式は整っているが実質は浅く感じる。

一衣帯水のわが国と韓国は、歴史的関係も深く、鳩山総理が提唱されている東アジア共同体構想に近づくためにも、歴史、文化の相互理解が不可欠のものであると思われる。ロータリアンも少し高いビジョンを掲げてクラブ運営を心掛ける事が退会を防ぎ新会員の増強にも繋がるのではなかろうか



第二回国際親善奨学金 候補者研修会報告

財団奨学・学友委員長 笠 慶 宣(佐賀南RC)

第二回財団奨学・学友委員会並びに10-11年度派遣予定の第二回国際親善奨学金候補者研修会を、12月6日（日）に佐賀市内の四季彩ホテル千代田館にて開催しました。前回の委員会・研修会は大雨に祟られましたが、今回は見事な快晴のもと開催することができました。

午前中の委員会では、次期国際親善奨学金の募集について話し合いました。高城ガバナーからは、選考日程を早め、ロータリー財団への申請書送付を早くすることによって、できるだけ希望する国、地域、教育機関に留学できるようにした方がよいのではないかというご助言をいただき、5月に地区選考会を実施することにいたしました。

詳細は、「2010～2011年度 国際ロータリー第2740地区ロータリー財団国際親善奨学生募集要項」を参照してください。

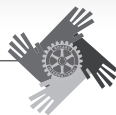
また午後は、第二回国際親善奨学金候補者研修会を開催しました。4名の候補者を地区として推薦したわけですが、4名とも12月に希望する教

育機関の指定を受領することができました。イギリス・ロシア・スイス・ドイツとそれぞれ第一に希望していた大学等への指定をもらって、さらに国際親善奨学生としての使命に燃えているようでした。

今回は、入学許可をもらうなど出発までの準備、留学先および帰国後の心構えなどを研修しました。また、戸上さん・古井さん・吉田さんの3名の学友も出席してくれましたが、候補者からは学友に対し活発に質問が出され、学友も快くそれに答えたくれていました。

第3回研修会は、4月4日（日）に四季彩ホテル千代田館にて開催いたしますが、留学先でのスピーチ等を紹介してもらう予定です。これから奨学生たちは、語学試験、入学手続、コーディネーターとの連絡など、多忙な日々を過すこととなりますが、派遣側クラブにおかれましては、よろしくご支援を賜りますようお願いいたします。





2010～2011年度 国際ロータリー第2740地区 ロータリー財団国際親善奨学生募集要項

国際ロータリー第 2740 地区では、2010～2011 年度のロータリー財団国際親善奨学生候補者（2011～2012 年度派遣）を下記要項により募集いたします。

このプログラムは、ロータリアンが世界理解・親善・平和を推進するのを可能にするというロータリー財団のビジョンを支えるものです。留学期間中は、研究に専念することと共に、優れた親善使節としての役割を担うことになります。

1. 留 学 先

- ・ロータリークラブの存在する国

2. 募 集 人 員

- ・1学年度国際親善奨学生 若干名

3. 留 学 期 間

- ・2011 年 7 月から 1 年（主に北半球教育機関）
- ・2012 年 2 月から 1 年（主に南半球教育機関）

4. 奨 学 金 金 額

一律米貨 26,000 ドル

5. 応 募 資 格

- ・日本国籍を持ち、2011 年 6 月末までに、少なくとも 2 年間の大学課程を修了する方。
- ・優秀な成績と心身ともに健康で、親善使節としての素質を持つ方。
- ・ロータリアン、又はその配偶者、尊属、直系卑属でない方。
- ・留学希望国の言語に精通している方。

※英語圏では、T O E F L 94 点以上 (iBT)、その他の言語の場合は、BERLITZの語学試験が全項目レベル7以上を基準とする。

- ・当地区内で開催する年3回の研修会に参加できる方。

（欠席した場合、奨学生資格は授与されない。研修会開催回数は地区により異なる。）

- ・上記の一般的資格条件を持ち、更に下記の条件のいずれかに該当すること。

- ①申し込み地区の高等学校卒業生
- ②申し込み地区の大学に在学中の者
- ③申し込み地区の研究機関に在籍中の者
- ④申し込み地区に就業している者

（但し、勤務先の雇主から上司の推薦状を 添付すること）

- ⑤第 2740 地区内（長崎県・佐賀県）に住民票、或いは本籍を有する者。



6. 申請（応募）手続

- ・申請書は、下記よりダウンロードしてください。
＜国際ロータリー第 2740 地区（<http://www.d2740.org>）
⇒G 月信・資料⇒各種 資料のダウンロード⇒ロータリー財団関連資料＞
- ・申請書の提出先
地区内近隣のロータリークラブに提出してください。
地区内各ロータリークラブは、下記により検索することができます。
＜国際ロータリー第 2740 地区（<http://www.d2740.org>）→クラブ情報＞
- ・応募者の各クラブへの申請書提出期限・・・2010 年 3 月 10 日締め切り
（各ロータリークラブによって、若干早くなる事があります）
※申請者は、所定の「2011～12 年度ロータリー財団国際親善奨学金申請書」に必要事項を記入し、
規定の同時提出書類を添付の上、ロータリークラブに提出してください。
※申請書は、和文／英文の 2 通とも提出してください。

7. 選考方法

- ①提出先ロータリークラブで、面接を実施します。（各クラブで日程は決められます）
- ②国際ロータリー第 2740 地区で、書類審査・語学面接試験等を実施します。
 - ・語学面接会日程（詳細は後日応募者に通知します。）
日時：2010 年 5 月 23 日（日）
会場：四季彩ホテル 千代田館（佐賀県佐賀市）
- ③選考結果の通知は、2010 年 5 月 31 日までに、スポンサークラブ及び本人に連絡します。
- ④最終決定は、2010 年 12 月 15 日頃、ロータリー財団本部より本人宛に受入れ教育機関の指定があった時となります。
※尚、ご不明な点がありましたら、ガバナー事務所にお問い合わせください。

＜ガバナー事務所＞

〒855-8550 島原市高島 2-7217 島原商工会議所 2 階
2009-2010 年度 高城ガバナー事務所 宛
電 話 0957-61-0121
F a x 0957-61-0122
E-mail ri2740gv-takagi@drive.ocn.ne.jp
<http://www.d2740.org>

※申請書は、国際ロータリーのウェブサイト
（Rotary.org）からもダウンロードすることができます。



2011～2012年度派遣

ロータリー財団国際親善奨学生募集

国際ロータリー第2740地区 財団奨学・学友委員会

国際ロータリー第2740地区(長崎県および佐賀県神崎市以西)は、2011・2012年度派遣ロータリー財団国際親善奨学生の募集を行います。有資格者は奮って応募してください。

奨学金の種類・支給額

- 1学年度国際親善奨学金 支給額：一律26,000USドル

資格条件

- ① 第2740地区(長崎県および佐賀県の一部)に本籍・居住地・通学先・勤務先のいずれかがあること。
- ② 2011年6月末までに大学課程2ヶ年修了しているか、高校卒業後2ヶ年間その専門の職業に従事していること。
- ③ 留学志望国の言語に堪能であること。

申請方法

- ① 所定の申請書を下記よりダウンロードし、もれなく記入(顔写真添付)、他の必要書類を添付して、平成22年3月10日(水)までに地区内の関係する各ロータリークラブへ提出すること。
- ② 申請書のダウンロード方法およびロータリークラブ所在地の検索方法
申請書：www.d2740.org(国際ロータリー第2740地区) ⇒ G月信・資料 ⇒ 各種資料のダウンロード ⇒ ロータリー財団関連資料
ロータリークラブ所在地：www.d2740.org(国際ロータリー第2740地区) ⇒ クラブ情報 ⇒ クラブ名で選択

受付期間と申請書提出先

- ① 平成22年1月8日(金)～平成22年3月10日(水)
- ② 地区内各ロータリークラブへ提出

選考試験

- ① 第一次選考 2010年3月～4月 提出先ロータリークラブによる書類審査と面接試験
- ② 第二次選考 2010年5月23日(日) 地区財団委員会による面接試験

問い合わせ先

2009・2010年度 高城ガバナー事務所
〒855-8550 長崎県島原市高島2-7217 島原商工会議所2階
Tel0957-61-0121 Fax0957-61-0122
E-mail ri2740gv-takagi@drive.ocn.ne.jp





★国際青少年交換プログラム第2回オリエンテーション★

「クリスマスパーティー」が開催されました。



国際青少年委員会委員長

瀬戸口 智彦



12月20日（日）12：00より雲仙、東洋館ホテルで国際青少年交換プログラムのオリエンテーション「クリスマスパーティー」が開催されました。

天気予報では北からの大寒波の来襲の警報がでて雲仙でのクリスマスパーティー開催が危ぶまれていましたが朝からみぞれ混じりの雨でしたがさしたることもなくパーティーは開催されました。

恒例の記念撮影のあと飯田地区委員による名司会で地区委員長挨拶、ガバナー代理で 本多副幹事が歓迎の挨拶 続いて佐世保南の中島洋三さんの音頭でジュースで乾杯。

パーティーは前回の地区大会では着いたころには、食べ物のがのこり少なかったという経験があった為皆さんの食欲はものすごくブッフェ・スタイルの料理を皆さん腹一杯食べすぎ、なかにはもう駄目という学生も出る始末でした。

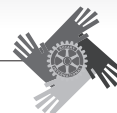
プレゼンテーションでは来春オーストラリアへ留学予定の松田菜奈さんが英語での頑張りスピーチでオーストラリアへの留学に向かう気持ちを話していただきました。又、1月末に佐世保南RCに来日予定のTamika Rymanさんのプロフィールもあわせて紹介していただきました。台湾に派遣

予定の益田喜和子さん（長崎RC）は「日本語について」、アメリカ東海岸マルチ地区派遣予定の竹馬佑美さん（雲仙RC）は「KIMONO」のプレゼンテーションをそれぞれ、英語でおこないました。

余興にROTEX（留学経験者）の松永夕加さんを先頭に来日・派遣予定学生とROTEXの全員で留学生は着物を着て季節はずれではありますが、アップテンポのロック調「盆踊り」のパフォーマンスを見せてくれました。

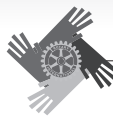
恒例のビンゴゲームでは各自が持ち寄ったプレゼントを景品にしてパーティーは「リーチ」「ビンゴ」の声も賑やかにおおいに盛り上がり最後は雲仙RCの宮田さんによる一本締めでお開きになりました。

今回も大雪風雪警報のなか佐世保、長崎、諫早から関係者のみなさん38名と多数参加していただきほんとに有難うございました。



出 席 者		名 前	所属RC	bus	摘要
	1	地区副幹事	本多 善彦	雲仙RC	
	2	委員長	瀬戸口 智彦	長崎南RC	1 長崎
	3	委員	川渕 孝順	佐世保南RC	1 諫早
	4	委員	戸村 正司	HTB佐世保RC	1 諫早
	5	委員	若杉 能將	諫早多良見RC	
	6	委員	飯田 義則	東長崎RC	1 長崎
	7	特別補佐・学生保護者	益田 莊一	長崎RC	1 長崎
	8	クラブ関係者	岡村 康司	長崎南RC	1 長崎
	9	クラブ関係者	三山 格	長崎RC	1 長崎
	10	クラブ関係者	植木 義孝	佐世保南RC	
	11	クラブ関係者	中島 洋三	佐世保南RC	
	12	クラブ関係者	峯 順通	佐世保南RC	
	13	クラブ関係者	宮田 隆	雲仙RC	
	14	クラブ関係者・ホストファミリー	藤井 勝也	長崎南RC	1 長崎
	15	ホストファミリー	菅原 比と美	諫早RC	1 諫早
	16	ホストファミリー	若杉 美智子	諫早多良見RC	
	17	ホストファミリー	若杉 佳奈	諫早多良見RC	
	18	ホストファミリー	若杉 朋美	諫早多良見RC	
	19	ROTEX	松永 夕加	佐世保RC	1 諫早
	20	ROTEX	大浦 薫	佐世保南RC	1 諫早
	21	ROTEX	若杉 友香里	諫早多良見RC	
	22	0910 Inbound	チェルシー・クレイグ	長崎南RC	1 長崎
	23	0910 Inbound	ナウエル・ケリル	諫早RC	1 諫早
	24	0910 Inbound	ハナ・ヘレクソン	長崎RC	1 長崎
	25	1011 派遣候補生	松田 菜奈	佐世保南RC	
	26	1011 派遣候補生	竹馬 佑美	雲仙RC	
	27	1011 派遣候補生	益田 喜和子	長崎RC	1 長崎
	28	1011 派遣候補生	松尾彩亜美	マルチ	1 諫早
	29	学生保護者	松田 栄治	佐世保南RC	
	30	学生保護者	松田 ひとみ	佐世保南RC	
	31	学生保護者	竹馬 猛	雲仙RC	
	32	学生保護者	竹馬 和美	雲仙RC	
	33	学生保護者	松尾 和代	マルチ	1 諫早
	34	事務局	内藤 さつき	事務局	
	35	事務局	相内 啓子	事務局	1 諫早
	35名			18	





2009年-2010年度 国際ロータリー第2740地区 第31回 RYLA(青少年指導者養成)の報告



ライラ地区委員

小 川 信

2009－2010年度の第31回R Y L A(青少年指導者養成)セミナーが、佐世保南RCのホストにより開催されました。

平成21年11月14日(土)～15日(日)

場 所：長崎県立佐世保青少年の天地

参加人員：地区ロータリアン(112名)

青少年(ロータアクト・インター
アクト・一般)(71名)

平成21年11月14日(土) 11:00～21:00

- ・開講式
- ・オリエンテーリング(烏帽子岳頂上周辺)
- ・講演会

講 師：井形慶子(長崎県出身)

作家、月刊情報誌

ミスターパートナー編集長

テーマ：「夢」君の未来へ

- ・グループディスカッション
(ロータリアン・青少年)

平成21年11月15日(日) 7:00～12:00

- ・研修 心肺蘇生法(AED)

講 師：佐世保消防署

- ・修了書授与
- ・閉講式

※2日間のセミナーでロータリアンと青少年の交流ができ、ロータリアンは青少年を理解し、青少年はロータリアンを理解することができ楽しき中にも実り多いセミナーでした。

全日程を通じて一人の事故者もなく無事に終ることができ参加者皆様に感謝致します。

又スポンサーの御協力を頂きました、2740地区の各ロータリークラブの会長、幹事、新世代委員長様にお礼申し上げます。ホスト頂きました佐世保南RC川原会長さん実行委員長の中島さん始め、クラブの皆様ご苦勞様でした。有難う御座いました。



2010年R I 国際大会 ご案内

ロータリアンの皆さまへ

「国際色あふれる体験」と銘打って2010年6月20日～23日にカナダ、ケベック州モントリオールで開かれる第101回R I 国際大会に皆さまをお招きすることができ、大変喜ばしく思います。カナダのロータリー100周年を祝う本大会の開催地、モントリオールは、新旧入り混じり、国際色あふれる洗練された街です。ファッション、食べ物、芸術にはさまざまな文化の影響が見られ、独自のスタイルを築いています。

ホスト行事では、エコール・ナショナル・ド・シルクの見事なパフォーマンスを鑑賞できるほか、フェスティバルや劇場で特別行事が行われ、緋色の制服に身を包むロイヤル・カナディアン・マウンテッド・ポリスが伝統的な行進を披露してくれます。セント・ローレンス川でのクルーズ、フランスの風情あるモン・ロワイヤルのシャレー、さらにマッコード歴史博物館に展示された先住民族の工芸品など、盛りだくさんの行事が皆さんをお待ちしています。

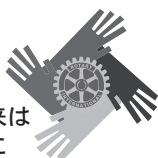
「ロータリーの未来はあなたの手の中に」あるからこそ、2010年R I 国際大会に登録し、この機会をロータリーと皆さま自身への投資としていただきたいと思います。クラブと地区プロジェクトの展示や世界ネットワーク活動グループのブースで、奉仕プロジェクトについて学び、国際交流のパートナーを見つけることができます。基調講演者の素晴らしい功績の数々に感銘し、昼食会やレセプションではシニア・リーダーと出会い、分科会ではスキルを磨くことができるでしょう。そしてロータリアン、ローターアクター、学友など、140以上の国や地域から幅広い年齢の人々が集まる中、ネットワークの輪を広げることができます。

モントリオールという素敵な街で、ロータリー家族と年に一度の集いをともに祝いましょう。石畳の街を散策、馬車、便利なメトラでのノートルダム大聖堂やバックミンスター・フラー設計のバイオスフェアの観光、地下街の探索など、さまざまな楽しみ方があります「Joie de vivre（生きる喜び）」を謳歌する街の雰囲気は、本大会を一層盛り上げてくれることでしょう。

R I 国際大会の親睦と「国際色あふれる体験」を楽しむには、モントリオールをもってほかにありません。

「A la prochaine !」モントリオールで皆さまにお会いできるのを楽しみにしています。

ロータリーの未来は
あなたの手の中に



2009-10年度R I 会長
ジョン・ケニー



ハイライトよねやま 119

1 寄付金速報 — 2010 年も引き続きよろしくお願いします —

12 月までの寄付金は、前年同期と比べて 15.8%減、約 1 億 5 千万円の減少となりました。普通寄付金が 0.8%減、特別寄付金が 20.5%減と、下期は大変厳しい状態でのスタートです。前年同月に 1 億円の大口寄付をいただいたため、前年同期との差が更に広がる結果となりました。

なお、12 月 24 日付で、「2009 年度下期普通寄付金のお願い」を各クラブ宛にお送りしています。普通寄付金は当会事業の安定財源となる大切な寄付金です。毎年金額が変動する特別寄付金だけでは、留学生への奨学生給付という公益事業の安定的・継続的な財源とはなりません。ぜひ当会の事業内容をご理解いただき、奉仕の実践として普通寄付金のご送金をよろしくお願い申し上げます。

2 台湾学友会総会報告 — 新理事長に許パストガバナーを選任 —

台湾学友会の年次大会が 12 月 12 日（土）、台北市内で約 100 名を集めて盛大に開かれました。今回は 3 年ごとの役員改選の年にあたり、理事・監事の選挙が行われ、選任された理事の互選により、新執行部が決定されました。これまで多大な貢献をしてきた阮允恭理事長の後任には、許國文パストガバナー（1975-77/徳島 R C/第 3490 地区羅東西 R C 会員）が選ばれ、1 月から新理事長に就任することになりました。そのほか、昨年ホームカミングで来日した際、世話クラブを通じて奨学会に 10 万円を寄付した林 維宏さん（1987-88/岡山南 R C/台北民生 R C 会員）に対して、当会の板橋敏雄理事長より第 1 回米山功労者の感謝状が贈られました。総会には、ホームカミングを機に林さんと親交を深めた岡山東 R C の皆さんと、台湾学友会が長年インターアクト研修旅行に協力している第 2600 地区新世代活動委員会の下井達典委員長も駆けつけ、日台の交流の輪がさらに広がりました。

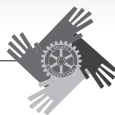


3 学友からの年賀状

今年も奨学生・学友からたくさんの年賀状をいただきました。その中から、中国の天津師範大学で教鞭をとる胡東寧さん（2001-03/東京山の手 R C）の年賀状を紹介します。

前略 新しい 2010 年を迎えるにあたり、私どもの心を込めた祝福を皆さまに送らせていただきたいと思います。2009 年は私にとって、一つのことが大変印象に残っています。それは、中国学友会の設立です。日中交流の懸け橋となる組織の一員となり、私自身、すごく光栄だと思っています。私たち米山学友にとって、米山奨学会やロータリアンの皆さまのご恩は一生忘れてはいけないことで、自分の人生の中で、何らかの形で日中交流に貢献しなければなりません。学友会の設立は、私たちにこのような夢を実現できる場を提供してくれました。また、中国学友会の設立によって、私たち米山学友は、再びロータリー米山に対する帰属意識を持てるようになりました。私たちはロータリアンの皆さまから離れ、帰国したことによって、大変寂しく思いながら、日本で各クラブの例会に参加させていただいたことに対する懐かしい思いもずっと持っていたからです。私は 2010 年を出発点として、厳しい経済状況の下で、日中交流に貢献したいと考えています。

胡東寧



4 関東在住の学友が集う — 第 2750 地区米山懇親会 —

2009 年 12 月 13 日、第 2750 地区（東京）米山奨学委員会が主催する懇親会が都内で開かれ、ロータリアン、奨学生・学友、合わせて 121 人が集まりました。

今回は、同地区の米山学友に限らず、東京近郊に在住する他地区出身の学友にも参加を呼びかけたため、奨学生時代は青森県や福井県などで過ごした学友たちも出席し、「米山の O B やロータリアンに会うのは久しぶり」と声を弾ませていました。

また、現在構想中の米山学友を中心としたクラブ、「東京米山友愛ロータリークラブ（仮称）」について、楊錦華さん（中国／2002-05／東京日本橋 R C）がクラブの概要や目標を発表し、参加予定メンバーが自己紹介を行いました。このクラブは、ロータリーの会員資格を満たす米山学友と一般社会人メンバーによるもので、米山奨学事業、ならびに国際奉仕事業を自らの手で支援すべく設立が決意されたとのことです。その場で入会希望者を募ったところ、数人の学友が「興味があるので詳しく聞きたい」と、手を挙げました。

地区米山記念奨学委員長吉井栄氏は、「この懇親会で学友とのネットワークがより大きく広がり、有意義な企画だった。今後も多くの学友に参加を呼びかけたい」と話しています。



初対面でも談笑の輪はすぐに生まれます



新クラブ入会予定のメンバー

5 中国学友会総会 in 上海 参加のお誘い

上海万博への訪問と合わせ、中国の学友と交流しませんか？

2009 年 3 月に正式発足した中国学友会は、北京と上海の 2 つの支部で構成されており、今年の総会は 7 月に上海で開かれます。上海分会は 2002 年、第 2630 地区・中津川 R C 支援を受けて発足し、会員相互の親睦活動のほか、数々の社会貢献活動にも取り組んできました。上海は中国経済の中心地であり、今年は万国博覧会も開かれます。上海分会では多くのロータリアンをお迎えして交流を深めたい、と総会後の懇親会を企画しています。クラブ単位での参加も大歓迎！多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

＜開催概要＞詳細は 1 月末頃に米山奨学会ホームページに掲載します <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

日時：2010 年 7 月 17 日（土）午前 10 時～ / 場所：上海国際会議センター（予定）

登録料：12,000 円／人（要・事前登録）

登録締め切り：2010 年 3 月 31 日（申し込み先は米山記念奨学会事務局）

備考：上海万博訪問と合わせたツアー（旅行会社企画）もご用意する予定です

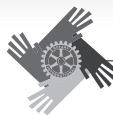
確定申告用領収証 ～1 月末日までにクラブへお届けします～

昨年 1 年間（1～12 月）で 5,000 円以上の特別寄付をされた方には、1 月末日までに（確定申告に間に合うように）、認定証の写しが付いた申告用領収証をロータリークラブ宛に送付します。



（財）ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当：野津・峯



寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

ロータリー財団

米山記念奨学会

種 類	氏 名	クラブ名	種 類	氏 名	クラブ名
11月	マルチプルP・H・F	前田 治伸	米山功労者	大坪 稔	鹿 島RC
		緒方 信行		古賀 良一	佐世保南RC
		松尾辰二郎		芦塚 猛	諫 早RC
		宮崎 有恒		川原 強	長 崎RC
		深町 等		朝長万左男	長 崎RC
		森 豊		殿村 育生	長 崎RC
	ベネファクター	西川 正美	特別寄付(クラブ)	小 城RC	
	大口寄付	村上 寅雄			
		福田 敏郎			
	恒久基金	堤 祐敬			
	年次寄付	中村 正年			
		堺 末喜			
	クラブ寄付	佐世保北RC			
	クラブ年次寄付	長崎出島RC			
	クラブポリオプラス	長崎出島RC			

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々を
ご紹介いたします。



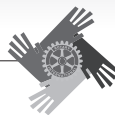
佐賀RC

井口 幸久 君



佐賀RC

大坪 潔晴 君



2009年11月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数				当該月				累計	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会			
第1グループ	佐 賀	4	78.86	66	0	65	0	1	2	1	-1		
	小 城	4	77	29	2	28	2	0	0	0	-1		
	牛 津	4	75	29	1	31	1	0	0	0	2		
	多 久	4	88.69	42	4	42	4	-1	0	1	0		
	佐賀大和	3	75.36	23	2	23	2	0	0	0	0		
	小計		78.982	189	9	189	9	0	2	2	0		
第2グループ	佐 賀 西	4	79	44	0	47	0	0	0	0	3		
	佐 賀 北	4	87.75	31	3	32	3	0	0	1	1		
	佐 賀 南	3	84.92	42	2	42	2	0	0	0	0		
	神 埼	3	85.7	27	0	33	0	0	0	0	6		
	佐賀空港	4	80	15	1	15	1	0	0	0	0		
	小計		83.474	159	6	169	6	0	0	1	10		
第3グループ	有 田	3	68.38	37	1	40	1	2	2	0	3		
	武 雄	4	83.17	49	3	52	3	1	1	0	3		
	鹿 島	3	96.4	42	2	40	2	0	0	0	-2		
	嬉 野	4	82.37	24	1	24	1	0	0	0	0		
	大 町	4	80.96	21	0	21	0	0	0	0	0		
	白 石	4	69.23	13	0	13	0	0	0	0	0		
	太 良	4	100	8	0	8	0	0	0	0	0		
	小計		82.93	194	7	198	7	3	3	0	4		
第4グループ	唐 津	3	89.63	50	0	52	0	-1	0	1	2		
	伊 万 里	4	94.36	31	0	31	0	0	0	0	0		
	唐津東	3	86.51	51	0	52	0	0	0	0	1		
	唐津西	3	89.74	33	0	34	0	1	1	0	1		
	伊万里西	4	88.2	44	0	43	0	0	0	0	-1		
	唐津中央	4	91.67	33	5	33	5	0	0	0	0		
	小計		90.02	242	5	245	5	0	1	1	3		
	第5グループ	佐 世 保	3	100	73	0	78	0	0	0	0	5	
平 戸		4	83.8	32	1	35	2	-1	0	1	3		
佐世保西		3	100	25	0	26	0	0	0	0	1		
北松浦		3	90.2	21	0	22	0	0	0	0	1		
松 浦		4	85	30	1	30	1	0	0	0	0		
小計			91.8	181	2	191	3	-1	0	1	10		
第6グループ		佐世保南	4	97.33	68	0	69	0	0	0	0	1	
	佐世保東	3	97	20	0	21	0	0	0	0	1		
	佐世保北	3	99.24	43	0	46	0	0	0	0	3		
	佐世保中央	4	100	40	2	39	2	0	0	0	-1		
	佐世保東南	4	71.15	26	2	26	2	0	0	0	0		
	HTB佐世保	3	76.36	26	4	26	4	0	0	0	0		
	小計		90.18	223	8	227	8	0	0	0	4		
	第7グループ	大 村	3	85.51	51	2	51	3	0	0	0	0	
		島 原	3	83.87	32	2	31	2	0	0	0	-1	
		雲 仙	4	81.73	26	0	26	0	0	0	0	0	
大村北		4	100	32	0	32	0	0	0	0	0		
島原南		4	85	19	1	22	1	0	0	0	3		
大村東		4	82.95	42	1	42	2	0	0	0	0		
小計			86.51	202	6	204	8	0	0	0	2		
第8グループ	諫 早	4	86.23	55	0	58	0	0	0	0	3		
	諫早北	4	79.29	65	1	64	1	0	0	0	-1		
	諫早西	4	93.56	40	0	40	0	0	1	1	0		
	諫早多良見	3	87.38	35	0	37	0	0	0	0	2		
	諫早南	3	58.79	27	5	27	5	0	0	0	0		
	小計		81.05	222	6	226	6	0	1	1	4		
	第9グループ	長 崎	4	85.52	79	0	87	0	1	1	0	8	
福 江		4	94.79	33	0	35	0	0	0	0	2		
長崎北東		4	82.39	46	6	47	6	1	1	0	1		
福江中央		3	97.7	29	0	30	0	0	0	0	1		
長崎西		3	74.5	60	0	59	0	0	0	0	-1		
長崎琴海		4	61.64	21	2	20	2	0	0	0	-1		
小計			82.757	268	8	278	8	2	2	0	10		
第10グループ	長崎北	3	81.31	78	0	79	0	0	0	0	1		
	長崎南	4	79.48	78	0	78	0	0	0	0	0		
	長崎東	4	75.98	52	0	51	0	0	0	0	-1		
	東長崎	3	83.78	25	0	25	0	0	0	0	0		
	長崎中央	4	92.92	55	0	58	0	1	1	0	3		
	長崎出島	4	75.5	50	11	51	11	0	0	0	1		
	小計		81.495	338	11	342	11	1	1	0	4		
合 計			84.92	2218	68	2269	71	5	10	6	51		

※ 上記の表の新入・退会は当月中の数字

※ 上記の表の新入・退会は当月中の数字

文庫通信

<268号>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報から

- | | |
|--|-------|
| ◎「奉仕理念の提唱者 アーサー・フレデリック・シェルドン」
2009 22P (D. 2580職業奉仕セミナー講演集) | 田中 毅 |
| ◎「職業奉仕における個人と職業の倫理」
2009 19P (D. 2580職業奉仕セミナー講演集) | 深川 純一 |
| ◎「『ロータリーの心もとめ』より」
2009 4P | 海田 司 |
| ◎「国際ロータリーのビルダー」
2009 3P (私の“Rotary Notes”) | 塚原 房樹 |
| ◎「井坂孝の説いた職業倫理を踏襲して」
2009 8P (井坂孝の足跡) | 鈴木 清次 |
| ◎「職業奉仕に誇りを!!」
2009 1P (D. 2640月信) | 村上 有司 |
| ◎「職業奉仕について」
2009 4P (D. 2730月信) | 原田實太郎 |
| ◎「ロータリアンは同業者・業界でもっと積極的行動を」
2009 1P (D. 2680月信) | 竹中 秀夫 |

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー / PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6465・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



国際ロータリー第2740地区

2009-2010年度ガバナー 高城 昭紀

■ガバナー事務所

〒855-8550 島原市高島2丁目7217 島原商工会議所2F
TEL: 0957-61-0121 FAX: 0957-61-0122

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

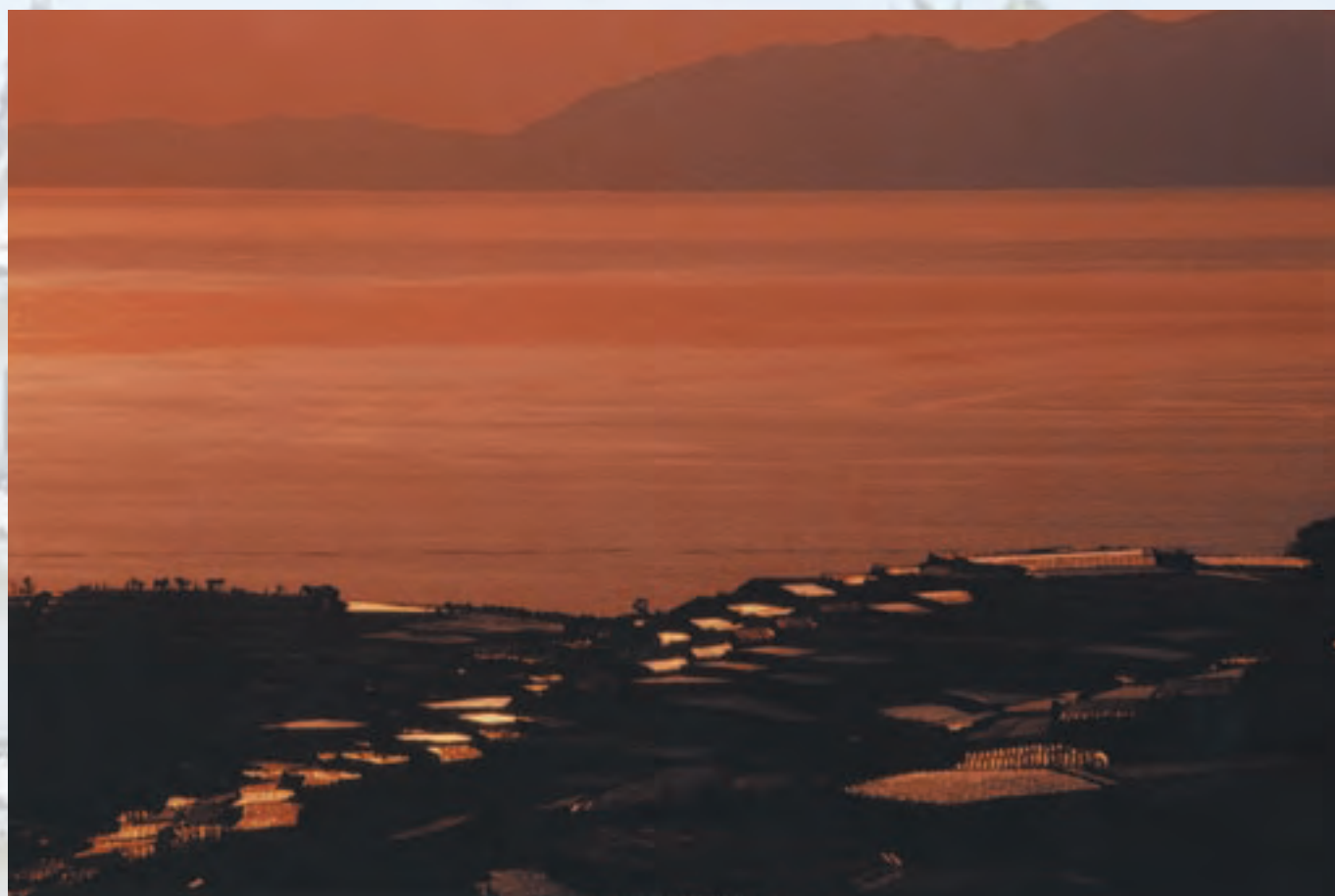


GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2009-2010年度

国際ロータリー第2740地区 ガバナー 高城 昭 紀



棚田暮景：雲仙市

CONTENTS

高城昭紀ガバナー	1
ガバナー補佐・リレー随想	2
R I 国際会議報告	3
第4回第2740地区国際青少年交換事業	4
インターアクト後期指導者研修報告	5
ロータリー雑誌月間について	6
新入会員紹介	7
寄付者紹介	8
ハイライトよねやま120	9
会員数・出席者報告	11
文庫通信	12

島原半島はジャガイモの産地。南串山町は海岸から山手に上った急勾配の畑地に植えられて、寒さよけのビニールが銀世界の様相を見せて格好の写真の被写体になります。私は陽が沈むぎりぎりの時間帯に、畑のビニールの光と背景の海の色の変化をじっと見つめながら緊張の時間を楽しんでいます。

写真撮影者：宮崎圭介氏（二科会会員）





3月13日～3月19日は 世界ローターアクト週間です

2740地区ガバナー

高 城 昭 紀

ローターアクトクラブ、その目的は、「青年男女が個々の能力の開発に当たって、役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的あるいは、社会的ニーズと取り組み、親睦と奉仕活動を通じて、全世界の人々の間によりよい信頼関係を推進するための機会を提供することにある。」ということです。

なお、ローターアクトの名称は「ロータリー」と「Action(行動)」からきているとのこと。

最初のローターアクトクラブはアメリカノースカロライナ州のノースシャーロットRCの提唱で1968年(S43年)3月に結成されたそうです。

一方、我が2740地区では上記のノースシャーロットRACと同年の12月に佐賀ローターアクトクラブが結成されています。

次いで、有田・佐世保・長崎北・諫早・長崎・福江・唐津東・佐世保東・島原・鹿島・長崎東・大村・伊万里西・長崎国際大学の順に15クラブが結成されました。そして、それなりの活動をしてきました。

しかし、平成3年 福江ローターアクトク

ラブが解散し、次いで、大村(H10年)・有田(H14年)・佐世保(H19年)・伊万里西(H20年)が相次いで解散しています。伊万里西は休会(?)

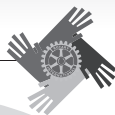
したがって、現在残っているローターアクトクラブは、佐賀(10名)・長崎北(9名)・諫早(3名)・長崎(10名)・唐津東(8名)・佐世保東(4名)・島原(4名)・鹿島(8名)・長崎東(4名)・長崎国際大学(13名)の10クラブです。

会員数は、10名以上が3クラブ、3～4名が4クラブもあります。

3～4名でも存続する意義があるのでしょうか？

ここ10年、ロータリークラブの会員の減少が問題になっています。すなわち、ロータリークラブは冬の時代・氷河期に入ったとも言われています。

このような時はロータリークラブを守ることが第一だと思います。そのためには、スリム化して、冬の時代が去るのをじっと耐える必要があると思います。



ガバナー補佐 ・リレー随想

第7グループガバナー補佐 松 永 忠 義

「君子は進み難く、退き易し」

北アルプスのど真ん中標高3,060mに建つ槍ヶ岳山荘の、窓やトタン屋根を激しく叩く風雨の音に目覚めたのは3時頃だった。「やはり槍ヶ岳(3,180m)の頂上に立つのは無理だったか」、昨夜寝入る前からの風雨は、パーティ全員の願いも空しく更に激しさを増していた。

「予報では回復の見込み無し、風雨と霧で登頂は無理、帰りの北鎌尾根縦走コースは更に危険だ、昨日登って来た道を引き返そう」とのガイドの説明に、肯くのには一瞬の躊躇があった。永年の夢だった槍ヶ岳登頂と北鎌尾根から北アルプスの峰々の眺望、大いなる楽しみでようやく此処まで頑張ってきたのに。

昨日までの天候は真に素晴らしくて、上高地徳沢を発ってからずっと視界を遮る雲の一つも無かった。登山道を振り返れば常念岳など北アルプスの山々が眺望され、心は既に槍ヶ岳頂上へと駆け巡っていた。山の天候は予測が難しく気まぐれと言うが、登山者は自然を受け入れて従わざるを得ないのだろう。

雨具に身を包み鬱陶しい気分での下山、眺望出来る筈の峰々は雲の中に姿を隠している。しかし路傍の可憐な白い花々や、時には黄色の色鮮やかなニッコウキスゲの花畑に出会って、消沈した吾々の心も少しは慰められた。

「君子は進み難く退き易し、小人はこれに反す」、以前読んだ本の中の言葉がふっと頭に浮かんだ。中国春秋時代で戦に明け暮れていた時代の言葉であろうか。「名君は常に敵方の情報を収集して、不利と判断した時はすぐ退却して守りを固める。反面、情報収集を疎かにして相手の力量も

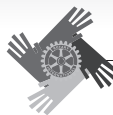
解らず、守りも固めず突き進む人は滅びる」と言う事だろうと思う。

当日の気象情報を可能な限りに収集して、槍ヶ岳登頂断念と北鎌尾根縦走を変更したガイドの英断は、まさに「進み難く退き易し」の君子さながらであったと思う。昨年7月のトムラウシ山遭難の例もある、ガイドの判断の正誤によって、パーティ全員の生命が左右されるのである。万全な情報収集からの確な判断を下し、メンバーを安全に導いてくれたガイドには感謝の心で一杯である。

人生にも事業にもハプニングは付きものだが、皆さんは「君子」として的確な判断を下された結果、今のロータリアンとして存在されて居られるのだと思います。家庭の主人は家族の為に、職場の社長は社員とその家族の生活を守る為に、常に「君子」であり続けなければならないでしょう。

今回の風雨による槍ヶ岳登頂断念を経験して、山に於いても人生に於いても「進むは慎重に、退くは勇気をもって」、の大切さを改めて感じた北アルプス山行(8月)であった。





2010年国際協議会に出席して 「地域を育み、大陸をつなぐ」



ガバナーエレクト
高 原 武 彦

1月17日から26日までサンディエゴで開催された2010年国際協議会に日本のガバナーエレクト34名と共に出席して参りました。

会場は、海の近くに聳え立つマンチェスターグランドハイアットホテル。

10階の私の部屋からは港の入口に架かっているベイブリッジが正面に見え、眼下には素晴らしいヨットハーバーに数多くのヨットが繫留されているのが見られた。ホテルは2つ棟が4階建の会議棟でつながっていた。その4階の屋上から佐世保市と姉妹都市のサンディエゴの広い港全体が眺められた。退役した原子力空母が近くに接岸され博物館として公開されていた。遠くに見える対岸には現役空母が碇泊していたが港が広いので小さく見えた。

1月17日（日） 成田を17：15出発、LOSに同じ17日朝9時頃到着、17時間の時差

1月18日（月） 昼食前にサンディエゴの会場に入る

16：50 全ガバナーエレクトおよび配偶者指定席に着席（出会いを考えて2日毎席替え）

17：00 本会議 ジョン・ケニー会長 開会宣言および歓迎の辞

ロータリー加盟国及び国旗紹介・英国米国歌斉唱等続く

式典の最後にR I 会長エレクト レイ・クリングスミス氏登壇

2010～2011年度テーマ「地域を育み 大陸をつなぐ」発表

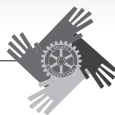
18：30 友愛の家（国際交流と親睦）

19：30 歓迎夕食会（指定席）（色々の国のガバナーエレクト夫妻と同席）

21：00 かくして初日の国際協議会終わる

（火）～（土）曜日 午前と午後2回の本会議とグループ討論、配偶者プログラムが9時から17時までしっかり行われた。

ガバナーエレクトをして貴重な経験をさせていただきましたこと会員の皆様に感謝申し上げます。



第4回 2740地区 国際青少年交換事業 壮行会と歓迎会



地区青少年交換委員会
瀬戸口 智彦

【日 時】 H.22.1.31 12:00~16:00

【場 所】 諫早グランドパレス

【出席者】

＜地区幹事＞ 高木義和

＜地区委員＞ 瀬戸口智彦、川渕孝順、
戸村正司、若杉能將

＜クラブ関係者＞

益田莊一、三山 格（長崎）、岩永浩昭、
岡村康司（長崎南）、関 啓治（雲仙）、
樋口征司（諫早）、菅原眞博（諫早）

＜ホストファミリー＞

菅原比と美（諫早）、
松田ひとみ（佐世保南）

＜保護者＞ 益田ひとみ、松尾和代

＜ROTEX＞ 橋本 将、松永夕加

＜来日学生＞

チェルシー・クレイグ（長崎南）、
ナウエル・ケリル（諫早）、
ハナ・ヘレクソン（長崎）、
タミカ・ライマン（佐世保南）

＜派遣予定＞

松田菜奈（佐世保南）、
竹馬佑美（雲仙）、益田喜和子（長崎）、
松尾彩亜美（諫早マルチ）、
友納 恵美（長崎）

＜事務局＞ 相内啓子

オリエンテーションプログラム

12:00 ~16:30

会議に先立って地区委員会開催し3月5月のオリエンテーションと開催要項の準備を検討し以下のプログラムに沿って進行了ました。（司会進行若杉地区委員）

①高木幹事 ガバナー代理挨拶

②瀬戸口地区委員長 開会の挨拶と出席者紹介

③来日学生タミカ・ライマンさん

（オーストラリア⇒佐世保南）来日挨拶

④派遣学生松田菜奈さん

（佐世保⇒オーストラリア）出発の挨拶

⑤来日学生の日本語プレゼンテーション

（スライドショウ）

⑥派遣候補 竹馬由美、益田喜和子、松尾彩亜美、友納恵美 さんのプレゼンテーション

⑦関係ロータリークラブの自己紹介と所感

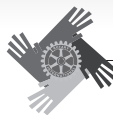
⑧事務局からの今迄の経緯と注意事項 :

● 派遣準備

● 竹馬さんの派遣先変更の報告

● 長崎RC派遣候補生： 友納さん決定





インターアクト 後期指導者研修報告

国際ロータリー第2740地区

インターアクト委員会 地区委員長 天 本 俊 太

1月23日(土) 東彼杵総合会館で IAC 後期指導者研修会を開催致しました。

本年は昨年来の新型インフルエンザ流行により、学校行事の変更、学級・学年閉鎖の補講、県立高校入試の変更に伴う私立高校の入試日変更などにより、例年より参加人数が少なくロータリアン 顧問教諭 インターアクター併せて 約70名の参加となりました。

内容としては、全体会において 高城ガバナーより IAC 活動の意義 顧問教諭 インターアクターにたいする 感謝の言葉が述べられました。その後地区委員長である私より本年度の活動報告を簡単に行い。

島原中央高校 佐世保聖和高校 長崎女子高校の3校より本年度の活動の報告が行われました。最初の島原中央高校よりは、昨年夏

島原で行われました、年次大会開催におけるホスト校の苦勞、思い出話がスライドを見ながら行われ、最後に開催をして本当に良かったとの報告が行われました。次の佐世保聖和女子学院においては、インターアクトの活動特に EJ キングスクールとの交流をスライド提示しながらの説明を頂きました。最後の長崎女子商業高校には地域に対する有意義な奉仕活動の報告が行われました。

その後 生徒と指導者(ロータリアン 顧問教諭)別分科会を行いました。

生徒の分科会では、部員減少を如何に食い止め、活動を盛んにするか、特に4月からの新入生にどの様にインターアクトクラブを紹介し、新入部員を増やしていくかを中心にグループディスカッションが行われました。

指導者の部会においては、地区 IA 委員会活動への理解、年次大会のホスト校引き受けのご協力をお願い、また年次大会などの多くの生徒が集まる大会における 生徒指導、特に服装 携帯電話の使用についての指導の徹底をお願いしました。

最後になりますが、お忙しい中最後までおつきあい頂いた 高城ガバナー初め多くのロータリアン 顧問教諭に感謝致しまして報告とさせていただきます。

年次大会ホスト校(平成22年23年は決定、24年以降は地区委員長案です)

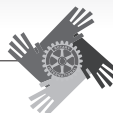
平成22年 長崎女子商業高校 IAC
長崎南 RC(決定)

平成23年 長崎女子高校 IAC
長崎 RC(決定)

平成24年 諫早農業高校瑞穂寮
IAC 諫早 RC

平成25年 武雄高校 IAC 武雄 RC

平成26年 大村城南高校 大村東 RC



ロータリー雑誌月間について

ロータリーの友 地区委員 高田 一 始 (島原RC)

ロータリアンの情報源である「ロータリーの友」は、本年度は、「ロータリーの友」の改革を標榜しています。

その中心となる考え方は、以下の通りです。

- ①ガバナーと「ロータリーの友」やホームページ、「ロータリージャパン」に関しての意思疎通を深め、購読数や読書率向上のための取り組みを行う。
 - ②ガバナーの意見を集約し、ロータリーの友委員会で報告する。
 - ③「ロータリーの友」の広報、利用促進。
 - ④「ロータリーの友」についての意見や感想の提供。
 - ⑤地区内ロータリアンやクラブの活動状況を収集して会議などで発表し、また取材に協力する。
 - ⑥ロータリー手帳、その他刊行物の活用促進
- 次に、Web「ロータリージャパン」www.rotary.or.jpでは、国際協議会、地区大会の記事のように「ロータリーの友」で概要を紹介し、Webで当日の様子を紹介する。

「ロータリーの友」では、「ロータリーの基礎知識」、「ロータリーの関係資料」などのコーナーを設け、ロータリアンとして必須な情報を掲載する。

本年度は、新たなゾーン会議が開催されています。

これにより、それぞれの担当地区の問題を、より深く認識して、よりスピーディに編集に反映される事になりました。

ゾーン会議に出席して、自分の地区だけでな

く、他の地区やRIの情報も共有するようになりました。

ゾーン会議において、ロータリーの友地区委員は、自分の地区についての情報を提供すると同時に、他地区の状況を知る事ができるようになりました。

それらを知った上で自分の地区に帰って見回してみると、今までは気付かなかった特徴的な素晴らしい活動を見つけ出す事ができるようになった。

ロータリーの友の表紙は、当初、年間を通じて富嶽（富士山）のワンパターンであったのがその後、毎号違ったモチーフがとりあげられるようになり、本年度は、ロータリアンから公募した「祭り」を題材とした厳選された非常に迫力のあるものになっています。

映像と共に、表紙の解説は、元アサヒカメラ編集長の岡井耀毅氏の「表紙メッセージ」により更に効果を高めています。

プロのライター、カメラマン取材による、『クラブ探訪「手に手」』は、高い評価を得ており、全国の配置、大きなクラブ、小さなクラブなどのバランスをとりながら編集されています。

読者としては、掲載された同じ地区のクラブ及び自分の所属する友好クラブには、より強い関心が示されます。

2010年1月号では、第2540地区の二ツ井ロータリークラブ記事には、インターアクトクラブやローターアクトクラブを抱える小さなクラブの悩みが凝縮されているように思えます。



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々を
ご紹介いたします。



佐賀RC
平川 智裕 君



有田RC
舘林 慶知 君



有田RC
西山 晴男 君



武雄RC
田中隆一郎 君



鹿島RC
織田高德 君



鹿島RC
森 千枝子 君



大村北RC
麻生 康友 君



諫早北RC
花原 正明 君



諫早北RC
藤田 準一 君



長崎北RC
坂井 秀之 君





寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

ロータリー財団

米山記念奨学会

	種	類	氏	名	クラブ名		種	類	氏	名	クラブ名
12月	ポール・ハリス・フェロー		鬼木	和夫	佐世保RC	12月	マルチプル		大神	邦明	佐世保RC
			前田	治伸	北松浦RC				浦川	一孝	長崎中央RC
			宮田	隆	雲 仙RC				梅木	誠一	長崎北RC
			川原	強	長 崎RC				上田	恵三	長崎北RC
	マルチプルP・H・F		烏山	昇	北松浦RC			里	隆光	長崎北RC	
			吉川	豊	大 村RC			安達	一郎	長崎北RC	
			高瀬	正之	大 村RC			石本仁太郎		諫早北RC	
			宮崎	清彰	諫早北RC			岩崎	修一	諫早北RC	
			白倉	一男	諫早北RC			永井	剛	長崎 RC	
			千葉	憲哉	諫早北RC			岡本	晃	福江中央RC	
			濱本	正安	長 崎RC			千綿	国彦	東長崎RC	
			福井	功	長 崎RC			特別寄付(法人)	国際法人会に金松浦南 島山 昇	北松浦RC	
			有田	信一	長崎中央RC		特別寄付	宮田	隆	雲 仙RC	
	ベネファクター		川崎	孝	長崎南RC		特別寄付(クラブ)		小 城RC		
	ポリオプラス		野田	弘之	諫早北RC						
			古川	泰蔵	諫早北RC						
	メモリアル・コントリビューション		塩澤	恒雄	平 戸RC						
	メモリアル・コントリビューター		嵩	則雄	福 江RC						
	年 次 寄 付		林	敏幸	長崎北RC						
			福島	建一	長崎北RC						
			崎永	剛	長崎北RC						
			田中	良光	東長崎RC						
			多良	正治	東長崎RC						
			濱崎	一男	長崎中央RC						
					東長崎RC						
					雲 仙RC						



ハイライトよねやま 120

1 寄付金速報 — 下半期も厳しいスタート —

1月までの寄付金は、前年同期と比べて14.5%減、約1億7千万円の減少となりました。普通寄付金が1.9%減、特別寄付金が20.7%減と相変わらず厳しい状態には変わりありません。

1月は主に普通寄付金が納入される月であり、全クラブの81%にあたる1,864クラブからご納入いただきましたが、納入率が60%台にとどまっているところも2地区あります。多地区合同奉仕活動として日本の全34地区が参加している米山奨学事業のご理解を深めて頂き、普通寄付金のご送金をよろしくお願い申し上げます。

2 4月からの新奨学生が決定！

4月からの新規米山奨学生の面接選考が各地区の選考委員会によって行われ、1,550名（クラブ支援奨学金17名を含む）の応募に対し、648名の合格が決定しました。

合格者は、博士課程146名・修士課程330名・学部課程147名、クラブ支援奨学金が9名、地区奨励奨学金が16名です。このほか、海外校友会推薦による2名の候補者が決定しています。国籍・地域別では、中国が52.3%（前年度48.3%）、韓国15.3%（13.8%）、台湾5.5%（6.3%）、その他26.9%（31.7%）です。中国・韓国籍の学生の割合が昨年に比べて増加した理由は、今年度から同国の学部生にも応募資格を与えたことによって応募数が増えたことによると考えられます。

今後、辞退者が出るなど多少の変動が見込まれますが、今回の合格者、そして昨年度からの継続奨学生171名を合わせた819名が、2010学年度の奨学生として新たなスタートを切ります。

3 台湾の学友が「総統科学賞」を受賞！

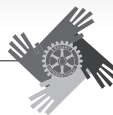
2009年12月、台湾で「エビ養殖の父」と呼ばれる米山学友、廖一久さん（1965-68/田原RC）が、第5回総統科学賞を受賞しました。この賞は、台湾の数理科学・生命科学・社会科学・応用科学分野において、二年に一回、顕著な功績を残した研究者に贈られる、台湾で最も権威ある科学賞です。

廖さんは来日後、1962年に東京大学修士課程に入学。博士課程修了までの6年間に渥美半島にある東大水産実験所で過ごし、車エビの研究で大きな研究成果を残しました。1968年に台湾に帰国後は、台湾省水産試験所の研究員として、世界に先駆けてブラックタイガーエビの養殖を成功させ、ボウおよびサバヒー等の人工繁殖世界記録を打ち立てるなど、台湾はもとより、世界の養殖業に多大な影響を与えました。研究者としてだけでなく、国立台湾海洋大学教授、台湾水産学会理事長、財団法人中華農学会理事、中央研究院院士など、研究・教育において40以上の重職を歴任し、国民から尊敬と信頼を得ています。



馬英九総統からトロフィーを受け取る廖さん(右)

【廖一久さんからのメッセージ】 私が学んだ50年前は、台湾も日本も貧乏な時代でした。米山奨学金のおかげで勉学に励むことができ、7日7晩寝ずにエビの研究に没頭したこともありました。その成果として、帰国後、エビや魚などさまざまな養殖に成功し、世界的名声を得ることができました。日本のロータリアンの皆さまに心より感謝を申し上げます。



4 PETSではDVDを使って米山奨学事業のアピールを！

各地区で会長エレクト研修セミナー（P E T S）が開催される季節となりました。米山奨学会では例年、P E T Sで“米山奨学事業の説明時間を設けていただく”ことをお願いしています。

今年は、次年度のクラブ会長・幹事、クラブ米山記念奨学委員長の皆さまへの配布資料として、「豆辞典」と「事業紹介DVDチラシ（申込書付）」の2点をご用意しました。また、DVD「すばらしい贈り物」の短縮版（12分 ※説明者用シナリオ付き）の活用を呼びかけ、すでに活用を申し出てくださった地区が9地区あります。上映を機に、現在好評を得ている事業紹介DVDの存在をクラブ会長に認識していただき、例会等で上映していただきたいと思います。

お問い合わせはこちら

『DVD「すばらしい贈り物」の短縮版（12分）と説明シナリオ』をご希望の方は、事務局まで（TEL: 03-3578-8281 担当：栗原）

5 中国経済専門家・米山学友の柯隆さんが東京RCで卓話

富士通総研 経済研究所 主席研究員の柯隆さん（1992-94年／名古屋大学大学院／名古屋大須RC）が2月3日（水）、東京ロータリークラブの例会で『中国経済のゆくえ—危機からの回復と課題』と題する卓話を行いました。

柯隆さんは、中国マクロ経済研究の第一人者として知られ、経団連や経済同友会の会合での講演を引き受けることも多く、今回の卓話も、柯さんの講演を聴いてファンになったという会員からの依頼で実現しました。

「現在の中国経済を一字で表すなら何か」との問いに「膨」と答えたという柯さん。事実に基づく客観的な分析と的確な言葉で言い表すセンスが高く評価されているとの評判通り、30分という限られた時間の中、現在の中国経済事情とそれを取り巻くリスク要因を明快に分かりやすく解説し、終了後は会場から万雷の拍手が送られました。当日は、米山奨学生時代のカウンセラーであった、浅野 彰氏（名古屋大須RC）も駆けつけ、会場で柯さんの卓話を見守りました。



柯隆さん（右）と浅野カウンセラー

【柯隆さんからのメッセージ】 東京ロータリークラブで卓話をさせていただき、米山奨学生の時代のことを思い出しました。ロータリアンの精神を受け継ぎ、卓話でいただいた講演料を中国で植林している日本のNGOに寄付させていただきました。改めて皆様に感謝を申し上げます。

※柯隆さんの卓話（要約）は、下記の東京RCのホームページに2月末頃掲載予定です

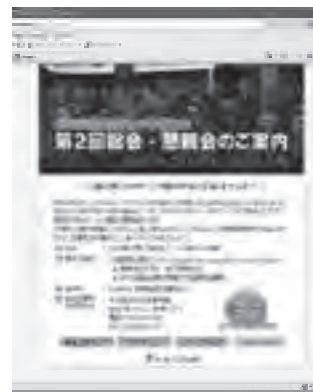
<http://www.tokyo-rc.gr.jp/jspeech/jspeech.htm>

中国学友会総会・懇親会 in 上海 ご案内ページをHPに掲載しました！

2010年7月17日（土）、上海で開催される中国学友会総会・懇親会にぜひご参加ください！

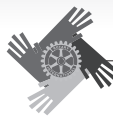
万博史上最大規模といわれる上海万博への訪問と合わせ、中国の学友たちとの交流を深めませんか？中国の学友たちの活躍をその目で見、彼らの思いを直接聞くチャンスです！詳しくはこちら↓↓↓

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/sp-info/index.html>



(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当：野津・峯

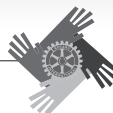


2009年12月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会	
第1グループ	佐 賀	4	80.84	66	0	66	0	1	1	0	0
	小 城	3	84	29	2	27	2	-1	0	1	-2
	牛 津	4	87.1	29	1	31	1	0	0	0	2
	多 久	4	91.07	42	4	42	4	0	0	0	0
	佐賀大和	4	75	23	2	23	2	0	0	0	0
	小計		83.602	189	9	189	9	0	1	1	0
第2グループ	佐 賀 西	4	82	44	0	47	0	0	0	0	3
	佐 賀 北	4	92.77	31	3	31	3	-1	0	1	0
	佐 賀 南	4	76.79	42	2	42	2	0	0	0	0
	神 埼	4	88.5	27	0	32	0	-1	0	1	5
	佐賀空港	2	63.3	15	1	15	0	0	0	0	0
	小計		80.672	159	6	167	5	-2	0	2	8
第3グループ	有 田	4	67.66	37	1	39	1	-1	0	1	2
	武 雄	3	82.05	49	3	52	3	0	0	0	3
	鹿 島	4	91.89	42	2	40	2	0	0	0	-2
	嬉 野	4	82.29	24	1	24	1	0	0	0	0
	大 町	4	70.3	21	0	20	0	-1	0	1	-1
	白 石	3	67.2	13	0	13	0	0	0	0	0
	太 良	3	100	8	0	8	0	0	0	0	0
	小計		80.199	194	7	196	7	-2	0	2	2
第4グループ	唐 津	4	91.67	50	0	52	0	0	0	0	2
	伊 万 里	3	95.7	31	0	31	0	0	0	0	0
	唐 津 東	4	87.21	51	0	53	0	1	1	0	2
	唐 津 西	3	82.05	33	0	34	0	0	0	0	1
	伊万里西	4	90	44	0	43	0	0	0	0	-1
	唐津中央	4	87.03	33	5	32	4	-1	0	1	-1
	小計		88.943	242	5	245	4	0	1	1	3
第5グループ	佐 世 保	3	100	73	0	77	0	-1	0	1	4
	平 戸	4	78.6	32	1	35	2	0	0	0	3
	佐世保西	4	92	25	0	25	0	-1	0	1	0
	北 松 浦	4	91.26	21	0	21	0	-1	0	1	0
	松 浦	4	87.24	30	1	30	1	0	0	0	0
	小計		89.82	181	2	188	3	-3	0	3	7

※ 上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会	
第6グループ	佐世保南	4	98.34	68	0	69	0	0	0	0	1
	佐世保東	4	94	20	0	21	0	0	0	0	1
	佐世保北	4	99.41	43	0	45	0	-1	0	1	2
	佐世保中央	4	100	40	2	38	2	-1	0	1	-2
	佐世保東南	3	85.89	26	2	26	2	0	0	0	0
	HTB佐世保	4	67.6	26	4	25	4	-1	0	1	-1
	小計		90.873	223	8	224	8	-3	0	3	1
第7グループ	大 村	4	81.91	51	2	51	3	0	0	0	0
	島 原	4	75.81	32	2	31	2	0	0	0	-1
	雲 仙	3	92.3	26	0	26	0	0	0	0	0
	大 村 北	3	100	32	0	32	0	0	0	0	0
	島 原 南	3	80	19	1	22	1	0	0	0	3
	大 村 東	4	79.62	42	1	42	2	0	0	0	0
	小計		84.94	202	6	204	8	0	0	0	2
第8グループ	諫 早	4	88.88	55	0	58	0	0	0	0	3
	諫 早 北	4	84.76	65	1	64	1	0	0	0	-1
	諫 早 西	3	90.52	40	0	39	0	-1	0	1	-1
	諫早多良見	4	84.45	35	0	37	0	0	0	0	2
	諫 早 南	3	64	27	5	26	5	-1	0	1	-1
	小計		82.522	222	6	224	6	-2	0	2	2
第9グループ	長 崎	4	86.52	79	0	86	0	-1	0	1	7
	福 江	3	91.11	33	0	35	0	0	0	0	2
	長崎北東	3	84.09	46	6	47	6	0	0	0	1
	福江中央	4	99.17	29	0	30	0	0	0	0	1
	長 崎 西	4	75.85	60	0	59	0	0	0	0	-1
	長崎琴海	4	58.75	21	2	20	2	0	0	0	-1
	小計		82.582	268	8	277	8	-1	0	1	9
第10グループ	長 崎 北	3	83.01	78	0	79	0	0	0	0	1
	長 崎 南	3	81.77	78	0	76	0	-2	0	2	-2
	長 崎 東	4	80.88	52	0	51	0	0	0	0	-1
	東 長 崎	3	81.33	25	0	25	0	0	0	0	0
	長崎中央	4	94.74	55	0	58	0	0	0	0	3
	長崎出島	3	77.1	50	11	50	11	-1	0	1	0
	小計		83.138	338	11	339	11	-3	0	3	1
合 計			84.729	2218	68	2253	69	-16	2	18	35



文庫通信

<269号>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演を中心に!

- | | |
|-------------------------------------|--|
| ◎「ロータリーはこれでいいのか」 | 齊藤 和
2009 14p (宇城RC記念講演) |
| ◎「夢とロータリー」 | 司 葉子 (パネリスト)
2009 7p (D.2530 地区大会) |
| ◎「2580・今・おかげさまの心で夢をかたちに」 | 牛来峯 聡 他
2009 13P (D.2580 地区大会) |
| ◎「国際ロータリー第 2580 地区発、
地球の温暖化防止」 | 鳥井 弘之・中上 英俊
2009 8p (D.2580 地区大会) |
| ◎「夢をかたちに一心豊かに」 | 山田 俊和
2009 10p (D.2520 地区大会) |
| ◎「青少年よ、『重力』と遊べ」 | 伴 義孝
2005 12p (全日本 RYLA 大会報告書) |
| ◎「子どもにあたたかい心を育む
一子育てと躰：学習と教育の違い」 | 仁志田博司
2009 3P (D.2540 地区大会) |
| ◎「ロータリーの基本に返ろう」 | 島村吉三久 (コーディネーター)
2009 12P (D.2830 地区大会) |

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー /PDF)]



ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6465・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



国際ロータリー第2740地区

2009-2010年度ガバナー 高城 昭紀

■ガバナー事務所

〒855-8550 島原市高島2丁目7217 島原商工会議所2F
TEL: 0957-61-0121 FAX: 0957-61-0122

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2009-2010年度

国際ロータリー第2740地区 ガバナー 高城 昭 紀



一夜城：南島原市

CONTENTS

高城昭紀ガバナー	1
ガバナー補佐・リレー随想	2
米山記念奨学生選考会報告	3
国際青少年交換プログラム	4
IM開催報告	5
2010～2011年度地区チーム研修セミナー報告	9
米山カウンセラー・米山奨学生オリエンテーションのご案内	10
新入会員紹介・訂正とおわび	11
寄付者紹介	12
ハイライトよねやま121	13
会員数・出席者報告	15
文庫通信	16

春四月、国指定史跡「原城跡」の畑の中に突如、高さ15mもある城が出現します。島原の乱の犠牲者を追悼して行われる原城一揆祭りのシンボルとして、地元有志が立てたベニヤ板の城です。菜の花や桜が咲くのだかな城跡が、追悼祭など賑やかな祈りの場所に一変します。地元の方々の熱気と誇りを感じながらの撮影でした。

写真撮影者：宮崎圭介氏（二科会会員）





I.Mが終わって

2740地区ガバナー

高 城 昭 紀

2月7日の4.5.6グループ(山本晴彦ガバナー補佐・西尾弘毅ガバナー補佐・棧猪一郎ガバナー補佐)を皮切りに、I.Mが次から次に開催されました。

2月11日 9.10グループ(佐藤豊ガバナー補佐・濱本好哉ガバナー補佐)

2月20日 1.2グループ(中尾健治ガバナー補佐・金武良弘ガバナー補佐)

2月27日 3グループ
(宮崎幸久ガバナー補佐)

3月 6日 7.8グループ(松永忠義ガバナー補佐・山口賢也ガバナー補佐)

I.Mは近隣のロータリークラブがいくつか集まり、親睦を深め、知識を広める会合ですが、手続要覧には掲載されていません。すなわち、正式な会合ではないのです。

(実際、I.Mを開かない地区があります。)

また、I.Mは通常、ガバナー補佐が主催し、ガバナーは出席しなくていいそうです。

I.Mは以上のような性質の会合ですが、私は出席したくて、出席しました。

そして、やっぱり出席して良かったと思っています。

地区内の多くの皆様とお会いできました。

(私の妹の親友であった、木寺幸生さん(武雄)の夫人に30余年ぶりに再会するという、ドラマチックな場面もありました。)

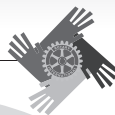
それぞれのI.Mの内容は、4.5.6グループは携帯ゴングでのアンケート。これにはびっくりしました。9.10グループ 長崎大医学部教授 青木先生の「アフリカの人々の健康増進に向けて」という講演は感動的でした。1.2グループ 第2680地区のパストガバナー 深川純一先生の講演、3グループ 日本お笑い学会副会長と言われる(文科省が認める学会ですか?) 昇幹夫先生の講演、7.8グループはトヨタ自動車環境部長 川口隆守氏の講演、大変な努力をされていることが分かりました。

このようにバラエティに富む内容でした。

ホストクラブが多く、時間と労力を費やされたことに対して敬意を表します。

ガバナーは5つのI.Mに出席できましたので、正に親睦を深め、知識を広める事が出来ました。

この点からも、ガバナーになることをお勧め致します。



ガバナー補佐 ・リレー随想

第8グループガバナー補佐 山口 賢也

「書道の道」

職業分類は印章業です。この商いで生計を立てるのにかつては書道は必須でした。亡き父は私の高校卒業と時を同じくして県内では著名な書家へ入門させようと画策したようです。しかし当時まわりには悪童連が寄り付き、師匠の門を叩いたのは30才近くにならんとする頃となってしまいました。

爾来、その奥深さにのめり込みこの道を極めようと日夜精進したものですから、悪友共も遠ざかりました。この道は馬鈴を重ねたばかりでは評価を受けません、多くの人が美しい、きれいだと言ってくれるような多彩な書体を書かねばなりません。その為にはいかに古典（先人の遺した書跡）を繰り返し半紙に書き込み腕を上げる努力をします。師には1日数時間、最低10年間それを続けねば先は見えないと尻を叩かれました。

我々の時代はパソコン、テレビも今のように多彩ではなく、のめり込む良い時間があつたのだと感じています。今の若者にはこのような時間がなく、次の世代を継ぐ書家を輩出するのに各書道団体が苦慮しているのが現状です。

佐賀には明治時代漢籍、漢詩に通じ近代随一の漢詩人といわれた副島種臣が生まれています。書についても卓越した見識を持ち、とてつもないスケールの書を残しています。

また明治の三大家と呼ばれ近代書の祖と崇めら

れている中林梧竹もいます。副島種臣が明治政府の要人でしたので彼の庇護の下に東京で活躍した書人です。書は言葉の芸術であるとして、お二人とも日本語の文体の表現を豊かにしてこられた。

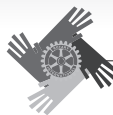
長崎の小曾根乾堂も明治の書人です。書は勿論ですが篆刻を最も得意とし明治4年勅命を奉じられて国璽（国家の印章）、御璽（天皇の印章）を刻されています。

このように著名な書家を輩出してきた両県でさえ書道の衰退は目を被うばかりです。学校での習字教育時間の減少、パソコンの普及と、書道の土壌は細るばかりです。だから日本人全体の書への素養と評価力が落ちているといわれて久しいのです。

現状はどうあれ、書の歴史はその価値のひとつひとつを歴史の中に刻み込みながら流れていくでしょう。

その兆しは見えています。テレビでたびたび登場していますが高校生が特大の筆でしたためのパフォーマンスの書道です。書を自己表現の手段として活用しています。

「書は堅苦しい」と思われている、それを取っ払い身近にしたいとの思惑があるようです。まず、書の魅力を知ってもらい、楽しんでもらうこと。書の普及再生はここから始めるしかないでしょう、現在の機運が続いてほしいものです。



2010年度 米山記念奨学生 選考会報告

地区米山記念奨学委員長 北 郷 雅 子
(長崎出島RC)

1月17日(日)「松藤プラザ『えきまえ』いきいきひろば」(長崎駅前交通会館3階)で10時20分から次年度地区米山奨学生選考試験を開催しました。2010学年度の米山記念奨学会の受験生は合計35名。今年の特徴は「いろいろな国の受験生」で、国籍は中国18(男11、女7)；韓国5(男2、女3)；台湾2(女)；ベトナム3(女)；後は男性1名ずつのインドネシア；ミャンマー；コロンビア；ブラジル；バングラデッシュ；トルコ；ガボン共和国でした。

2つのテーマから選んで小論文を日本語で書いた後、4部屋に分かれて、面接担当(高城G、岩永GN、ガバナー補佐の皆様、地区幹事、米山地区委員の合計22名)の前で一人ずつ日本語で面接をした結果、成績では例年のように甲乙付けがたく、いずれも優秀な留学生でした。

13時から15時まで採点の点数と面接時の印象などを合わせて、厳選なる会議の後、新しい12名を決定しました。選考委員の皆様には長時間の選考会でお疲れになられたと思いますが、合格者のお世話クラブの選定に付きましても、進んで提案をしていただきましたことを感謝申し上げます。

佐賀大4名「中国(女1)佐賀RC」、「台湾(女1)佐賀西RC」、「ベトナム(女2)牛津RC、佐賀大和RC」。長崎大学3名「中国(女

1)長崎出島RC」、「台湾(女1)雲仙RC」、「トルコ(男1)長崎琴海RC」。長崎県立大1名「ベトナム(女1)佐世保南RC」。長崎総科大1名「ミャンマー(男1)東長崎RC」。活水大1名「韓国(女1)長崎南RC」。長崎外大1名「韓国(男1)長崎RC」。

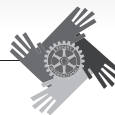
佐世保高専1名「ガボン共和国(男1)佐世保北RC」。新しく長崎外国語大学と佐世保工業高等専門学校が仲間入りしました。

現在の継続生 長崎国際大「中国(女1)HTB佐世保RC」、長崎大「韓国(男1)長崎中央RC」の2名を含めて地区でお世話する奨学生は14名です。

それぞれのお世話クラブには、1年～2年間奨学生の事をよろしく願いいたします。

4月18日(日)のオリエンテーションから来年の3月の終了式までお世話クラブを中心に地区の皆様方との交流を深めることが出来ますように、次年度も出前卓話を致しますし、いろいろな機会に奨学生と直接交流して頂けたらうれしいです。又、例年に引き続き「ガバナー月信」や「メールマガジン」でもご報告を致します。

最後に、ロータリアンの皆様の暖かいご支援と寄付へのご協力とご理解とをお願い申し上げます。



国際青少年交換プログラム・ 第6回オリエンテーション開催されました



地区国際青少年交換委員長 瀬戸口智彦

日 時：平成22年3月14日 11：00～16：00 会 場：全日空長崎グラバーヒルホテル

参加者：

地区幹事：高木義和（島原R）

地区委員会：委員長 瀬戸口智彦（長崎南R） 委員 山本武（大町R） 若杉能將（諫早多良見）

関係Rn：三山格（長崎R） 植木義孝（佐世保南R） 関啓治（雲仙R） 樋口政司（諫早南） 益田荘一（長崎R）

ROTEX：中島綾子

来日交換学生：ハナ・ヘレクソン（長崎R） タミカ・ライマン（佐世保南）

派遣候補生：竹馬佑美（雲仙R） 益田喜和子（長崎R） 松尾沙亜美（諫早マルチ） 友納恵美（長崎R）

保護者・ホストファミリー：松田ヒトミ（佐世保南R） 松尾和代（諫早マルチR） 友納（長崎R）

専任事務局：相内啓子

11：00～12：00 地区委員会

現況報告

竹馬佑美（雲仙R）の留学先インドD3132
地区、Poojaさん来日予定、松尾沙亜美（諫
早マルチ）フランスD1720地区決定、
Kevin君来日予定、松田菜奈（佐世保南）
2/24 オーストラリア出発、Tamika1/22 来日
益田喜和子（長崎R）台北決定
友納恵美（長崎R）セントポール 成績証明書発
送予定

次回 ① 第7回 オリエンテーション4月中旬
ROTEX主催

② 5月30日 会場 有田ポーセリンパー
ク 来日・派遣学生壮行会

③ 次年度第1回オリエンテーション
8月21日 武雄 予定

12：00～16：00 第6回オリエンテーション

①瀬戸口地区委員長の挨拶

②派遣予定のブレザージャケットの試着（寸法
がやや小さかった）

③派遣予定学生の簡単な自己紹介を含むプレゼ
ンテーションでは其々が自分の留学の目的や
今後の決意 準備状況を説明

④来日学生による日本語による感想

⑤高木地区幹事による来日学生のレポートの紹
介と励ましの言葉

⑥派遣学生による来日学生への書道教室開催

⑦ROTEX 中島綾子さんのフランス留学の心得

⑧最後We are the World の合唱

と今回のオリエンテーションはかなり実際に向
けての準備状況を各自報告してもらいました。



The future of rotary is in your hands

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

第1グループ

IM開催報告



佐賀RC会長

音成 日佐男



日時：2010年2月20日（土）

15:00～19:15

会場：モンクール迎賓館（佐賀市本庄町）

出席者：220名

テーマ：ロータリーと職業奉仕

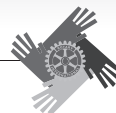
講演：深川 純一 氏（RI2680地区パストガバナー）

来賓：高城ガバナー、高木地区幹事、野口パストガバナー、
岩永ガバナーノミニー、馬郡前地区幹事

「ロータリーーこの素晴らしきものー」と云う演題でお話頂いた深川先生の高話はロータリーの歴史を振り返りながら、職業奉仕理念の崇高さ、一業種一会員こそが真の親睦を育てるとの持論を、諭すように、しかも、情熱的に話されました。ロータリー活動の原点を再考した後は懇親会で親睦を深め、今年のIMも無事お開きと成りました。

出席頂いた全ロータリアンの皆様に感謝を申し上げます。





第3

グループ

IM開催報告

武雄RC会長

中尾直弘



宮崎幸久ガバナー補佐の下、武雄ロータリークラブがホストとなり、嬉野ロータリークラブ、大町ロータリークラブにコ・ホストとしてご協力を頂き、去る2月27日（土）に武雄で開催しました。

高城昭紀ガバナー、高木義和地区幹事、高原武彦ガバナーエレクトの御臨席のもと150名

を越す会員の参加を頂き大盛会に行なわれました。

式典では『笑い与健康』について、医師で日本笑い学会副会長の昇幹夫先生に講演をお願いし、約1時間半はアッと云う間に過ぎ、笑いと共に共感出来たと思っております。

また、式典に続き懇親会では我が武雄RCの自前のバンド演奏に加えて仲間の第3グループから自慢の歌や踊りもあって、第3グループ間の友情と親睦をより深められたと思っております。

終わりに、来賓の方々を始め、登録並びに出席された皆様のお陰で、無事盛会裏にIMを終えることが出来、厚く御礼を申し上げます。





第4 第5 第6

グループ

IM開催報告

北松浦RC会長 山口 俊一

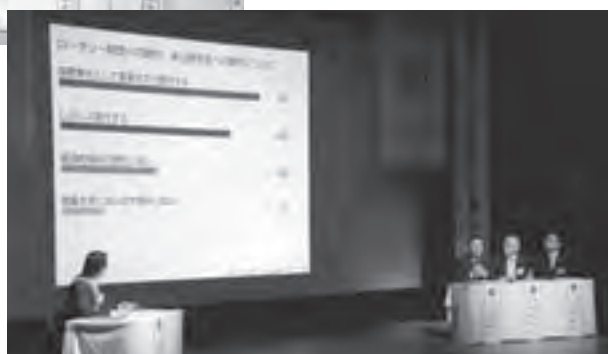


今年2月7日（日）、我が北松浦ロータリークラブ主催のIMを江迎町文化会館にて開催させていただきました。

会員数、僅か22名の当クラブにとり、重い役回りではありましたが、全員一丸となって取り組んで参りました。

{IMのテーマ} やはり、これが最初でしかも最大の問題でした。テーマを絞り込むためのポイントをまず3つ選びました。

- ① 高城ガバナーの方針である「退会防止に努めましょう」に役立つ内容であること。
- ② 同じくガバナーの方針である「ロータリーを楽しみましょう」を実践すること。
- ③ 途中で、出来るだけ退席者の出ない、全員参加型のテーマにすること。



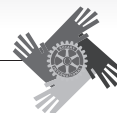
幾度も、幾度も議論を重ね、ようやくテーマが浮かび上がりました。

『ロータリアン諸君！あなたの本音を答えてください』～ケータイゴングで30の質問～

その結果は？ 今回参加していただいた会員の皆様方は、きっとロータリアンの友情をもって“僅か22名でよくやった”と暖かい評価をいただいているものだと思っています。

今回のIM開催にあたり、高城ガバナー、山本、棧、西尾各ガバナー補佐、それに各参加クラブの会長、幹事さんはじめ会員皆様方には多くの御支援と御協力それに加えて暖かい励ましの言葉をも賜り厚くお礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。



第9 第10
グループ

IM開催報告



去る2月11日、今年度の第9・10グループのIMを高城昭紀ガバナー、高木義和地区幹事、野崎元治、田口厚、両パストガバナーをお迎えし、会員363名のご参加をいただき盛大に開催することが出来た。

今回は「ロータリーと国際交流」をテーマとし、基調講演を長崎大学熱帯医学研究所の青木克己教授に「アフリカの人々の健康増進に向けてー長崎大学の貢献ー」と題して長崎大学がこれまで果たして来たアフリカを始めとする低開発国への医療分野での貢献についての報告があり、その内容は非常に感銘を覚えるものであった。

次いで、「我がクラブの国際交流」というテ

長崎北RC会長

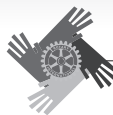
戸北悦生

ーマで、6クラブの代表者がそれぞれどのような国際交流事業を実施して来たか活動事例の報告が行われた。引き続きホストクラブの常多勝己会員をコーディネーターに、青木教授をオブザーバーにお願いして、6クラブの代表をパネラーとして、出席者全員参加のパネルディスカッションを行い、各クラブが国際交流を進めて行く中での苦労や悩みなど問題点について数々の活発な意見交換がなされた。

今回は今までのIMで取り上げていないテーマを求めて「ロータリーと国際交流」としたが、参加各クラブがそれぞれ長年に涉って独自の国際交流を行い、成果を上げており、その活動内容について参加された会員の理解を深めたことは、このIMの目的を達したのではないかなと思っている。

最後にIM開催にあたり、ご指導いただいた濱本、佐藤、両ガバナー補佐、そしてコ・ホストクラブの長崎南ロータリークラブに深く感謝申し上げる次第である。





2010～2011年度 地区チーム研修セミナー報告

2010～2011年度
ガバナー事務局事務局長 馬場重文

如月の冷たい風と小雨が降る2010年2月13日土曜日、国際ロータリー第2740地区2010～2011年度地区チーム研修セミナーが、有田町のチャイナオンザパーク「究林登」で開催されました。

当日のセミナーには研修リーダーの隅田パストガバナー、高城ガバナー、高原ガバナーエレクト、岩永ガバナーノミニーそれに、次期地区研修委員会委員、次期ガバナー補佐次期地区委員長、次期ガバナー事務所スタッフ等、総勢40名のロータリアンの出席のもと、開催されました。

午後1時点鐘に続いてセレモニーの後、高城昭紀ガバナーから挨拶をいただきました。続いて、藤井義博次期地区研修委員から出席者の紹介をうけて次期ガバナー補佐、次期地区委員長へ高原ガバナーエレクトより委嘱状の交付が行われました。その後高原ガバナーエレクトより国際協議会の報告と新年度地区方針の発表がありました。

RIのテーマが「地域を育み、大陸をつなぐ」に決定された事が報告されて、それを受けて地区のテーマが「地域、家族いきいきロータリー」を掲げられました。

RI会長の強調事項として

- ①平和と紛争予防 解決
- ②疾病予防と治療
- ③水と衛生設備
- ④母子の健康
- ⑤基本的教育と識字率向上
- ⑥経済と地域社会の発展

の6項目をあげられました。

高原ガバナーエレクトとしては、全ての項目が達成できるよう努力を惜しまない考えを披露されましたが、その中で特に自身の職業（医療法人理事長）からポリオ撲滅に力を注ぎたい思

いを述べられ、自ら街頭募金を行う事を、発表されました。

その後、10分のコーヒープレイクをはさみ、次期ガバナー補佐部門と次期地区委員長部門に分かれて研修セミナーが行われ、地区研修委員の指導の下、活発な意見交換が行われました。

1時間の研修の後、再び一同に会して、酒井田次期地区幹事より新年度地区運営について説明があり、PETS、地区協議会、地区大会の開催期日等の発表があり、協力を要請されました。

また、金武次期地区会計からは、収支予算案について説明がなされ、会員数の減少に伴う収入減に苦慮している事へのご理解、ご協力をお願いされました。

全体会での質疑応答では、次期ガバナー補佐、次期地区委員長から色々な質問、意見が出されて熱い意気込みを感じ取る事が出来て2010～2011年度は高原ガバナーを中心として素晴らしい活動、運営が出来るものと心強く思いました。

午後4時点鐘となる頃には雲の切れ間から太陽の光が差し込み、地区チーム研修セミナーの盛会に微笑んでいるように感じられました。

今回特筆すべきは、研修終了後の懇親会を止めて、11時30分から13時までの昼食会を開き、三々五々、登録を済ませて、食事して、名刺の交換、意見の交換の場にした事です。

日頃ゆっくり話が出来なかったり、遠路の方は懇親会に参加する時間が無かったりといった意見が多かったのでこの方式を採らせて戴きました。

最後に、出席戴きましたご来賓の皆様、ロータリアンの皆様のご協力、ご理解に厚く御礼申し上げます。



2010年度米山カウンセラー・米山奨学生 オリエンテーションのご案内

地区米山記念奨学委員長 北 郷 雅 子
(長崎出島RC)

拝啓 早春の候、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

米山記念奨学事業・活動に関しては、日頃よりご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、皆様のご支援により、当地区では新規奨学生を12名、継続奨学生2名、合計14名のロータリー米山記念奨学生を迎え新年度を開始することとなりました。

つきましては、下記の通り新規採用学生とカウンセラーに対する説明会とオリエンテーションを実施いたします。ご出席を賜りますようお願いいたします。

4月下旬までに、米山記念奨学会事務局から世話クラブ経由にてカウンセラーあてに「カウンセラーハンドブック」を送付致しますので、熟読いただき、オリエンテーション当日にご持参くださるようお願いいたします。

尚、当日は、お世話クラブと奨学生の顔合わせになりますので、カウンセラーが欠席の場合、お世話クラブからどなたか代理出席をお願いいたします。

敬具

記

開催日時：2010年4月18日(日曜日)

14:00 登録開始

14:30 カウンセラー説明会(カウンセラーのみ出席)

15:30 奨学生・カウンセラーオリエンテーション(合同)

16:30 終了予定

開催会場：松藤プラザ「えきまえ」いきいきひろば

長崎県長崎市大黒町3-1 交通会館3階 12号室

TEL:095-822-4101

資 料：「カウンセラーハンドブック」(3月末までに配布)をご持参ください。



The future of rotary is in your hands

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々を
ご紹介いたします。



佐賀北RC
福井 泰成 君



佐世保南RC
下川 弘樹 君



佐世保南RC
橋本 昭 君



佐世保北RC
渡会 祐二 君



大村RC
鶴田 公成 君



島原RC
中村 光利 君



訂正とおわび

月信vol.9の8ページ

米山功労者・・・岡本 晃(福江中央RC)



米山功労者・・・本岡 晃(福江中央RC)

訂正しておわびいたします。

・月信vol.9の1ページ右側22.23行は編集の手違いにより削除



寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

ロータリー財団

米山記念奨学会

種 類		氏 名	クラブ名	種 類		氏 名	クラブ名
1月	年次寄付(下期)	牛 津RC		1月	特別寄付(クラブ)	小 城RC	
	ポール・ハリス・フェロー	江原 明彦	牛 津 RC		普通寄付(下期)	牛 津RC	
		増田 義也	牛 津 RC			山田 佑子	長崎出島 RC
		毛利 正己	牛 津 RC		マルチプル	大神 邦明	佐世保 RC
		峰松 幸弘	鹿 島 RC			古川 和子	大 村 RC
		河野 健次	松 浦 RC		米山功労者	森 宏明	松 浦 RC
		福 江RC				御手洗富章	福江中央 RC
	年次寄付	深山 益稔	多 久 RC		メジャードナー	田中純智男	佐世保東 RC
	年次寄付(MPHF)	松永 清	佐世保東 RC				
		西沢 雅幸	佐世保南 RC				
大口寄付	高木聰一郎	長 崎 RC					





ハイライトよねやま 121

1 寄付金速報 — 下半期の寄付状況 —

2月までの寄付金は、前年同期と比べて13.8%減、約1億7千万円の減少となりました。普通寄付金が1.9%減、特別寄付金が20.0%減と先月の状況とほぼ変わりありません。

今月は各地でPETSが開催され、来月には地区協議会が開かれます。各ガバナー・エレクト事務所様宛てに、米山部門セミナー資料をPETS用には2月中旬に、地区協議会用には3月末までに送付予定ですので、ご担当者の方は当会の事業内容をご理解いただけるよう、ご説明ください。

また、このように寄付が伸び悩む中、例会の食事を節約して寄付を捻出しているクラブもあります。少額でも構いませんので、当会への寄付のご協力をよろしくお願い申し上げます。

2 国内初！米山学友を中心としたクラブが誕生します

国際ロータリー第2750地区（東京）で、米山学友を中心に設立されるクラブ、東京米山友愛ロータリークラブ【特別代表：関博子氏（東京世田谷中央RC会長）、スポンサークラブ：東京世田谷中央RC】の創立総会が2月11日、都内で開催されました。

2月11日現在の創立会員22人のうち米山学友は14人、日本人会員も留学経験のある人が多く、非常に国際色が豊かで、平均年齢37歳という新世代中心のクラブです。当日は、クラブ定款・細則の採択、理事役員の選出、国際ロータリーの加盟申請が行われました。黒田正宏RI理事、久邇邦昭ガバナー、板橋敏雄米山記念奨学会理事長らの祝辞を受け、会長に就任する楊錦華さんは、「責任の重さを痛感している。



奨学生時代からロータリアンの姿を見て、いつか恩返しをして、自分も人々の力になりたいと考えていた。奉仕の理想に根ざした活動を積極的に進めていきたい」と、決意を語りました。5月30日（日）には、都内でチャーター・ナイトが開催される予定です。

※チャーター・ナイトのお問い合わせは東京世田谷中央RC事務局（TEL：03-3403-8071）まで

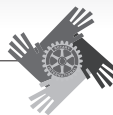
3 学友から10万円の寄付

福岡県の大手住宅地図メーカーに勤める米山学友の劉平さん（中国／1997-98／宗像RC）が、今年1月に開催された九州学友会新年会の席上で「感謝の気持ちを表したい」と、米山奨学会へ10万円の寄付を申し出てくれました。劉さんのカウンセラーであり、彼女との出会いによって「退屈だったロータリー観が変わった」と語る安増氏（ロータリー米山記念奨学会理事・地区米山記念奨学委員長）にお話を伺いました。



劉さん(左)と安増理事

★安増氏のコメント★ 以前は、中国・韓国からの留学生に対する感情はネガティブだったし、彼等への奨学金制度にも懐疑的でした。暇つぶしで引き受けたカウンセラーでしたが、劉さんのひたむきな勉学心と真面目さ、日本人を理解し好きになろうとする心、そして福岡に住む同胞が困っている時に世話をする多くの事例を見ているうちに、「米山奨学事業の素晴らしさ」を見出し、クラブ会長を終えた年に地区米山委員に自薦しました。米山の趣旨に答えてくれた留学生に出会ったことが私を「米山ファン」に変えました。



4 外務省“元日本留学者の集い”で、学友が里帰り

外務省主催の“元留学者の集い”は、母国で活躍する元日本留学生を約一週間招へいし、現在の日本への認識と絆を深めてもらうプログラムです。その今年度招待者の一人として、母国インドでソフトウェア開発会社を営み、日本語通訳としても活躍する米山学友のルチ・ネタニさん（1993-95／熊本RC）が来日。2月22日に東京で開かれた歓迎レセプションでは、流暢な日本語と親しみにあふれた笑顔で「米山奨学金の支援が無ければ、進学をあきらめて帰国していた。今でも深く感謝していて、直接お礼の言葉を伝えられる機会を探していました」と語ってくれました。今回のプログラムの一環で、十数年ぶりに熊本に里帰りするのを機に、2月26日には世話クラブの熊本RCの例会を訪問し、お世話になったロータリアンとの旧交を温めました。



熊本RC例会に参加するルチさん(中央)

5 米山奨学生・学友の写真展を開催 — 伊丹有明RC —

第2680地区の伊丹有明RCでは、初の試みとして、地区内の米山奨学生・学友の写真展を計画。発案者は、同クラブの米山カウンセラー・青木靖夫氏です。カメラが趣味であることから、奨学生たちに写真の楽しさを味わってもらい、新たな交流のきっかけにしてみよう、この企画を思いつきました。地区米山記念奨学委員会も協力して、9月から作品の募集を開始。見込みよりもはるかに少ない応募の出足に苦戦したもの、ようやく11人から16点の作品が集まりました。



これらの作品は、IMに合わせて伊丹シティホテルのロビーに2月6日から5日間飾られたほか、2月27日・28日に開催された第2680地区の地区大会でも展示されました。多くのロータリアンが足を止めて作品を鑑賞し、地区大会に参加した奨学生や学友も写真の話で盛り上がるなど、「お互いの交流を深めるきっかけに」という目的を果たせたようです。

6 ホームカミング制度で深まる絆

2年目を迎えた今年度は17地区から申請があり、これまでに14人の学友が里帰りをしました。

今回初めて申請した2820地区（茨城県）は、台湾から魯漢平さん（1992-94／古河東RC）を招待。地区大会に合わせて来日してもらう地区が多いなか、同地区ではIMでのスピーチ、近隣クラブへの卓話、米山梅吉記念館への研修旅行などにより、活躍をPRするよう工夫を凝らしました。書道家の魯さんは、IMの壇上で白楽天（中国・唐代の詩人）の漢詩を書いて腕前を披露したほか、内藤 彰ガバナーらのリクエストに応じた言葉を色紙に揮毫し、会場をうならせました。

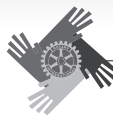
年賀状のやりとりで細々とつながっていた世話クラブとの絆。16年前に撮った会員との写真を大切に持って来日し、改めて感謝を述べた魯さんに、一同は感激の面もちで再会の約束を交わしました。



内藤ガバナーらに書を贈った魯さん(左から2番目)

(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津・峯



2010年1月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会	
第1グループ	佐 賀	4	77.62	66	0	64	0	-2	0	2	-2
	小 城	4	71	29	2	27	2	0	0	0	-2
	牛 津	4	80.65	29	1	31	1	0	0	0	2
	多 久	4	91.66	42	4	42	4	0	0	0	0
	佐賀大和	4	82.6	23	2	23	2	0	0	0	0
	小計		80.706	189	9	187	9	-2	0	2	-2
第2グループ	佐 賀 西	3	88.63	44	0	47	0	0	0	0	3
	佐 賀 北	4	89.16	31	3	31	3	0	0	0	0
	佐 賀 南	4	84.76	42	2	41	1	-1	0	1	-1
	神 埼	4	83.5	27	0	32	0	0	0	0	5
	佐賀空港	3	57.8	15	1	14	1	-1	0	1	-1
	小計		80.77	159	6	165	5	-2	0	2	6
第3グループ	有 田	3	72.33	37	1	39	0	0	0	0	2
	武 雄	2	86.79	49	3	53	3	1	1	0	4
	鹿 島	4	87.82	42	2	42	3	2	2	0	0
	嬉 野	4	84.37	24	1	24	1	0	0	0	0
	大 町	4	71.25	21	0	20	0	0	0	0	-1
	白 石	4	63.46	13	0	13	0	0	0	0	0
	太 良	4	100	8	0	8	0	0	0	0	0
	小計		80.86	194	7	199	7	3	3	0	5
第4グループ	唐 津	3	89.63	50	0	52	0	0	0	0	2
	伊 万 里	4	93.55	31	0	31	0	0	0	0	0
	唐 津 東	3	89.15	51	0	53	0	0	0	0	2
	唐 津 西	4	89.43	33	0	34	0	0	0	0	1
	伊万里西	4	90.5	44	0	43	0	0	0	0	-1
	唐津中央	4	95.32	33	5	32	4	0	0	0	-1
	小計		91.263	242	5	245	4	0	0	0	3
第5グループ	佐 世 保	4	100	73	0	77	0	0	0	0	4
	平 戸	4	74.8	32	1	35	2	0	0	0	3
	佐世保西	4	94	25	0	25	0	0	0	0	0
	北 松 浦	3	90.74	21	0	22	0	1	1	0	1
	松 浦	4	79.31	30	1	30	1	0	0	0	0
	小計		87.77	181	2	189	3	1	1	0	8

※ 上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会	
第6グループ	佐世保南	4	99.62	68	0	67	0	-2	0	2	-1
	佐世保東	4	93	20	0	21	0	0	0	0	1
	佐世保北	2	100	43	0	45	0	0	0	0	2
	佐世保中央	4	100	40	2	38	2	0	0	0	-2
	佐世保東南	3	67.94	26	2	26	2	0	0	0	0
	HTB佐世保	4	79.99	26	4	26	4	1	1	0	0
	小計		90.092	223	8	223	8	-1	1	2	0
第7グループ	大村	4	81.3	51	2	51	3	0	0	0	0
	島原	4	75	32	2	31	2	0	0	0	-1
	雲仙	4	87.53	26	0	26	0	0	0	0	0
	大村北	3	100	32	0	33	0	1	1	0	1
	島原南	3	70	19	1	22	1	0	0	0	3
	大村東	3	86.2	42	1	42	2	0	0	0	0
	小計		83.338	202	6	205	8	1	1	0	3
第8グループ	諫早	4	84.9	55	0	58	0	0	0	0	3
	諫早北	4	82.19	65	1	66	1	2	2	0	1
	諫早西	3	90.34	40	0	39	0	0	0	0	-1
	諫早多良見	3	83.78	35	0	37	0	0	0	0	2
	諫早南	2	74.99	27	5	26	5	0	0	0	-1
	小計		83.24	222	6	226	6	2	2	0	4
第9グループ	長崎	4	87.23	79	0	85	0	-1	0	1	6
	福江	4	89.17	33	0	35	0	0	0	0	2
	長崎北東	4	85.8	46	6	47	6	0	0	0	1
	福江中央	4	96.67	29	0	30	0	0	0	0	1
	長崎西	3	76.11	60	0	59	0	0	1	1	-1
	長崎琴海	3	69.09	21	2	20	2	0	0	0	-1
	小計		84.012	268	8	276	8	-1	1	2	8
第10グループ	長崎北	3	78.55	78	0	79	0	0	1	1	1
	長崎南	3	79.13	78	0	76	0	0	0	0	-2
	長崎東	4	80.39	52	0	51	0	0	0	0	-1
	東長崎	3	77.11	25	0	25	0	0	0	0	0
	長崎中央	2	93.86	55	0	58	0	0	0	0	3
	長崎出島	4	72	50	11	50	11	0	0	0	0
	小計		80.173	338	11	339	11	0	1	1	1
合計			84.222	2218	68	2254	69	1	10	9	36



文庫通信

<270号>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー理解推進のために

◎「ポール・ハリスの生涯とロータリーの精神」	牧 田 静 二 2009 7p (D.2620 月信)
◎「ロータリーについて考えていること」	高 野 孫左工門 2009 3p (D.2620 月信)
◎「ロータリーの綱領 ロータリーの目的に変えよう 改訳試案」	廣 畑 富 雄 2009 4p(ロータリーの心と原点)
◎「職業奉仕の一考案」	中 村 博 亘 2010 2p (D.2790 月信)
◎「ロータリーにおけるリーダーシップ」 (純ちゃんのコーナー Part Ⅷ)	深 川 純 一 伊丹R.C. 2009 2p
◎「ロータリー理解推進月間に因んで」	渡 辺 治 夫 2010 1p (D.2780 月信)
◎「楽しさあってこそそのロータリー」	齋 藤 直 美 2009 5p (原点回帰)
◎「2月はロータリー理解推進月間です」	山 崎 勝 2010 2p (D.2720 月信)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー /PDF)]



ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6465・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



国際ロータリー第2740地区

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2009-2010年度ガバナー 高城 昭紀

■ガバナー事務所

〒855-8550 島原市高島2丁目7217 島原商工会議所2F
TEL: 0957-61-0121 FAX: 0957-61-0122

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2009-2010年度

国際ロータリー第2740地区 ガバナー 高城 昭 紀



宇土出口の湧水：島原市

CONTENTS

高城昭紀ガバナー	1
ガバナー補佐・リレー随想	2
米山記念奨学生終了式・歓送会報告	3
IM開催報告	4
大村RC創立50周年記念事業報告	5
台湾岡山RC創立45周年記念式典出席報告	6
新入会員紹介	7
寄付者紹介・訂正とおわび	8
ハイライトよねやま120	9
会員数・出席者報告	11
文庫通信	12

島原市は市内で60数ヶ所の湧水が見られる水の町です。その中のひとつ宇土出口の湧水は、池の中央にある祠には注連縄が張られ、新年には清々しい緊張感を感じますが、5月になると満開のツツジが水面に映え、見る人の目を楽ませてください。この水は地区の灌漑用に使用されていますが、隣の商店では虹鱒の養殖やソーメン流しなどに活用されています。

写真撮影者：宮崎圭介氏（二科会会員）





永田幸人会長を悼む

2740地区ガバナー

高城 昭紀

長崎市では、桜が満開近くに咲いた3月25日、長崎東ロータリークラブの会長の永田幸人さんが急逝されました。享年87才でした。

永田さんは1月に長崎東ロータリークラブ40周年記念式典および記念行事を主催されたばかりでした。

永田さんは戦争前の暗い時期、戦争、そして原子爆弾による被爆、戦後の食料を初めとする物資のない時期、混沌とした時期に直面され、懸命に生きてこられました。このような状況下にあっても、永田さんは、自分の目標に向かってコツコツと努力をしてこられました。

そして、税理士の資格を取得され、税理士事務所を開業された時、日本は平和となり、豊かになっていました。永田さんはさぞ、ほっとされたことでしょう。良かったですね。

永田さんはS52年にロータリークラブに入会され、自己研鑽に努められる一方、人のために、社会のために尽くされました。

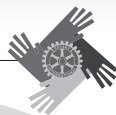
また、ロータリークラブ以外の活動としては、NPO長崎千本桜の理事長として、多くの桜の植樹をされ、また長崎経済専門学校40回生同期会の会長として永年、同期の皆様のお世話をしてくれました。

なお、ご長男の吉朗さんは、九州大学出身で経営学博士号を取得された税理士であり、父上の残された事務所を引き継がれています。

父上様同様に、ロータリークラブに入会されることを願っています。

永田幸人さん、お疲れ様でした。ゆっくりとお休み下さい。





ガバナー補佐 ・リレー随想

第9グループガバナー補佐 佐藤 豊

ひと吹きで空に飛ぶ無数のシャボン玉。

3歳になる孫娘の顔は、満足そうな笑顔で溢れていた。世界選手権で女子フィギュア金メダリスト・浅田真央選手がフィニッシュと同時に見せた笑顔も、そんな達成感に満ちていた。

私たちは、社会の波と利害の日々の暮らしで、いつの日からか心の底から湧き出る純度の高い笑顔を忘れていないだろうか。少なくとも、私はその1人である。

ロータリアンは、実は、例会や奉仕に参加することによって、無数の笑顔に会うことができる。時として、異業種の人々から驚きにも似た卓話に出あったり、食事中の歓談の途中で教えられることは数知れない。生活の知恵、職業上の教訓、失敗談や成功談、まことに極上の出会いである。

しかしながら、私の18年のロータリー歴でさえも、最近感じられる不安に炉辺会談の減少がある。少人数のロータリアンが、コーヒーや酒を楽しむながらこれと決めたテーマもなく、時間の制限もなく、心の赴くまま語り合う「あの姿」である。

仕事だけでなく、ロータリーだけでなく、寒さ暑さの話だけでなく、野球だけでも政治でもない。失恋話やお気に入りの酒の話をし、子供や孫の話で眉を細め、ゴルフのスコアや釣果を自慢しあう。時にはメタボに陥った体を攻めあったり…。それこそ何でも心行くまで語った「あの姿」のことだ。

これはロータリーの例会や奉仕に大きなヒントと充実度を生む、原動力となり得たのだった。

なぜこの炉辺会談は減少傾向になったのか？

デジタルテレビの誘惑に負けたのか？ 価値観の多様化という魔物に破れたのか？ それとも他に理由があるのか？

私は、全く別の理由であると確信している。

第一は、例会出席を促す何かの不足である。

第二は、会員の退会者増加、入会者の減少である。

第一の「何かの不足」はメーキャップ期間の延長が気のゆるみに連動しているように思える。本旨は、出席率向上をめざしてのことであったが、一向に改善されない。現実、出席者にばらつきが見られ、楽しいはずの例会の時間が、体験できないのではないか。

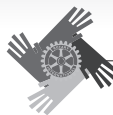
第二の会員減少は説明するに及ばない。退会者を見送るもの悲しさは誰しも共通であろう。新会員増強計画も難しいとなればなおさらである。

この悪循環は、妙に連動しているから厄介である。私たちはロータリアンの責務として、まず例会に出席して、その出席者としてユーモアある会話をお土産に参加してはどうであろう。30人の例会には30の笑顔が実現する。50人の例会なら50の笑顔で溢れるではないか。食事もこの上なく笑顔の味付けで極上の時間になるに違いない。

炉辺会談の生み出す相乗効果は誠にすばらしい。

私たちも、もう一度「あの姿」を再現しようではないか。

それは、無数のシャボン玉と同じくらい、満足感、達成感を生み出してくれるのだから。



2009～10年度米山記念奨学生 終了式・歓送会報告

米山記念奨学委員会委員長 北郷 雅子
(長崎出島RC)

2009～10年度、米山記念奨学生終了式を3月14日(日)長崎丸山の料亭『花月』において11時から開催いたしました。

NHK連続ドラマ『龍馬伝』の舞台にもなった『花月』の龍の間(龍馬の付けた刀傷があると言われる床の間の柱)や春雨の間(洋間の天井に花の絵)や、資料館、庭を堪能でき、奨学生ばかりでなくロータリアンにとってもお天気も良く、思い出に残る一日になりました。

終了していく奨学生は14名で、栗林米山奨学会理事、高城G、高原GE、岩永GNからははなむけのご挨拶や激励の言葉を頂きました。

そして、高城ガバナーから一人ひとりの奨学生とのユーモアあふれる会話の後に修了証書が授与されました。又、各クラブのカウンセラーの皆様にも感謝状が贈呈されました。

終了式後の歓送会では、最初の「おひれをどうぞ」のおかつ様のご挨拶の後、卓袱の料理を味わ

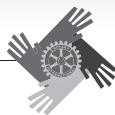
いながら最後の親睦を深めていました。

花柳流の名取・井上聖羅さんの日本舞踊(鶴亀・ぶらぶら節)の披露で、日本文化の一つを見て頂きました。

奨学生からは感謝の言葉や将来への夢など、カウンセラーからは奨学生との思い出などが語られました。今後は、国に帰る人、さらに進学をする人、日本で就職する人などさまざまな道に進む奨学生たちは学友になってからも、お世話クラブやカウンセラーとの交流を続けることを約束してくれました。閉会には参加者50名の大きな輪になって奨学生にとっては最後の「手にてつないで」を歌いました。

奨学生を見守ってくださったお世話クラブ・カウンセラーには心より感謝申し上げますと共に、地区内のすべてのロータリアンにも一年間の地区米山奨学会の事業が楽しく終わりましたことを感謝と共にご報告いたします。





第7 第8

グループ

IM開催報告



諫早南RC 会長

千葉 まさこ

2740 地区第 7,8 グループの IM が、当クラブをホストとして、3 月 6 日、諫早観光ホテル道具屋で開催、無事終了致しました。ご多忙中、各地からご参集下さいました会員の皆様に厚く御礼申し上げます。お言葉などを頂きましたコ・ホストクラブの会長・幹事様、高城ガバナー、佐古パストガバナー、栗林パストガバナー、松永ガバナー補佐、山口ガバナー補佐、高木地区幹事にあらためて感謝申し上げます。

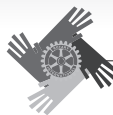
まず、IM とは何か、議論するところから始まりました。ロータリアンとしての学び、癒し、講演などに、盛り沢山の企画を立てました。至らない

所も多々あったかと思いますが、ご容赦下さい。トヨタの新車展示、講演も実のあるものとなり、安堵しました。

今回の IM が、近隣のロータリークラブ会員の皆様の親睦に多少とも貢献できたなら、さらに、地域活性化へとつながるなら、幸いです。

ロータリーは、歴史ある素晴らしい団体であり、世界平和に大きな役割を果たしてきました。ロータリアンとしての矜持を共に分かち合うことで、その力を高め、社会における存在意義を認識できたら、ロータリーは評価され、将来に亘り、発展し続けることでしょう。





大村ロータリークラブ 創立50周年 記念事業報告



大村ロータリークラブ

幹事 渡海 昇



本年、わが大村ロータリークラブは、おかげさまで創立50周年を迎えることが出来ました。

これは、多くの市民の方々、そして職場、家族の暖かいご理解を頂いたこと、また第2740地区、第7グループのクラブの熱心なご指導があって、多くの先輩ロータリアンがクラブの発展に尽力していただいた結果であります。

さらに、今年は、角館クラブと当クラブとの姉妹クラブ締結30周年の記念すべき年でもありました。

“「いきいき生きる」ーありがとうをあつめてー”を50周年のメインテーマとして活動してまいりました。シンプル&スマートを基調とした事業活動の中にも、当クラブを支えてくださった多くの方々に対する、メンバー一人ひとりの感謝の気持ちをあつめて、有意義な多くの記念事業を展開することができました。

この50周年がまた当クラブの輝かしい歴史の1ページとなりました。

そしてこれから、また、新しい歴史を一つひと

つ積み重ねていけるよう、より一層努力してまいります。

高城ガバナーはじめ、地区そしてグループの各クラブには大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

ー50周年記念事業ー

- 1 三浦雄一郎氏記念講演
「いきがいー人生はいつも今からー」
- 2 名跡旧円融寺庭園 石段波形手すりの設置
- 3 角館・大村ロータリークラブ締結30周年
記念モニュメントの設置
- 4 ギタリスト山口修氏・歌手純子さんによる大
村市民病院・貞松病院での記念コンサート及
び版画家小崎侃氏による即興絵の贈呈
- 5 大村市立西大村地区子育て支援センター
「なつみかん」への遊具の贈呈
- 6 大村市立図書館に設置した日野原重明文庫の
拡充



台湾岡山ロータリークラブ

創立45周年 記念式典出席報告

佐賀西ロータリークラブ

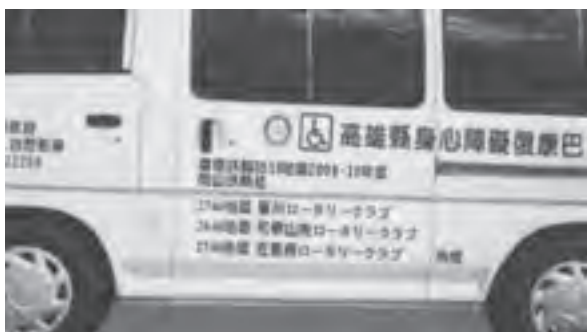
会長 中尾 偕 主

平成22年2月26日、姉妹クラブ台湾岡山ロータリークラブ（高雄市）創立45周年記念式典に出席しました。日本からは、豊川RC・和歌山南RC・佐賀西RCの総数60数名、岡山クラブ諸氏の熱烈歓迎に感激しつつ、善隣友好の務めを無事果たし参加者一同ホットしています。今回のハイライトは創立記念事業として、マッチング・グラントによる、台湾高雄県への救急車（福祉車両）寄贈を行ないました。人道的事業として地元の行政府から表彰され、メディアにも取り上げられ、地元の関係者の喜びもひとしおだった様です。最近の高雄地震でも、3000mの山岳地帯で救急車の活躍が報じられ、会員の奉仕活動が報われたようです。世界的不況で厳しい経済情勢ではありますが、不和を統合へと導き、明日の新たなチャレンジにトライする事は、ロータリアンの責

務であり、また、高城ガバナーの指針にも沿い高く評価されると思います。

ところで、漢方薬専門店街まで足を伸ばしました。歴史を感じる古びた町並みは、清潔で整然と1キロも続いている。たどり着いたのは、台湾でも老舗のお店。漢方の歴史的背景から薬効を語る博学の長老には畏敬の念を感じ、奥まった倉庫に整然と堆く積まれた薬草は、秘めたる豊かな財力と強かな生命力、国民性をも感じる貴重な体験でした。

これからも姉妹クラブ台湾岡山RCとの提携を深め、国際交流の発展・充実を図りたいと思います。





The future of rotary is in your hands

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介します。



佐賀RC
藤本 健輔 君



佐賀北RC
大塚 浩之 君



佐賀南RC
江副 了 君



佐賀南RC
森永 靖男 君



佐世保南RC
渡部 光喜 君



長崎東RC
内野 博 君



長崎北RC
石元 雅広 君

物故会員



伊万里RC
重田 勲 君
(2010.3.8 享年69歳)



長崎東RC
永田 幸人 君
(2010.3.25 享年86歳)

長崎東ロータリークラブの6月までの会長代行は直前会長の松尾豊明様が務められます。



寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

ロータリー財団

米山記念奨学会

種 類	氏 名	クラブ名	種 類	氏 名	クラブ名
2月	マルチプルP・H・F	藤井 歸一	特別寄付(クラブ)	小 城RC	
		村田 省三		特別寄付	山崎 喜右 諫早多良見 RC
		中島多十郎	マルチプル	山口 正憲	伊万里西 RC
	ポール・ハリス・フェロー	本田 実		井手 正範	伊万里西 RC
		川崎 洋一		富崎 龍夫	伊万里西 RC
	パリオ・プラス	山口 賢也		八江 正光	諫 早 RC
	メモリアル・コントリビュション	片伯部 貢		井手 雅康	諫 早 RC
				中村 正年	島 原 RC
2月			米山功労者	武藤 宏	伊万里西 RC
				井上 亮	佐世保中央 RC
				溝上純一郎	佐世保中央 RC
				藤原 正廣	福江中央 RC
				小川 春弥	長崎南 RC

訂正とおわび

月信vol.10の5ページ

佐賀RC会長 音 成 日佐男



IM実行委員長 音 成 日佐男

訂正しておわびいたします。



ハイライトよねやま 122

1 寄付金速報 — 2009-10 年度も残り3カ月を切りました —

3月までの寄付金は、前年同期と比べて13.3%減、約1億7千万円の減少となりました。普通寄付金が1.9%減、特別寄付金が18.7%減とここ数ヶ月は大きな状況変化はありません。

今年度まだ普通寄付をご送金いただいていない約160のクラブ会長宛に「2009-2010年度 普通寄付金送金のお願い」を3月12日付でお送りしましたが、4月6日現在、まだ84クラブから納入いただいております。普通寄付金は当奨学会の安定的な財源となっています。特別寄付金が伸び悩む中、奉仕の実践として、普通寄付金の送金をぜひともよろしくお願い申し上げます。

2 新奨学生のオリエンテーションがスタート

2010学年度の奨学生は826人（休学による延長者3人を含む）となりました。国籍・地域別では中国が402人、韓国116人、台湾51人、その他257人です。奨学金種類別では、修士課程が最も多く374人、次いで博士課程215人、学部課程203人、そのほか地区奨励奨学生、クラブ支援奨学生などがいます。

4月11日を皮切りに5月中旬にかけて、各地区で新規奨学生のオリエンテーションが開催されます。今年度のオリエンテーションでは、DVD「すばらしい贈り物」を上映し、世話クラブ・カウンセラー制度の意義を新奨学生に理解してもらうよう呼び掛けています。また、今年度からは、奨学期間終了後も近況や移転先をカウンセラーに知らせることを確約書に記載し、約束事項として説明していただくことになっています。説明用パワーポイントはガバナーエレクト事務所および地区米山奨学委員長宛てにEメールで送信していますので、ぜひご活用ください。オリエンテーションの席上で確約書に署名をした後、正式な米山記念奨学生となります。どうぞ温かくお迎えくださいますようお願いいたします。

3 米山奨学生・学友の博士号取得状況



今年も卒業式を終えた学友から、博士の学位を取得したとの報告が続々と届いています。2009学年度（2009年4月～2010年3月）に博士号を取得した奨学生・学友は48人、累計では3,196人です（4月9日現在）。博士号取得者には、米山記念奨学会からお祝いの腕時計をお贈りします。すでに奨学期間を終了した学友も対象ですので、ぜひ事務局までご報告ください。

米山奨学生・学友が博士号を取得したら…？ 「学位記」か「学位取得証明書」を世話クラブ経由で米山奨学会へFAXしてください(FAX:03-3578-8281)。 ※国内のみの発送となります

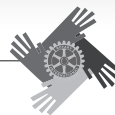
お知らせ

奨学生・カウンセラー必携ハンドブック

【奨学生ハンドブック】 新規奨学生には合格通知と一緒に大学経由で、継続奨学生には世話クラブへ3月末送付済みです。奨学生としての心得のほか、帰国届や奨学生レポートなど届出書類が付いています。

【カウンセラーハンドブック】 初めてカウンセラーをされる方も、すでに経験されている方も必ずお読みください。カウンセラーの体験談や困ったときのQ&Aが満載です。クラブへ送付済みです。





4 新世代の学友が力を合わせて社会奉仕【第 2590 地区】

第 2590 地区（神奈川県）の米山学友会では、昨秋からロータリー財団学友会と協力して社会貢献活動を企画。3 月 23 日に神奈川県立こども医療センター（神奈川県横浜市）を訪問し、療養中の子どもたちのためにと、学友らが集めた世界中の絵本 150 冊を寄贈しました。

同センターの入院患者には、日本語や英語を読めない子ども達もいるため、「いろいろな国の絵本があればありがたい」との関係者の話を受け、両学友会では西洋の絵本 50 冊、アジアの絵本 30 冊、日本の絵本 70 冊を集め、これらの絵本を収納する図書室用のブックワゴンと合わせ



こども医療センターに絵本を贈呈する
米山学友会・R 財団学友会の代表者（前列）

第 2590 地区米山学友会の田 鎬（タカ）さんは、「病院にはまださまざまなニーズがあるので、コンサートの企画や翻訳など、今後も私たちならではの支援を計画中。ロータリー財団・米山の学友は、共に留学経験があり、自分たちが受けた恩恵を他の人に返していきたいという気持ちは共通しているので、ローターアクトも含めた新世代のネットワークをつくり、いろいろな活動を一緒に作り上げていきたい」と抱負を語っています。

5 チューク出身の奨学生が母国のロータリアンらと交流

宇都宮大学大学院に学び、今年 3 月に 1 年間の米山奨学期間を終了したスエナガ・クニオさん（2009-10 年／宇都宮陽南 R C）は、ミクロネシア連邦出身初の米山記念奨学生。彼の生まれ育ったチューク州は、第 2750 地区（東京都）のパシフィックベイスングループ（P B G）に属することから、2 月 24 日、同地区の地区大会に合わせて都内で開催された P B G フォーラムに、スエナガさんもゲストとして参加。第 2750 地区のロータリアンには、チュークを訪問したことのある人も多く、母国の話題で、多くのロータリアンとの交流を深めました。



トラックラグーン RC メンバーとスエナガさん（左）

当日のフォーラムのテーマは、「家族・コミュニティをつなぐ輪 ——昔から慣れ親しんだ子供達の遊びを通して——」。来日したチュークのトラックラグーン R C メンバーとは旧知の間柄であることもあり、スエナガさんは、同クラブのプレゼンテーションの通訳を担当。日本の陣取りに似た母国の遊びを解説し、デモンストレーションゲームにも参加して交流を楽しみました。スエナガさんは今秋、修士課程を卒業し、その後は駐日ミクロネシア連邦大使館（東京都港区）に勤務する予定です。



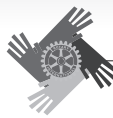
たくさんのお申し込みありがとうございました
— 中国学友会総会・懇親会 in 上海 —



ハイライトよねやま 119・120 号でご案内していた、7 月 17 日に上海で開催される中国学友会総会・懇親会は、お陰さまで 200 人を超えるロータリアンからお申し込みをいただきました。ありがとうございました。なお、米山奨学会のツアー参加者の皆さまには 4 月中に旅行のご案内をお送りいたします。

(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当：野津・峯

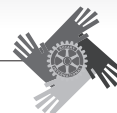


2010年2月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会	
第1グループ	佐 賀	3	85.17	66	0	63	0	-1	0	1	-3
	小 城	4	75	29	2	27	2	0	0	0	-2
	牛 津	4	85.48	29	1	31	1	0	0	0	2
	多 久	2	96.42	42	4	42	4	0	0	0	0
	佐賀大和	4	82.6	23	2	23	2	0	0	0	0
	小計		84.93	189	9	186	9	-1	0	1	-3
第2グループ	佐 賀 西	4	86.36	44	0	47	0	0	0	0	3
	佐 賀 北	4	93.26	31	3	32	3	1	1	0	1
	佐 賀 南	4	80.81	42	2	43	1	2	2	0	1
	神 埼	4	89.75	27	0	32	0	0	0	0	5
	佐賀空港	3	66.7	15	1	14	1	0	0	0	-1
	小計		83.38	159	6	168	5	3	3	0	9
第3グループ	有 田	4	74.22	37	1	39	0	0	0	0	2
	武 雄	5	88.3	49	3	53	3	0	0	0	4
	鹿 島	4	96.8	42	2	42	3	0	0	0	0
	嬉 野	4	90.62	24	1	24	1	0	0	0	0
	大 町	3	76.67	21	0	20	0	0	0	0	-1
	白 石	4	67.75	13	0	13	0	0	0	0	0
	太 良	3	95.83	8	0	8	0	0	0	0	0
	小計		84.31	194	7	199	7	0	0	0	5
第4グループ	唐 津	4	88.33	50	0	52	0	0	0	0	2
	伊 万 里	4	97.58	31	0	31	0	0	0	0	0
	唐 津 東	3	91.47	51	0	53	0	0	0	0	2
	唐 津 西	4	89.35	33	0	33	0	-1	0	1	0
	伊万里西	3	93.3	44	0	43	0	0	0	0	-1
	唐津中央	3	92.22	33	5	32	4	0	0	0	-1
	小計		92.04	242	5	244	4	-1	0	1	2
第5グループ	佐 世 保	4	100	73	0	76	0	-1	0	1	3
	平 戸	3	64.7	32	1	35	2	0	0	0	3
	佐世保西	4	94	25	0	25	0	0	0	0	0
	北 松 浦	4	91.67	21	0	22	0	0	0	0	1
	松 浦	4	87.3	30	1	30	1	0	0	0	0
	小計		87.53	181	2	188	3	-1	0	1	7

※ 上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会	
第6グループ	佐世保南	4	99.61	68	0	67	0	0	0	0	-1
	佐世保東	3	95.24	20	0	21	0	0	0	0	1
	佐世保北	4	99.36	43	0	46	0	1	1	0	3
	佐世保中央	3	100	40	2	38	2	0	0	0	-2
	佐世保東南	4	74.99	26	2	26	2	0	0	0	0
	HTB佐世保	4	77.35	26	4	26	4	0	0	0	0
	小計		91.09	223	8	224	8	1	1	0	1
第7グループ	大 村	4	82.5	51	2	51	3	0	0	0	0
	島 原	4	77.37	32	2	32	2	1	1	0	0
	雲 仙	4	93.27	26	0	26	0	0	0	0	0
	大 村 北	4	100	32	0	33	0	0	0	0	1
	島 原 南	4	76	19	1	22	1	0	0	0	3
	大 村 東	4	81.2	42	1	41	2	-1	0	1	-1
	小計		85.06	202	6	205	8	0	1	1	3
第8グループ	諫 早	3	87.44	55	0	58	0	0	0	0	3
	諫 早 北	3	87.87	65	1	66	1	0	0	0	1
	諫 早 西	4	91.44	40	0	39	0	0	0	0	-1
	諫早多良見	4	84.45	35	0	37	0	0	0	0	2
	諫 早 南	4	85	27	5	26	5	0	0	0	-1
	小計		87.24	222	6	226	6	0	0	0	4
第9グループ	長 崎	3	91.61	79	0	85	0	0	0	0	6
	福 江	3	95.56	33	0	35	0	0	0	0	2
	長崎北東	4	85.23	46	6	47	6	0	0	0	1
	福江中央	4	97.5	29	0	30	0	0	0	0	1
	長 崎 西	4	76.27	60	0	58	0	-1	0	1	-2
	長崎琴海	3	78.95	21	2	20	2	0	0	0	-1
	小計		87.52	268	8	275	8	-1	0	1	7
第10グループ	長 崎 北	4	86.17	78	0	79	0	0	0	0	1
	長 崎 南	4	85.49	78	0	76	0	0	0	0	-2
	長 崎 東	4	80.53	52	0	51	0	0	0	0	-1
	東 長 崎	4	86.58	25	0	25	0	0	0	0	0
	長崎中央	3	98.25	55	0	58	0	0	0	0	3
	長崎出島	4	76.5	50	11	50	11	0	0	0	0
	小計		85.59	338	11	339	11	0	0	0	1
合 計			86.87	2218	68	2254	69	0	5	5	36



文庫通信

<271号>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー理解推進のために

◎「ロータリーの魔法」	ピチャイ・ラタクル 2009 5p (D.2730)
◎「国際ロータリーの長期計画の中核となる価値観について」	黒田 正宏 2009 9p (D.2570)
◎「クラブの活力の再生をめざしてー前橋RCのCLP実践事例」	曾我 隆一 2009 7p (D.2510)
◎「ロータリーと夢」	三井 章義 2009 11p (D.2640)
◎「グローバル化と日本の教育」	中嶋 嶺雄 2009 13p (D.2600)
◎「これからの北海道が生き抜く道」	寺島 実郎 2009 16p (D.2510)
◎「私の夢ー世界最高齢でチョモランマに挑む」	三浦雄一郎 2009 14p (D.2510)
◎「“夢をかたちに” 日中友好秘話ー梅屋庄吉と孫文」	小坂 哲瑯 2009 4p (D.2570)
◎「日本のこころについて」	境野 勝悟 2009 12p (D.2560)

[上記申込先：ロータリー文庫（コピー /PDF）]



ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



国際ロータリー第 2740 地区

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2009-2010年度ガバナー 高城 昭紀

■ガバナー事務所

〒855-8550 島原市高島2丁目7217 島原商工会議所2F
TEL: 0957-61-0121 FAX: 0957-61-0122

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2009-2010年度

国際ロータリー第2740地区 ガバナー 高城 昭 紀



水屋敷：島原市

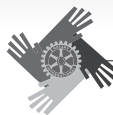
CONTENTS

高城昭紀ガバナー	1
ガバナー補佐・リレー随想	2
国際親善奨学金奨学生第三回研修会・壮行会	3
米山記念奨学生オリエンテーション報告	5
会長エレクト研修会及び地区協議会幹事部会報告	6
新入会員紹介	8
ハイライトよねやま123	9
寄付者紹介	11
会員数・出席者報告	12
文庫通信	裏表紙

「鯉の泳ぐまち」と呼ばれる新町の通りにある旧伊東邸。市内のあちこちには水が湧き冷たい水を飲めますが、ここの井戸では水が自噴する様子を見ることが出来ます。この写真は随分前に撮ったものですが、縁側の藤椅子に故人のお姿を偲ぶことが出来る大好きな写真です。いつまでも大切に保存したい水屋敷です。

写真撮影者：宮崎圭介氏（二科会会員）





出 会 い

2740地区ガバナー

高 城 昭 紀

それは、今年の2月24日 第2750地区（東京）（久邇邦昭ガバナー）の地区大会、RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会での出来事でした。

私が右隣の人と話をしていると、その人は、斉藤茂吉の孫さんでした（斉藤茂一氏・東京府中RC）。

斉藤茂吉といえば、アララギ派の歌人として有名ですが、実は今の長崎大学医学部 精神神経科教室の第二代目の教授でした。そのお孫さんと隣り合わせになるとは、その奇遇にびっくりしました。

また、茂吉の長男、すなわち、茂一氏の父上は、これまた精神科医で、エッセイストでもあった斉藤茂太さんです（正式には、シゲタさんですが、同学の者はモタさんと呼びます。） 私は、茂太さんと長崎で二度程お会いしたことがあります。当時の高橋良教授が主催したWHOの催物でお会いしたのです。その後毎年、年賀状を交換していました。そのような事を茂一氏にお話ししますと、

同氏は出会いの素晴らしさ、出会いのおもしろさにびっくりしておられました。

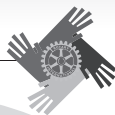
このような会話を、茂一氏の隣の隣の席で聞いていた、中村尚義ガバナー（2680地区）の夫人が「あれ、私は、あなたと同じ学年よ。」と叫んで話に加わりました。2人共慶応出身で、茂一氏は商学部で、中村ガバナー夫人は法学部で、同じ学年だったのです。

中村夫人も、30余年ぶりに斉藤茂一氏にお会いしたそうで、共通の友人について話に花が咲いていました。

ドラマティックな出会い、おもしろい出会いでした。

ロータリークラブに入っていると、このような思いがけない出会い、ドラマティックな出会い、おもしろい出会いが多々あります。





ガバナー補佐 ・リレー随想

第10グループガバナー補佐 浜本好哉

2009～2010年度も最後の随想になりました。

ガバナー補佐としての各クラブの例会訪問では5クラブを各5回程度訪問させていただきました。自クラブ（長崎南）の例会には毎回出席し、IMホストクラブの長崎北ロータリークラブには9回程訪問できました。全クラブ大変歓迎していただき、楽しい時間を過ごさせてもらいました。各クラブ会長、幹事をはじめ会員の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

加えて地区大会、各種セミナー、更には6回の周年行事にも参加させていただき、多くの人を知り、多くの友人を得ることができ、大変充実した一年だったと思います。会員の減少が続く中、会員増強の重要性も良く解りますが、会員の減少はゼロになることは絶対にありません。しかし、そろそろ減少には歯止めがかかる頃だと予感しています。ロータリークラブは、他団体と違ってステータスを持った組織だと考えております。ロータリアンとしてのプライドを持った人たちは必ず残ります。そこからまた始めれば良いと最近では考えるようになりました。「量を拡大」が「質を拡大」するのではなく、「質の拡大」が将来、「量の拡大」につながると信じています。

私の尊敬するある先輩は、クラブの会長は勿論、地区委員、委員長を経験し、当然、ガバナー補佐も終了して、次年度はまた米山奨学生のカウンセラーをすることになっています。理想的なロ

ータリアンだと思います。大きなクラブになると、会長をするまでかなりの年数を要します。問題はクラブの会長を終えた後、どうクラブに貢献するのか？ということです。直前会長が副会長をするようになっているクラブもありました。また、出来れば地区の委員や委員長として積極的に活動するのも大変有意義だと考えます。自クラブの良し悪しも分かり、クラブにとって有益なことだと思います。

ロータリークラブの会費は他の団体と比べ高額ですが、その分、積極的に各種活動に参加して、会費の分を取り戻す思いで自分に投資することが、自分の企業への還元につながるのではないのでしょうか。そういう会員が多くなれば、会員増強も自然についてくるはずです。会員の減少をなげかずに、自分を磨くことがロータリアンの大事な目標であり、また各奉仕活動に貢献できるように成長することなのだと考えてロータリーライフを楽しんでいます。

最後になりますが、ガバナー補佐をさせていただき、各クラブ、ガバナーはじめ地区の皆様にお礼を申し上げ結びと致します。

またお会いしましょう。



国際親善奨学金奨学生 第三回研修会・壮行会



財団奨学・学友委員長

笠

慶 宣

(佐賀南RC)

桜満開の平成22年4月4日（日）、財団奨学・学友委員会、国際親善奨学金奨学生第三回研修会・壮行会を四季彩ホテル千代田館にて開催しました。絶好の花見日和にもかかわらず、高木地区幹事・高原ガバナーエレクトをはじめ、奨学生の皆さん、派遣側ロータリアンの皆さん、そして委員会の皆さんにお集まりいただきました。

委員会では、（１）次期奨学生候補者について、長崎・佐賀より３名の候補者の推薦があり、５月23日（日）に次年度国際親善奨学金奨学生候補者選考会を実施、６月中に推薦書を国際ロータリー日本事務局に送付すること、（２）次年度の予定について、（３）次年度委員長に長崎中央ロータリークラブの有田信一君にお願いすること、（４）本日の研修会・壮行会についての確認などを協議しました。

国際親善奨学金奨学生研修会では、全員が希望する研究機関への指定通知書を受け、また受諾パッケージも受領し、語学力のさらなる向上のためのレッスンや留学・入学手続等で現在は多忙な

日々を送っています。そして、奨学生各自から派遣側ロータリークラブ、受け入れ側ロータリークラブにおいてスピーチする内容を発表してもらいました。

壮行会では、高原ガバナーエレクトはじめ皆で奨学生の前途を祝し、和やかな中にも奨学生の凛とした顔立ちに頼もしくも思いました。きっと、海外留学を通じて国際理解と親善を推進し、ロータリーの親善使節としての役割を充分に果たしてくれるものと確信をいたしました。

以下に今年留学する奨学生を紹介します。



赤羽桂子(長崎中央RC)



《2009～10年度(2010～11年度派遣) ローター財団国際親善奨学金奨学生(一学年度)》

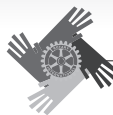
氏 名	性別	推薦RC	出身校・専攻科目	指定志望教育機関	留学国
		顧問ロータリアン	志望専攻科目		
なかの はなこ 中 野 華 子 NAKANO HANAKO	女	長崎西	長崎大学教育学部 比較文化	ジュネーブ 国際問題・開発学 高等研究所	スイス
		馬場 政徳 Baba Masanori	開発学		
いけだ しえ 池 田 詩 絵 IKEDA SHIE	女	佐賀南	東京外大ロシア語 ・音声学	モスクワ 国立総合大学	ロシア
		菰田 秀三 Komoda Syuuzou	ロシア文化・ 文化経済学		
あかはね けいこ 赤 羽 桂 子 AKAHANE KEIKO	女	長崎中央	長崎大学医歯薬学 総合研究科	ロンドン大学	イギリス
		原田 尚紀 Harada Takanori	国際保健 公衆衛生		



池田詩絵(佐賀南RC)



中野華子(長崎西RC)



2010～2011年度

米山カウンセラー研修会:米山奨学生 オリエンテーション 報告



米山記念奨学委員会委員長 北 郷 雅 子 (長崎出島RC)

4月18日(日)『松藤プラザ「えきまえ」いきいきひろば』(長崎駅前交通会館3階)において先ず最初に14時から2010～11年度米山記念カウンセラー研修会を開催しました。高原GEのご挨拶の後、高城Gから、『ロータリーと米山奨学事業』のお話。地区委員長から『カウンセラーへのお願い』をハンドブックに沿って説明。『カウンセラー経験から学んだこと』について隔地区委員のカウンセラー経験時のお話がありました。15時から米山記念奨学生オリエンテーションを17時まで開催しました。昨年からの継続生2名に加え、今年1月17日の選考会で選ばれた12名は拍手の中、一人ひとりカウンセラーの隣に入場着席してホット笑顔がこぼれました。

佐賀大4名「中国(女1)佐賀RC」、「台湾(女1)佐賀西RC」、「ベトナム(女2)牛津RC、佐賀大和RC」。長崎大学3名「中国(女1)長崎出島RC」、「台湾(女1)雲仙RC」、「トルコ(男1)長崎琴海RC」。長崎県立大1名「ベトナム(女1)佐世保南RC」。長崎総科大1名「ミャンマー(男1)東長崎RC」。活水大1名「韓国(女1)長崎南RC」。長崎外大1名「韓国(男1)長崎RC」。佐世保高専1名「ガボン共和国(男1)佐世保北RC」。

カウンセラーの紹介の後、岩永GNから『米山事業の意義』のご挨拶がありました。

金 禧珍 長崎大学・韓国(長崎中央RC)、陳 瑞婷 長崎国際大学・中国(HTB佐世保RC)のふたりの継続奨学生から、楽しい行事や奨学生としてやるべき義務などが紹介されました。DVD『すばらしい贈り物』の後、地区委員長からハンドブックに沿ってPPTを使いながら『米山奨学事業・奨学生の留意点』について説明をしました。

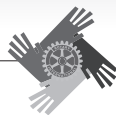
その後、高原GEから奨学金と奨学生のバッジを授与され、同時に確約書に署名して奨学生になりました。

元地区委員長の濱本ガバナー補佐の閉会のご挨拶の後、記念撮影と初めての「手にてつないで」の輪に加わり、いよいよ1年ないし2年の米山記念奨学生としてロータリアンとの貴重な経験をスタートさせました。

今年から新しく長崎外国語大学と佐世保工業高等専門学校が仲間入りしました。

来年の3月の終了式までお世話クラブを中心に地区の皆様方との交流を深めることが出来ますよう、いろいろな機会に奨学生にお声かけをお願いいたします。例年に引き続き「ガバナー月信」や「メールマガジン」でもご報告を致します。

最後に、ロータリアンの皆様の暖かいご支援と寄付へのご協力とご理解とをお願い申し上げます。



2010～2011年度

会長エレクト研修会及び地区協議会幹事部会 研修セミナー報告書

2010年～2011年度
PETS実行委員長

中山 武夫

(有田RC)

桜花爛漫の季節と申し上げたいところですが、天候不順の春雨の中櫻も5分咲き位の時節、平成22年3月20日（土）陶都有田・佐賀県立九州陶磁文化館で国際ロータリー2740地区2010年～2011年度の『会長エレクト研修セミナー及び地区協議会の幹事部会研修セミナー』を佐賀県立九州陶磁文化館の副館長（4月より館長ご就任）鈴田由紀夫氏・高城ガバナーをはじめ隅田達男・栗林英雄両パストガバナー・岩永ガバナーノミニーのご臨席の元、会長エレクト57名、幹事エレクト56名他、次期ガバナー補佐10名、次期地区委員14名（GSE含む）、地区協議会の幹事部会、次期地区研修委員6名、地区幹事エレクト、次期地区幹事はじめ副幹事11名、総勢160名のロータリアンに早朝よりご参集頂き素晴らしい研修会が開催されました。

10:00 点鐘、国歌斉唱一連のセレモニーの後PETS実行委員長の開会の辞、高原武彦ガバナーエレクトより指導者の紹介、次年度地区役員の紹介・出席者の紹介、高城ガバナーのご挨拶を頂きました。直後、高原武彦ガバナーエレクトより「新年度方針」発表、①2010年～2011年度RIテーマとRI会長のメッセージ紹介 ②サンデイエゴ国際協議会報告。RI会長強調事項。イ）平和と紛争予防 解決。ロ）疾病予防と治療。ハ）水と衛生設備。ニ）母子の健康。ホ）基本的教育と識字率向上。ヘ）経済と地域社会の発展。

地区方針

『地域・家族と共に生き生きロータリー』

10:40からの会長エレクトセミナーは栗林英雄パストガバナーに「福島喜三次翁の創始の精神」と題して講演を頂きました。

福島喜三次翁は日本人初のロータリアンで、米山梅吉東京ロータリー創始者のセカンドを勤め、翌年大阪ロータリー創始者の星野氏のセカンドにも貢献され、大正12年の関東大震災の折は全世界のロータリアンから寄せられた救援物資等々、日本郵船をチャーターして東京湾に救援物資第一号船で入った事等ご指導頂き感銘を受けました。

11:10より、九陶副館長の「九州のやきもの文化」について鈴田由紀夫副館長より記念講演を頂きました。

九州の中でも、2740地区のエリアには伝統の唐津焼・有田焼・幻の長与三彩や亀山焼きなど素晴らしい文化遺産の宝庫である事をスライドを通して解説頂きました。

過去に（元禄・享保）第一次有田焼黄金期（柿右衛門様式・古伊万里様式の輸出）、（幕末明治）第二次有田焼黄金期（万国博覧会出品の有田焼を始とした日本の伝統産業振興策にて）地域を育み・大陸をつなぎました。また日本初のロータリアン【福島喜三次翁】は大陸をつないだ日本RCの生みの親であります。

RCは1世紀を経過、有田RCは半世紀を迎えよ



うとしている中での高原ガバナーエレクトの為に提唱されたようなRIテーマ「地域を育み・大地をつなぐ」は古のご縁であると感じました。

さて、今年度は高原ガバナーエレクトのコンセプトでもある「コンパクトでも有田らしい手造り」の運営をテーマに、例年にない昼食懇親会でロータリアンの親睦を深めて頂きました。

13:05から昼食会場前の会議室〈地区協議会幹事部会〉では、馬郡 謙一2008年～2009年度地区幹事（佐世保南RC）幹事の役割についてご指導頂きました。

同じく13:05から会長エレクトにはご移動頂き、本会場で栗林英雄バスターガバナーより「職業奉仕について」懇切丁寧にご指導頂きました。

14:00より、再び本会場全体会議で酒井田正宏次期地区幹事により「新年度地区運営について」発表。

①会員増強会員推移状況 ②RC財団ベネファクター目標と実績 ③米山記念奨学会。目標と実績 (水)次年度地区組織編制と方針 イ) ガバナー補佐の編成10名

ロ) 地区委員会について。ハ) 地区研修委員会設

置について6名。 ニ) ガバナー公式訪問について。ホ) 地区チームへの協力をお願い等々。

続いて、金武康男次期会計より次年度地区関係予算（案）等々の報告を致しました。

質疑応答では会長エレクトからはございませんでしたが、次期研修員の浜本好哉（長崎南RC）より「我々は地区のため何のお手伝いをしたらいいのか？」と質問が出ました。ご返答は高木義和（島原RC）現、地区幹事よりご回答頂きました。

最後に閉会の謝辞を嘉村泰幸副実行委員長より延べる所でしたが、急用で会場を後にされていたので、私が代行で謝辞を述べました。移動に関しましては、万悪く雨がひどくなり大変ロータリアンの皆様にご迷惑をお掛けいたしました、大きな箱物の少ない有田町での開催の為心よりお詫びを申し上げますと共に友情を持ってご寛容の程をお願い申し上げ閉会となりました。

お帰りに九州陶磁文化館の古陶磁ご高覧と福島喜三次翁の生誕地をご覧頂き、有田の雰囲気を感じて頂きたく存じましたが雨の為残念でした。





新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々をご紹介します。



佐賀RC
森川 恭治 君



多久RC
原田 賢治 君



有田RC
松本 義昭 君



有田RC
山崎 洋一 君



唐津RC
高崎 章 君



伊万里RC
岩切 辰美 君



伊万里西RC
平嶋 一雄 君



平戸RC
日高 大子 君



佐世保南RC
松岡 秀敏 君



佐世保北RC
中尾 充宏 君



島原RC
小田 良宗 君



大村北RC
藤本 昇 君



大村東RC
一瀬 俊行 君



大村東RC
脊川 聡 君



諫早多良見RC
アーリー・ジェフリー 君



長崎南RC
長谷川 進 君

物故会員



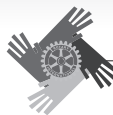
大村北RC
江崎 強 君
(2010.1.1 享年81歳)



福江中央RC
富山 勇 君
(2010.4.9 享年85歳)



長崎中央RC
高村 慎一 君
(2010.4.24 享年66歳)



ハイライトよねやま 123

1 寄付金速報 — やや回復するも厳しい状況 —

4月までの寄付金は、前年同期と比べて12.2%減、約1億6千万円の減少となりました。普通寄付金が2.5%減、特別寄付金が16.6%減で、依然として厳しい状況が続いています。ただ、今月は、個人・法人・クラブからそれぞれ100万円の大口寄付を6件いただき、前年同月との単月比較では約1千万円増となっています。

高額寄付をしてくださった皆さま

～ご支援に感謝申し上げます～

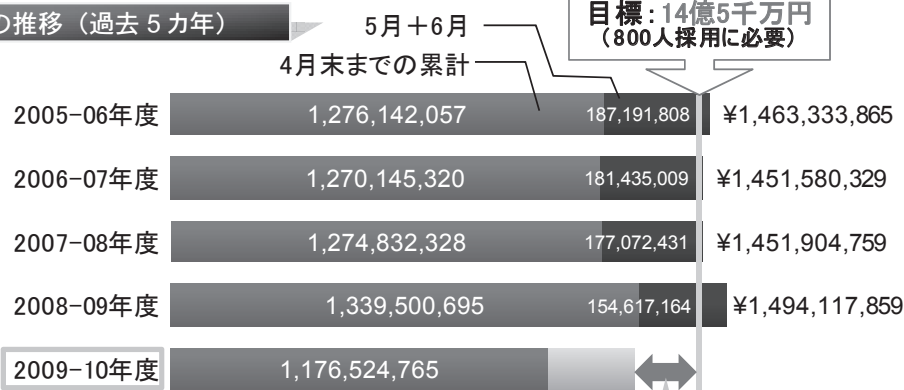
個人寄付 藤井秀久氏（高崎北RC） 郡 愛子氏（東京小石川RC物故会員のご親族）

法人寄付 妙高企業株式会社（横浜鶴見北RC 藤林豊明氏）

福山瓦斯株式会社（福山RC 松本茂太郎氏） 他、匿名希望1件

クラブ創立記念寄付 東京江北RC

寄付金の推移（過去5カ年）



今月(5月)+6月の寄付が前年と同額の場合は、1億1,900万円が不足してしまいます！

普通寄付金をお願い

4月末現在、普通寄付金の下期分をまだ納めていないクラブが**67**クラブあります（前年度45クラブ）。今年度も残り1カ月半ですので、地区関係者の皆様のご協力をお願い申し上げます。

2 中国・台湾の学友からの寄付



姫 軍さん

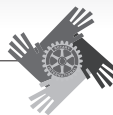
4月には、中国と台湾の学友から多額の寄付をいただきました。現在、弁護士として中国で活躍し、中国米山学友会の初代会長を務める姫 軍さん（1995-97/東京臨海RC）は、「米山奨学会から受けた恩を次の世代に返したい」と、2007年から毎年50万円を米山奨学会に寄付。今回で累計216万円に達し、第21回米山功労者メジャードナーとなりました。これは、学友の寄付金累計としては過去最高額となります。姫軍さんは、第2750地区のホームカミング招聘を受け、今月下旬に来日し、5月30日の東京米山友愛RCの認証状伝達式で記念講演をする予定です。

また、台湾学友会の前会長である阮允恭さん（1971-74/神戸RC）も、4月に世話クラブの神戸RCを訪問した際に、クラブを通じて10万円を寄付してくれました。

これまでに学友から寄せられた寄付金の累計額は、4月末現在で1,417万円にのびります。



阮允恭さん



3 コラムコンテストで学友の晏英さんが最優秀賞受賞！

Global Voices from Japan (GVJ)「外国人の見る日本」コラムコンテストが開催され、米山学友の晏英さん（中国／2006-07／市川大門RC）の応募作品『祖母の逝去』が最優秀賞に輝きました。このコラムコンテストは、留学や仕事で日本に関係・関心を持つ外国人を対象に募集されたもので、453 点の応募作品の中から、最優秀賞 1 点と優秀賞 3 点、その他各賞 6 点が選ばれました。今回の受賞について、晏さんは「望外の喜びであり、光栄の極みです。このコラムは、私の 7 年間の日本に対する愛の蓄積と、その年月遠く離れたところから祖母を想うことしかできなかった複雑な感情を、濃縮させて素直に表現したものです。私はこの国が大好きで、第 2 の故郷だと思っています。皆様と共に、中日友好、国際交流に対する意識を高め、ますます力を尽くしていく決意を新たにしたい」とコメントを寄せてくれました。5 月 13 日に国際文化会館（東京都港区）で開かれた授賞式で、晏さんには、GVJ 評議員会議長の明石康氏よりトロフィーが授与されました。なお、今回のコンテストの受賞作品は、GVJ ホームページ(<http://glovoices.jp.com/>)に掲載されています。



明石氏から授与されたトロフィーを手にする晏さん（左）

4 台北東海RCが創立15周年

米山学友を中心に設立された最初のクラブ、台北東海RCの創立 15 周年記念式典が 4 月 10 日、台北市内のホテルで盛大に開催されました。同クラブは、台湾で日本語を公用語とする珍しいクラブであり、交流のある日本の 10 クラブからも 130 人が出席しました。創立会長の徐重仁さん（1976-77／平塚RC）は、この 15 年を振り返り、「歴代会長のリーダーシップの下、クラブ運営、国際交流、社会貢献に多くの成果を残し、日台文化交流の懸け橋として積極的に活動してきました。



順調な発展を続けることができたのも、台湾・日本ロータリーの諸先輩方のおかげです。今後も私たちは努力を続け、社会とロータリーへの貢献に尽力してまいります」と語っています。

5 米山学友が福島グローバルRCの創立会員に

第 2530 地区（福島県）に設立された新世代中心のロータリークラブ（RC）、「福島グローバルRC」の国際ロータリー加盟認証状伝達式が 4 月 25 日に開催されました。同クラブは財団学友やGSE、米山学友が発起人となって設立されたもので、創立会員 22 人のなかに米山学友が 2 人含まれています。

発起人の一人で、クラブ国際奉仕委員長に任命されたチンタカ・クマール・ウィジェシンへさん（スリランカ／1997-98／郡山安積RC）は、「米山奨学生になって以来、世話クラブのご協力を得て、母国のためにさまざまな奉仕活動を行うことができた。今度は私が、お世話になった当地区で地域社会に貢献し、スリランカと福島を結ぶ更なる懸け橋になりたい」と、決意を語りました。また、もう一人の創立会員、池 慧 詩 さん（マレーシア／2005-07／帯広東RC）は、「ロータリーにお世話になった恩返しのできる気持ちで、皆さまと一緒に社会奉仕を実践していきたい」と話しました。



チンタカさん

(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

編集担当：野津・峯



The future of rotary is in your hands

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

ロータリー財団

米山記念奨学会

種 類		氏 名	クラブ名	種 類	氏 名	クラブ名	
3	ポリオ・プラス	牛 津RC		3	特別寄与(クラブ)		
		長崎中央RC			小 城RC		
		小島居 湛	諫早多良見 RC		中野 隆三	伊万里 RC	
3	ポール・ハリス・フェロー	川谷 邦夫	長崎北 RC	3	マルチプル	黒崎 勇	長崎北東 RC
		中村 知也	長崎北 RC		白川 十郎	伊万里 RC	
		坂本 和久	唐 津 RC		田中 紀男	長崎北東 RC	
3	ポール・ハリス・フェロー	北川 常廣	長崎東 RC	3	メジャードナー	塚崎 寛	長崎中央 RC
		長崎中央RC			朝永 春郎	松 浦 RC	
		中嶋 恒治	長崎北 RC		本村 博信	島 原 RC	
月	年次寄付	船越 哲	長崎北 RC	月	米山功労者	北川 常廣	長崎東 RC
		石元 雅広	長崎北 RC				
		石井 計行	長崎中央 RC				
月	年次寄付	福田 俊郎	佐世保北 RC	月	年次寄付		
		井上 雅弘	佐世保北 RC				
		井上 雅弘	佐世保北 RC				
月	年次寄付	大島居 宏	佐世保北 RC	月	年次寄付		
		緒方 信行	佐世保北 RC				
		蒲池 芳明	佐世保北 RC				
月	年次寄付	北原健次郎	佐世保北 RC	月	年次寄付		
		熊井 雅人	佐世保北 RC				
		隈本 幹彦	佐世保北 RC				
月	年次寄付	古賀 新二	佐世保北 RC	月	年次寄付		
		小西 宗十	佐世保北 RC				
		相良 一三	佐世保北 RC				
月	年次寄付	柴田 隆司	佐世保北 RC	月	年次寄付		
		須田 昇	佐世保北 RC				
		田島 勝明	佐世保北 RC				
月	年次寄付	富田 耕司	佐世保北 RC	月	年次寄付		
		豊島 揆一	佐世保北 RC				
		中井 康晴	佐世保北 RC				
月	年次寄付	鳥越 敏博	佐世保北 RC	月	年次寄付		
		中島 閔二	佐世保北 RC				
		永田 武義	佐世保北 RC				
月	年次寄付	中野雄一郎	佐世保北 RC	月	年次寄付		
		西川 正美	佐世保北 RC				
		二ノ宮 健	佐世保北 RC				
月	年次寄付	野畑 義博	佐世保北 RC	月	年次寄付		
		日高 省三	佐世保北 RC				
		平石 晃一	佐世保北 RC				
月	年次寄付	深堀昌二郎	佐世保北 RC	月	年次寄付		
		深町 等	佐世保北 RC				
		福田 俊郎	佐世保北 RC				
月	年次寄付	藤井 良介	佐世保北 RC	月	年次寄付		
		牧野 博一	佐世保北 RC				
		松尾辰二郎	佐世保北 RC				
月	年次寄付	峯 徳秀	佐世保北 RC	月	年次寄付		
		宮崎 有恒	佐世保北 RC				
		宮地 正博	佐世保北 RC				
月	年次寄付	宮原 明夫	佐世保北 RC	月	年次寄付		
		村上 寅雄	佐世保北 RC				
		森 豊	佐世保北 RC				
月	年次寄付	山北 恭行	佐世保北 RC	月	年次寄付		
		湯口 純二	佐世保北 RC				
		横尾 寛	佐世保北 RC				
月	年次寄付	吉澤 俊介	佐世保北 RC	月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		
月	年次寄付			月	年次寄付		



2010年3月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会	
第1グループ	佐 賀	4	78.86	66	0	62	0	-1	1	2	-4
	小 城	5	78	29	2	27	2	0	0	0	-2
	牛 津	4	78.51	29	1	30	1	-1	0	1	1
	多 久	4	95.83	42	4	42	4	0	0	0	0
	佐賀大和	5	71.3	23	2	23	2	0	0	0	0
	小計		80.5	189	9	184	9	-2	1	3	-5
第2グループ	佐賀西	4	80	44	0	48	0	1	1	0	4
	佐賀北	4	84.21	31	3	32	3	0	1	1	1
	佐賀南	4	83.72	42	2	41	1	-2	0	2	-1
	神 埼	4	85.7	27	0	32	0	0	0	0	5
	佐賀空港	5	58.6	15	1	14	1	0	0	0	-1
	小計		78.45	159	6	167	5	-1	2	3	8
第3グループ	有 田	5	75.43	37	1	37	0	-2	0	2	0
	武 雄	3	84.28	49	3	53	3	0	0	0	4
	鹿 島	4	93.52	42	2	39	3	-3	0	3	-3
	嬉 野	4	90.62	24	1	24	1	0	0	0	0
	大 町	4	71.25	21	0	20	0	0	0	0	-1
	白 石	4	65.38	13	0	13	0	0	0	0	0
	太 良	4	100	8	0	8	0	0	0	0	0
	小計		82.93	194	7	194	7	-5	0	5	0
第4グループ	唐 津	5	86.49	50	0	52	0	0	0	0	2
	伊 万 里	3	97.81	31	0	29	0	-2	0	2	-2
	唐津東	4	90.05	51	0	51	0	-2	0	2	0
	唐津西	4	94	33	0	33	0	0	0	0	0
	伊万里西	4	92.5	44	0	44	0	1	1	0	0
	唐津中央	4	91.67	33	5	32	4	0	0	0	-1
	小計		92.09	242	5	241	4	-3	1	4	-1
第5グループ	佐 世 保	5	98.6	73	0	76	0	0	0	0	3
	平 戸	4	78.4	32	1	36	3	1	1	0	4
	佐世保西	4	94	25	0	25	0	0	0	0	0
	北 松 浦	5	85.56	21	0	22	0	0	0	0	1
	松 浦	4	84.17	30	1	30	1	0	0	0	0
	小計		88.15	181	2	189	4	1	1	0	8
第6グループ	佐世保南	3	99.39	68	0	68	0	1	2	1	0
	佐世保東	4	95.24	20	0	21	0	0	0	0	1
	佐世保北	4	99.45	43	0	45	0	-1	0	1	2
	佐世保中央	4	100	40	2	38	2	0	0	0	-2
	佐世保東南	5	78.46	26	2	26	2	0	0	0	0
	HTB佐世保	3	84.15	26	4	25	4	-1	0	1	-1
	小計		92.78	223	8	223	8	-1	2	3	0
第7グループ	大 村	5	85.92	51	2	51	3	0	1	1	0
	島 原	5	85	32	2	33	2	1	1	0	1
	雲 仙	3	95.19	26	0	26	0	0	0	0	0
	大村北	5	100	32	0	32	0	-1	0	1	0
	島原南	5	70	19	1	22	1	0	0	0	3
	大村東	4	84.87	42	1	41	2	0	0	0	-1
	小計		86.83	202	6	205	8	0	2	2	3
第8グループ	諫 早	4	90.17	55	0	58	0	0	0	0	3
	諫早北	3	81.3	65	1	66	1	0	0	0	1
	諫早西	4	89.47	40	0	39	0	0	0	0	-1
	諫早多良見	5	87.02	35	0	37	0	0	0	0	2
	諫早南	4	83.33	27	5	27	6	1	1	0	0
	小計		86.26	222	6	227	7	1	1	0	5
第9グループ	長 崎	4	89.58	79	0	82	0	-3	0	3	3
	福 江	4	92.5	33	0	35	0	0	0	0	2
	長崎北東	4	91.28	46	6	47	6	0	0	0	1
	福江中央	4	96.67	29	0	29	0	-1	0	1	0
	長崎西	4	75.43	60	0	58	0	0	0	0	-2
	長崎琴海	4	69.74	21	2	20	2	0	0	0	-1
	小計		85.87	268	8	271	8	-4	0	4	3
第10グループ	長崎北	4	77.67	78	0	78	0	-1	1	2	0
	長崎南	4	79.1	78	0	74	0	-2	0	2	-4
	長崎東	3	76.28	52	0	51	0	0	1	1	-1
	東長崎	4	82.79	25	0	25	0	0	0	0	0
	長崎中央	4	94.3	55	0	58	0	0	0	0	3
	長崎出島	4	71	50	11	49	11	-1	0	1	-1
	小計		80.19	338	11	335	11	-4	2	6	-3
合 計			85.4	2218	68	2236	71	-18	12	30	18

※ 上記の表の新入・退会は当月中の数字

文庫通信

<272号>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

<ロータリー情報>

- | | |
|---------------------------------------|--|
| ◎「ロータリー財団未来の夢計画」 | 田 中 作 次 2010 3p
(第 38 回ロータリー研究会報告書) |
| ◎「R15 カ 年財政計画」 | 黒 田 正 宏 2010 4p
(第 38 回ロータリー研究会報告書) |
| ◎「よきロータリアン 指導者としてのロータリアン」 | 渡 辺 好 政 2010 14p
(D.2710 月信) |
| ◎「今 ロータリーが忘れていた事」 | 森 三 郎 1999 16p
(関西ロータリー研究会第 55 回例会記録) |
| ◎「ロータリーの魅力と職業奉仕について」 | 成 川 守 彦 2010 43p
(D.2770 職業奉仕研修会) |
| ◎「私にとってのロータリーの 楽しみ方
(パネルディスカッション)」 | 岩 本 忠 (コーディネーター)
2009 10P (D.2630 地区大会) |
| ◎「ロータリー簡単図解
＜年表とロータリーの考えの変遷その1～3＞」 | 鈴 木 章 夫 2009 3p
(D.2520 月信) |
| ◎「各クラブが行っている活性化アイデア一覧」 | D.2720 210 4p
(D.2720 月信) |
| [上記申込先：ロータリー文庫 (コピー /PDF)] | |

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6465・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



国際ロータリー第 2740 地区

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2009-2010年度ガバナー 高城 昭紀

■ガバナー事務所

〒855-8550 島原市高島2丁目7217 島原商工会議所2F
TEL:0957-61-0121 FAX:0957-61-0122

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740